

從事スルヨリモ寧ロ採掘者ト交易スルヲ以テ遙ニ有利ニシテ又最モ確實ナルコトヲ自覺スルニ至リ金鑛採掘者ノ集  
地ト爲リタル「ビクトリア」洲ノ殖民ハ殆ンド悉ク商業者ト變シ「ニュー、サウス、ウェールズ」ハ肉類ヲ供給シ南「オ  
ーストラリア」ハ小麦ヲ供給シ「タスマニア」ハ野菜、菓實、及木材ヲ供給スルニ至リ漸クニシテ濠洲ハ一時ノ狂熱ヨ  
リ醒メ再ヒ自治制體ノ創設ニ關シテ其研究ヲ重ナルニ至レリ

金山發見以前ヨリ企圖セラレツ、アリシ憲法制定ノ事業ハ金山發見後ニ至リテハ其實質上ニ著シク變化ヲ來セリ、即  
チ千八百五十年以前ニハ濠洲ニテハ放牧業者ノ勢力最モ盛大ニシテ彼等ハ英國社會ノ上階級ニ屬シタリ、故ニ彼等ハ  
濠洲ニ於テモ英國社會ノ階級的制度ヲ存置センコトヲ欲シタリキ、然ルニ金山ノ發見ニヨリテ鑛業者ノ多數カ濠洲ニ  
集合シタルタメ市街住民竝ニ鑛業者ハ等シク彼等ノ權利ヲ要求シテ強固ナル民主主義ヲ唱導セリ、W. C. Wentworth  
及其他ノ人々ニ依リテ唱導セラレタル濠洲殖民地ニ貴族制度ヲ行ハントスル運動ノ脆クモ失敗ニ歸シ唯一場ノ嘲笑ヲ  
購ヒシニ過キサリシハ實ニ此新來ノ勢力ノ實現ト見ル可キモノナリ

濠洲ノ各殖民地カ自治政府ヲ建設シ得ヘキコトヲ本國政府ヨリ許可セラレタルニ依リテ各自ニ自治政府ヲ建設セシハ  
漸ク千八百五十四年ヨリ千八百五十五年ノ間ニアリタリ、而シテ各殖民ハ英國ノ憲法ニナラヒ何レモニ院制度ヲ採用  
セリ、上院(Upper house or Council)及下院(Lower house)即是ナリ、後者ハ即チ衆議員ニシテ其議員ハ悉ク人民ノ選舉  
スル所ナリ、「ニュー、サウス、ウェールズ」洲ニ在リテハ上院議員ハ總督ノ任命ニ依ルモノナルカ「ビクトリア」、南  
「オーストラリア」及「タスマニア」ノ各洲ハ上院議員モ亦人民ノ選舉ニ依ルコトヲ欲セリ、唯其下院議員ト異ナル點ハ  
下院議員ノ選舉ハ全然自由選舉ニシテ被選舉者ニハ更ニ何等ノ制限ナキモ上院議員ノ場合ニアリテハ被選舉者ニ財產  
上及教育學識上ノ制限ヲ附セリ、斯ノ如クニシテ制定セラレタル自治制度ハ英國政府ノ是認スル所トナリタルヲ以  
テ千八百五十六年ニ至リテハ濠洲ノ東半部即チ「ニュー、サウス、ウェールズ」、「ビクトリア」、南「オーストラリア」  
及「タスマニア」ノ四洲ハ終ニ自治政府ノ建設ヲ見タリ、此時ニ於テ「クエンスランド」ハ尙ホ「ニュー、サウス、ウ

ールズ」洲ノ屬邦トシテ殘存セシカ北部殖民間ニ在リテハ「ニュー、サウス、ウェールズ」ト分離シテ別ニ獨立洲ヲ形  
成スヘシトノ議論早クヨリ行ハレ千八百五十年代ヨリ漸ク其勢力ヲ増加スルニ至リシカ時ノ經過ニ伴ヒ益々其劇甚ノ  
度ヲ加ヘ其結果各自利益ノ衝突ヲ來スニ至リ終ニ英本國吏員ノ調査スル所トナリ「ポイント、ダンチャ」ヨリ以北ノ殖  
民ノ大部分ハ其分離ヲ欲スル明白ナルノ事實ヲ確メ終ニ其分離ヲ許可セラレタルヲ以テ「クエンスランド」洲ハ千八百  
五十九年十二月十日 Sir George Ferguson Bowen 氏ヲ其第一回ノ總督トシテ獨立殖民タルコトヲ宣言セリ

(千八百六十年ヨリ千八百九十年ニ至ル期間)

夫レ斯ノ如ク濠洲ノ各殖民ハ互ニ獨立シテ自由殖民地トナリ各自其政府ヲ建設セリト雖モ其當時ハ人口モ極メテ僅少  
ニシテ各種ノ産業未ダ發達セス之ヲ今日ノ狀況ト對照セハ雲泥ノ相異有リテ自國內地ノ探險、産業ノ發展、運輸交通  
機關ノ設備等數ヘ來レハ新政府ニヨリテ急施ヲ要ス可キモノ多岐多端ナルヲ見ルナリ、然ルニ人口ハ極メテ稀薄ニシ  
テ財政亦豊富ナラサルヲ以テ比較的僅少ナル事業ト雖モ彼等ニトリテハ實ニ重大ナル事業タルコト容易ニ了解セザル  
可キ所ナリトス

自治制體ヲ形成セシ以來ハ彼等ノ取リタル事業ノ第一歩ハ各殖民地間ノ境界ヲ精確ニ定ムルニアリタリ調査ノ結果ハ  
「クエンスランド」洲ノ南緯二十九度ノ線ヲ以テ「ニュー、サウス、ウェールズ」トノ南境トシ東經百四十一度ノ經線ヲ  
以テ其西境トセリ、「ムレー」河ハ「ビクトリア」洲ト「ニュー、サウス、ウェールズ」洲トノ境界ヲナシ其結果「ニュー、サ  
ウス、ウェールズ」洲ノ殖民地ハ其西部地方ニ於テ甚タ奇異ナル形狀ヲ呈スルニ至レリ即チ「クエンスランド」ノ西  
方ニ位シ南「オーストラリア」ノ北部ニ存在シ東經百二十九度ト百三十二度トノ間ニ横ハル一帯ノ土地ハ猶「ニュー、サ  
ウス、ウェールズ」洲ニ附屬セリ、然ルニ千八百六十一年ニ至リテ此土地ハ南「オーストラリア」ニ附屬セシムルコト  
トナリ東經百二十九度ノ經線ヲ以テ濠大陸ヲ南北ニ横斷シ西「オーストラリア」ノ境界トセリ

「クエンスランド」洲ハ現今ノ狀態ニ於ケル如ク北部ニ於ケル豐饒ナル地方ヲ其領地トシテ區劃センコトヲ計畫セシモ

南「オーストラリア」ハ其處置ニ對シテ更ニ不滿ヲ訴フルコトナク其欲スル所ニ委ネタリシカ千八百六十二年ニ至リテ其解決ヲ行ヒ「クエンスランド」ハ南緯二十六度ノ緯線ニ於テ其境界ヲ西方ニ進メテ東經百三十八度ノ經線ヲ以テ南「オーストラリア」下ノ境界トナスコトナレリ

千八百六十年以前ニ於ケル濠洲ノ各殖民地ハ互ニ其地方的利益ノ擴張ニ熱中シ地方的猜忌心盛ニ行ハレ又其生活狀態相異ナルヲ以テ各自治政府ノ採ル所ノ政策亦變化極マリナク恰モ百色鏡ノ如キ觀有リキ、然レトモ各洲共ニ最モ切迫セル必要ヲ感セシモノハ人口ノ稀少ニ在リシヲ以テ銳意此レカ増加ヲ計リ各洲相競フテ移民ノ獎勵ニ盡力セリ

千八百六十年ヨリ千八百七十年ニ至ル十箇年間ノ始期ニ在リテハ「クエンスランド」洲ハ移民獎勵ニ對シテ最モ盛ニ活動シ農民勞動者及工人等ヲ英國並ニ其屬邦及其他ノ大陸諸國ヨリ招致シ其國ノ富源開發ニ努メタリ、而シテ人口増加ノ目的ヲ以テ英國及其他ノ各國ヨリ招致セル新來ノ移民ニ土地ヲ分與スルノ必要ヲ生シタルヲ以テ土地法案ノ制定ハ政府ニ於テ最モ緊急ナル問題ト認メラル、ニ至レリ、此法律ノ制定ニ關シテハ數回ノ研究行ハレ其都度大地主ヨリノ甚深ノ反對ニ遭遇セシモ終ニハ之ニ勝テテ *Workable system* ト稱スル法案ノ制定ヲ見タリ、是レ放牧者ニハ廣大ナル地域内ニ其多數ノ羊群ヲ放牧スルヲ許容スルト同時ニ小農業者 (*Shepherds*) ニシテ土地ヲ耕耘シ因リテ得タル產物ヲ以テ其生活ヲ維持センコトヲ希望スルモノニハ放牧用貸地内ト雖モ其出願ニ應ジテ土地ノ使用ヲ許可スルノ法案ナリ

「クエンスランド」政府ニ於テ此法案ノ制定ヲ見ルヤ各洲ハ概ネ之ニ則リテ同一法案ノ制定ヲ爲スニ至レリ、是レ各洲何レモ其事情ヲ等シウシタレハナリ、此土地法案ハ今日ノ所謂 *Closer Settlement Act* ナリテ現ハレ其結果放牧借地人ノ使用スル大面積ノ土地ハ多數ノ小農場ニ區劃セラレ農業者ハ其土地ヲ農業上ノ目的ニ使用シ得ルニ至レリ、農業者已ニ放牧業者ノ借用地ヲ使用スルヲ得ルニ至リタルヲ以テ海岸地方ハ一帯ニ亘リテ最モ繁榮セル農業的殖民地ヲ形成シ數年前迄ハ僅ニ數人ノ放牧者ニ依リテ借地セラレ唯々羊群ノ放牧ノミニ使用セラレタルニ過キサリシ土地ハ集約

的ニ使用セラル、ニ至リ市街附近及海岸ニ近キ便利ナル地方ハ漸ク開拓セラレ續イテ來ル殖民ハ其耕作地ヲ求ムヘク遙ニ内地ニ侵入セサル可カラサルニ至リ此發達活動ニ伴ヒテ鐵道ハ海岸ヨリ西方内地ニ向テ延長セラレ移民力新ニ内地ニ於テ農村ヲ開拓スル時ハ政府ハ之ニ向ツテ鐵道ヲ布設シ移民ノ必要ヲ充スニ盡力セリ、此際ニ起リタル鐵道問題ハ何レノ政府ニアリテモ最モ注意セラレタル緊急事件ニシテ各殖民地間ノ連絡殖民地生產物ヲ輸出スヘキ港灣及各殖民力其日用ノ需用物品ヲ購求シ得ヘキ中央市街地等ノ連絡關係ハ其最モ重要ナル事項トシテ深ク考究セラル、ニ至レリ

濠洲ハ決シテ理想的鐵道組織ヲ有ストハ稱ス可ラサルモ海岸ヨリ内地ニ、内地ヨリ海岸ニ物品ヲ輸送スルニ當リテ其運費ヲ減少シ且ツ其運搬ヲ敏活ナラシムル目的ヲ以テスル鐵道布設ハ代々ノ大臣ニ依リテ最モ良好ニ遂行セラレタリ就中鐵道政策ノ最モ良好ニ遂行セラレタルハ「ビクトリア」洲ニシテ鐵道線路網ハ國ノ各地方ニ走り其結果千八百六十年ヨリ千八百八十年ニ亘リテ著シク運費ノ低減ト運搬ノ敏活トヲ得ルニ至リタルヲ以テ殖民地ハ急テニシテ農業地ト化シ著シク其產額ヲ増加シ直「オーストラリア」洲ト相並ンテ濠洲ニ於ケル小麥供給地ヲ以テ目セラル、ニ至レリ

「ニュー、サウス、ウェールズ」洲ノ大部分ハ放牧の殖民地ヲナシ羊毛及牛ノ產出ニ於テハ濠洲第一ト稱セラレタリ、牛ノ產出ハ「クエンスランド」洲ニアリテモ亦甚タ盛ニシテ特ニ其北部地方「カーベントリア」灣附近ノ地方ニ於テ最モ多シトス、「クエンスランド」ノ北海岸地方ハ廣大ナル沃野ヲ有スト雖モ未タ之ヲ利用セス、此地ニ熱帶的農業ヲ行ヘハ極メテ有利ナルヘシトハ一般ノ認ムル所ナリ、「ブランダベルグ」ヨリ「カイルンス」及「ジョンソン」河ニ至ル迄ノ土地ニハ甘蔗栽培業ノ極メテ有利ナルヲ見ル

牧畜及農業ノ發達ト並ヒテ濠洲ノ鑛山業モ亦此時代ニ入りテ稍々其盛大ヲ見ルニ至レリ、「ビクトリア」洲ニ在リテハ主山脈ノ南部及北部ニ於テ金山ノ採掘セラル、アリ、「ニュー、サウス、ウェールズ」洲ハ銀、銅ノ產出ヲ以テ著シク其南部及南西部ニアリテハ金山ノ開發セラル、アリ、千八百七十年以來「クエンスランド」洲ハ鑛山業者注目ノ集點ナ

リキ、「ギンビー」金鑛山ノ千八百六十七年ニ發見セラレタルニ依リ其主山脈ノ全部ハ探險ヲ要スヘシト唱導セラル、ニ至リ其探險ノ結果ハ有名ナル「モルガン」金山ノ發見トナリ、世界ニ於ケル最モ豐富ナル金山トシテ知ラル、ニ至リ、其他相次キテ「チャーターズ」、「タワース」、「クロイドン」、「バルマー」、「ホッチキンソン」、「エセリッチ」及其他ノ金山ノ發見セラル、モノアリテ「クエンスランド」ハ其産額「ビクトリア」洲ト比肩スルニ至リタリシモ其後西「オーストラリア」洲ニ金山ノ發見セラル、モノ有リテ其産額ノ豐富ナル殆ント前二者ヲ凌駕セントスル勢ヲ呈セリ、元來西「オーストラリア」ニ金山ノ發見セラレシハ千八百八十二年ナリシカ「グールガルヂイ」、「カルグリー」及「キュー」ノ如キ大金山ノ發見セラレテ其探堀ニ從事セシハ漸ク千八百九十年ナリトス

千八百九十年ヨリ千九百年ニ至ル期間

千八百九十年ヨリ千九百年ニ至ル十箇年間ハ濠洲ノ歴史ニ於テ重大ナル時期ノ一ナリトス、此期間ニ於テ起リシ第一ノ事件ハ千八百九十年ニ西「オーストラリア」洲ニ自治體政府ノ建設ヲ許可セラレタルタメ濠洲ニ於テ六個ノ自治體政府ヲ見ルニ至レルコト是ナリ、之レリ以前ニ西「オーストラリア」洲ハ英政府直轄ノ殖民地ニシテ獨立殖民地ナラザリシヲ以テ其進歩遲タトシテ進マス内地ノ發達ニ關シテハ濠洲ニ於ケル他各洲ノ後位ニアリテ満足シタリト雖モ金鑛ノ開發ニヨリ其國論一變シ他諸洲ノ援助ヲ得テ本國政府ニ對シテ自治體建設ノ嘆願ヲナシ其許可ヲ得テ自治體政府ヲ組織シト同時ニ盛ニ金鑛ノ開發ヲ行ヒタルヲ以テ五箇年間ニシテ其人口ヲ三倍シ遂ニ濠洲政策ニ於ケル第一要素トナルニ至レリ、此期間ノ初期ニ起リシ著名ナル事件ハ千八百九十三年ノ銀行業者ノ恐慌ト稱スル濠洲ノ東部殖民地ニ於ケル經濟上ノ變調ナリトス、此時代ニ在リテハ金山及其他鑛山ノ發見ニ依リ濠洲ニ於ケル物質上ノ繁榮ハ殆ント其極度ニ達シ各洲至ル處皆同様ノ状態ヲ保チ而モ斯ノ良好ナル經濟上ノ状態ハ永久ニ繼續ス可ク豫想セラレシヲ以テ各銀行業者ハ多クハ貸シ過キノ結果ヲ生セリ、即チ貨幣ハ銀行業者ノ手ヲ經テ鑛山業ニ對スル放下資本トナリテ殖民地ニ流入シ此カ擔保タル可キ各種ノ財産ハ何レモ其眞價ヨリ高價ニ査定セラレ加フルニ各階級ノ人々何レモ富ノ迅速ナル

蓄積ヲ得ント欲シ此等鑛山業者ト相關連セシヲ以テ此自然ノ結果ハ各人ノ破産トナリテ現ハレ千八百九十三年ニ至リテ銀行ハ何レモ其門扉ヲ鎖シテ支拂ヲ停止スルニ至レリ、是ニ於テカ各階級ヲ通シテ金錢貸借上ニ關スル契約ハ之ヲ履行スルコトヲ得ス結局經濟界ヲ改造セサル可カラサルニ至レリ、此打撃ハ「ビクトリア」洲ニ於テ最モ著シク「ニュー・サウス、ウェールズ」及「クエンスランド」モ殆ント同様ノ悲運ニ遭遇シ「タスマニア」及南「オーストラリア」モ亦其影響ヲ被レリ、然レトモ此經濟上ノ變調過キ去リタル跡ニツキテ之ヲ見レハ此事件ハ變裝シタル天恵タリシヲ知ルナリ蓋シ斯カル活教訓ニ因リテ商人及資本家ハ何レモ確實ナル事業ヲ營ムノ美風ヲ養成シタレハナリ、銀行ハ再ヒ組織セラレ從前ヨリハ一層注意シタル經營法ヲ採用スルニ至レリ、西「オーストラリア」地方ノ金山ハ此等經濟上ノ關係ヨリシテ零落セル人々ニ職業ヲ與ヘテ其艱難ヲ救済スルヲ得タリ、其結果農業及製造工業ハ世人ノ注意ヲ喚起スルニ至レリ

千八百九十年ヨリ千九百年ニ至ル十箇年間ニ於ケル最モ重要ナル政治上ノ運動ヲ各洲殖民ノ同盟問題トス、此運動ノ萌芽ハ早ク已ニ東方殖民地カ互ニ相分離シ各獨立ノ殖民地ヲ形成セシトキニ胚胎シタルモノニシテ總督「HILKOT」氏及「LITTLE」氏ノ如キハ大ニ此運動ヲ助勢セリ、爾來本問題ハ漸ク其歩ヲ進メ貨幣制度及關稅ノ統一並ニ殖民地國防上ノ關係等ヨリシテ濠洲聯邦ノ形成ヲ必要トスルノ政論益々盛ニシテ千八百九十年ニ至リテ始メテ六洲殖民地ヨリ其代表者ヲ選出シテ協議會ヲ開催セリ、而シテ此等ノ代表者ハ協議會ノ決議ニ基キ濠洲國民會議ノ開設ヲ各殖民地ノ議會ニ勸告セリ、其勸告ハ幸ニシテ各殖民地議會ノ容ル、所トナリテ第一回ノ國民會議ハ千八百九十一年「シドニー」市ニ開催セラレタリ、而シテ此會議ハ濠洲聯邦ノ憲法制定ニ關シテ討議シ憲法草案ヲ調製ス可キ重大ナル權力ヲ附與セラレタリ、而シテ國民會議ハ長キ討議ノ結果濠洲聯邦ノ憲法草案ヲ調製シ各殖民地議會ノ賛同ヲ得ントスル運ヒニ至レリ、同盟事業ハ斯ノ如クシテ其歩ヲ進メ國民ニヨリテ其研究セラル可キ特定ノ問題タルニ至レリ、研究ノ結果ハ國民會議モ國民會議ニ依リテ決議セラレタル濠洲聯邦ノ憲法草案ニ賛同セサリシヲ以テ此法案ハ多少ノ進歩ヲナシタル

ノミニシテ各洲ノ議會ニ於テ拋棄セラル、ニ至レリ、夫レ斯ノ如ク其法案ハ濠洲政治家ニ依リテ拋棄セラレタリト雖モ國民ハ尙之ヲ保持シ其後組織セラレタル同盟黨ノ主唱ニヨリ千八百九十三年「コロワ」ニ於テ開催セラレタル協議會ハ濠洲聯邦ノ形成ニ關シテ論究センカタメ再ヒ國民會議ヲ組織ス可シトノ希望ヲ是認セリ、亞キテ千八百九十五年ニ開カレタル各洲總理大臣協議會ニアリテハ各殖民地ヨリ各十人ノ代表者ヲ選任シ此等代表者ニヨリテ組織セラレタル會議ハ濠洲聯邦ノ憲法ヲ制定シ其憲法ハ國民投票ニヨリテ其採否ヲ決ス可シトノ法案ヲ制定シ之ヲ各洲議會ニ提出シ以テ其賛同ヲ得ヘキコトヲ議決セリ、以上ノ法案ハ「グエンズランド」洲ヲ除ク外各洲議會ノ是認スル所トナリタリ、獨西オーストラリア「洲」政府ハ此決議ヲ確定シタル以前ニ之ヲ撤回シ得ルコトノ權利ヲ保留シタリ「グエンズランド」ヲ除ク外各洲ヨリ選出セラレタル各代表者ニヨリテ成立シタル本會議ハ千八百九十七年「アデレード」市ニ於テ開會シ其年三月ヨリ此大事業ニ著手シ長キ審議ノ結果確定シタル聯邦憲法ノ草案ハ千八百九十八年六月脱稿シ各洲選出ノ代表者ニ提出セラレタリ、此時ニ當リテ「グエンズランド」ハ全然本會議ニ參列セス、西「オーストラリア」ハ各洲ニ於ケル投票ノ結果ニ徵シテ其賛否ヲ定ム可キコト、ナレリ、其餘ノ四個殖民地ニテハ略此草案ニ賛成ヲ表セリ、然ルニ「ニュー、サウス、ウェールズ」洲ニ於ケル投票ノ決定數ハ八萬票ナルニ投票ノ結果ハ確實ニ其票數ヲ得サリシヲ以テ其案ノ決議ヲ延期シ之ニ關スル協議會ヲ重ネテ「シドニー」市ニ開會セリ此時ニ當リテ各洲ノ總理大臣協議會モ亦「シドニー」市ニ開會シ以テ前記ノ協議會ニ於テ「ニュー、サウス、ウェールズ」洲ノ要求ヲ満足セラレンコトニ關シテ大ニ盡力セラレタリシヲ以テ一箇月前ニ同盟法案ヲ是認シタル他ノ三洲ハ「ニュー、サウス、ウェールズ」ノ要求ニ同意ヲ表セリ、是ニ於テ千八百九十八年ニ於ケル「ニュー、サウス、ウェールズ」洲ノ國民投票ハ濠洲聯邦ノ憲法ヲ是認セリ、恰モ此時ニ際シ「グエンズランド」洲ハ盛ナル活動ヲ開始シ同年九月ノ國民投票ノ結果終ニ此同盟ニ一致スルコト、ナリタリ

玆ニ於テカ濠洲聯邦ノ憲法ヲ英本國議會ニ提案シ其通過ヲ速カナラシムヘキ運動ヲ開始セシムル目的ヲ以テ千九百年

各殖民地ヨリ一人宛ノ同盟委員ヲ英本國ニ派遣セリ、斯クシテ聯邦憲法カ猶ホ未タ英國衆議院ニ在ル間ニ西「オーストラリア」洲モ亦其同盟ニ加盟スヘキヲ欲セシヲ以テ直チニ其法案ノ一部ヲ訂正セリ、斯クシテ濠洲聯邦ノ憲法ハ大ナル修正ナクシテ英國議會ヲ通過シ千九百年七月九日英國皇帝ノ批准ヲ得タリ、西「オーストラリア」洲ニテハ同月三十一日國民投票ヲ行ヒ大多數ヲ以テ之ヲ是認セリ

濠洲聯邦ノ憲法ハ千九百一年一月一日ヲ以テ布告セラレ濠洲聯邦ノ建設ハ「シドニー」市ニ於テ極メテ壯麗華麗ナル儀式ヲ以テ舉行セラレタリ

新タニ組織セラレタル聯邦政府ノ第一回ノ總理大臣ハ Edmund Barton 氏ナリ、氏ノ總理大臣トナルヤ聯邦各洲ノ代表者ヲ糺合シテ鞏固ナル内閣ヲ組織セリ、

憲法ノ條文ニ基キ關稅事務ハ聯邦政府ニ屬スヘキモノナルヲ以テ直チニ之ニ關スル組織ヲ制定シ就任式ヲ行ヒ事務ヲ開始セリ之レニ亞キテ國防及郵便電信ノ事務ハ又聯邦政府ノ管轄ニ屬セリ、此時ニ當リテ聯邦議會ノ議員タルヲ欲スル政治家ハ活潑ナル選舉運動ヲ開始セルヲ以テ聯邦政府モ亦速ニ其選舉ヲ行ヒ五月ニ至リテ聯邦議會ヲ開會セリ、此時ニ於テ Barton 氏ハ兩院ニ於テ均シク大多數黨ノ首領タリシナリ、最近十箇年間ニ於テ政治上ノ大勢力タリシ勞動黨ハ又彼ノ旗下ニ屬セリ、實ニ Barton 氏ノ率キル多數黨殊ニ勞動黨ノ根本主義ハ所謂白人濠洲主義 (White Australia) ナリシヲ以テ此第一回ノ議會ニ於テ早クモ其理想ヲ現實ニシ彼ノ有名ナル外國人移民制限法案 (Aliens Immigration Restriction Bill) 及太平洋諸島勞動者法案 (Pacific Island Labourers Bill) ヲ通過セシメ千九百一年ニ法律トシテ發布セラレタリ、外國人移民制限法案ハ其目的彼等勞動者ノ慊惡スル亞細亞人種特ニ支那人種ノ盛ニ濠洲ニ入國スルヲ杜絶スルニアリテ其禁止ノ方法トシテハ「ナタル」殖民地ニ於ケル制限法ニ準シテ移民ニ對シテ語學試驗ヲ行フコト、セリ、語學試驗ハ所謂筆記試驗ト稱スルモノニシテ歐羅巴語ノ五十字以上ヲ筆記セシメ之ニ合格シタルトキニ始メテ入國ヲ許可スルコト、ナセリ

初メ此法案ハ英語ノ五十字以上ヲ筆記セシムヘシトアリシカスルトキハ濠洲政府ニ在リテ其移住ヲ欲スル獨逸人若シクハ其他ノ歐羅巴人ノ入國ヲモ阻害スルニ至ルヘシトノ理由ヲ以テ一部ノ反對アリタルタメ英語ナル文字ニ代フルニ歐羅巴語ナル文字ヲ以テシタリ

太平洋諸島労働者法案ナルモノハ其當時「クエンスタンド」及「ニュー、サウス、ウェールズ」ニ於テ甘蔗栽培ニ使用セシ太平洋諸島ノ労働者特ニ「カナダ」人種ノ排斥法案ニシテ此法案ニ對シテハ多少ノ反對者アリシモ大勢ノ向フ所如何トモスルコトヲ得ス終ニ「カナダ」人種ヲ濠洲大陸ヨリ放逐スルコトヲ決議シタルモノナリ

海關稅法ハ又本會議ニ提出セラレ千九百一十一年十月八日、時ノ大藏大臣 Sir George Turner 氏ノ豫算演說有リタリ、此稅制ハ國情ノ要求ニ從ヒ保護稅主義ヲ採用セルモノナリシカ其議會ニ現ハル、ヤ自由貿易論者ハ濠洲目下ノ國情ハ各種產業ノ發達ヲ計ルタメ保護稅制度ノ採用ヲ必要トスルコト事實ナリトスルモ本稅法ハ保護ニ過キテ一般ノ負擔ヲ大ナラシメ却ツテ產業ノ發達ヲ阻害スルモノアル可シトノ理由ヲ以テ委員會ニ於テ此法案ニ大修正ヲ加ヘ負擔ノ輕減ニカメタリ、此法案ノ下院ヲ通過シテ上院ニ廻送セラル、ヤ上院ニ在リテモ亦前ト同様ノ理由ニ依リテ多少ノ修正ヲ希望セリ

斯ノ如ク種々ノ困難アリシヲ以テ本案ハ議會ニ提出セラレテヨリ決議セラレシ迄ニハ實ニ十二箇月ノ日子ヲ要シタリト云フ

濠洲聯邦ノ第一議會ハ種々ノ問題累集セシヲ以テ其期ハ千九百一十一年五月十日ヨリ千九百一十二年十月十日ニ至ル十七箇月間ノ長キニ亘リ諸種ノ主要ナル法案ヲ議定シ其効績顯著ナリト稱セラル

濠洲聯邦ノ形成及其政治上ノ關係以外ニ在リテハ千八百九十年以後ノ濠洲經濟界ハ極メテ穩健ナル發達ヲ遂ケ且ツ千八百九十三年ノ銀行業ノ恐慌以來商業界ハ專ラ確實ヲ主トスルニ至レル現象ヲ見ル千九百一十一年及千九百一十二年ノ大旱魃ハ此事實ニ對スル試金石ト稱ス可シ、何トナレハ此大旱魃ハ其影響セル區域甚タ廣ク内地ニ在リテハ水ノ缺乏ニ依リ

小麥ノ枯死セルモノ甚タ多ク羊群及家畜ノ死亡亦夥シク其損害甚大ニシテ全國ニ亘リテ消費力ヲ減セシコト擲ナカラサリシト雖モ之ニ依リ蹉跌スルモノ少ク一般經濟界ハ概シテ健全ナリシヲ以テナリ、爾來内地ノ產業ハ年ヲ追フテ確實ナル發達ヲ遂ケ酪乳業及農業ハ概シテ擴張ノ傾向ヲ呈シ殊ニ農業ハ驚ク可キ進歩ヲ示シ鑛山業及其他ノ製造業工業ノ進歩發達ト相伴フテ濠洲今日ノ繁榮ヲ現出セリ

### 第三節 濠洲聯邦ノ憲法

濠洲聯邦ノ憲法ハ他ノ英國殖民地ニ於ケルカ如ク專ラ英國憲法ノ形式ニ準シテ之ヲ制定セリ、聯邦總督ハ英國皇帝陛下ノ代理トシテ主權ヲ行使シ議會ハ上院及下院ヨリナル二院制度ナリ、然レトモ濠洲ニテハ民政主義極メテ盛ナリシヲ以テ世襲若シクハ總督ノ任命ニ依ル議員ヲ以テ上院ヲ組織スルカ如キコトヲ避ケ寧ロ兩院議員ハ共ニ等シク人民ノ選出ニ依ル可キヲ欲シタリキ、是ヲ以テ上院議員モ多クハ人民ノ選舉ニヨルコト、ナレリ、投票ハ一人一票制度ヲ採用シ婦人ニモ男子ト等シク投票權ヲ附與セリ

以下少シク濠洲聯邦ノ憲法構成ノ要領ヲ記述ス可シ

濠洲聯邦總督 聯邦總督ハ英國皇帝陛下之ヲ親任シ其任命ハ皇帝自ラ署名セル信任狀ヲ以テス此信任狀ニハ英國皇帝陛下ノ代理者トシテ總督ノ執行シ得ヘキ權能ヲ明文ニ記載シ之レニ伴フテ發布セラレタル永久不變ノ訓令ハ新タ

ニ任命セラレタル總督ニ對シテ其職務執行ノ方法ヲ規定スルヲ常トス

信任狀ニ依リテ總督ニ附與セラレタル權能ハ極メテ多端ナリト雖モ其主ナルモノハ行政會議(樞密院會議)ノ組織及裁判所ノ構成、事務官、裁判官、大臣及其他ノ官吏ノ任命犯罪者ノ赦免、罰金、科料ノ免除及議會ノ召集停會解散等ナリ

總督ハ與ヘラレタル訓令ニ從ヒ行政會議ヲ召集シ自ラ其議長トナリ之ヲ統轄シ緊急止ムヲ得サル場合ヲ除クノ外左

記諸件ニ付キテハ行政會議ニ諮問シ其決議ヲ經テ之ヲ決行ス可キモノトス

聯邦議會ヲ通過シタル法案、既定ノ法律ニ附帶シテ其發布ヲ必要トスル法案及其他ノ法案ヲ批准シ拒否シ若シクハ之ヲ保留セントスルトキ

總督ニシテ其與ヘラレタル權能ヲ實行セントセハ行政會議ニ諮問シ其贊襄ヲ受ケテ之ヲ行フヲ常トスレトモ憲法上行政會議ニ諮問スルヲ要セス、總督自ラ執行シ得ヘキ權能モ亦少ナカラス左記ノ權能ヲ行使セントセハ必スヤ行政會議ニ諮問シ其贊襄ニ依リテ之ヲ爲ス可キモノトス

聯邦議會ヲ召集シ停會シ及之ヲ解散スルトキ

兩院ノ協議會ヲ開催セシムルトキ

聯邦議會ノ決議ヲ經テ提出セラレタル法律ノ修正ヲ議會ニ勸告セントスルトキ

英國皇帝ノ代理トシテ聯邦ノ行政權及其主權ヲ實行スルトキ

現任聯邦總督ハ The Right Honourable William Humber, Earl of Dudley, P. C., G. C. M. G., G. C. V. O. ナリ

行政 聯邦政府ノ行政事務ハ概言スレハ聯邦憲法ノ執行及擁護並ニ憲法ノ規定スル所ニ從ヒテ聯邦議會ヲ通過シタル法律ノ執行及維持ヲ目的トスル行爲若シクハ不行爲ニシテ此カ執行ハ行政會議ノ決議ニ依ル可キモノトス、而シテ其行政會議ハ聯邦總督之カ議長トナリテ之ヲ統轄スルモノトス、英國議會ノ永年ノ慣習ニ基キ聯邦内閣ハ政治上同一見解ヲ持シ同一ノ主義綱領ヲ遵奉セル一黨派ヲ組織シ其黨首ニ從順ナル黨員ヲ以テ之ヲ組織シ議會ノ反對ニ遭遇シテハ常ニ同一責任ヲ以テ共同辭職ヲ敢テセサル可ラサルモノトス

濠洲聯邦ニテハ聯邦議會ノ定ムル所ニ依リ總督ト共ニ行政會議ヲ組織ス可キ大臣ハ現今ハ其數七人ニシテ各大臣ハ各行政部ニ長トシ憲法及法律ノ執行及維持ノ任務ヲ司リ各自ノ執行セル行政事務ニ關シ聯邦議會ニ對シテ其責ヲ有スルモノナリ、大臣ノ多數ハ下院ニ其議席ヲ有スルモノニシテ現今ハ唯一人ノ大臣ノ上院ニ其議席ヲ有シテ政府ヲ

代表スルモノアルト及大臣ノ職ニ在ラサル行政會議ノ副議長ノ亦上院ニ其議席ヲ有スルアルノミ

行政會議ヲ組織ス可キ現在ノ大臣、行政會議副議長及名譽大臣ハ左ノ如シ

總理大臣兼大藏大臣 The Hon. A. Fisher

司法大臣 The Hon. W. A. Hughes

外務大臣 The Hon. E. L. Batchelor

内務大臣 The Hon. K. O'malley

遞信大臣 The Hon. J. Thomas

國防大臣 The Hon. G. H. Pearce

貿易關稅大臣 The Hon. F. G. Tudor

行政會議副議長 The Hon. G. McGregor

名譽大臣 The Hon. E. Findley

名譽大臣 The Hon. C. E. Frauzer

内閣會議 内閣會議ハ時ノ大臣ニ依リテ組織セラレ決シテ他人ノ列席ヲ許サハル秘密會議ニシテ其記録ハ漏洩ヲ許ササルモノトス、本會討議ノ結果ニ依リ法令ヲ發布シ又ハ處分ヲ行フコトヲ得スト雖モ本會議員ハ議會ニ於ケル多數黨ノ首領ニシテ且ツ行政會議ノ議員ナルカ故ニ國民並ニ總督ノ信任アリ依リテ事實上内閣會議ノ結果ハ國ノ行政方針ヲ定ムルノカアルモノナリ法律上總督ハ議會ヲ召集シ停會シ若シクハ解散スルノ權有リト雖モ其執行ハ事實上内閣會議ノ提案ヲ持チテ之ヲ行フヲ常トス

立法 上院ハ濠洲聯邦ヲ形成スル各六洲ヨリ同數ノ議員ヲ選出シテ之ヲ組織ス可キモノニシテ各六洲ハ其一洲ヲ一選舉區トシ各六名ノ上院議員ヲ選出ス、而シテ其議員數ハ議會ニ於テ之ヲ増減スルノ法律ヲ制定シ得ヘシト雖モ必ス

ヤ各洲同數ノ議員ヲ出ス可キモノトス濠洲ノ人民及政治家ハ總督ノ任命ニ依ル議員ヲ以テ上院ヲ組織スルコトヲ欲セサルモ上院ハ其性質上下院ニ比スレハ極メテ鞏固ニシテ永久ナラサル可カラサルヲ以テ憲法ハ上院議員ノ任期ヲ六箇年ト規定シ猶ホ一層連續的ナラシムル目的ヲ以テ上院議員ノ半數ハ始メテ議會ノ創立セラレタル日若シクハ解散ノ日ヨリ三箇年ヲ經過シタル時ニ於テ其半數改選ヲ行フ可キコト、ナリ常ニ永續的性質ヲ持續セシメ三箇年毎

ニ其議員ノ半數ハ退キ新ニ半數ヲ入ル、ヲ以テ議員ハ新陳代謝シ活氣常ニ院内ニ滿テリ

上院議員及之ヲ選舉スヘキ選舉人ニ關スル資格及條件ハ下院議員ノ選舉ノ場合ト同シ、上院ハ歳入ヲ査定シ租稅ヲ賦課スルカ如キ法案ヲ創作スルコトヲ得サルノミナラス司法案ハ之ヲ改正スルコト能ハサルモノトス、然レトモ其一部ノ刪除若シクハ改正ニ對スル要求ヲ附シテ之ヲ下院ニ廻送スルコトヲ得、其他ノ提案ニ對シテハ下院ト同等ノ權能ヲ有ス、故ニ金錢上ニ關スル諸法案ハ下院ニ於テ創作セラレ可キモノナリ

下院議員數ハ國民人口ヲ基礎トシテ之ヲ定メ其ノ數ハ成ル可ク上院ノ倍數タラシムルヲ要シ何レノ洲ニテモ議員ノ數五人以下ニ下ルコトヲ容サス、此主義ニ依リテ定メラレタル下院ノ議員數ハ七十五人ニシテ其分配ハ左ノ如シ

「ニュー、サウス、ウエールズ」洲 二十六人

「ビクトリア」洲 二十三人

「クェンズランド」洲 九人

南「オーストラリア」洲 七人

西「オーストラリア」洲 五人

「タスマニア」洲 五人

此議員數ハ憲法ニ表示セラレ、然レトモ各洲人口増加ノ割合ハ各相異ナリ、或洲ニ於ケル人口増加ノ割合ハ遙ニ他ノ洲ヲ凌駕スルモノアリ、例ヘハ西「オーストラリア」洲及「クェンズランド」洲ノ如シ、故ニ此等ノ諸洲ハ憲法ニ示ス

所ノ精神ニ從ヒ久シカラスシテ猶多數ノ議員ヲ出スニ至ルヘシ

下院議員ノ任期ハ三箇年ナレトモ總督ハ其必要上三箇年ノ期間ヲ待タス之ニ解散ヲ命スルコトヲ得第一回ノ聯邦議會ニ於テ通過シタル選舉法案ハ各洲ニ於ケル選舉區ヲ定メ選舉人ノ資格ヲ定メタリ、此資格タルヤ當時濠洲ニ盛ナリシ民政的傾向ヲ發揮シタルモノニシテ濠洲内ニ六箇月以上繼續住居シタル英國臣民及歸化人ニシテ滿二十一歳以上ノモノハ悉ク選舉權ヲ有スルモノナルモ濠洲土人亞細亞人及太平洋諸島人民（但シ「ニュージールランド」島民ヲ除ク）ハ各洲議會ニ於テ特ニ選舉權ヲ附與セラレタルモノニ非サレバ之ヲ有セス、本議會ハ又滿二十一歳以上ノ婦人ニモ男子ト等シク選舉權ヲ與フ可キ法案ヲ通過セリ

下院議員タル可キモノハ滿二十一歳以上ニシテ選舉權ヲ有シ三箇年以上濠洲聯邦内ニ居住シタル英國臣民若シクハ歸化人（歸化後五箇年ヲ經過シタル者ニ限ル）タルヲ要シ議員トナリテ其議席ヲ下院内ニ占ムルニ先タチテ英國皇帝ニ對シ忠順ノ宣誓ヲナス可キモノトス

議員ニシテ左ノ場合ノ一ニ該當スルトキハ其資格ヲ失フ

英國以外ノ他國皇帝若シクハ政府ニ對シ忠順ノ宣誓ヲナシタルモノ

國事犯罪ニ依リテ公權ヲ剝奪セラレタルモノ

一箇年以上ノ禁錮ノ刑ニ處セラルヘキ犯罪ニテ有罪ノ判決ヲ受ケタルモノ

破産ノ宣告ヲ受ケタルモノ

政府ノ役員タルモノ

聯邦政府ノ公務ニ關聯シテ金錢上ノ利益關係ヲ有スルモノ、但シ二十五人以上ノ社員ヲ有スル法人組織ノ組合若シクハ會社ノ従業員ナルトキハ此限リニアラス

上院及下院議員ノ歳費ハ何レモ六百磅ナリ

議會ノ權能 濠洲ニ在リテハ國務ノ大部分ハ各洲議會ニテ其立法權ヲ有スト雖モ聯邦議會ノ權能ニ屬スル立法事  
モ亦極メテ廣汎ナリ、憲法第五十一條ニ據リ聯邦議會ノ權能ニ屬スヘキモノヲ示セハ左ノ如シ

- (一) 外國及聯邦各洲間ニ於ケル商業貿易
- (二) 課税 但シ課税ノ性質聯邦各洲ニ共通的ニシテ洲及洲ノ一部ニ從ヒテ區別ヲ生セサル如キモノニ限ル
- (三) 生産業及海外輸出ニ對スル獎勵金
- (四) 公債ノ借入
- (五) 郵便電信電話及之ニ類似ノ事務
- (六) 濠洲聯邦ノ海陸軍費
- (七) 燈臺、燈船、警標及浮標
- (八) 天文及氣象ノ觀測
- (九) 檢疫
- (一〇) 領海以外ノ海洋ニ於ケル漁業
- (一一) 國勢調査及統計
- (一二) 本位貨幣及通貨ノ鑄造
- (一三) 各洲ノ銀行業務ニ屬セサル銀行業務各洲ノ銀行業務ナルモ其洲ノ境界ヲ超越シタル時ノ銀行ノ設立及紙幣ノ發行
- (一四) 各洲ノ保險業務ニ屬セサル保險業務及各洲ノ保險業務ナルモ其洲ノ境界ヲ超越シタルトキノ保險業務
- (一五) 度量衡
- (一六) 爲替手形及約束手形

(一七) 家資分散

- (一) 著作權發明意匠及商標ニ對スル特許
- (二) 外國人及歸化
- (三) 外國會社及濠洲領土内ニ於ケル外國商會社
- (四) 婚姻
- (五) 離婚及結婚ニ關スル訴訟事件及之ニ關聯シテ生スル未成年者ニ對スル親權監視及後見
- (六) 恩給年金及扶助料
- (七) 聯邦共通ノ民事及刑事裁判ニ關スル事務及其執行並ニ各洲裁判所ノ審査
- (八) 聯邦各洲ノ法律規則及判決例ヲ承認シ其效力ヲ濠洲聯邦内ニ普及ナラシムルコト
- (九) 濠洲土蕃以外ノ人種ニシテ之ニ對シテ特別法ヲ設定スルノ必要アリト認メタルモノ
- (一〇) 移民及殖民
- (一一) 犯罪者ノ入國
- (一二) 外交事務
- (一三) 太平洋諸島ト濠洲聯邦トノ關係
- (一四) 三洲若シクハ個人ヨリ議會カ認メテ正當ナリトスル條件ニ依リ財産ヲ取得スルコト、但シ此場合ニ在リテハ財産取得ノ目的ニ關シテ議會ハ法律ヲ制定スルノ權能アルヲ要ス
- (一五) 三軍事上ノ目的ヲ以テスル輸送ニ對スル鐵道ノ監督
- (一六) 三洲ト聯邦トノ間ニ協定シタル條件ニヨリ洲ノ承諾ヲ得テ洲有鐵道ヲ取得スルコト
- (一七) 三洲ノ承諾ヲ得テ其洲内ニ鐵道ヲ築設シ又ハ其鐵道ヲ擴張スルコト



- (三) 一洲ノ境界以外ニ亘レル實業上ノ爭議ニ關スル和解及仲裁
  - (四) 憲法ノ定ムル所ニ據リ議會ノ規定ヲ要ス可キ事務
  - (五) 一洲若シクハ數洲ノ議會ニヨリテ聯邦議會ニ委託セラレタル事項、此場合ニ在リテハ之ニヨリテ制定セラレタル法律規則ハ此事項ヲ聯邦議會ニ委託シタル洲及其後此法律ヲ採用シタル洲ニノミ行ハルヘキモノトス
  - (六) 聯邦内各洲議會ノ請願若シクハ替同ニ依リテ聯邦憲法ノ構成上英國議會若シクハ「オーストラリアシア」ノ聯合會議ニヨリテノミ實行セラル可キ權能ヲ濠洲聯邦内ニ限リ施行スルコト
  - (七) 憲法ノ規定スル所ニ據リ上院、下院、聯邦政府、聯邦裁判所各省若シクハ聯邦政府ノ或ル吏員ニ附與セラレタル權利ノ執行ニ附帶セル事項
- 以上權限ノ外議會ハ聯邦ノ政府ノ各省事務ニ關シ法律規則ヲ制定スル權能ヲ有ス、然レトモ各省事務ノ監督ハ聯邦政府ノ行フヘキ所トス

#### 第四節 各洲ノ憲法

濠洲聯邦ヲ形成スル各洲ハ等シク獨立ノ政府及議會ヲ有シ其總督及上院下院ハ各洲憲法ノ定ムル所ニ依リ各立法權ヲ行使シ從來ノ獨立ヲ維持ス之ヲ聯邦形成ノ前後ニ見ルニ唯總督等ノ權能ニ變化ヲ來シタルノミ

玆ニ各洲憲法構成ノ要項ヲ示スコト左ノ如シ

各洲總督 各洲總督ノ權能ハ其統治スル所ノ洲内ニ限ラル、點ニ於テノ外聯邦總督ノ權能ト殆ント相等シ而シテ此權能ハ英國皇帝陛下ノ信任狀ニ依リ明文ヲ以テ規定セラレ信任狀ニ伴フテ發セラレタル訓令ニ依リテ其之カ行使ヲ規定セラル、コト聯邦總督ノ場合ニ述ヘタルカ如シ

洲總督ハ洲行政ノ首腦ニシテ議會ヲ通過シタル諸法案ヲ英國皇帝陛下ノ名ニ依リテ批准スルコトヲ得但或種ノ法案ニ

アリテハ憲法ノ規定及英國政府ヨリ發セラレタル訓令ノ定ムル所ニ依リ皇帝陛下ノ批准ヲ得ルヲ要スルモノトス總督カ其權能ヲ執行セントスルトキハ行政會議ニ諮問シ其決議ニ依リテ行フヲ常トス而シテ聯邦總督ノ裁斷ヲ要ス可キ主要ナル事件ハ總理大臣ヨリ要求セル議會解散處分ノ是認又ハ拒否ノコト、大臣任命ノコト議會ヲ通過セル法案ノ批准否認若シクハ保留ノコト等ナリ洲總督ハ又其裁判權内ニ於テハ犯罪人ニ對シ執行猶豫ノ處分ヲ行ヒ若クハ之ヲ赦免シ又ハ罰金科料ヲ免除スルカ如キ權能ヲ有ストモ之等ノ實行ニ關シテハ多少ノ制限アルモノトス而シテ洲公務ニ對スル費用ハ總督ノ命令ニ依リ總テ國庫ヨリ支出セラル、モノトス

現今濠洲聯邦ニ於ケル各洲總督ノ氏名ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 「ニュー、サウス、ウェールズ」洲ノ總督  
Baron Chelmsford, G. C. B., K. C. M. G.
- 「ウヰクトリア」洲ノ總督  
Sir Thomas David Gibson-Cornichael, Bart., LL.D., K. C. M. G.
- 「タキーンズランド」洲ノ總督  
Sir William McGregor, G. C. M. G., C. B.
- 「サウスオーストラリア」洲ノ總督  
「ヴェースターン、オーストラリア」洲ノ總督  
「タスマニア」洲ノ總督

各邦ノ議會 各洲ノ議會モ亦聯邦議會ト等シクニ院制度ナリ而シテ其議員數及資格ハ各洲多少ノ相異アリト雖モ大要ハ聯邦會議ト異ナル所ナシ今各洲ニ於ケル議員ノ資格、人員任期及其他ニ就キ述ブレハ左ノ如シ  
「ニュー、サウス、ウエールズ」洲ノ議會

上院

議員數 五十三人但シ議會ノ決議ニ依リ増減シ得ヘシト雖トモ二十一人以下ニ減スルコトヲ得ス  
議員ノ資格 英國臣民若シクハ其歸化人ニシテ丁年以上ノ男子タルヘキコト  
議員ノ任期 終身  
選舉ノ資格 總督ノ任命ニ依ル  
議員ノ歳費 ナシ

下院

議員數 九十人  
議員ノ資格 丁年以上ノ男子ニシテ下院議員ノ選舉權ヲ有スル英國臣民ハ下院議員タル資格ヲ有ス但シ憲法及一千九百年ニ於ケル議員選舉法ノ規定ニ從ヒ失格シタルモノハ此限ニアラス  
議員ノ任期 三箇年  
議員ノ歳費 年額三百磅  
選舉ノ資格 滿一箇年以上「ニュー、サウス、ウエールズ」洲ニ繼續居住セル英國臣民若クハ其ノ歸化人(但シ歸化後一箇年以上同洲ニ繼續居住ヲ要ス)ニシテ丁年以上ノモノハ男女ノ別ナク下院議員ヲ選舉スルノ資格ヲ有スルモノトス  
「ヴェクトリア」洲ノ議會

上院

議員數 三十四人  
議員ノ資格 英國臣民若クハ其歸化人ニシテ左記ニ該當スル滿三十歳以上ノ男子ハ上院議員タルノ資格ヲ有ス  
(一) 選舉ノ前年ニ於テ一箇年五十磅以上ノ收入ヲ得キ財產ヲ所有スルコト  
(二) 歸化人ノ場合ニ於テハ滿十箇年間「ヴェクトリア」洲ニ居住シタルコト  
議員ノ任期 六箇年  
選舉ノ資格 英國臣民ニシテ左記ニ該當スル丁年以上ノ男女ハ上院議員ヲ選舉スル權利ヲ有ス  
(一) 年額、十磅以上ノ收入アル財產ヲ所有シ或ハ年額十五磅以上ノ收入ヲ得ヘキ租借財產ヲ有スルコト  
(二) 英國大學ノ卒業生「メルボルン」大學ノ學生ニシテ法律及醫學得業士ノ資格ヲ有スルモノ教會ノ牧師、政府ヨリ特ニ選舉權ヲ附與セラレタル學校長及海陸軍人歸化人ト雖モ歸化後三箇年ヲ經過シ選舉期日ニ先チ引續キ十二箇月間本洲ニ居住シタルモノハ等シク上院議員ノ選舉權ヲ有ス

下院

議員數 六十五人  
議員ノ資格 丁年以上ノ男子ニシテ英國臣民タルモノ若クハ其歸化人、但シ歸化人ノ場合ニ於テハ歸化後五箇年間ヲ經過シ二箇年間以上繼續シテ本洲ニ居住セルモノニ限ル  
議員ノ任期 三年  
議員ノ歳費 年額三百磅  
選舉ノ資格 丁年以上ノ英國臣民若クハ其歸化人ニシテ本洲政府ノ課税名簿ニ登録セラレタルモノハ男女ノ別ヲ問ハス等シク下院議員ノ選舉權ヲ有スルモノトス

但シ歸化人ニアリテハ選舉期日ニ先チ一箇年間に上繼續シテ本洲ニ居住シタルモノニ限ル  
「クォーンズランド」洲ノ議會

上院

議員數 四十四人

議員ノ資格 丁年以上ノ男子ニシテ英國臣民若クハ其歸化人

議員ノ任期 終身

議員歳費 ナシ

選舉ノ資格 凡テ總督ノ任命ニ依ル

下院

議員數 七十二人

議員ノ資格 下院議員ノ選舉權ヲ有スルモノハ悉ク下院議員トナルヘキ資格ヲ有ス

議員ノ任期 三箇年

議員ノ歳費 年額三百磅

選舉ノ資格 丁年以上ノ英國臣民ハ男女ヲ問ハス左ノ一ニ該當スルトキハ選舉權ヲ有スルモノトス

(一) 十二箇月以上本洲ニ繼續居住シ其氏名選舉名簿ニ登録セラレタルモノ

(二) 價格百磅以上ノ財産ヲ所有スルモノ

(三) 三少ナクトモ六箇月間年收十磅ヲ得ヘキ家屋ヲ占有スルモノ

(四) 四年收二十磅以上ノ租借財産ヲ所有スルモノ但シ其財産ノ租借期限ハ少ナクトモ十八箇月間以上ナルヲ要ス

「サウス、オーストラリア」洲ノ議會

上院

議員數 十八人

議員ノ資格 英國臣民若クハ其歸化人ニシテ左記ニ該當スル男子ハ上院議員タルノ資格ヲ有ス

(一) 一年齡三十歳以上

(二) 本洲ニ三箇年間に上繼續居住シタルモノ

議員ノ任期 六箇年

議員ノ歳費 年額二百磅

選舉ノ資格 英國臣民ニシテ左記ノ一ニ該當スル丁年以上ノ男女ハ上院議員ノ選舉權ヲ有ス

(一) 眞價五十磅以上ノ財産ヲ所有スルトキ

(二) 眞價二十磅以上ノ年收アル租借財産ヲ有シ其借期限ハ少ナクトモ三箇年間に上ナルトキ若クハ期限後其財産ヲ購

入シ得ル權利ヲ有スルトキ

(三) 眞價十七磅以上ノ年收アル家屋ヲ占有スルトキ

(四) 四帝有地ノ租借權ヲ有シ其租借地ヲ改良スルトキハ少ナクトモ眞價五十磅ノ價格ナルヘキトキ

但シ選舉權者ハ選舉期日ニ先チ六箇月間に上本洲ニ繼續居住ヲ要スルモノトス

下院

議員數 四十二人

議員ノ資格 下院議員ノ選舉權ヲ有スルモノハ又下院議員タルノ資格ヲ有ス

議員ノ任期 三箇年間

議員ノ歳費 年額二百磅

選挙ノ資格 丁年以上ノ英國臣民若シクハ其歸化人ニシテ本洲ニ六箇月間以上繼續居住スルトキハ男女ノ別ナク下院議員ノ選挙權ヲ有シ「Northern Territory」ニ於テハ英國臣民及歐洲人並ニ亞米利加人ノ歸化人ノミカ下院議員ノ選挙權ヲ有スルモノナリ

「ウェースターン、オーストラリア」洲ノ議會

上院

議員數 三十人

議員ノ資格 英國臣民若クハ其歸化人ニシテ滿三十歳以上ノ男子ハ左記ニ該當スルトキハ上院議員タルノ資格ヲ有ス

- (一) 本來ノ英國臣民ニシテ二箇年間以上本洲ニ繼續居住シタルモノ
- (二) 歸化人ニシテ選挙期日前少ナクトモ五箇年以前ニ歸化シ且ツ五箇年以上本洲ニ繼續居住セルモノ

議員ノ任期 六箇年

議員ノ歳費 年額二百磅

選挙ノ資格 六箇月間以上繼續シテ本洲ニ居住セル丁年以上ノ英國臣民ニシテ左ノ各項ニ該當スルトキハ男女ノ別

ナク上院議員ヲ選挙スル資格ヲ有ス

- (一) 一百磅以上ノ價格ヲ有スル財産ヲ所有スルモノ
- (二) 一箇年二十五磅以上ノ年收アル家屋ヲ占有シ若クハ同額ノ年收アル租借財産ヲ有スルモノ
- (三) 年收十磅以上ノ價格ヲ有スル帝有地ノ租借權若クハ使用權ヲ有スルモノ

下院

議員數 五十人

議員ノ資格 英國臣民ニシテ繼續十二箇月以上本洲ニ居住セル丁年以上ノ男子及五箇年以前ニ歸化セルモノニシテ  
選挙ノ期日ニ先チ二箇年間以上本洲ニ繼續居住セル丁年以上ノ男子ハ共ニ下院議員タルノ資格ヲ有ス  
議員ノ任期 三箇年  
議員ノ歳費 年額二百磅  
選挙ノ資格 英國臣民若クハ其歸化人ニシテ六箇月間以上本洲ニ繼續居住シ且ツ同一地方ニ一箇月間以上繼續居住セル丁年以上ノ男女ハ悉ク下院議員ノ選挙權ヲ有ス

「タスマニア」洲ノ議會

上院

議員數 十八人

議員ノ資格 三十歳以上ノ英國臣民若クハ其歸化人ニシテ上院議員ノ選挙權ヲ有スル男子ハ上院議員タルノ資格ヲ有ス

議員ノ任期 六箇年

議員ノ歳費 年額百磅

選挙ノ資格 英國臣民ニシテ本洲ニ十二箇月間以上繼續居住セル丁年以上ノモノニシテ左記ノ一ニ該當スルトキハ  
男女ノ別ナク上院議員ノ選挙權ヲ有スルモノトス  
(一) 年收十磅以上ノ財産ヲ所有シ或ハ三十磅以上ノ價格アル租借財産ヲ有スルモノ  
(二) 英國大學ノ卒業生、法律及醫學得業生、教會ノ牧師、及退職陸海軍人

下院

議員數 三十人

議員ノ資格 丁年以上ノ英國臣民ニシテ六箇月間以上本洲ニ繼續居住シ選舉名簿ニ其氏名ノ登錄セラレタルモノハ  
 男女ノ別ナク下院議員タルノ資格ヲ有ス  
 議員ノ任期 三箇年  
 議員ノ歳費 年額百磅  
 選舉ノ資格 六箇月間以上繼續シテ本洲ニ居住セル丁年以上ノ英國臣民及歸化人ハ男女ノ別ナク下院議員ヲ選舉ス  
 ル權利ヲ有ス

### 第四章 産業

#### 第壹節 總論

濠洲ニ於ケル各種ノ産業ハ過去三十八年間ニ於テ極メテ長足ノ進歩ヲナシ其産額ノ増加ハ實ニ驚歎ニ價スヘキモノアリ  
 特ニ其人頭別ノ産額ニ至リテハ世界各國中殆ント之レト比肩スルモノアルヲ見ス、千八百七十一年以後各十年間ニ  
 於ケル其進歩ノ状態ヲ示セハ概略左ノ如シ

總 産 額	千八百七十一年	千八百八十一年	千八百九十一年	千九百一年	千九百九年
一人當リ産額	四六、七〇〇、〇〇〇 二七、一七、二、〇〇〇	七、一六、〇〇〇 三、〇一、〇三三	九六、〇八七、〇〇〇 二九、一九、九	一一四、五八五、〇〇〇 三〇、〇三、六	一七四、五〇九、〇〇〇 三六、一八、一

千九百九年ニ於ケル總額ヲ各種産業別トナシ記載スレハ大略次ノ如シ

農 業	四一、〇五六、〇〇〇	牧 畜 業	五〇、八六四、〇〇〇
-----	------------	-------	------------

酪乳業、養禽業及養蜂業	一五、〇六四、〇〇〇	製 造 工 業	四〇、〇一八、〇〇〇
林 業 及 水 産 業	四、四六二、〇〇〇	計	一七四、五〇九、〇〇〇
鑛 山 業	二二、〇四五、〇〇〇		

以下此等各種ノ産業ニツキテ其梗概ヲ記述スヘシ

#### 第二節 農業

濠洲今日ノ状態ハ牧畜國ト稱ス可ク生産業中産額ノ最モ多キハ實ニ此牧畜業ニシテ綿羊及家畜ヨリスル收穫ハ他ノ産  
 業ノ收穫ト比シテ極メテ顯著ナルヲ見ル可シ、而シテ前表ニ示セルカ如ク農業モ亦牧畜業ニ次キテ多額ナル産額ヲ示  
 スノミナラス近年ニ於ケル農業ノ進歩ニ微スレハ農業ハ今後濠洲産業界ニ於テ更ニ重要ナル位置ヲ占ムヘク遂ニハ牧  
 畜業ヲ凌駕シテ第一位ニ達ス可キ趨勢アルヲ見ルナリ

##### 其一 濠洲ニ於ケル農業地面積

農業進歩ノ状態ヲ示サンカ爲メ千八百六十年以降千九百九年ニ至ル四十九箇年間ニ於ケル農業地面積ヲ示セハ左表ノ  
 如シ

濠洲ニ於ケル農業地面積表(自千八百六十年至千九百九年)

年 次	ニュー・サウス・ウエールズ洲	ヴェクトリア洲	クイーンズラン	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
千八百六十年	二六〇、七九六	三三七、二八三	三、三三三	三五九、二八四	二四、七〇五	一五三、八六〇	一、一八八、二八
千八百六十五年	三七八、二五五	四四八、一九四	一四、四一四	五四七、一二四	三八、一八〇	一五九、五四七	一、五八五、七一
千八百七十年	四二六、九七六	六九二、八四〇	五三、二一〇	八〇、五七一	五四、五三七	一五七、四一〇	二、一八五、三四
千八百七十五年	四五一、三九	七三六、五二〇	七七、三四七	一一、一八八二	四七、五七一	一四二、五四七	二、五六七、〇〇

千八百八十年	六二九、一八〇	一、五四八、八〇九	一一三、九七八	二、〇八七、三七七	五、七七〇、七七一	一、四〇、七八八	四、五七、六九九
千八百八十五年	七三七、七〇一	一、八六七、四九六	一九八、三三四	二、二九八、四二二	六、〇〇五、八	一、四四、七六一	五、三〇六、七六二
千八百九十年	八五、七〇四	二、〇三一、九五五	二四、九九三	二、〇九三、五二五	六、九六、七六八	一、五七、三七六	五、四三〇、三二二
千八百九十五年	一、四八、六〇〇	二、四一三、三三五	二八五、三九	二、〇九二、九四三	九、七八二	二、二、七〇三	六、四四〇、六三〇
千九百年	二、四四、五六四	三、一四一、三三三	四、五七、三九七	二、二六九、六八〇	二〇、一、三三八	二、四、三五三	八、八二、四六三
千九百一年	二、二八、三七〇	二、九六五、六八一	四、三八、四六〇	二、三三六、五五二	二、一七、四四一	三、三、五五〇	八、四一四、〇五四
千九百二年	二、二四九、〇九二	三、二四六、五八八	二、七五、三三三	二、二四、五九三	二、九、九九二	二、四六、九二二	九、三〇一、七八五
千九百三年	二、五四、九四〇	三、三九〇、〇六九	五、六六、五八九	二、二五、八二四	二、三三、七五三	二、四六、六一	九、三〇一、七八五
千九百四年	二、六七、八九六	三、三二、七九五	五、九、二六	二、二七、五〇六	三、三、三九一	二、六、二六	九、三六五、〇三二
千九百五年	二、八四〇、三三五	三、二九、九六二	五、二、七四八	二、二五、五六九	三、六、七〇四	二、三〇、三七七	九、四三三、四四五
千九百六年	二、八六、六五七	三、〇三、五六六	五、五九、七五三	二、一五七、三三五	四、〇、八五	二、四四、七四四	九、五五二、八〇〇
千九百七年	二、五七、八七三	三、〇三、五三三	五、三三、六二四	二、二六五、〇一七	四、九三、八三七	二、五七、〇二八	九、三三三、九〇三
千九百八年	二、七、〇八五	三、四六、七六一	五、三、九〇〇	二、三三、八二二	五、八五、三三九	二、六九、三〇六	九、八八二、二四三
千九百九年	三、一八〇、五六二	三、六、五三五	六、〇、七九〇	二、五、三〇二	七、三、〇六	二、七四、〇六	一〇、九七二、一九九

上表ニ依リテ之ヲ見レハ千八百六十年ヨリ千九百九年ニ至ル四十九箇年間ニ於ケル農業地面積ノ増加率ハ實ニ八二・三  
 「パーセント」ニ達シ更ニ千九百九年ヨリ千九百九年ニ至ル最近九箇年間ニ於ケル増加ノ趨勢ヲ見ルニ其最モ著シキハ  
 「ニュー、サウス、ウェールズ」洲ニシテ其面積ノ増加ハ七十三萬四千九百九十七「エーグル」ニシテ之レカ増加率二〇、〇  
 五「プロセント」ニ達セリ之レニ次クモノハ「ヴェクトリア」洲ニシテ増加面積五十四萬四千四百三三「エーグル」此増加ノ  
 割合一七、四八「パーセント」西「オーストラリア」洲ニテハ増加面積五十二萬七百四十八「エーグル」此増加ノ割合二五  
 八、六四「パーセント」南「オーストラリア」洲ニテハ増加面積十六萬六千二百二十一「エーグル」此増加ノ割合六、七八「パー  
 セント」「タキーンランド」洲ニテハ増加面積十四萬九千三百九十三「エーグル」此増加ノ割合二、六六「プロセン  
 ト」タスマニア洲ニテハ増加面積四萬九千六百七十二「エーグル」此増加ノ割合二、一四「プロセント」ニシテ聯邦全

體ヨリ之ヲ見レハ其増加面積二百十五萬九千八百三十六「エーグル」此増加ノ割合ハ實ニ二四、五一「プロセント」ニ該  
 當スルヲ見ルナリ

其二 全面積ト農業用地面積トノ比

濠洲ニ於ケル農業用地面積ハ既ニ示セルカ如ク甚タ大ナリト雖モ之ヲ其總面積ニ比スル時ハ其割合極メテ僅少ニシテ  
 猶著シク其面積ヲ増加シ得可キ餘地アルヲ知ルナリ、故ニ今後人口ノ増加ニ伴ヒテ農業用地面積ヲ増加スルハ蓋シ當  
 然ノ數ナル可キカ、今各洲總面積ニ對スル農業用地面積ノ割合ヲ百分率ニテ示セハ左表ノ如シ

各洲農業用地面積ノ總面積ニ對スル百分率表(自千九百一年)

年次	ニュー、サウス、ウェールズ洲	ヴェクトリア洲	タキーンランド洲	南オーストラリア洲	西オーストラリア洲	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百一年	一、四七	五、二七三	〇、一一三	〇、六七	〇、〇三五	一、三八	〇、四四
千九百二年	一、一三三	五、七七二	〇、〇八	〇、六五	〇、〇三	一、五七	〇、四四
千九百三年	一、一八二	六、〇一五	〇、一一一	〇、九〇	〇、〇四	一、五四	〇、四八
千九百四年	一、三四七	五、九〇六	〇、一一	〇、三九	〇、〇五	一、三四	〇、四九
千九百五年	一、四三〇	五、七二五	〇、一一三	〇、三九	〇、〇五	一、三七	〇、四九
千九百六年	一、四三三	五、八七三	〇、一一〇	〇、三九	〇、〇七	一、四五	〇、五〇
千九百七年	一、二九五	五、七四七	〇、一一四	〇、三九	〇、〇七	一、五三	〇、四九
千九百八年	一、三六八	六、一五五	〇、一二五	〇、四〇	〇、〇九	一、六〇	〇、五〇
千九百九年	一、六〇一	六、五〇五	〇、一四一	〇、四七	〇、一六	一、六三	〇、五七

其三 牧草養成地

濠洲聯邦各洲ニ於テハ人工的ニ牧草ヲ播種シ之カ養成ヲ行ヘル面積極メテ大ナリ而シテ此等ノ養草地ハ往々森林地若  
 クハ雜草地ヲ燒拂ヒ其跡地ハ之ヲ耕耘スルコトナク直チニ牧草ヲ播種スルモノアリ此等ノ面積ニ對スル統計ハ次ニ示

スカ如シ

牧草蒔付地面積表

年次	ニュージーランド	オーストラリア	ケイマンズ	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア	濠洲聯邦
千八百九十六年	三六四、一〇六	一七二、五八二	一一、九六〇	二〇、〇二七	四、〇四四	二五三、三〇六	八四五、九三五
千八百九十七年	四六七、八三九	一六二、九五四	三四、六七九	三三、五二〇	三、七七一	三二四、四三三	一、〇〇七、一五五
千八百九十八年	四七七、六二九	五六五、六三五	二四、二八六	三三、六三六	三、三三八	三九〇、〇九〇	一、四三三、五〇四
千八百九十九年	五五二、五〇二	九六二、六六五	一五、六三九	二四、一一八	二、九五二	三四三、二八四	一、九〇一、一五九
千九百零一年	六〇七、九九七	九五三、五四三	三五、五八九	二四、九二二	三、九六四	三七八、三四六	二、〇〇四、三五二
千九百零二年	六二七、五三〇	一、〇四〇、三三五	四〇、八〇三	二六、〇八二	五、四五六	四〇四、六五三	二、一四四、八五八
千九百零三年	六九七、六三二	一、〇九五、六四二	四五、九九〇	三三、六七九	六、七八七	四三三、二二八	二、三〇一、八五七
千九百零四年	七三六、〇八〇	一、〇九九、四七二	七六、九四三	三四、六三三	七、九九〇	四六五、六七三	二、四一六、七九二
千九百零五年	八〇七、九二四	一、〇九二、七二一	八二、七六四	三三、二九七	一〇、二六五	四九一、四三三	二、四四五、四〇三
千九百零六年	八八八、九三七	九八八、六七二	一〇八、四三六	三三、三四三	九、〇一七	四三九、四三〇	二、四七五、八五六

此牧草地ハ専ラ放牧ノ目的ヲ以テ牧草ヲ養成スルモノナルカ時トシテハ鬱蒼タル良林ニ直接幾回トナク放火シ樹木ヲ生セサルニ至リテ之ニ牧草ヲ播種スルモノアリ斯クノ如キ土地ハ森林地方ニ於テ各所之ヲ見ル可ク牧草地内ニ長大ナル樹幹ノ燒損枯死セルモノ、林立スルヲ見ルコト稀ナラス、タスマニア洲ニ於ケル彼ノ有名ナル「ヒュオン」(Hyon)地方ノ森林地ニアリテモ其樹木ヲ伐採シタル跡地ハ之ヲ燒キ拂ヒテ牧草ヲ播種シツ、アルヲ見タリ、斯カル土地ハ普通ノ農業地ト其趣ヲ異ニスルヲ以テ之ヲ農業用地面積内ニ算入スルコトナシ

其四 濠洲ニ於ケル農産物ノ分配

濠洲聯邦ノ面積ハ甚タ大ニシテ其位置ハ熱帯ヨリ温帯ニ亘リ種々ノ氣候及ヒ地味ヲ有スルヲ以テ産物ノ種類極メテ多シ今茲ニ主要ナル農産物ニ對スル農業用地ノ面積ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル農産物ノ分配表(千九百零九年ノ調査)

農産物名	ニュージーランド	オーストラリア	ケイマンズ	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア	濠洲聯邦
小麦	一、九九〇、一八〇	二、〇九七、一六三	一一七、一六〇	一、八九五、七三六	四四八、九二八	三七、〇七六	六、五八六、二二六
燕麥	八二、四五三	三六四、三二六	二七、八九九	八五、三四六	七三、三四三	七二、二九三	六九八、四四八
玉蜀黍	二二二、七九七	一九、一一二	一一三、三三三	二二〇	一五三	—	三六四、五八五
大麦	八、四二二	三六、七六二	七、三三九	二七、八九三	四、三四三	四、九八七	九、一八一
其他	六、六八〇	一九、八四一	五、六七〇	一四、〇三二	三、六八〇	一、三〇六	五、一一九
豆类	四一一	九、八二四	—	七、九九九	七〇四	一五、八八一	三四、八一九
雜穀	五、三三二	二、三九九	一七一	一、五三二	一、〇九二	一、一三三	一一、六九七
乾草	六三〇、四九一	八六四、三五九	七三、二九八	四四、四四八	一五八、六三九	七七、八〇四	二、二八、〇二九
綠草	一一八、九六〇	五、五八六	一〇、四九三	一七、二二六	六、〇六八	六、七四九	三〇六、〇八三
種草	二〇七	一、五九五	七〇五	一〇八	—	二、八九〇	五、五〇五
果樹	四五、八九二	五、一〇八	一五、三六〇	二、七六〇	一五、六〇九	二四、〇六九	一七八、七九八
葡萄	七、六五二	二〇、〇七八	一、六一七	二〇、三五三	二、五〇九	—	五二、二〇八
葡萄酒	六七九	二、六九〇	七八	二、〇八八	四〇八	—	五、九四三
菜園	一〇、二五四	一〇、二二四	二、六七七	二、七八四	三、四八一	—	三、一一〇
甘蔗	六、四八〇	—	八〇、〇九三	—	—	—	八六、五七五
馬鈴薯	七、六〇三	—	四八、〇八三	—	—	—	五五、六八六
其他	三三三	六、四三四	七、七八	八、一一二	一、七四一	二、三三三	一三七、〇七〇
烟草	九五九	—	三、七一九	二四八	六八	—	一三、〇三〇
其他	—	—	五九四	—	—	—	一、八七四
烟草	—	—	—	—	—	—	一、〇八四

其 他	九、三三三	四、六〇三	七、七四九	一〇〇	一、二二〇	一七三	三、二〇五
合 計	三、一八〇、五六一	三、六五八、五三三	六〇六、七九〇	二、五三〇、三三三	七三三、〇八六	二七四、〇二六	一〇、九七二、二九九

其五 各洲ニ於ケル主要農産物ノ面積比較

濠洲聯邦ニ於テ一箇年ノ使用面積五萬「エーダル」以上ニ達スル主要農産物ノ面積ヲ農業用地ノ總面積ノ百分率ヲ以テ示ス時ハ左表ノ如シ

主要農産物面積ノ割合調査表

農産物ノ種類	割合 (%)						
	ニュージーランド	グエクトリア洲	クアーンズラン	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
小麥	六二、五八	五七、三三	一九、三三	七四、九三	六二、一七	二一、五三	六、〇〇
乾麥	一九、八二	三三、六三	一一、九二	一六、七七	二一、九七	二六、三九	一〇、三〇
燕麥	二、五六	一〇、五〇	〇、四六	三、七二	一〇、一六	三六、〇三	六、三二
玉蜀黍	六、六九	〇、五三	二、八一	〇、〇一	〇、〇一	—	三、三三
綠草	三、七四	一、五五	一六、五六	〇、六八	〇、八四	二、四六	二、七九
果樹	一、四四	一、五三	二、五三	〇、六六	二、一六	八七、八	一、六三
大麥	〇、四八	一、六〇	二、二六	一、六六	一、一一	二、五〇	一、三〇
甘蔗	〇、四四	—	二、一一	—	—	—	一、三〇
馬鈴薯	一、一一	一、七一	一、二七	〇、三三	〇、三四	七、八〇	一、二五
葡萄園	〇、二六	〇、六二	〇、二八	〇、八九	〇、四〇	—	〇、五三
其他	〇、八七	一、〇三	二、五九	〇、五三	〇、九三	一〇、七二	一、一八
計	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

上表ニ依リテ之ヲ見レハ「ニュージーランド、サウス、ウェールズ」グエクトリア「南オーストラリア」及「西オーストラリア」ノ四洲ニ於テハ小麥ノ耕作ノ最モ多キヲ見之ニ次クモノハ乾麥ナリ「ニュージーランド、サウス、ウェールズ」洲ニアリテハ玉蜀黍ハ第三

位ニアルモ「グエクトリア」南「オーストラリア」西「オーストラリア」及「濠洲聯邦全體」ニアリテハ燕麥ノ耕作カ第三位ヲ占ムルヲ見ルナリ「クアーンズランド」洲ニ於ケル三種ノ最モ重要ナル農産物ヲ其耕作面積ノ大小ニ從ヒテ列記スレハ玉蜀黍、甘蔗及ヒ小麥ナリ、而シテ「タスマニア」洲ニアリテハ乾麥、燕麥及ヒ小麥ハ最モ重要ナル位置ヲ占ムルヲ見ルナリ

其六 小麥

以下此等重要農産物ニツキ概説セントス  
濠洲カ小麥ノ輸出國トシテ世界ニ認識セラル、ニ至リタルハ近々十數年間ノ事ニシテ現今其産額世界ニ於テ第十一位ヲ占メ其作付反別ハ年々増加シツ、アリ、然レトモ濠洲ハ概シテ乾燥セル氣候ヲ有シ降雨少ナク内地ノ如キハ最モ甚クタシキモノアルヲ以テ往々早魃ノ災害ニ遭遇シ著シク其收穫ヲ減スルコトアリ千九百一年及ヒ千九百二年ノ大早魃ノ如キハ其一例ナリ玆ヲ以テ近年盛ニ噴水井ヲ掘穿シ早魃ノ害ヲ免カル、コトニ力ヲ盡クシ且ツ森林ヲ増殖シ以テ水源ヲ涵養ス可シ等ノ議論ヲ生スルニ至レリ

小麥ノ作付面積調査表

年次	ニュージーランド	グエクトリア洲	クアーンズラン	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百零一年	一、五三〇、六〇九	二、〇一七、三三三	七九、三〇四	一、九三三、二四七	七四、三〇八	五一、八二五	五、六六六、六四
千九百零二年	一、三九二、〇七〇	一、七五四、四一七	八七、三三三	一、七四三、四五三	九四、七二〇	四四、〇八四	五、一五、九六五
千九百零三年	一、二七九、七〇〇	一、九九四、二七二	一、八八〇	一、七四六、八四二	九二、三九八	四〇、八九八	五、一五六、三四〇
千九百零四年	一、五六一、一一一	一、九六八、九九九	一、三八、〇九六	一、七二一、一七四	一三七、九四六	四九、四二四	五、五六六、三四〇
千九百零五年	一、七五五、九五五	二、二七七、五三七	一五〇、九五八	一、八四〇、一五七	一八二、〇八〇	四三、〇九一	六、二六九、七七
千九百零六年	一、二九、四四七	二、〇七〇、五二七	二一九、三五六	一、七五七、〇三六	一九五、〇七二	四一、三三九	六、一三三、七四六



千九百十六年	一、八六六、三五三	二、〇三一、八九三	一一四、五七五	一、六八六、三七四	二五〇、二八三	三三、八〇八	五、九八二、一八六
千九百十七年	一、三九〇、一七一	一、八四七、一一二	八二、四六一	一、七五三、七五五	二七九、六〇九	三〇、七九四	五、三八三、九一一
千九百十八年	一、三九四、〇五六	一、七七九、九〇五	八〇、八九八	一、六九三、五〇二	二八五、〇一一	二九、一〇三	五、二六二、四七三
千九百十九年	一、九九〇、一八〇	二、〇九七、一六二	一一七、一六〇	一、八九五、七三八	四四八、九一八	三七、〇七八	六、五八六、三六六

百六十

次ニ小麥ノ産額ヲ示セハ左表ノ如シ  
小麥ノ生産額調査表

年次	ニュージーランド	グエタトリア洲	タチンスタン	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百十年	一、八七三、七七一	一、七四七、三三二	一、一九四、〇八八	一一、二五三、一四八	七、七四、六五三	一一、〇四二	四八、三五三、四〇二
千九百十一年	一、四〇八、七〇五	一一、二七、三六二	一、六九二、二二三	八、〇二二、七六三	九、五六、八八六	九、六三、六六三	三八、五八、六一九
千九百十二年	一、五八五、〇九七	二、五九九、三三四	六、一六五	六、三五四、九一一	九、八五、五五九	八、七六、九七一	一一、三七八、〇六八
千九百十三年	二、七、三四、一四二	二、八、五五、五七九	二、四三六、七九九	一、三、〇九、四六五	一、八七六、三五二	七、六七、九五六	七、四、四九、六三四
千九百十四年	一、六、四四、四一五	二、〇九二、三三九	二、一四九、六六三	二、〇三三、一七二	二、〇一三、三三七	七、九二、九五六	五、四、五三、五八二
千九百十五年	二、〇、七三、二〇〇	三、四一七、六七〇	一、一、三七、三三二	三、〇、一四三、七九八	二、三〇八、三〇五	七、七六、四七八	六、八、五〇、七七二
千九百十六年	二、一、八七、九三六	三、六八八、〇三三	一、一〇八、八九三	一、七、四六、五〇一	二、七五八、五六七	六、五一、四〇八	六、六、四二、三五九
千九百十七年	九、一、五五、八八四	一一、〇〇〇、七八〇	六、九三、五二七	一九、一三五、五五七	二、九二五、六九〇	六、四四、二三五	四、四、六五、六七三
千九百十八年	一、五、四八、二七六	三、三四五、六四九	一、二〇二、七九九	一九、三九七、六七二	二、四六〇、八三三	七、〇〇、七七七	六、二、五九〇、九九六
千九百十九年	二、八、五三、〇二九	三、七、七〇、一〇〇	一、五七、五八九	二、五、一三、八五一	五、六〇二、三六八	七、九三、六六〇	九、〇、四三、五九七

(備考) 「アッシュェル」ハ我が二升五合ニ該當ス

濠洲ニアリテハ氣候甚タ乾燥シ雨量少ナキニ依リ稍モスレハ旱魃ノ害ニカ、リ易ク猶且人口稀薄ニシ勞働賃金極メテ不廉ナルヲ以テ耕作ノ方法自ラ粗糲ニ流ル、等ノ結果ハ「エーケル」ヨリノ産額ハ世界ノ各國ト比シテ極メテ少ナシ茲ヲ以テ政府ハ雨量ノ缺乏ヨリ來ル土壤水分ノ發散ヲ防止スル方法ヲ研究シ或ハ施肥ノ勸誘等ニ務メツ、アリ

次ニ濠洲聯邦ニ於ケル麥粒、麥粉ノ輸出入ヲ示セハ次表ノ如シ

麥粒、麥粉ノ輸出入表

年次	輸入		輸出		差引純輸出
	麥粒	麥粉	麥粒	麥粉	
千九百十一年	三、三、九九二	三、〇、五五〇	三、三、五五二	四、八、四〇、七〇〇	二、五、〇〇〇、七五八
千九百十二年	一、七六、一三三	五、五三、六五〇	七、二九、七三三	一、六、五九、一五〇	一〇、六、六八、四三三
千九百十三年	九、一一、四、四九〇	三、四九三、四四〇	一、二、六〇七、九四〇	一、五、三〇、六四三	一、九、三三、六四三
千九百十四年	六、一八	五、八、二〇〇	五、八、八八八	三、三、四六、〇六六	三、八、五九三、五六六
千九百十五年	二、五八	五、五、五五〇	五、五、八八八	二、四、六四八、一八二	三、三、三六四、〇三三
千九百十六年	七、四、五	四、三、八〇〇	四、四、五四五	三、〇、二六二、三三五	三、八、六〇六、三六五
千九百十七年	二、〇、一〇	一、八、七〇〇	二、〇、七〇〇	二、八、七八四、一三〇	三、六、九五六、〇〇〇
千九百十八年	一、四、三	八、九、〇〇〇	九、〇、四三三	一、五、〇二七、三三八	二、〇、八六七、五三八
千九百十九年	一、二、六	四、〇、〇〇〇	四、一、二二八	三、三、五九四、四九八	三、八、〇四七、九四八

備考 千印ハ「マイナス」ヲ示ス  
上表ニ於テ麥粉ハ普通噸ヲ以テ取引セラル、ト雖モ便宜上一噸ヲ五十「アッシュェル」トシテ換算表示セリ

千九百十三年ニ於テ麥粒及麥粉ノ輸入著シクシテ千二百六十萬七千九百四十「アッシュェル」ノ巨額ニ達セシハ千九百十二年ニ於ケル濠洲大旱魃ノ結果ニ依ルモノニシテ其輸入國ハ主ニ北米合衆國「アルゼンチン」「カナダ」「印度及ヒ」「ブラジル」等ナリ、千九百十四年以後ニ於テハ小麥ノ輸入ハ極メテ僅少ニシテ論スルニ足ラス

専門家ノ稱フル所ニ依レハ濠洲ノ小麥ハ其品質良好ニシテ世界各國ノ小麥ト比較シ第二位ニ下ルコトナシト云フ麥粒ノ光澤アリテ硬固ナルコト、麩質ニ富メルコト並ニ其製粉上ノ性質ノ良好ニシテ麥粉ノ純白ナルコト、ハ世界ニ其比ヲ見サル所ナリ、茲ヲ以テ英國市場ニ於テ其名聲ヲ博シ世界各國ノモノニ比シテ價格最高シ今英國市場ニ於ケル最近五箇年間ノ平均價格ヲ示セハ左表ノ如シ

英國市場ニ於ケル輸入小麥ノ平均相場表

國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
濠洲	三三、四	三一、二	三三、八	三三、七	四一、五
ルマニア	三三、〇	二八、一	三三、〇	三三、〇	四〇、九
英領印度	二九、八	二九、四	三三、九	三三、八	四〇、八
アルゼンチン	三〇、七	二九、〇	三三、一	三三、一	三九、九
カナダ	三一、八	三〇、八	三三、一	三三、一	三九、三
ロシア南部地方	三一、二	二八、六	三三、一	三三、一	三九、三
ロシア北部地方	三一、九	二九、一	三三、一	三三、一	三九、三
チリ	三〇、四	二九、〇	三三、一	三三、一	三九、三
北米合衆國ノ大西洋岸	三一、一	二九、七	三三、一	三三、一	三九、三
北米合衆國ノ太平洋岸	三一、一	二九、七	三三、一	三三、一	三九、三
獨逸	三一、一	二九、七	三三、一	三三、一	三九、三
ブルガリア	二九、四	二七、七	二五、九	二五、一	三八、六

(備考、「コーター」ハ「ブッシュェル」ナリ)

上記記載ノ如ク濠洲ニ於ケル小麥ノ産額ハ農作物中其首位ヲ占ムルモノニシテ千九百九年ニ於テハ九千四十一萬三千五百九十七「ブッシュェル」ノ巨額ニ達シタルヲ知ル今其産額ヲ貨幣ニ換算スレハ略ホ次表ノ如シ

小麥生産價格調査表

總額 「エーグル」 ノ價格	ニュージーランド	グエクトリア州	クキーンズラン	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
五、七六、四〇〇	五、六三六、〇三三	三、七九、八〇一	四、八一七、三三二	一、一三〇、五六二	一、七八、五七三	一、八〇、四八七	一、八〇、四八七
二、一七、四〇〇	二、一三、九〇〇	三、四、一〇〇	二、一〇、一〇〇	二、一九、三〇〇	四、一六、四〇〇	二、一四、一〇〇	二、一四、一〇〇

其七、燕麥

燕麥ハ小麥ニ次キテ濠洲ノ農業上重要ナルモノナリ今其作付反別及ヒ其收穫量ヲ示セハ左表ノ如シ

燕麥作付面積調査表

年次	ニュージーランド	グエクトリア州	クキーンズラン	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百年	五九三、五四八	九、五八二、三三三	七、八五五	三六六、三三九	八六、四三三	一、四〇六、九三三	一一、〇四三、三三〇
千九百一年	六八七、一七九	六、七二四、九〇〇	四二、二〇八	四六九、二五四	一六三、六五四	一、七〇二、六五九	九、七八九、八五四
千九百二年	三五一、七五八	四、四〇二、九八二	五〇〇	六二〇、八三三	一六七、八八二	一、七五二、七四五	七、二九六、七〇〇
千九百三年	一、三三三、一五六	一三、四三四、九五三	七〇、七三三	九〇二、九三六	二五八、五〇八	一、六二二、九五〇	一七、五四一、二〇〇
千九百四年	六五三、六四六	六、二〇三、四二九	一五、二七七	五五五、六九六	二二六、三三八	一、一七八、八二九	一〇、四七四、五二二
千九百五年	八八三、〇八一	七、三三三、四二五	五、八五八	八六九、一四六	二八三、九八七	一、一〇〇、〇三三	一三、六二二、〇〇七
千九百六年	一、四〇四、五七四	八、八四四、六五四	二八、八八四	八九六、一六六	四五七、一五五	一、九七九、五七四	一三、六二二、〇〇七
千九百七年	八五一、七七六	五、二〇一、四〇八	九、九〇〇	八七四、三六八	七二、七五三	一、五二六、〇〇二	九、一八五、二七
千九百八年	一、二一九、五五八	一一、二四四、九四〇	三六、八二二	一、一八〇、三三五	七三九、三〇三	一、九四六、〇一〇	一六、二四八、八五七
千九百九年	一、九六六、五八六	七、九一三、四三三	五〇、〇一八	一、一〇九、二二二	一、二四八、一六二	二、三四七、五四八	一四、七三四、八六八

燕麥收穫量調査表

年次	ニュージーランド	グエクトリア州	クキーンズラン	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百年	五九三、五四八	九、五八二、三三三	七、八五五	三六六、三三九	八六、四三三	一、四〇六、九三三	一一、〇四三、三三〇
千九百一年	六八七、一七九	六、七二四、九〇〇	四二、二〇八	四六九、二五四	一六三、六五四	一、七〇二、六五九	九、七八九、八五四
千九百二年	三五一、七五八	四、四〇二、九八二	五〇〇	六二〇、八三三	一六七、八八二	一、七五二、七四五	七、二九六、七〇〇
千九百三年	一、三三三、一五六	一三、四三四、九五三	七〇、七三三	九〇二、九三六	二五八、五〇三	一、六二二、九五〇	一七、五四一、二〇〇
千九百四年	六五三、六四六	六、二〇三、四二九	一五、二七七	五五五、六九六	二二六、三三八	一、一七八、八二九	一〇、四七四、五二二

年次	輸入量	輸入格	輸出量	輸出格	純輸出量	純輸出格
千九百五年	八三三、〇八一	七、三三、四二五	五、八五八	八六九、一四六	一、二〇〇、〇三〇	一〇、四七四、五三二
千九百六年	一、四〇四、五七四	八、八四五、六五四	二八、八八四	八九六、一六六	一、九七九、五七四	一三、六二二、〇〇七
千九百七年	八五一、七七六	五、二〇一、四〇八	九、九〇〇	八七四、三八八	一、五二六、〇〇三	九、一八五、二二七
千九百八年	一、二九、五五八	二、二四、九四〇	三六、八二二	一、二八〇、三三五	一、九四六、〇一〇	一六、二四八、八五七
千九百九年	一、九六六、五六六	七、九二三、四三三	五〇、〇一八	一、二〇九、三三二	二、三四七、五四八	一四、七三三、八六八

濠洲ニ於ケル燕麥ノ收穫ハ未タ確實ナル輸出貿易ヲ行ヒ得可キ域ニ達セス時トシテハ輸入ハ輸出ニ超過スルコトアリ  
今其輸出入ノ關係ヲ示セハ左表ノ如シ

燕麥ノ輸出入表

年次	輸入		輸出		純輸出	
	數量	格	數量	格	數量	格
千九百一年	一、五二六、五九九	一五三、六七四	二、八七四、三三〇	二八五、三四七	一、三四七、七三五	一三二、六七三
千九百二年	一、〇三七、五九六	一五七、九八一	一、四二七、六二〇	一八一、四五〇	三九〇、〇四四	二二、四六九
千九百三年	二、〇六六、三六五	二二九、三九五	一、八四、八三三	三三、三〇五	一、八八一、五四三	二〇六、〇九〇
千九百四年	一、八五、六五二	一五、九二二	一、七三、五七八	一一五、六五九	一、五二七、九二六	九九、七三八
千九百五年	三九二、四〇〇	四九、四六〇	八八二、七四〇	八三、四七九	四九〇、三〇〇	三八、〇二九
千九百六年	二二五、三三〇	二七、四四五	一五四、〇六三	一八、五五九	六一、五五九	八、八八六
千九百七年	二、九四五	二、八五〇	五三三、四八五	六〇、二〇四	五一一、五四〇	五七、三五四
千九百八年	一、四〇一、八七〇	二〇六、二八三	六七、〇五八	一〇、五九四	一、三四、八二二	一九五、六八九
千九百九年	三三〇、五四三	三三、六〇七	三三九、二五八	三五、三七五	一八、七二五	二、七六八

濠洲内各市場ニ於ケル千九百九年ノ平均相場ヲ調査スルニ其一「ブッシュェル」ノ價格ハ「シドニー」市ニテハ二志五片  
「メルボルン」市ニテハ一志十一片「ブリスヘーン」市ニテハ二志五片「アデレイド」市ニテハ二志二片「パース」市ニテハ

二志七片「ホバート」市ニテハ二志二片ナリ  
次ニ千九百九年ニ於ケル燕麥ノ生産價格ヲ示セハ略ホ左表ノ如シ

燕麥生産價格調査表

總價	ニュージーランド	グエクトリア洲	タスマニア洲	濠洲聯邦
一、三三、六三〇	一、三三、六三〇	八五七、二八七	一、二五、八七五	一、七二、七二七
二、一八、四	二、一八、四	二、四、八	一、七、二	二、九、六

其八 玉蜀黍

小麥燕麥ノ例ニ從ヒテ玉蜀黍ノ作付面積收穫及ヒ輸出入ノ關係ヲ表示スレハ左ノ如シ

玉蜀黍ノ作付面積調査表

年次	ニュージーランド	グエクトリア洲	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百一年	二〇六、〇五一	九、三八九	一、二七、九七四	三三三、五〇五
千九百二年	一六七、三三三	一〇、〇一〇	一、二六、九八三	二九四、八四九
千九百三年	二〇二、四三七	一〇、九六六	八九、九二三	三〇三、三七五
千九百四年	二二六、八三四	一一、八一〇	一三三、〇九九	一六三、九〇六
千九百五年	一九三、六一四	一一、三九四	一一九、一七一	一六六、二六五
千九百六年	一七四、一一五	一一、五五九	一一三、七二〇	一〇一、九〇一
千九百七年	一六〇、九八〇	一〇、八四四	一一三、八〇六	一〇一、九〇一
千九百八年	一五〇、八二二	一〇、〇〇〇	一一七、一一九	八七、
千九百九年	二二二、七九七	一九、一一二	一三三、三三三	一八二、

玉蜀黍ノ收穫量調査表

年次	ニュー、サウス、ウエールズ洲	ヴェクトリア洲	クイーンズランド	南オーストラリア	西オーストラリア	濠洲聯邦
千九百年	六、二九二、七四五	六〇四、一八〇	二、四五六、六四七		一、三九九	九、三五四、九七一
千九百一年	三、八四四、九九三	六、一五、四七三	二、五六九、一一八		五、二〇三	七、〇三四、七八六
千九百二年	三、〇四九、二六九	七、五〇、五三四	一、〇三三、三三九		二、二一〇	四、八三五、三三三
千九百三年	六、八三六、七四〇	九、〇四、三三九	一、九三三、六三三		二、四八七	九、六六七、〇八九
千九百四年	四、九五一、一三三	六、三三、七三六	二、五四二、七六六		八、九六	八、一一八、五三〇
千九百五年	五、五三九、七五〇	六、四一、二二六	二、一六四、六七四		四、二八	八、三三六、〇六八
千九百六年	五、七六三、〇〇〇	七、〇四、九六一	三、七〇三、三七四		九、一九	一〇、一七二、二五四
千九百七年	四、五二七、八五二	五、〇八、七六一	三、〇九三、七九九		一、〇八〇	八、一三七、七四五
千九百八年	五、二六六、〇三六	六、五〇、四六二	二、七六七、六〇〇		二、二二六	八、六五五、二七九
千九百九年	七、〇九八、二五五	一、一五八、〇三二	二、五〇八、七七一		三、三六一	一〇、七七〇、六四八

玉蜀黍ノ産額ハ比較的僅少ニシテ漸ク内地ノ需要ヲ充スノミニシテ稍モスレハ輸入超過ノ状態ヲ呈スルヲ見ルナリ、今最近九箇年間ニ於ケル輸出入ノ關係ヲ表示スレハ左ノ如シ

玉蜀黍ノ輸出入表

年次	輸入		輸出		純輸出	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
千九百一年	一八八、四三三	二四、七六四	七、七	一八七、八九〇	(-)	二四、六八九
千九百二年	一、九一〇、五八七	三九、八五九	一、四五〇	三五二	(-)	三二九、五〇八
千九百三年	一、三三六、七三二	二〇、四八四	一、七二六	一、三九、四〇八	(-)	一〇一、七三三
千九百四年	三五、〇九六	三、〇一八	四八、一〇九	五、四二二	一三、〇一三	二、四〇〇
千九百五年	九、七八五	一、九二三	七、〇三三	九八五	(-)	九三七

千九百二年及ヒ千九百三年ニ玉蜀黍ノ輸入ノ著シク多キハ千九百一年ヨリ千九百二年ニ亘リタル大旱魃ニ依リ玉蜀黍ノ夥シク枯死セシニ起因シ千九百八年及ヒ千九百九年ニ於ケル著大ナル輸入モ其年ニ於ケル玉蜀黍ノ不作ニ起因セシモノナリトス其他平年ニ於テハ輸出入ノ關係略ホ相匹敵スルヲ見ル可シ濠洲ヨリ玉蜀黍ヲ輸出スル主ナル國ハ南阿弗利加、「ニュージールランド」支那ニシテ之ヲ輸入スル主ナル國ハ「アルゼンチン」共和国、「ニュージールランド」、北米合衆國、太平洋諸島、南阿弗利加及ヒ「ジャバ」等ナリトス、今參考ノ爲メ平均相場ニ基キ計算セラレタル千九百九年ニ於ケル玉蜀黍ノ生産價格ヲ示セハ左表ノ如シ

玉蜀黍ノ生産價格調査表

年次	ニュー、サウス、ウエールズ洲	ヴェクトリア洲	クイーンズランド	南オーストラリア	西オーストラリア	濠洲聯邦
千九百六年	二四、七二七	三、二四三	六、三一、一六八	九、二五六	三、八、四四一	六、〇一三
千九百七年	三、三三七	五、五四一	四、三、四二九	六、二二〇	一、二、一〇三	六、七九
千九百八年	二七、七三三	四、九、二九一	二、〇一八	四、四四	二、六九、七〇五	四、八、八四七
千九百九年	六、二八、〇六三	一、〇四、三六七	五、〇五四	九、九九	六、三三、〇〇九	一〇、三、二六八

次ニ過去數年間濠洲ニ於ケル玉蜀黍「ブッシュ」ノ平均價格ヲ示セハ左ノ如シ

年次	平均價格	年次	平均價格	年次	平均價格
千九百一年	二、九	千九百四年	二、四	千九百七年	三、三
千九百二年	四、一〇	千九百五年	三、三	千九百八年	四、四
千九百三年	四、一	千九百六年	三、〇	千九百九年	四、二

濠洲大麥ハ麥芽用及ヒ其他ニ使用セラル、モノニシテ其作付面積收穫量及ヒ輸出入等ノ關係ヲ示セハ次ノ如シ

大麥作付面積調査表

年次	ニュージーランド	グエクトリア洲	タキーンズラン	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百年	九四三五	五八、八五三	七、五三三	一五、三三三	二、五三六	四、五〇二	九八、二二一
千九百一年	六、〇三三	三三、四三三	一一、七七五	一五、五七一	二、六六九	六、一〇四	七四、五二一
千九百二年	四、五七七	三七、七二六	四三〇	二一、四九三	三、七八三	八、八一	七六、二六〇
千九百三年	一〇、〇五七	四七、七六〇	三三、八八一	二八、六九七	三、六〇九	八、〇八四	一一、〇八八
千九百四年	一四、九三〇	四六、〇八九	一七、三六七	三三、九〇四	三、二五二	七、六四六	一一、三〇七
千九百五年	九、五一九	四〇、九三六	五、二〇一	二六、一五〇	三、六六五	五、三七二	九〇、九四五
千九百六年	七、九七九	五二、八一六	八、六〇一	二八、一三三	三、五九〇	五、三三八	一〇六、四三六
千九百七年	一一、八九〇	六三、〇七四	六、九四三	三七、三三二	六、〇一九	五、八五二	一一、〇九九
千九百八年	九、五二七	六四、六四八	七、三六五	四四、九二二	七、三〇八	六、四七四	一〇四、二四三
千九百九年	一五、〇九二	五八、六〇三	二、一〇九	四一、八九五	八、〇三三	六、二九三	一四三、〇三三

濠洲大麥ハ麥芽用トシテ使用セラル、モノ甚タ多ク全量ノ殆ント六四「プロセント」ニ上レリ而シテ麥芽ハ其需要多ク生産ハ殆ント之ヲ充スニ足ラサルノ状態ニアリテ麥芽用トシテノ大麥ノ耕作ハ今後益々發達スルナル可シ茲ニ千九百九年ニ於ケル大麥作付面積ニ付其麥芽用ナルモノト其他トヲ區別スレハ左表ノ如シ

麥芽用大麥及ヒ其他ノ作付面積表(千九百九年)

麥芽用大麥	ニュージーランド	グエクトリア洲	タキーンズラン	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百九年	八、四二二	三八、七六二	七、四三九	二七、八七三	四、三四三	四、九八七	九二、八一四

其他ノ大麥	計	千九百九年
六、六八〇	一九、八四二	五、六七〇
一五、〇九二	五八、六〇三	二、一〇九
		一四、〇三三
		四一、八九五
		八、〇三三
		一、三〇六
		六、二九三
		一四三、〇三三
		五、一八九

濠洲大麥ノ收穫量ハ千九百九年ニアリテハ總量二百四十三萬六千二百八十四「ブッシュェル」ニシテ聯邦各洲中其産額ノ最大ナルハ「グエクトリア洲」ノ百二萬三千三百八十四「ブッシュェル」最小ナルハ「西オーストラリア洲」ノ十萬千六百七十「ブッシュェル」ナリトス、今其收穫量ヲ表示スレハ左ノ如シ

濠洲ノ大麥ノ收穫量調査表

年次	ニュージーランド	グエクトリア洲	タキーンズラン	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百年	二四、三三六	一一、二五、四七六	二七、一四四	二二、一〇二	二九、一八九	一一、六九二	一、八二四、〇五二
千九百一年	一〇三、三六一	六九、三八五	二七、〇三七	二四、三六二	三四、七三三	一六、七九二	一、五九、八九
千九百二年	一八、三三三	五六、一四四	三、五九五	三二、一五五	四六、二五五	一〇、一三三	一、一四七、五二五
千九百三年	一四、一四七	一、二六、二九三	五二〇、五五七	四六、七九二	五三、二二七	二二、四九九	二、七六〇、三三三
千九百四年	三六、七八二	八七、〇九九	三三、七七三	三四、七二八	三七、三三三	一六、一九四	二、一〇、八九六
千九百五年	一一、二六六	一、〇六、二九九	六、八一六	五〇、九二六	四九、四九七	一〇、〇四三	一、八九六、六七六
千九百六年	一五、七三九	一一、五五、四四二	一五、二八三	四九、二四六	四八、八二七	一四、八九五	二、二四八、四三三
千九百七年	七五、一四八	一、〇五、九二五	六四、八八一	五六、九三七	七六、二〇五	一四、九一八	一、九九一、六五二
千九百八年	一六、五三六	一、五二、一八一	二七、六六七	八三、七四〇	七四、四三三	一五、六四五	二、八七四、〇〇四
千九百九年	二七、六六三	一〇、三三、三六四	一九、五五六	六九、四二四	一〇、一六七	一五、六五五	二、四三六、三六四

濠洲ニ於ケル大麥ノ對外貿易ハ未タ隆盛ノ域ニ達スルコトナク概シテ輸入超過ニ傾クヲ見ル特ニ千九百二年及ヒ千九百三年ニ北米合衆國及ヒ「ニュージーランド」ヨリ多量ノ大麥ヲ輸入セシハ當時濠洲ニ於ケル大旱魃ノ結果ニ依ルモノナリ然レドモ千九百三年ニハ大麥ノ收穫極メテ多量ナリシヲ以テ翌千九百四年ニハ多量ノ大麥ヲ日本ニ向テ輸出シ其額實ニ五十五萬一千八百二十五「ブッシュェル」ニ達セリ當時日本ニ在リテハ日露戰爭中ナリシヲ以テ馬糧トシテ之ヲ使用

セシモノナリ其他千九百九年ニ於テハ北米合衆國ニ向テ稍多量ノ輸出ヲナセリ、今其輸出入ノ關係ヲ表示スレハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル大麥ノ輸出入調査表

年次	輸入		輸出		差引純輸出入額	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
千九百一年	五五、五〇八	七、三〇八	一七、四七四	一、九四二	(-)	五、二六六
千九百二年	六八六、四七六	一三三、一九四	八、二六七	一、四六五	(-)	一、二七九
千九百三年	七三、四九四	一三六、九九七	一四、八六六	五、五六一	(-)	一三、四三六
千九百四年	二四六、九〇八	三九、〇二二	五六八、六四〇	六五、九五〇	(-)	二六、九三六
千九百五年	一一四、八五〇	一九、六七三	二四四、四五六	二八、六一八	(-)	八、九四六
千九百六年	二〇、五八六	三四、四六八	三、一五〇	五六二	(-)	三三、九〇六
千九百七年	三三、一五四	五三、八〇三	三六、三五〇	五、五三三	(-)	四八、二六九
千九百八年	四五、四六六	一〇七、一二六	一、一四八	二九〇	(-)	一〇六、八三六
千九百九年	五、三三三	一一、三五六	一八八、九四六	二八、七七四	(-)	一六、四四八

濠洲ハ麥酒醸造及ヒ其他ノ目的ヲ以テ麥芽ヲ輸入スルコト稍多シ而シテ其主ナル輸入國ハ北米合衆國「オーストラリアハンガリー」及獨逸ニシテ就中北米合衆國ヨリ輸入セラル、モノヲ最モ多シトス

濠洲ニ於ケル麥芽ノ輸出入調査表

年次	輸入		輸出		差引純輸出入額	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
千九百一年	五、六一五	一四〇、六一五	—	—	五、六一五	一四〇、六一五
千九百二年	二九三、六三七	九、四一〇	—	—	二九三、六三七	九、四一〇
千九百三年	一七五、二二二	五四、五三三	一九八	七	一七五、〇二四	五四、四五六

千九百四年	一八九、五〇〇	五七、五七一	七、七七一	三三三	一八八、七三三	五七、二五八
千九百五年	一七〇、七三三	五三、二四七	四一	一四	一七〇、六七一	五三、二三三
千九百六年	一七二、四三三	五五、七二四	五三九	八五	一七二、八九四	五五、六二九
千九百七年	一五三、四一五	四八、二六二	一、〇八七	三七二	一五三、三三八	四七、八九一
千九百八年	二二〇、八六〇	六七、二九	五三八	一九九	二二〇、三三三	六七、〇二〇
千九百九年	一一〇、五六三	三五、三三九	四七〇	一七四	一一〇、〇九三	三五、〇六五

次ニ千九百二年ヨリ千九百九年ニ至ル七箇年間ニ於ケル大麥ノ平均相場ヲ示セハ左ノ如シ

種類	千九百二年	千九百四年	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
麥芽用大麥	三、一一二	三、六六片	四、〇〇片	四、五片	四、八片	四、一〇片	三、一〇片
其他	三、一一	一、九	二、七	二、四	二、八	三、八	二、七

收穫量及其平均相場ニ依リテ計算スルニ千九百九年ニ於ケル大麥ノ生産價格ハ略ホ左ノ如シ

大麥ノ生産價格調査表

總額	ニュージーランド		グエクトリア洲		クイーンズランド		南オーストラリア		西オーストラリア		タスマニア洲		濠洲聯邦	
	一エーグル	一エーグル	一エーグル	一エーグル	一エーグル	一エーグル	一エーグル	一エーグル	一エーグル	一エーグル	一エーグル	一エーグル	一エーグル	一エーグル
總額	五、〇〇〇	一、七七一	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
一エーグル	三、一四三	一、〇〇〇	三、一四三	三、一四三	三、一四三	三、一四三	三、一四三	三、一四三	三、一四三	三、一四三	三、一四三	三、一四三	三、一四三	三、一四三

其十 雜穀及豆類

以上記載セシ穀類ニ次キ濠洲聯邦内ニ廣ク耕作セラル、雜穀及豆類ハ蠶豆、豌豆、及ヒ「ライ」麥ナリトス、蠶豆及ヒ豌豆ノ總耕作面積ハ千九百九年ニハ三萬四千八百十九「エーグル」ニ達シ其總收穫六十六萬九千五百三十八「ブッシェル」アリテ「エーグル」ニ對スル平均收穫ハ一九、二三「ブッシェル」ナリ、千九百九年ニ於テ「ライ」麥ノ總耕作面積ハ一萬一

千六百九十七「エーグル」ニシテ其總收穫十三萬五千二十四「ブッシュェル」アルヲ以テ平均「エーグル」ノ收穫ハ「一、五四」  
四「ブッシュェル」ニ該當ス、此年ニ於テハ「ライ」麥ノ總收穫ノ四七、「プロセント」以上ハ「ニュー、サウス、ウエールズ」洲ノ  
産出ニ係ルモノナリ

邦人高須賀氏ト云フモノアリ曾テ「ヴェクトリア」洲「シンチンダー」ニテ米ノ試作ニ從事セシ以來今日モ引續キ之ヲ行  
ヒツ、アリト稱スルモ未タニ其成績ノ見ル可キモノナシト云フ米作ハ千八百九十二年「クキーンズランド」洲ノ一部ニ  
テ行ハレタルコトアリテ其耕作地面積千百十三「エーグル」ニ達セシモ其結果不良ナリシタメ千九百八年ニ至リテハ其  
面積減少シ僅々七「エーグル」ヲ殘スニ至リ千九百九年ニ至リテハ全ク廢絶ニ歸シタリ、米ノ試作ハ斯クノ如ク不結果  
ニ終リシト雖モ若シ米作ニシテ成功スルモノアラハ西「オーストラリア」洲ノ北部及ヒ南「オーストラリア」洲ノ北部地  
方ハ蓋シ其適地ナル可シト云フ

其十一 馬鈴薯

濠洲ニ於ケル馬鈴薯ノ耕作面積收穫ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル馬鈴薯耕作面積調査表

年次	ニュー、サウス、ウエールズ洲	ヴェクトリア洲	クキーンズランド	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百十年	二九、四〇八	三六、四七七	一一、〇六〇	六、六二六	一、七九四	三三、〇六八	一一〇、四三五
千九百一年	二六、一五八	四〇、〇五八	九、九四八	六、二四八	一、八二九	二五、四四四	一〇九、六八五
千九百二年	一九、四四四	四九、七〇六	二、八九九	七、七六三	二、〇八四	三四、六二五	一一六、五二二
千九百三年	三〇、一五二	四八、九三〇	六、七三三	八、六一六	一、八三三	二九、一六〇	一一六、一一二
千九百四年	三三、八五五	四六、九二二	九、七七二	八、三二五	一、九〇六	二五、九四八	一一六、七〇七
千九百五年	二六、三七四	四四、六七〇	七、一七〇	九、五四〇	二、一四五	二八、六三四	一一八、五三三
千九百六年	三六、八八五	五五、三七二	八、〇三二	九、八九四	二、二六四	三四、三三五	一二六、六八一

千九百七年	三三、九一七	五四、一四九	七、七八九	九、〇六二	一、八五四	三八、六四〇	一二三、五一一
千九百八年	三六、一〇二	四七、九〇三	六、二二七	八、〇六九	二、〇二六	三五、一五九	一二五、六八五
千九百九年	三五、七二五	六二、二九〇	七、七〇八	八、一三二	一、七四二	二二、七二五	一二七、〇〇〇

濠洲ニ於ケル馬鈴薯收穫量調査表

年次	ニュー、サウス、ウエールズ洲	ヴェクトリア洲	クキーンズランド	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百十年	六三、二五三	一一三、一三六	三三、〇四四	一四、五六六	四、八三六	九三、八六二	三三九、六五二
千九百一年	三九、四四六	一二五、四七四	三三、四〇三	一五、〇五九	五、七三九	一一四、七〇四	三三三、五三四
千九百二年	三〇、七三三	一六八、七五九	三三、二五七	二八、三二二	六、四八八	一六三、五一八	四一〇、〇六六
千九百三年	五六、七四三	一六七、七三六	一七、六四九	三三、四一五	四、五四三	一七二、二九八	四四九、三六三
千九百四年	四八、七五四	九八、八七二	一九、三三二	一九、五三二	五、六一四	一〇、五四七	二九六、五三九
千九百五年	四九、八八九	一一五、五三二	一一、〇一八	二〇、三三八	六、二九七	六、四六六	三二七、七〇〇
千九百六年	一一四、八五六	一六六、八三二	一五、八三〇	二二、二七二	五、〇二八	一八、一三三	五〇七、五三三
千九百七年	五五、八八二	二二五、一一〇	一三、一七七	二〇、二六三	五、六七一	一四、五四八	三七五、五八六
千九百八年	七二、七九四	一五二、八四〇	一一、五五〇	二二、五五三	五、六九五	一一、六〇五	三三六、〇三七
千九百九年	一〇〇、一四三	一四七、九七〇	一三、五四四	一八、五六九	五、九四八	七、三八六	一八七、〇〇六

濠洲ノ馬鈴薯ハ主トシテ「ニュー、ジラランド」、太平洋諸島及ヒ「ヒリッピン」群島ニ輸出セラル、ヲ常トス、千九百七  
年ノ總輸出額一萬七千八百四十二噸ノ内「ニュージラランド」ニ輸出セラレシ額ハ一萬三千三百四十六噸太平洋諸島ニ  
輸出セラレシ額ハ二千二百噸「ヒリッピン」群島ニ輸出セラレシ額ハ二千二百十二噸ニ達セリ然ルニ千九百二年及ヒ千九  
百三年ニ在リテハ濠洲大旱魃ノアリシ爲メ著シキ不作ヲ來シ以テ千九百二年ニハ「ニュージラランド」ヨリ總額一萬一  
千四百七十一噸ノ輸入ヲ行ヒ、千九百三年ニハ二千二百七十九噸ノ輸入ヲ來セリ今輸出入ノ關係ヲ表示スレハ左ノ如  
シ

濠洲ニ於ケル馬鈴薯ノ輸出入調査表

年次	輸入		輸出		差引純輸出額	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
千九百一一年	一七六五五	八六、〇六七	六、〇二六	四五、四八五	(-)	四〇、五八三
千九百一二年	一一六〇八	五三、九一九	三、三三三	二〇、一九二	(-)	一、二六七
千九百一三年	三、三六七	七、七五二	三、四〇七	一一、三三六	(-)	八、三三五
千九百一四年	二、六〇三	八、八八六	五、四四四	一、四四六	一〇、四〇〇	四、五六四
千九百一五年	四、二八	三、三八一	四、〇五六	二、九七〇	三、六三〇	二、六五四九
千九百一六年	二、九五	二、一〇五	一、九〇八	八、二四八	一、六三三	八、四〇四三
千九百一七年	一、五〇	九八一	一、七八四	五、三四三	一、七六三	五、二四七一
千九百一八年	二、九	一、一一二	三、三七五	一、八五六	三、二四六	一、七四四八
千九百一九年	一、三六	一、二〇二	二、六〇四	一、六三七〇	二、四六六	一、一五六八

馬鈴薯ノ産額ヨリスレハ濠洲ハ世界各國ノ第十四位ニアリ、今茲ニ馬鈴薯生産價格ヲ表示スレハ左ノ如シ

濠洲ニ於ケル馬鈴薯生産價格調査表

總價 「エーケル」當リ	ニュー・サウス、 ウエールズ洲		グエクトリア州		クキーンズラン		南オーストラリ		西オーストラリ		タスマニア洲		濠洲聯邦	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格
四六、一三〇	四、一三〇	六七、六三五	九四、八〇八	一〇、一三九	一〇、一三九	五、九四〇	二、四六〇	二、四六〇	二、四六〇	二、四六〇	二、四六〇	二、四六〇	二、四六〇	二、四六〇
二、一八二	一〇、一五二	一〇、一五二	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇

其十二 根菜

馬鈴薯以外ノ根菜ハ濠洲ニテハ廣ク栽培セラル、コトナシ千九百一十九年ニ於テ此等根菜ノ栽培ニ使用セシ總面積ハ二萬三百一「エーケル」ニシテ其主ナルモノハ玉葱、蕪菁及甘薯ナリ玉葱ハ主トシテ「グエクトリア」洲ニテ栽培セラレ蕪菁ハ「タスマニア」洲ニ多ク甘薯ハ「クキーンズラン」洲ニ多シ千九百一十九年ニ於テ玉葱栽培ニ使用セシ總面積ハ七千二

百七十一「エーケル」其總收穫三萬六千二百八十三噸ニシテ「エーケル」ノ平均收穫量ハ四、九九噸ナリ千九百一十九年ニ於テ玉葱以外ノ根菜ノ栽培ニ使用セシ土地ノ總面積ハ一萬三千三十七「エーケル」其産額十萬五千四百二十三噸ナルヲ以テ「エーケル」ノ平均收穫ハ八、〇九噸ニ該當セリ

馬鈴薯以外ノ根菜ニシテ海外貿易ノ行ハル、モノハ玉葱ノミニシテ千九百一十九年ニ於ケル玉葱ノ輸入ハ二千六百七十噸ニ達シ主ナル輸入國ハ「ニュージラランド」及日本ナリ同年中濠洲ヨリ輸出セラレタル玉葱ノ總價ハ二千六百四十七噸ニシテ主ナル輸出國ハ「ニュージラランド」「カナダ」「ヒリッピン」群島及北米合衆國ナリ

其十三 乾芻

既ニ記載セシカ如ク濠洲聯邦ニ於ケル最重要ナル收穫物ハ穀粒ノ生産ヲ目的トスル小麥ノ栽培ニシテ之ニ次キテ重要ナルモノハ乾芻ノ收穫ナリトス、千九百一十九年ニ於ケル農業用地總面積ノ二〇、三「パーセント」ハ實ニ乾芻收穫地トシテ使用セラレタルヲ見ルナリ、歐洲各國ニアリテハ乾芻ヲ收穫スル土地ハ牧場及ヒ其他ノ草原ニ限ラル、モノナリト雖モ濠洲ニ於テハ乾芻收穫ニ使用スル土地ノ大部分ハ小麥蕪菁及大麥ノ耕作地ニシテ之ヲ穀粒トナスコトナク乾芻トシテ使用スルモノナリ「ルーセルン」「乾芻ハ」「ニュー、サウス、ウエールズ」洲及ヒ「クキーンズランド」洲ニ於テ最も多量ニ收穫セラル、ヲ見ルナリ今乾芻收穫ノ爲メ使用セラル、土地ノ面積ヲ示セハ左ノ如シ

濠洲ニ於ケル乾芻栽培地調査表

年次	ニュー・サウス、 ウエールズ洲	グエクトリア州	クキーンズラン	南オーストラリ	西オーストラリ	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百一一年	四六、一三〇	五〇、一〇五	四二、四九七	三、一三〇	一〇、四二五	六、一五四二	一、五七九六三
千九百一二年	四四、二一六	六五、九三九	六三、〇五五	三、三九、七九六	九二、六五四	六、一四九五	一、六八八、四〇三
千九百一三年	四九、九一八	五八、〇八四	二〇、〇六八	三、三九、七八九	一〇、五七九	六、八〇三八	一、五九〇、四八八
千九百一四年	四九、六〇七	七三、三三三	七、八三九	三、七〇、一五三	一〇、九〇三	六、九四七	一、八五三、八六四
千九百一五年	四三、七〇四	四三、四九九	四、八七〇	二、六九、六二六	一〇、五二四	五、五五四五	一、三六七、三三二



年次	ニュー、サウス、ウエールズ洲	グエクトリア洲	クキーンズラン	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百五年	四三八、〇三六	五九一、七七	三七、四二五	三二七、九二四	一三四、九〇六	六四、三五〇	一、五七四、四二一
千九百六年	四五八、一七三	六二一、三三九	六四、四九八	二九八、三九六	一四九、八三〇	六四、九六五	一、六五七、〇〇〇
千九百七年	五四二、七六一	六八二、一九四	五四、〇三七	三三八、六七三	一三一、〇五六	七三、八五九	一、八二二、五七九
千九百八年	七二五、八九六	九五六、三七	六五、〇〇四	四二四、九二四	二〇一、八七四	八八、六二三	二、四三三、六八二
千九百九年	六三〇、四九一	八六四、三五九	七二、二九八	四二四、四四八	一五八、六二九	七七、八〇三	二、三三八、〇三九

濠洲ニ於ケル乾芻收穫調査表

年次	ニュー、サウス、ウエールズ洲	グエクトリア洲	クキーンズラン	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百百年	五三六、二六〇	六七七、七五七	七八、七五六	三五三、六六二	一〇三、八一三	九四、一九八	一、八三四、四四八
千九百一年	四二七、六二二	八八四、三九九	一一三、〇三九	三四六、四六七	八九、七二九	一〇九、三八三	二、〇三四、六〇八
千九百二年	三四三、三七九	六〇一、二七	三三、八一	三〇八、八二五	九四、〇〇七	八九、二二〇	一、三五九、八七四
千九百三年	八二六、八一〇	一、三三、〇六三	一三六、二七	四七九、七三三	一一、九三四	一一、五二二	二、九〇三、一六〇
千九百四年	三六六、二九三	五二四、三二六	八〇、六六二	二九四、二五二	一一三、七九四	七三、四五七	一、四四二、七七四
千九百五年	四五九、一八二	八六四、一七七	五六、八二九	四三五、五四六	一三九、三八〇	九〇、〇七七	二、〇四二、一九一
千九百六年	六二一、八四六	八八一、二七六	九四、三三三	三九八、八六六	一五八、二二	一〇四、七九七	二、二五九、二四〇
千九百七年	三七六、八〇〇	六八二、三〇〇	七七、六〇二	三七六、一七〇	一三七、五一	九八、四〇六	一、七四八、八五三
千九百八年	七〇〇、〇二四	一、四一五、七四六	九二、九四七	五九一、一四一	一七〇、〇〇八	一三七、五二八	三、二七三、三七四
千九百九年	九八一、二〇二	一、八六六、七三八	九六、八五四	五七四、四七五	一九五、一八二	一七八、七四六	三、一五三、一九六

以上ノ收穫量ニ基キ濠洲ニ於ケル乾芻ノ價格及「エーグル」當リノ價格ヲ示セハ次ノ如シ

乾芻收穫量ノ價格調査表

乾芻ノ總價格 「エーグル」 ノ價格	ニュー、サウス、 ウエールズ洲	グエクトリア洲	クキーンズラン	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
	三、八五〇、八七三 六、二、二	二、六〇〇、八三四 三、〇、五	四三三、〇五六 五、一七、〇	一、三三二、二九二 三、二、三	八七六、七四八 五、一〇、一〇	四四五、二九七 五、一、六	九、五三〇、〇九二 四、五、七

其十四 新鮮飼葉

濠洲聯邦ノ各洲ニアリテハ主トシテ酪乳業ニ伴ヒ新鮮飼葉ノ收穫地トシテ使用セラル、土地甚タ多シ千九百九年ニ於ケル其總面積ハ三十萬六千八百八十二「エーグル」ナリ此總面積ノ内三九「プロセント」ハ「ニュー、サウス、ウエールズ」洲ニ二三「プロセント」ハ「クキーンズラン」洲ニ屬スルモノナリ、新鮮飼葉トシテ使用セラル、モノハ主トシテ玉蜀黍、燕麥大麥、ライ「麥」葡萄ノ莖及「ルーセルン」等ニシテ時トシテハ甘蔗モ亦新鮮飼葉トシテ家畜ニ供セラル、コトアリ今濠洲聯邦ニテ新鮮飼葉栽培地トシテ使用セラル、面積ヲ示セハ左ノ如シ

新鮮飼葉栽培地面積調査表

年次	ニュー、サウス、ウエールズ洲	グエクトリア洲	クキーンズラン	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
千九百百年	七八、一四四	一八、九七五	四一、四四五	一一三、一三六	一、〇四二	三、七四九	一、五六、四七三
千九百一年	一一三、〇六〇	三三、七九五	三九、七九三	一一三、六九五	一、五六三	四、二六二	二、〇五、一六八
千九百二年	一〇九、二八七	三二、一四五	五一、二七九	一四、九三七	六三六	三、五〇九	二、〇〇、八五九
千九百三年	七七、一三〇	三三、一六五	二六、五六六	一九、二四一	六七二	三、二二	一、五九、九九六
千九百四年	八七、七二八	二九、九〇三	三五、八六一	二〇、三六三	一、六四三	四、二六六	一、七九、七五三
千九百五年	九五、〇五八	三四、〇四二	六六、一八三	三三、八四三	一、八七三	四、八八二	二、二五、八七九
千九百六年	一一二、九一四	三六、五〇二	五〇、五二三	一七、九八五	三、二六五	五、三三六	二、三六、五〇五
千九百七年	二六〇、八一〇	五九、八九七	九一、四四四	一五、四三四	四、七七三	六、三三七	四、三八、七二五
千九百八年	二三五、五三九	六三、〇六六	八七、六七五	一六、〇八六	四、九〇三	六、二四三	四、二三、五一
千九百九年	一一八、九六〇	五八、五八六	一〇〇、四九三	一七、三三六	六、〇六八	六、七四九	三、〇六、〇八二

新鮮飼葉ノ價格タル場所ニ依リテ著シキ相違アルヲ以テ其正確ナル價格ヲ知ルコト極メテ艱難ナリト雖モ千九百九年ノ新鮮飼葉ノ總價格ハ略ホ百十六萬九千磅ニシテ「エーグル」ニ對スル價格三磅十六志五片ニ相當スト云フ

砂糖製造ヲ目的トスル甘蔗栽培ハ濠洲ニ於テハ氣候ノ關係上「クキーンズランド洲及ヒ」ニュー、サウス、ウヰールス」洲ノ二洲ニ限ラル、モノナリ、玆ニ甘蔗栽培ニ使用スル土地ノ面積及ヒ其收穫ヲ示セハ左表ノ如シ

甘蔗栽培用地面積調査表

年次	甘蔗栽培用地面積		年次	甘蔗栽培用地面積	
	ニュー、サウス、ウヰールス洲	クキーンズランド洲		ニュー、サウス、ウヰールス洲	クキーンズランド洲
千九百年	三、二四〇	一〇八、五三三	千九百五年	二、八〇五	一三四、一〇七
千九百一年	三、〇〇九	一一〇、三三三	千九百六年	二、〇、五六〇	一三三、三六四
千九百二年	三、〇、六〇〇	八五、三三六	千九百七年	一七、九三三	一四四、七六三
千九百三年	三、〇、八二二	一一、五二六	千九百八年	一六、九九二	一三三、九〇三
千九百四年	三、五二五	一一〇、三三七	千九百九年	一四、〇八三	一四〇、八八三

甘蔗收穫表

年次	甘蔗ノ總收穫量			各年實地收穫地ニ對スル「エーグル」ノ收穫量		
	ニュー、サウス、ウヰールス洲	クキーンズランド洲	濠洲聯邦	ニュー、サウス、ウヰールス洲	クキーンズランド洲	濠洲聯邦
千九百一年	一八七、七七一	一、八〇、〇九一	一、三六七、八〇三	二、三三六	一五、一〇〇	一五、七三三
千九百二年	一八三、〇五五	六四一、九二七	八三五、〇三三	二〇、九〇〇	一〇、八八六	一一、一六六
千九百三年	三二七、五一一	八三三、八七五	一、〇五一、三六六	二、二九四	一三、六六五	一四、八八六
千九百四年	一九九、六四〇	一、三六、九九九	一、五二六、六二九	二〇、四三三	一六、〇〇四	一六、五五〇
千九百五年	二〇一、九九八	一、四一五、七四五	一、六七、七四三	一九、五九九	一四、七三三	一五、二〇〇
千九百六年	三三一、五八〇	一、七三、七六〇	一、九五〇、三四〇	二、三五五	一七、六六一	一七、九六六
千九百七年	二七七、三九〇	一、六五、〇二八	一、九四二、四一八	二七、九七七	一七、六四四	一八、六二二
千九百八年	一四四、七〇〇	一、四三、三三五	一、五七、〇七五	二〇、八三三	一五、五五四	一五、九二二

千九百九年

一三三、〇八一

一、六三、四九四

一、二九四、五七五

一〇、三三三

一四、五三三

一四、九五五

上表ノ甘蔗栽培面積表ニ依リテ之ヲ見ルニ「ニュー、サウス、ウヰールス」洲ニ在リテハ千九百年以來甘蔗栽培ノ業ハ著シキ進歩ヲ見ルコトナク却テ其耕作面積ノ減退ヲ來セルハ勞力ヲ要スルコト少ナキ酪乳業ノ發展ニ伴ヒ甘蔗栽培ニ從事スルモノ、減シタルニ因ルモノナリ「クキーンズランド」洲ニ於テハ千九百年以來連年其耕作面積ヲ増加シタルノ事實ヲ見ルモ其進歩ノ遅々トシテ振ハス稍モスレハ減退ヲ來サントスルノ恐レアルハ千九百一年濠洲聯邦ノ形成セラレ初期議會開會以來労働黨ニヨリテ主唱セラレタル白人濠洲主義ノ結果有色人種ノ排斥ヲ生シ從來甘蔗栽培ニ低廉ナル勞銀ヲ以テセシ「カナカ」人ノ使用ヲ禁止シ又印度支那及ヒ日本等ノ労働者ニ對シテハ大ニ之ヲ制限スルノ政策ヲ執リタルニヨリ著シク其労働者ヲ減シタリシモ其一原因ナルヘシ

北米布哇其他ノ砂糖生産國ニ於ケル生産額ノ増加率カ近年約倍加シタルノ現状ニ鑑ミ濠洲ニ於テモ充分發達ノ餘地アルモノトナシ濠洲政府ハ甘蔗栽培ニ對スル獎勵政策ヲ採用セリ此政策ハ白人労働者保護政策ト相關聯スルモノニシテ白色人種ノ労働ニヨリ栽培セラレタル甘蔗ニ對シ獎勵金ヲ其栽培者ニ交付スルトノ法令發布ヲ見ルニ至リ千九百二年以降甘蔗栽培獎勵ノ爲メ政府ノ支出セシ金額ハ實ニ左ノ巨額ニ達セリ

年次	甘蔗栽培獎勵ノ爲メ政府ノ支出セシ金額	年次	甘蔗栽培獎勵ノ爲メ政府ノ支出セシ金額
千九百二年	六〇、八二七	千九百六年	三三五、九一六
千九百三年	九七、〇四五	千九百七年	五八四、六二二
千九百四年	一二八、一七八	千九百八年	四八三、七〇六
千九百五年	一五四、七〇九	千九百九年	四〇七、七七九

甘蔗ヨリ製造セラシキ砂糖ノ分量ハ其甘蔗ヲ栽培セル土地ニヨリテ異ナルハ勿論亦年ニ依リテ相違アルヲ常トスルモ通常甘蔗重量ノ一〇「プロセント」乃至一二「プロセント」ノ砂糖ヲ生スト云フ玆ニ濠洲ニ於ケル砂糖生産量ヲ擧ケレ

ハ左ノ如シ

濠洲ニ於ケル砂糖生産量調査表

年次	ニューウエールズ		サウスウエールズ		グキー		邦	
	白人労働者ニヨリテ生 産セラレタル砂糖量	黒人労働者ニヨリテ生 産セラレタル砂糖量	白人労働者ニヨリテ生 産セラレタル砂糖量	黒人労働者ニヨリテ生 産セラレタル砂糖量	白人労働者ニヨリテ生 産セラレタル砂糖量	黒人労働者ニヨリテ生 産セラレタル砂糖量	白人労働者ニヨリテ生 産セラレタル砂糖量	黒人労働者ニヨリテ生 産セラレタル砂糖量
千九百二年	一九、四三〇	一、五二六	二〇、九六〇	二、七九七	二二、二五四	六五、五八一	三二、六八八	九八、七九五
千九百三年	一九、三三六	二、五六一	二一、七九七	二、七九七	二四、四〇六	六五、四五六	四三、六四二	一一、六五九
千九百四年	一七、八二三	一、八三八	一九、六五〇	一九、九八三	三九、四〇四	一〇五、六二六	五七、二二六	一六四、六七〇
千九百五年	一八、〇一九	一、九六四	一九、九八三	一九、九八三	五〇、八九七	一〇一、三六二	六八、九一六	一七二、二四二
千九百六年	二一、八〇五	一、六二二	二二、四二八	二二、四二八	一七、五三九	五四、六一九	一四九、三四四	二〇五、五七六
千九百七年	二八、二四三	九三四	二九、一八一	二九、一八一	一六、二四八〇	一八二、一五八	一九〇、七二七	二四、二四四
千九百八年	一四、三三二	九六四	一五、三三〇	一五、三三〇	一三、〇七八	一八、三三三	一九〇、七二七	一六五、七二五
千九百九年	一三、八三九	八一五	一四、六五四	一四、六五四	一四、四五二	一八、三三三	一四六、四二九	一四七、四七〇

濠洲ハ砂糖ニ對シテハ輸入國ニシテ最近九箇年間ニ於テ輸出ノ輸入ニ超過セシハ千九百七年ニ於テ唯一回アリシノミ  
ニシテ其他ハ常ニ輸入ハ輸出ニ超過セリ而シテ其主ナル輸入國ハ「ヂヤバ」「マウルチアス」及ヒ「ヒヂ」ナリ濠洲ヨリ砂  
糖ヲ輸出スル主ナル地方ハ「ナタル」殖民地喜望峯殖民地「ニュージラランド」及ヒ「ニューカレドニア」ナリ而シテ輸  
出砂糖ノ大部分ハ濠洲産ノ砂糖ニアラスシテ他國産輸入砂糖ノ再輸出ニ依ルモノナリ今其輸出入ノ關係ヲ表示スレハ  
左ノ如シ

濠洲ニ於ケル砂糖ノ輸出入調査表

年次	輸入		輸出		差引純輸入額
	數量	價格	數量	價格	
千九百一年	一、九七〇、八八三	一、三九、五五〇	九四、七六四	六八、八七六	一、一七〇、六七四
千九百二年	一、八六二、〇六三	一、一〇、五五四	六六、七二六	四八、七五一	一、〇七二、八〇三
千九百三年	一、八〇〇、五九五	一、〇五四、三三八	四七、二九五	三三、三四二	一、〇二一、〇九六
千九百四年	七六〇、七〇二	四一五、一一〇	五八、八八二	四二、六九九	三七二、四二二
千九百五年	四九八、六七〇	二七六、一五七	三三、一六一	一五五、五一四	二七五、五〇九
千九百六年	八三九、五二九	四三九、九一六	一八五、〇七三	一四〇、四六六	二九九、四五〇
千九百七年	一三三、三五一	七七、二五九	三六五、二二三	二四三、三八〇	二四一、八六二
千九百八年	三九一、〇四八	二四五、四九五	二九四、八三〇	二〇八、四一五	九六、二二八
千九百九年	一、九九三、九六七	一、一三、八六三	一六一、〇二四	二一八、五五五	一、八三三、九四三

(備考) ハンドレッドウエイトトハ百十二封度ニシテ凡我十三貫五百四十八匁ニ當ルモノナリ

其十六 葡萄

洲ニ於ケル葡萄生産地トシテ有名ナルモノハ「ヴェクトリア」及ヒ南「オーストラリア」ニ洲ニシテ其他ノ諸洲ニ於テ  
ハ未ダ隆盛ノ域ニ達セス、「タスマニア」洲ニ在リテハ氣候ノ關係上葡萄ノ栽培ニ適セス濠洲ニ於ケル葡萄栽培ノ目的  
ハ食卓用、乾燥葡萄製造用及ヒ葡萄酒醸造用ナリトス、今濠洲ニ於ケル葡萄栽培用地面積ヲ舉クレハ左表ノ如シ

葡萄栽培用地面積調査表

年次	ニューウエールズ	ヴェクトリア	タキーンズラン	南オーストラリア	西オーストラリア	濠洲聯邦
千九百一年	八、四四二	三〇、六三四	二、〇一九	二〇、一五八	三、三三五	六四、五七七
千九百二年	八、六〇六	二八、五九二	一、九九〇	二〇、八六〇	三、六二九	六三、六七七
千九百三年	八、七九〇	二八、三七四	一、五五九	二一、六九二	三、五二八	六三、九四三

千九百三年	八、九四〇	二八、五二三	二、〇六九	三、三三〇	六五、四六三
千九百四年	八、八四〇	二八、〇一六	二、一九四	三、四一三	六五、六七三
千九百五年	八、七五四	二六、四〇三	二、〇四四	三、五〇一	六四、三四四
千九百六年	八、五二二	二五、八五五	二、〇七〇	三、五八六	六二、五五七
千九百七年	八、四八三	二〇、四六五	一、九七三	二、一〇八〇	六一、二二三
千九百八年	八、三五一	二四、四三〇	一、六六一	三、〇三二	五九、四五〇
千九百九年	八、三三〇	二二、七六八	一、六九五	三、四四二	五八、一五一

百八十二

濠洲ニ於ケル葡萄酒ノ醸造額及ヒ其輸出入ノ關係ハ左ノ如シ

濠洲ニ於ケル葡萄酒醸造額調査表

年次	輸入		輸出		差引純輸出額
	數量	價格	數量	價格	
千九百一年	八六八、四七九	一、九八一、四七五	一四八、八三五	二、六三一、五六三	一八五、七三五
千九百二年	八〇六、一四〇	一、五四七、一八八	一〇〇、八五三	二、五七三、四二四	一五八、八五三
千九百三年	一、〇六六、八二〇	二、五五一、一五〇	三六、五五八	二、四四五、二七〇	一三八、三七七
千九百四年	九二六、一六〇	一、八三二、三八六	六〇、四三三	二、八四五、八五三	一八五、〇七〇
千九百五年	八三二、七〇〇	一、七三六、四四四	六六、九二六	二、七五五、九四七	二〇八、九二一
千九百六年	一、一四〇、〇〇〇	二、〇四四、八三三	六五、〇一六	二、四九五、四三三	一九五、六六〇
千九百七年	七七八、五〇〇	一、三三五、六〇〇	九〇、一九二	二、〇六一、九八七	一五三、七五五
千九百八年	七三六、二六二	一、四三三、一〇六	七七、六九八	三、一三三、二四七	一三二、四八八
千九百九年	八〇八、八七〇	九九一、九四一	九一、四二〇	二、五六九、七九七	一四〇、五五九

濠洲ニ於ケル葡萄酒ノ海外輸出入調査表

年次	輸入		輸出		差引純輸出額
	數量	價格	數量	價格	
千九百一年	二三〇、八三三	一六一、九四五	八六六、〇八三	二一九、七三三	六四五、二七〇
千九百二年	一八一、三三七	一二七、七六九	一、〇六六、九一四	一四八、九八三	八九七、五七七
千九百三年	一三三、四三三	一〇七、八八三	七二〇、四七八	一〇五、一七七	五九八、〇四五
千九百四年	一〇九、七〇〇	九六、八七〇	七九一、五五七	一〇七、七二二	六八一、八三七
千九百五年	一一三、二九二	九九、九八四	九四〇、六八一	一一二、九七八	八二七、三九〇
千九百六年	一一五、三〇四	一〇六、一三三	七二〇、二六〇	九七、六八三	六〇四、九五六
千九百七年	一一八、二九九	一一〇、九四六	九八二、二九八	一二七、〇四四	八六三、九九九
千九百八年	一二五、〇五六	一二三、一一四	七三二、二四五	一〇二、八七四	六〇六、一八七
千九百九年	一〇八、六二五	一一六、〇二二	九七七、〇六三	一二五、五七二	八六八、四四七

食卓用葡萄及乾葡萄ノ産額調査表

年次	食卓用葡萄		乾葡萄		食卓用葡萄	乾葡萄
	數量	價格	數量	價格		
千九百一年	一三、三三五	四、五七三、一五六	一六、四八四	一五、七八八、一九二	一三、三三五	四、五七三、一五六
千九百二年	一二、二八八	六、三三六、八六四	一三、八六七	一二、八六七	一二、二八八	六、三三六、八六四
千九百三年	一三、〇五五	九、四三三、五四三	一三、七〇〇	一三、七〇〇	一三、〇五五	九、四三三、五四三
千九百四年	一一、六六九	六、四六〇、二五七	一一、三二四	一一、三二四	一一、六六九	六、四六〇、二五七
千九百五年	一一、四二七	八、四九五、一四八	一一、〇八三	一一、〇八三	一一、四二七	八、四九五、一四八

其十七 果實

聯邦ニ於ケル果實栽培用地面積ハ十七萬八千七百九十八「エークル」ニシテ漸次増加ノ傾向アリ其生産額ハ未詳ナルモ産地ハ「ヴェクトリア」洲及「ニュー、サウス、ウェールズ」洲ヲ其主ナルモノトス、今其栽培用地面積ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル果實栽培用地面積調査表

百八十三

年次	ニュージーランド		グエクトリア洲		クエーンズラン		南オーストラリア		西オーストラリア		タスマニア洲		濠洲聯邦	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格
千九百一一年	四八、四四八	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	六〇、七六	一一、四八五	一四六、七五	四八、〇一九	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	一四八、三三	一四六、七五	
千九百一二年	四八、〇一九	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	六〇、七六	一一、四八五	一四六、七五	四八、〇一九	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	一四八、三三	一四六、七五	
千九百一三年	四八、八三三	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	六〇、七六	一一、四八五	一四六、七五	四八、八三三	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	一四八、三三	一四六、七五	
千九百一四年	四七、三三〇	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	六〇、七六	一一、四八五	一四六、七五	四七、三三〇	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	一四八、三三	一四六、七五	
千九百一五年	四六、六一五	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	六〇、七六	一一、四八五	一四六、七五	四六、六一五	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	一四八、三三	一四六、七五	
千九百一六年	四六、一七七	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	六〇、七六	一一、四八五	一四六、七五	四六、一七七	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	一四八、三三	一四六、七五	
千九百一七年	四六、七二四	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	六〇、七六	一一、四八五	一四六、七五	四六、七二四	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	一四八、三三	一四六、七五	
千九百一八年	四五、八八〇	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	六〇、七六	一一、四八五	一四六、七五	四五、八八〇	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	一四八、三三	一四六、七五	
千九百一九年	四五、八九二	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	六〇、七六	一一、四八五	一四六、七五	四五、八九二	五〇、〇五五	一四、三九六	一六、三二五	一四八、三三	一四六、七五	

濠洲ハ其位置熱帯ヨリ温帯ニ且ルヲ以テ「パイナップル」「バナナ」「マンゴー」等ノ熱帯産ノ果實ヨリ(ラスベベリー「ストローベリー」等ノ寒冷ナル氣候ニ適スル果實ニ至ル迄諸種ノ果實ヲ産ス「ウエトリア」洲ニ於ケル主ナル果實ハ林檎、梅、桃、杏、櫻桃、梨等ニシテ「ニュージーランド」洲ニモ亦林檎、桃、梨、梅、杏等ヲ産スルト雖モ最モ多量ニ産出スルモノハ柑橘類ノ果實ナリトス「クエーンズランド」洲ニ在リテハ「バナナ」「蜜柑」「パイナップル」林檎、桃、「マンゴー」及ヒ其他熱帯産ノ種々ノ果實ヲ産シ南「オーストラリア」洲ニ在リテハ林檎、梨、桃、杏、梅、蜜柑及ヒ「レモン」ニ加フルニ扁桃及「ラズベベリー」ヲ多量ニ生産シ西「オーストラリア」洲ニ於テ主トシテ生産セラル、果實ハ林檎、桃、梨、梅、無花果、杏等ニシテ「タスマニア」洲ニ在リテハ果實栽培用地面積ノ殆ント三分ノ二ハ林檎樹ノ栽培ニ使用セラル、ト雖モ「ラスベベリー」「グースベベリー」ノ如キ小形ノ果實ヲ産スル果樹モ亦尠カラズ果實ハ主トシテ新鮮ノ儘若クハ「ヂヤム」或ハ「ヂェリー」トナシテ輸出セラル、ヲ常トスレトモ又乾燥果實トシテ輸出セラル、コトアリ今其輸出入ノ關係ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル乾燥果實ノ輸出入調査表

年次	輸入		輸出		差引純輸入數	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
千九百一一年	一四、二六五、七三二	一七九、三〇五	八三、九九六	一四、〇一六	一三、四三三、七三五	一六五、〇九九
千九百一二年	一五、三二二、二二九	一六五、九二六	九四、二、三四三	一四、〇三四	一四、三六九、八八七	一五一、九九三
千九百一三年	一三、四七九、二五六	一〇六、四三九	九三、〇〇八	一一、七七五	一一、五六六、二四八	九四、六六四
千九百一四年	一四、二六七、三二〇	一〇七、二一七	一、七二九、七五	一八、四九七	一、五三七、五八五	八八、六二〇
千九百一五年	一七、二八五、二四〇	一三四、一七八	三四四、一七四	五、五七九	一六、九四一、〇六六	一、八、五九九
千九百一六年	一五、六五九、六二〇	一三七、七三三	一八七、七〇	二、七五二	一五、四七一、九一〇	一三四、九八〇
千九百一七年	一三、二五〇、三九二	一三四、七三六	五、二八一、〇八	七六、八七二	七、九六八、七八四	五七、八六四
千九百一八年	一〇、三五一、四四三	九九、五二八	二、五〇九、六四〇	三五、三五九	七、八四一、八〇三	六四、一五九
千九百一九年	一三、二四二、一九八	一二、〇五九	一、〇八九、七〇	一三、〇三三	一二、一五二、四六八	一〇八、〇四六

濠洲ニ於ケル新鮮果實ノ輸出入調査表

年次	輸入		輸出		差引純輸出額	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
千九百一一年	九一、九七六	四五、九五五	一六七、九二六	一四二、六三三	二七九、一八二	一一、九七一
千九百一二年	五〇、三九七	三七、七四四	一四二、六三三	一四二、六三三	一六九、六八九	八四、八六九
千九百一三年	四九、六五九	三七、三〇三	一七三、九二二	一七三、九二二	一六九、六八九	八四、八六九
千九百一四年	二〇、四六一	三三、一三七	一七三、九二二	一七三、九二二	一六九、六八九	八四、八六九
千九百一五年	一八、〇五二	三三、一三七	一七三、九二二	一七三、九二二	一六九、六八九	八四、八六九
千九百一六年	一六、三三二	三三、一三七	一七三、九二二	一七三、九二二	一六九、六八九	八四、八六九
千九百一七年	一六、三三二	三三、一三七	一七三、九二二	一七三、九二二	一六九、六八九	八四、八六九
千九百一八年	一六、三三二	三三、一三七	一七三、九二二	一七三、九二二	一六九、六八九	八四、八六九
千九百一九年	一六、三三二	三三、一三七	一七三、九二二	一七三、九二二	一六九、六八九	八四、八六九

(備考) 「セントラル」ハ百封度ナリ

濠洲ニ於ケル「ジャム」及「チェリー」ノ輸出入表

年次	輸入		輸出		差引純輸出額	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
千九百一一年	一、三二、三七七	三、三五六	四、一四、〇七三	六四、三九九	二、八二七、六九五	四、一〇、三三三
千九百一二年	八三七、七四六	一三、二〇七	五、一五九、六八八	七七、八三三	四、三二一、九四三	六四、六二六
千九百一三年	三七九、三〇〇	七、四一〇	二、〇九七、七一一	四〇、三六六	一、七二八、〇七一	三、九七六
千九百一四年	三六四、一五九	七、二七〇	一、五二六、七四七	二一、九六二	一、二四二、五八八	一四、六九三
千九百一五年	三七一、八三三	七、〇一〇	一、七七二、五三四	二五、三六五	一、四四五、三四二	一八、三七五
千九百一六年	三七九、一二九	三、二七七	一、五八〇、三三六	二四、〇〇九	一、一〇一、〇九九	一五、七三三
千九百一七年	二九七、六三四	六、九六七	一、六三九、三三九	二四、五六一	一、三四一、六〇五	一七、五九四
千九百一八年	二八〇、五二五	六、八八九	一、七四、〇〇〇	二六、一五五	一、四三三、五三九	一九、二五七
千九百一九年	三三四、七三六	七、九五六	一、七〇六、四〇〇	二六、二二四	一、三七一、六六三	一八、一六八

以上記述セルモノ、外濠洲聯邦ニテハ煙草、棉花、珈琲、「ポップス」、稷等ノ耕作行ハル、ト雖モ其額僅少ニシテ特ニ記載スヘキモノナシ

以上記述スル所ニ依リテ之ヲ見レハ濠洲ノ農業ハ最近十數箇年間ニ長足ノ進歩ヲナシタルハ事實ナルモ其農業用面積トシテ千九百一十九年ニ於テ總計千九十七萬二千二百九十九「エーグル」ニ過キス之ヲ濠洲聯邦ノ總面積ニ比スル時ハ僅カニ其〇、五七六「パーセント」ニ該當ス、此ノ如ク未ダ耕作セサルノ地ヲ餘スコトノ多キハ蓋シ人口ノ稀薄ニシテ勞銀ノ高キニ原因スルモノナランカ、未開墾地ノ大部分ハ概シテ「ユーカリ」及ヒ「アカシア」等ノ林木ノ叢生セル地ニシテ之カ開墾ニハ多クノ歲月ト勞力トヲ要シ從テ之ニ伴フ莫大ノ經費ヲ要スルカ故ニ移民ハ勢ヒ多大ノ經費ト勞力トヲ費シテ之ヲ開墾スルコトヲ務メス直接此等森林ニ火ヲ放チ之ヲ燒棄シテ草地ト變シ比較的經費ト勞力トヲ要セサル

牧畜業ニ對シテカヲ傾注スルヲ見ル、又彼ノ「ニュー、サウス、ウェールズ」洲及「クイーンズランド」洲ニ於ケル甘蔗栽培業ノ如キモ往時「カナカ」人ヲ使用シタリシ際ハ其勞銀低廉ナリシヲ以テ極メテ有望視セラレタルモノナリシモ有色人種排斥ノ結果勞銀高キ白人勞働者ヲ使用スルニ及ヒテ忽チ事業ニ頓挫ヲ來シ運々トシテ振ハサルニ至リシヲ以テ政府ハ之ニ獎勵金ヲ下附シテ之レカ栽培ヲ勸メ漸ク其額勢ノ挽回ヲ計リツ、アルヲ見ハ蓋シ思ヒ半ニ過キルモノアランカ玆ヲ以テ政府ハ銳意人口ノ増殖ヲ計リ一方薄利貸付ケ及ヒ簡易土地所有ノ方法ヲ講シ目下切リニ勞力ノ集注ヲ計ルト一方又其產額極メテ少ナキ或ハ全ク之ヲ生産セサルカ如キ農產物例之ハ綿花、亞麻、麻、黃麻、製油原料品、米、「ゴム」、珈琲、煙草、棗等ニ對シテハ多大ノ獎勵金ヲ下附シ其發展ニカメツ、アルヲ以テ後來農業ハ益々開發セラレ、ナル可シ

猶農業發展上必要ナル一條件ハ貯水及灌漑ノ施設ナリトス何トナレハ濠洲内地ハ其地味豐饒ナルモ氣候常ニ乾燥シ且ツ降雨少ナキヲ以テ一朝旱魃ノ災厄ニ遭遇スレハ給水ハ之ヲ河川ニ得ルコト能ハサルヲ以テ拱手唯其乾枯ニ委スルノ外ナキヲ以テナリ玆ニ於テカ各洲政府ハ勿論個人ト雖モ農業ニ從事シツ、アルモノハ銳意貯水及灌漑ノ施設ニ汲々シツ、アリト雖モ土地廣ク未ダ力及ハサルモノ、如シ實ニ此ノ施設ハ殖民地ノ交通機關ト相並ンテ一日モ忽儲ニ附ス可ラサル重要問題ニシテ常ニ識者ノ頭腦ヲ苦シメツ、アル所ナリトス

### 第三節 牧畜業

濠洲ノ産業中其生産額ニ於テ目下第一位ヲ占ムルモノハ牧畜業ナルコトハ既ニ示シタル如クニシテ千九百一十九年ニ於ケル濠洲生産業ノ總收入略一億七千五百萬磅ノ内牧畜業ノ收入ハ五千一百萬磅ナルヲ以テ濠洲生産業總收入ノ二九「パーセント」ハ實ニ牧畜業ノ收入ニ屬スルモノナリ

殖民當時ニ在リテハ此等牧畜業モ其進歩極メテ微々タルモノニシテ家畜類ハ主トシア印度及ヒ喜望峰ヨリ輸入セラレ

千八百百年ニアリテハ其數僅カニ馬ノ二百三頭牛ノ千四十四頭羊ノ六千二百二十四頭豚ノ四千十七頭アルノミナリシカ其後五十年ヲ經過シ千八百五十年ノ終リニ於テハ馬十五萬九千九百五十一頭牛百八十九萬四千八百三十四頭羊千五百九十九萬三千九百五十四頭及ヒ豚十一萬四千頭ニ増加セシト云フ此クノ如ク濠洲ニ於ケル牧畜業ハ千八百六十年以前ニ在リテハ未ダ隆盛ノ域ニ達セサリシヲ以テ其統計モ明カナラサシリカ千八百六十年以降ニ至リテ牧畜業ハ漸次繁榮ノ機運ニ向ヒ今日ノ隆盛ヲ見ルニ至リシモノナリ、今千八百六十年以後ニ於ケル家畜數ヲ示シ其進歩ノ狀況ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル家畜ノ種類別頭數調査表

年次	馬	牛	羊	豚
千八百六十年	四三、五二五	三、九五七、九一五	二〇、一三五、二八六	三五、〇九六
千八百六十五年	五六、五七四	三、七二四、八一三	二九、五三九、九二八	三四、五、七〇四
千八百七十年	七二、六七二	四、二七六、三六六	四一、五九三、六二二	五三、三、三八八
千八百七十五年	八三、三九三	六、三六九、六一〇	五三、一四四、二〇九	五四、九、八〇八
千八百八十年	一〇六、八四〇	七、五二七、四三三	六二、一八六、七〇三	八二、五、七七六
千八百八十五年	一四三、〇六四	七、三九七、九四七	六七、四九一、九七六	七四、八、九〇八
千八百九十年	一五二、五八八	一〇、二九九、九三三	九七、八八一、三二二	八九、一、三三八
千八百九十五年	一六八、〇四九	一一、七六七、四八八	九〇、六八九、七二七	八三、一、七五〇
千九百年	一六〇、九、六五四	八、六四〇、二三五	七〇、六〇三、九九五	九五〇、三四九
千九百一年	一六〇、四一〇	八、四九一、四二八	七二、〇四〇、二一一	九三、一、三〇九
千九百二年	一五二、四〇一	七、〇六二、七四三	五三、六六八、三四七	七七七、二八九
千九百三年	一五四、〇五四	七、二四七、五〇八	五六、九三三、七〇五	八三七、三六八
千九百四年	一五九、二五六	八、八四〇、五二〇	六五、八三三、九一八	一、〇六二、七〇三
千九百五年	一六三、八〇五	八、五二五、〇二五	七四、四〇三、七〇四	一、〇四一、八五三

千九百六年	一、七五五、一八六	九、三四九、四〇九	八三、六六七、六五五	八三、一、五六九
千九百七年	一、八七二、七二四	一〇、二八、四八六	八七、六五〇、二六三	七五四、一〇二
千九百八年	一、九七二、七三三	一〇、五四七、六七九	八七、〇四三、二六六	六九五、一三七
千九百九年	二、〇三三、九一七	一一、〇四〇、三五一	九一、六七六、二八一	七六五、一三七

上表ニ依リテ之ヲ見ルニ牧畜業ハ全體ニ於テ著シキ進歩ヲナシ居ルハ事實ニシテ家畜ノ頭數モ亦大ニ増加セシト雖モ其進歩ノ跡ヲ尋メレハ年ニ依リテ著シキ盛衰アルヲ見ル可シ、之レ一ニ内地ニ於ケル旱魃ニ起因スルモノニシテ例之ハ千八百六十九年千八百七十七年千八百八十四年千八百九十五年千九百二年及ヒ千九百八年ニ於ケル旱魃ノ如シ就中千九百二年ノ旱魃ハ其影響シタル區域最モ廣クタメニ家畜ノ死亡シタルモノ極メテ多ク濠洲全體ヲ通シテ千九百一年十二月三十一日ニ於ケル家畜ノ總數七千二百四萬二千一百一十一頭ハ千九百二年十二月三十一日ニハ減シテ五千三百六十六萬八千三百四十七頭トナリ其減シタル數ハ總數ノ二五、プロセント」ニ上レリト云フ然レトモ濠洲ニ在リテハ大旱魃ノ後ニハ必ス數年間ニ極メテ良好ナル天候ノ持續スルヲ常トスルヲ以テ此時期ニ在リテハ其慘害ヲ挽回スルモノナリ千九百二年以降千九百九年ニ至ル七箇年間ノ家畜頭數ノ著シキ増加ハ實ニ千九百二年ノ大旱魃ニ次キテ來リシ良好ナル天候ノ賜ナリトス

牧畜業ハ濠洲産業中其首位ヲ占ムルヲ以テ其輸出額モ亦極メテ多シ茲ニ最近數箇年ニ於ケル純輸出額ヲ示セハ左ノ如シ

輸出價格	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
	二五、一九二、九四四	二八、四八〇、七〇〇	三五、三五、九八〇	二六、〇七七、七一	三三、六九五、四二五

以下牧畜業中主要ナルモノニツキテ概説セントス

其 一 馬

濠洲ハ其氣候及ヒ牧場ノ關係最モ產馬事業ニ適スルヲ以テ各國ヨリ極メテ良好ナル種馬ヲ輸入シ牝馬モ亦良種ヲ選擇シテ其改良ニ盡力シタル結果ハ人力ト天恵ト相待チテ濠洲產馬ハ世界ニ其名ヲ知ラル、ニ至リ近來印度及ヒ和蘭、佛、獨等ノ各殖民地ニ於テ軍馬トシテ需要セラル、モノ益々多キヲ加ヘ其他馬車用荷馬車用トシテモ適當ナル良種ニ富メリ、今濠洲ニ於ケル馬ノ分配ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲聯邦各洲ニ於ケル馬數調査表

年次	ニュー・サウス・ウエールズ	ヴェクトラリア	クイーンズランド	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア	濠洲聯邦
千九百年	四八、四一七	三九、三三七	四六、七八八	一七九、三五三	六八、三五三	三、六〇七	一、六〇九、六五四
千九百一年	四八、六二六	三九、二七七	四六、二一九	一七九、一九九	七三、七二〇	三、三九九	一、六〇〇、四二〇
千九百二年	四八、〇一五	三九、三三七	四六、二二三	一七九、四二三	八〇、二五八	三、四六六	一、五二四、六〇一
千九百三年	四八、〇一四	三九、三三七	四六、一八四	一九、四一一	八二、七四七	三、五四一	一、五四六、〇五四
千九百四年	四八、二六三	三九、三三七	四六、一六五	二〇、二四一	九〇、二三五	三、五六五	一、五九五、二五六
千九百五年	四八、八八四	三九、三三七	四六、五六一	二二、三四五	九七、三九七	三、七〇一	一、六七三、八〇七
千九百六年	四八、七六二	三九、三三七	四六、四九一	二二、四四七	一〇四、九三二	三、八二九	一、七四五、一八六
千九百七年	四八、三三六	三九、三三七	四六、四八六	二六、五三三	一一三、三三〇	四、〇三九	一、八七二、七二四
千九百八年	四八、〇四五	三九、三三七	四六、四六九	二五、一三六	一二、七四五	三、九八三	一、九二七、七三二
千九百九年	四八、七八四	三九、三三七	四六、六二三	二五、五六一	一二五、三二五	四、〇四三	二、〇三三、九二七

即チ產馬事業ニモ最モ隆盛ナルハ「ニュー・サウス・ウエールズ」洲ニシテ之ニ次キテ「クイーンズランド」洲及ヒ「ヴェクトラリア」洲アリ其最モ少キハ「タスマニア」洲ナリトス

濠洲ハ馬ノ輸出國ナルヲ以テ其輸出入ノ關係ヲ表示スレハ左ノ如シ

濠洲ニ於ケル馬匹ノ輸出入調査表

年次	輸入		輸出		差引純輸出
	頭數	價格	頭數	價格	
千九百五年	三三二	三九、二八三	三〇八	三六、七三〇	三、四八七
千九百六年	四二六	五二、五五〇	一〇、七七三	二五八、二五六	一〇、三四六
千九百七年	五一六	五三、一四五	一、六三三	三九、四七〇	一、二、一一六
千九百八年	五〇四	七一、五四六	九、六六八	三三、〇二八	九、一六四
千九百九年	一、四七二	八八、三三七	七、八〇八	一七三、〇一一	六、三三五
五年間ノ總計	三、二九九	三〇四、五四一	六、六八七	一、三四一、六八六	五八、四四八

即チ馬匹ノ海外貿易ニ於テ千九百五年以降千九百九年ニ至ル五箇年間ニ三千二百三十九頭ノ輸入ヲナシ六萬一千六百八十七頭ノ輸出ヲナシタルモノナリ今此輸出先ノ國別ヲ示セハ左表ノ如クシテ印度ヲ以テ最モ多シトス之多クハ軍馬用トシテ輸出セラレタルモノナリ

濠洲馬匹ノ輸出國別表

國名	千九百五年		千九百六年		千九百七年		千九百八年		千九百九年		五ヶ年總計	
	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格
印度	七、七〇六	七、九三二	七、九三二	九、二六三	九、二六三	六、二七六	六、〇七九	六、〇七九	六、〇七九	六、〇七九	八、七七一	八、七七一
香港	八、二四八	八、一五〇	六	一六〇	五	二〇五	一五	五四五	八八八	八、三〇三	一一、三〇三	一一、三〇三
海峽殖民地	七〇二	九〇、〇〇七	九〇三	一八、〇三三	九九一	二六、九五二	六五一	一五、四九二	三三三	一〇、三三九	三、六〇〇	八、五九二
「ヂ」	三三六	四、四四〇	五〇一	一一、二九六	九五四	二五、五〇二	六〇五	一六、四五七	五九四	一九、五九八	二、九八〇	七、八、二九三
日本	一、七五四	三〇、二二五	五二	一、九九〇	二八四	一一、七一五	三二七	一一、三三四	一	六〇	二、三二七	五、六、二二四
「ヒ」	七三三	一〇、一五二	一一八	二、六〇三	二九五	四、九四九	七〇八	一一、三三四	三三五	二、二〇九	三、五、一四〇	三、五、一四〇
「ナ」	三三三	六、五五〇	四一三	八、一九三	一六五	四、〇六六	一六	八五六	一	一〇〇	八二七	一、九、七二五
「イ」	四四六	一一、一八九	一〇三	二、八五五	五七	一、一四二	八八	二、三五六	一一四	二、九八三	八〇八	二、〇、五二四



支那	獨領南西阿弗利加	「セイロン」	「ニュージラランド」	「マウリチアス」	「ビルマ」	喜望峯	其他	總計
二二二	—	—	一八四	五六	九五	五六	一一六	二〇、八〇八
二、六七二	—	—	一、三、二〇六	一、一四〇	二、六二五	一、一九〇	三、九四〇	二〇、八〇八
二九八	—	—	八〇	二二七	五〇	五一	一〇〇	二〇、八〇八
五、九四三	—	—	四〇、三三五	八、六六一	一、五〇〇	一、〇三〇	四、〇二四	二〇、八〇八
一七八	—	—	一九九	七五	—	—	三五九	二〇、八〇八
三、三九九	—	—	四、八八六	四、〇二〇	—	—	七、四〇三	二〇、八〇八
三八	—	—	一六五	五二	—	—	七九	二〇、八〇八
八九二	—	—	三、四一八	三、四三六	—	—	二、六二六	二〇、八〇八
一九	—	—	九七	三三	—	—	四五	二〇、八〇八
二九五	—	—	二、〇二二	二、八四七	—	—	一、一五三	二〇、八〇八
六四五	—	—	五〇二	四三三	—	—	五九九	二〇、八〇八
一三、〇九九	—	—	一四、八四〇	三二、七〇〇	—	—	一九、三六	二〇、八〇八

其二牛

濠洲ニ於ケル牧羊業ハ稍大規模ニヨリテ行ハレ屠殺ヲ以テ主ナル目的トスル地方アリ或ハ酪乳業ヲ以テ牧羊ノ主眼トスル所アリテ一様ナラス濠洲産「バター」ノ世界各國市場ニ歡迎セラレ、ヤ全國酪乳業ハ之カ爲メ甚大ノ刺戟ヲ受ケ乳牛ハ著シク増加シ且ツ其品種ヲ改良セラレ、ニ至レリ、乳牛ノ最モ多キハ「ヴェクトリア」「ニュー、サウス、ウエール」洲及ヒ「クィーンズランド」洲ノ南部地方等ナリ

概シテ濠洲ニ在リテハ亞熱帶地方ハ最モ酪乳業ニ適シ濠洲ノ北部地方即チ最モ熱帯ニ屬スル地方ハ食牛ノ牧養ニ適スト稱セラル「クィーンズランド」洲ノ北部地方南「オーストラリア」洲ノ北部地方及ヒ「西オーストラリア」洲ノ「キムパーレー」地方ノ如キハ即チ之ナリ

次表ニ示ス如ク濠洲牛頭數ハ千九百九年ニ於テハ其總數一千四百萬三百九十一頭アリ之ヲ世界ノ牛產國ト比スレハ第九位ヲ占ム今濠洲ヨリ其產額ノ多キ國名及ヒ牛數ヲ舉ケレハ北米合衆國七千九萬九千頭「ロシア」帝國四千三百五十五萬七千一百一頭、英領印度五千二百三十五萬七千八百九十五頭、「アルゼンチン」共和國二千九百一十一萬六千六百二十五頭、獨逸二千六十三萬五千九百九十四頭「オーストラリア」ハンガリー「一千五百七十六萬三千六百二十二頭、佛國一千三百九

十四萬九千七百二十二頭、大英帝國一千七百七十三萬八千六百九十二頭ナリ

濠洲聯邦各州ニ於ケル牛ノ頭數ヲ示セハ次表ノ如シ

濠洲聯邦各州ニ於ケル牛ノ頭數調査表

年次	ニューサウス、ウエールズ洲	ヴェクトリア洲	クィーンズランド	南オーストラリア	西オーストラリア	タスマニア洲	濠洲聯邦
千八百六十年	二、四〇八、五六六	七三三、三三三	四三三、八九〇	二七八、二六五	三三、四七六	八三、三六六	三、九五七、九一五
千八百六十五年	一、九六一、九〇五	六二二、三三七	八四八、三四六	一五八、〇五七	四五、一四八	九〇、〇一〇	三、七三四、八一三
千八百七十年	二、一九五、〇九六	七二一、〇九六	一、〇七六、六三〇	一三六、八三三	四五、二二八	一〇一、四九九	四、二七六、三三六
千八百七十五年	三、三四〇、〇八六	一、〇五五、五九八	一、八二二、五七六	二二九、二四〇	五〇、四二六	一一八、六九四	六、三三九、六一〇
千八百八十年	二、五六〇、〇四〇	一、二六六、二六七	一、一六二、七五三	三〇七、一七七	六三、七一九	一二七、一八七	七、五三七、一四三
千八百八十五年	一、三三七、三五五	一、二九〇、七九〇	四、一六二、六五三	四一八、一四〇	七〇、四〇八	一三八、六四二	七、三九七、九四七
千八百九十年	二、〇九一、三一九	一、七八二、九七八	五、五五八、二六四	五七四、〇三三	一三〇、九七〇	一六二、四四〇	一〇、二九九、九一三
千八百九十五年	二、一五〇、〇五七	一、七九五、三四四	六、八三三、四〇一	六三六、八二四	二〇〇、〇九一	一六二、八〇一	一一、七六七、四八八
千九百年	一、八九三、二一六	一、六〇二、三六四	四、〇七八、一九一	四七七、四二八	三三八、五九〇	一六五、五六	八、六四〇、二二五
千九百一年	二、〇四七、四五四	一、六三三、八二二	三、七二二、七〇七	四八〇、七七七	三九八、五四七	一六八、六六一	八、四四一、四二八
千九百二年	一、七四一、三六六	一、六四四、八八〇	二、五五三、四七二	五二九、一六三	四三七、一三六	一七七、五六六	七、〇六二、七四三
千九百三年	一、八八〇、五七九	一、六六五、〇七八	二、四八八、七二七	五三九、五八〇	四九七、六一七	一八五、九三八	七、二四七、五〇八
千九百四年	二、一四九、二一九	一、六八五、九七六	二、七三三、三〇〇	五二〇、三七九	五六一、四九〇	一〇一、二〇六	七、八四〇、五〇〇
千九百五年	二、三三七、九七三	一、七三七、六九〇	二、九六三、六九五	六四七、六三二	六三一、八二五	一一〇、二〇六	八、五三三、〇二五
千九百六年	二、五五九、九四四	一、八〇四、三三三	三、一四三、三九九	六八〇、〇九五	六九〇、〇一一	一一一、二一七	九、三三九、四〇九
千九百七年	二、七五二、一九三	一、八四二、八〇七	三、八九二、三三三	七〇九、三五四	七二七、三七七	一二五、五三三	一〇、二八、四八六
千九百八年	二、九五五、九三三	一、五七四、六二二	四、三二一、六〇〇	七四八、三六八	七四一、七七八	一〇五、八二七	一〇、五四七、六七九
千九百九年	三、〇二七、七七七	一、五四九、六四〇	四、七二一、七八二	七五八、〇八〇	七九三、二二七	一九九、九四五	一一、〇四〇、三九一

濠洲ニ於ケル生牛ノ輸出入ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル生牛輸出入調査表

年次	輸入		輸出		差引純輸出額
	頭數	價格	頭數	價格	
千九百一一年	二,一四〇	三,五九一	二,四二三	三,〇八八	一八,四九七
千九百一二年	二,九一九	四,九三二	四,四八九	一九,〇〇二	三〇,三三九
千九百一三年	一,六一一	九,五六九	九,三九九	七,一〇二	二六七
千九百一四年	一,四四五	七,九〇三	七,七〇〇	七,一五五	七六八
千九百一五年	一,〇三三	一〇,五九一	一,二八〇	一五,四五二	四,八六〇
千九百一六年	一,六一一	六,七六三	五,五三三	五,三七三	一,三九九
千九百一七年	一,一三三	一〇,二〇四	六,八七七	八,七五九	一,四四五
千九百一八年	一一二	一一,〇〇〇	九,五三三	一,七二四	一,四四五
千九百一九年	八一	五,七二〇	九,七五五	九,五八六	三,八七六
計	四,九〇八	二四,五六一	二,〇五六	一〇八,〇〇〇	六,一八一

千九百一一年ヨリ千九百一十九年ニ至ル九箇年間ニ濠洲ノ各州ニ於ケル屠牛數ヲ舉クレハ左表ノ如シ

濠洲聯邦ニ於ケル屠牛調査表

年次	南オーストラリア		西オーストラリア		タスマニア	濠洲聯邦
	頭數	價格	頭數	價格		
千九百一一年	三,五八三	二五,一四七	三,七四三	三九,四三四	三,四〇〇	一,一〇一,一五七
千九百一二年	二,八八三	二二,三〇六	三,四七三	四三,八八二	三,四〇〇	一,〇一五,九五〇
千九百一三年	二,七五九	二二,二八四	二,六二二	四〇,五〇一	三,五〇〇	九二一,四〇七
千九百一四年	二,九〇八	二四,三三七	二,〇七五	四四,一九九	三,五〇〇	九〇五,九四〇
千九百一五年	三,〇八五	二四,四五四	二,四六三	五一,七五八	三,五〇〇	九四五,五三一
千九百一六年	三,五八七	二六,〇三三	二,三六九	五五,〇〇〇	三,五〇〇	一,〇〇八,四四四

濠洲冷蔵牛肉ノ輸出セラル、主ナルモノハ大英帝國「ヒリッピン」群島等ニシテ今其輸出額ヲ表示スレハ左ノ如シ

濠洲ヨリ輸出セル冷蔵牛肉數量調査表

輸出國名	千九百一五年		千九百一六年		千九百一七年		千九百一八年		千九百一十九年		前五箇年間ノ計
	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格	
大英帝國	一,六〇三	一,九一五	一,七六六	三,六八六	八,三六〇	一,四一七	一一,三六四	一,七六六	五二,七七七	一,三三三	七六,八三二,〇一七
ヒリッピン群島	一一二	八〇四,三八	一〇	四,五三三,二八六	九,六二六	一,七三三	一一,八二六	四,四四四	一一,二六〇	七,七一九	五六,九七七,〇〇〇
「ナタラ」	一八,六三三	二,九一〇	八,八八一	四,八八五	八,六五七	六,一八	二,七七七	五,五五七	一,一五二	一,八五	四〇,三〇一,一三三
「ロシヤ」	六,一一七	九,〇七	一〇,二四七	六,〇九	一〇,五五一	四,三六	六,八二二	七,〇一一	一,五八八	八,三〇	二七,六〇〇,七四八
喜望峯	一,三七二	〇,九六	一,九七九	八,三三〇	一,五四〇	二,九〇	一,七〇七	三,五五五	二,五二五	〇,九七	九,一一四,六六八
「エジプト」	九四七	三,六三	七三六	七,九六	九七二	五〇七	八四一	四,四三	一,〇九二	二,六三	四,三六三,九六〇
海峽殖民地	一一九	二,七三	一一二	七,六八三	三三四	三,七四	二六六	四,九九	三三〇	七,〇三	三,三六,一〇五
「マルタ」	三三六	八,八三	一八八	八,七三	二六六	四,九九	三三四	九,三三	三三〇	九,三三	一,八四三,〇三三
「シブラルタル」	二九	二,七三	一一	二,四七,六八三	三三四	三,七四	二六六	四,九九	三三〇	九,三三	一,三九〇,〇三八
香港	三三六	八,八三	一八八	八,七三	二六六	四,九九	三三四	九,三三	三三〇	九,三三	一,三九〇,〇三八
「マウリチアス」	三三七	〇,七	三三九	六,六四	二八六	四,九九	三三四	九,三三	三三〇	九,三三	七六二,七四一
日本	二九	二,二二	一一	二,一,九六三	五	二,八三	四〇八	四,一一	一〇二	七,三三	六六七,三三三
「セイロン」	六九	六,三九	一四八	三,〇〇	八六	六,八八	八七	九,四八	五六	五〇九	四四九,〇八四
「ハワイ」群島	三九	九,三三	三〇	九,三三	一七	二,七六	一一〇	二,五六	三六	四〇三	一一六,三四一
其他	四三	五,五〇六	四一	五,六一,二五三	五二	〇,五二,五九三	四〇	七,七一,五一六	七二	一,四二,二九九	二四八,九九〇,七四一
計	四三,五〇六	二四,五六一	四一,五六一	二五,三	五二,〇五二	五,九三	四〇,七七一,五一六	七二,一四二,二九九	三六,二四一	一,〇九四,五三九	二,四八,九九〇,七四一

濠洲ヨリ輸出セル冷蔵牛肉ノ價格調査表

輸出國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	前五箇年間ノ計
大英帝國	一六、七八八	一五、八九六	八七、九〇三	一三四、〇一四	五三三、〇四四	七七七、六四五
「ヒリッロン」群島	一四〇、三五〇	一一二、五五八	一〇八、五〇五	一五一、〇七六	一五五、〇五二	六三七、五二九
「ナタール」	一七九、三四三	八三、六九四	九〇、八八四	二八、一五六	一四、三八〇	三九六、四五六
「ロシヤ」	—	一〇五、四四五	一一二、〇九八	七〇、三五八	—	二八七、九〇一
喜望峯	五六、三三〇	六三、一八五	一三五、二〇四	一八、〇九五	三、八七一	二六六、五〇五
「エジプト」	一六、八六一	三三、〇二七	一九一、三三五	一九、七七〇	二六、七四七	一〇四、五四〇
海峽殖民地	七、五五三	八、〇八〇	一一、五二五	九、八二〇	一一、八九九	四八、八六七
「マール」	一〇、五四〇	—	八、八五三	七、八九七	八、六九〇	三六、〇六九
「シブラルタル」	一、四九〇	—	四、四三三	—	一、一五七	一九、二八三
香港	三、七三七	二、三四七	三、九五〇	三、八七三	二、一四四	一六、〇五一
「マウリチアス」	三、二九六	四、六六五	—	—	—	七、九六一
日本	二六八	一、五〇二	三三	四、四九四	一、三三九	七、四三四
「セイロン」	一、〇二七	二、二五八	一、四三三	一、五〇七	六〇二	六、八一五
「ハワイ」群島	—	八四	九六	—	一、〇六七	一、二四七
其他	四、四五三	五、三三	一、〇七四	二、四七一	三、四一九	一三、五七〇
計	四四一、九二五	四三四、四五五	五七五、七三三	四五一、五五一	七三三、二二〇	二、六三六、八七三

其三 綿羊

濠洲ノ氣候及ヒ諸種ノ關係ハ綿羊ノ放牧ニ適シ必スヤ良好ナル羊毛ヲ得可シトノ推測ハ Captain Macarthur 氏ニ依リテ實行セラル、ニ至レリ氏ハ實ニ「ニュ、サウス、ウエールス」洲ニ於ケル牧羊業ノ卒先者ナリトス牧羊業カ氏ニ依リテ大計劃ニ實行セラレタル以來極メテ迅速ナル發達ヲ遂ケ現今其羊毛ノ良好ナルト其産額ノ大ナルトハ世界第一ニ位ス之レ氏ノ功績與テ力アリト稱ス可シ今濠洲ニ於ケル綿羊ノ分配ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲聯邦各洲ニ於ケル綿羊ノ頭數調査表

年次	ニュ、サウス、ウエールス洲	タスマニア洲	西オーストラリア	南オーストラリア	クイーンズラン	ヴェクトリア洲	濠洲聯邦
千八百六十年	六、一九一、六三三	—	—	—	—	—	六、一九一、六三三
千八百六十五年	八、三三三、五一一	—	—	—	—	—	八、三三三、五一一
千八百七十年	一六、三〇八、五五二	—	—	—	—	—	一六、三〇八、五五二
千八百七十五年	二五、三三三、九三三	—	—	—	—	—	二五、三三三、九三三
千八百八十年	三五、三九八、二二二	—	—	—	—	—	三五、三九八、二二二
千八百八十五年	三七、八二〇、九六六	—	—	—	—	—	三七、八二〇、九六六
千八百九十年	五五、九八六、四三三	—	—	—	—	—	五五、九八六、四三三
千八百九十五年	四七、六七、六八七	—	—	—	—	—	四七、六七、六八七
千九百年	四〇、〇二〇、五〇六	—	—	—	—	—	四〇、〇二〇、五〇六
千九百一年	四一、八五七、〇九九	—	—	—	—	—	四一、八五七、〇九九
千九百二年	二六、六四九、四二四	—	—	—	—	—	二六、六四九、四二四
千九百三年	二六、六五六、五〇一	—	—	—	—	—	二六、六五六、五〇一
千九百四年	三四、五二六、八四四	—	—	—	—	—	三四、五二六、八四四
千九百五年	三九、五〇六、七六四	—	—	—	—	—	三九、五〇六、七六四
千九百六年	四四、三三三、四三二	—	—	—	—	—	四四、三三三、四三二
千九百七年	四四、四六一、八三九	—	—	—	—	—	四四、四六一、八三九
千九百八年	四三、三三〇、七九七	—	—	—	—	—	四三、三三〇、七九七
千九百九年	四六、〇二二、五八八	—	—	—	—	—	四六、〇二二、五八八

濠洲ニ於ケル綿羊ノ輸出入ハ左表ノ如シ

濠洲聯邦ニ於ケル綿羊輸出入調査表

年次	輸入		輸出		差引純輸出額	
	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格
千九百一年	五五三	一一,二四三	一一,〇九四	一一,〇四三	一一,五四一	(-)
千九百二年	四七,六五四	六六,〇四二	二四,二九六	一五,五五八	三三,三五八	(-)
千九百三年	四,七七七	九,八四〇	一八,一一一	二四,四六八	一三,三六四	(-)
千九百四年	二,六四四	一三,〇五六	七,七四六	一一,二一九	五,一三三	(-)
千九百五年	五,五二二	二四,二六三	二,〇九〇	一七,四二九	六,五六九	(-)
千九百六年	一一,五〇三	五,四〇三	一七,九七九	四八,六九九	六,四七七	(-)
千九百七年	一一,七五九	四二,一六七	一一,三六一	四〇,〇四〇	三九八	(-)
千九百八年	四,〇〇〇	一八,七二七	二二,〇一一	二四,四五三	九,〇〇一	(-)
千九百九年	二,七七五	一四,二二三	五,三二五	二〇,二四三	二,五四〇	(-)
計	九,二二五	二五,八三三	二二,〇二二	二二,四二二	三〇,八八八	三七,六三三

濠洲ニ於ケル冷蔵羊肉ノ海外貿易ハ近來長足ノ進歩ヲナシ目下其年額百二十萬磅以上ニ達シ濠邦各洲ニ於テハ逐年需要ノ益々増加スル此冷蔵羊肉ノ供給ニ付キ其注意ヲ喚起スルニ至レリ「メリノー」種ト「リンコル」種トノ雜種「メリノ」種ト「ライセスター」種トノ雜種ハ良好ナル羊毛ヲ産シ又食肉羊トシテ好適ナルノ故ヲ以テ殊ニ賞用セラレ其他羊毛及ヒ食肉ノ兩者ヲ並ヒ得ンコトノ目的ヲ以テ「シエロッパシヤヤ」種及ヒ「サウスダウン」種ノ飼育モ亦漸ク増加シ來レリ、濠洲ノ羊肉ヲ需要スルモノハ主ニ大英帝國南阿弗利加ニシテ「エジプト」及ヒ「カナダ」モ亦近年ニ至リテ之ヲ需要スルニ至レリ、今冷蔵羊肉輸出量及ヒ價格ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル冷蔵羊肉ノ輸出量調査表

輸出國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	前五箇年間ノ計
大英帝國	六二,七六六,五九三	六七,三五一,六七三	八八,六六六,九三三	八二,三四一,一三一	二〇,一三六,九〇五	四二一,七六,二四

輸出先國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	前五箇年間ノ計
「ナタル」	一四,〇一一,三三五	一三,三四九,八七六	一一,〇三八,八五六	四,八五四,九七四	二,三九,〇八五	四五,五八四,〇二八
喜望峯	六,五二四,三一九	五,九七四,六七二	三,四〇六,九三九	四六八,六二八	一一八,九四四	一六,五〇三,四一一
「カナダ」	一九六,三三一	九六九,三三三	二,二五,五三三	七一九,三三六	一,三六,九七四	五,三九,五二六
「エジプト」	七四四,三七七	一,一五,四三三	五八九,二二〇	六二〇,二九九	四五五,五九九	三,五二四,八七八
「ヒリッピン」群島	六七七,二二一	五五二,三三三	七九一,一五四	六七三,八六七	六八二,一一六	三,三七六,五九一
「マルタ」	六五九,一七一	—	八六四,〇六二	四八七,五六六	六三〇,三二二	二,六四一,一三三
海峽殖民地	三二,一〇一	二四三,五〇八	五一一,八二三	四七一,六三四	五六八,六八四	二,一七七,七四〇
香港	三〇三,〇七七	一六六,〇五九	二七〇,三三五	三九,三三二	三三三,一一三	一,三六〇,九五六
「ハワイ」群島	—	二二〇,五六六	一九六,五〇五	—	三三三,〇五二	九〇六,五五四
「シブラルタル」	二二五,六五九	二八五,五一〇	一六八,四三三	—	一五六,二九一	七四六,八二二
「セイロン」	一四九,〇七八	一五,五四九	一七二,五〇四	—	一七,一四一	七四二,五六三
日本	一一,二八四	八六,六二二	三五,六九〇	八九,八〇五	三二,七八九	二四六,一八〇
其他	二二,九八八	三二五,三三四	二八九,七九八	一八〇,二九九	五七七,七三五	一,〇五五,一五四
總計	八六,八五八,三四四	九〇,六九二,三九五	一〇九,二七七,七五七	九一,六〇七,六一四	二一六,九一五,六三九	四九五,三〇一,七三九

濠洲ニ於ケル冷蔵羊肉ノ輸出價格調査表

輸出先國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	前五箇年間ノ計
大英帝國	八三四,六二九	八三九,三六〇	一一,四一七,七八	一一,二五,九〇八	一一,一六一,四七五	五,〇九三,〇九〇
「ナタル」	一五六,九五〇	一四二,〇三二	一一九,六六七	五〇,二二八	三三,三三八	四九一,一〇四
喜望峯	七九,二九四	六五,八〇一	三九,六三三	五,〇七五	一,二四〇	一九一,〇四一
「カナダ」	二,七九二	一一,二六〇	三〇,二二六	一〇,二五七	一四,六四六	七,〇〇,一七二
「エジプト」	八,五八〇	一一,六七四	七,七六〇	七,八〇一	四,九八七	四一,八〇三
「ヒリッピン」群島	七,四四三	六,三〇九	八,六七四	八,〇五六	六,〇五九	三六,五四〇
「マルタ」	七,二七六	—	九,四三七	五,五二六	六,二六二	二八,五〇二

海峽殖民地	四、五二四	二、五七九	五、七二一	五、二六一	五、四八八	三三、五五三
香港	三、四七三	一、九〇六	三、〇一一	三、四八七	二、九九七	一四、八七四
「ハワイ」群島	—	—	—	—	—	—
「シブラルタル」	二、七六五	三、二六二	三、二七五	二、九二七	二、九九四	一、二、四七八
「セイロン」	一、七七四	二、九七四	一、九五五	—	七〇〇	八、三九四
日本	一、三三三	一、七三三	二、八〇二	一、七三三	一、〇九六	九、一〇七
其他	二、三四八	九七	三、三六	八九二	一九五	二、五一九
計	一、二、一九六九	一、〇、九五、二一〇	一、三、七、五〇三	一、二、九、一〇七	一、三、三、〇、三五	六、〇、四、七、三

其四 羊毛

濠洲ノ牧畜業中其收穫ノ最モ大ナルモノハ羊毛ニシテ千九百九年ニ於ケル其産額ハ略ホ二千八百萬磅ニ達セリ此多量ノ羊毛ハ殆ント盡ク海外ニ輸出セラル、モノナリ近年ニ至リテ毛織工場ハ濠洲内各地ニ建設セラレ羊毛ノ需要増加セリト雖モ其額僅ニ羊毛産出額ノ一、二五「プロセント」ニ過キササルナリ、羊毛ノ海外ニ輸出セラル、ヤ洗毛トシテ輸出セラル、アリ或ハ然ラサルモノアリ近來ノ海外貿易ニ在リテハ不洗ノマ、輸出セラル、モノ最モ多ク洗毛トシテ輸出セラル、モノハ羊毛ノ全量ニ對シテ二五、「プロセント」ニ過キスト云フ

濠洲ニ於ケル羊毛ノ産額ハ左表ニ示スカ如シ但シ左表ハ綿羊ヨリ剪取リタル儘ノ羊毛即チ不洗毛ヲ示スモノナリ

濠洲ニ於ケル羊毛産出額調査表

洲	名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
「ニュー、サウス、ウェールズ」洲		三〇三、四九四、八七〇	三三三、三六〇、六四六	三七五、三四、四四八	三四四、五五〇、七〇七	三九九、三八八、三五六
「ヴェク、トリ、ア」洲		七四、七四六、五五三	七六、二五八、一三三	九三、九九九、一五六	九三、九九九、一五六	一一二、五三一、八三四
「ク、イン、ス、ランド」洲		七、三三三、三六一	八八、〇六八、〇八九	一一五、二八三、〇〇九	一一五、二八三、〇〇九	一二七、五三一、八三四
「南、オーストリア」洲		四一、二二一、四三七	四八、九二六、一六	五三、〇四〇、七三	五三、〇四〇、七三	五、四、四、五、三九

「西、オーストリア」洲	一九、五三三、〇〇三	一七、四三七、六四五	二二、四四五、六二四	二二、四四五、六二四	三〇、〇、四八、三〇〇
「タ、スマ、ニア」洲	一一、七五三、七七	一一、六〇〇、八三三	一一、八五九、七五五	一一、八五九、七五五	一一、五五〇、五九八
濠洲 聯邦	五三、〇六二、〇〇〇	五七七、六七三、四三三	六四二、一八四、二八二	六四二、一八四、二八二	七、八、〇、七、一三

以上産出羊毛ニシテ濠洲内地ニ使用セラル、數量ハ左表ノ如シ

濠洲内地ニテ使用セラル、羊毛數量調査表 (但シ不洗毛トシテ計算ス)

洲	名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
「ニュー、サウス、ウェールズ」洲		七、九、四七〇	八、三、七三〇	九、六、三、四〇八	一、〇、一〇、四五六	一、〇、五、一、三六
「ヴェク、トリ、ア」洲		四、四九、〇四一	四、七、六、六八七	五、六、〇〇、八七三	六、一、五、二、三五〇	五、三、九、八、〇六
「ク、イン、ス、ランド」洲		三、三、四、八六〇	二、五、三、八四三	二、一、一、三、六二	三、三、四、四、六〇	三、〇、一、〇、七、八
「南、オーストリア」洲		三、七、六、六二五	三、八、七、二、六四	六、〇、三、八、四八	六、七、二、一、二二	六、三、四、二、五〇
「西、オーストリア」洲		一、〇、六、七、〇五〇	一、〇、〇、五、六、二六	九、九、九、五、七三	一、二、四、四、八、七九	九、九、一、三、八八
濠洲 聯邦		六、八、九、一、〇三六	七、二、四、九、一、五二	八、三、〇、九、〇、六三	九、三、二、四、一、五七	八、二、六、一、六、五八

前述ノ如ク海外ニ輸出セラル、モノハ洗毛トシテ輸出セラル、モノアリ或ハ不洗毛ノマ、輸出セラル、モノアリ、今各別ニ其輸出額ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル不洗羊毛輸出額調査表

輸出先國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	計
大英帝國	一六七、六七五、七〇〇	一九三、七四〇、七三三	二二七、二四六、六六三	二三五、三三六、〇〇九	二二〇、三三三、〇〇〇	一、一、三、四、三、五、一、六六
佛國	九五、八三二、七七	八五、七五五、二七九	一一〇、九三七、五七	一〇四、二二〇、六九〇	一三六、四〇三、三三九	五、四、五、二、一、八、四三三
獨逸國	六二、七七七、二六	五八、四七九、二三四	七、四、四、三、四〇〇	八、〇、〇、七、三、八〇	一〇、一、一、一、〇、一、三三	三、七、一、八、六、三、一、五二
「ベルヂニウム」	三五、二二三、七四九	五三、九七二、六七一	五六、六〇五、五二〇	三七、五五七、二五八	四七、七、三、一、七、三九	三、〇、〇、七、三、〇、九二七

輸出先國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	計
北米合衆國	一四、九六六、一七四	三、〇九〇、八八八	一八、四〇一、三五五	三〇、四三〇、二四四	三三、八四六、一四五	一〇七、七六六、八七六
日本	四、五三、六四五	二、四六五、七四三	五、九〇五、九六二	一、九七二、四四九	五、三〇〇、四五五	一六、一一八、二五三
伊太利	三、〇八五、四七四	一、一八四、〇八〇	一、五四六、三九五	一、五四八、七六〇	一、九一五、五四四	九、二八〇、二五三
印度	九一、四三二	一六二、七三四	二二、七五九	三九四、二二六	二七、〇三〇	一、一三三、一八〇
「カナダ」	一三六、四二六	一七三、九四四	二六四、五三三	三五四、三〇〇	一五七、二六三	九八八、四三六
「ニューシーランド」	一九七、九四八	一八三、八四五	五五、二八八	六二、七七五	一三五、九五四	六三五、七三〇
其他	二七、八八二	一四四、四七一	一五七、六三三	六、一六八	七六、六七三	四一一、八二七
計	三六〇、四三〇、四三四	四一五、三五三、五九〇	五二二、七五六、八九五	四七一、八四六、一〇九	五二九、〇二〇、二二三	二、三〇九、三九七、三三三

濠洲ニ於ケル洗毛輸出額調査表

輸出先國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	計
英國	二六、四六九、八〇八	三五、三〇一、六五二	三六、〇七二、一三八	四六、四〇一、二四四	三四、一六八、八四四	一八二、三七八、五五六
佛國	一三、八一六、三三三	一一、九〇〇、四三三	一三、六〇七、五三八	九、三三三、三六八	一六、六五一、五七七	六四、七四九、二四〇
獨逸	六、八九七、三九〇	六、九〇五、九三〇	八、六四九、九九六	九、一〇四、五〇三	一四、五八三、二九六	四六、四一、一一五
「ベルヂェーム」	五、五五六、五四七	九、〇九九、〇三六	九、二八八、七〇四	五、一五七、四六五	七、六六一、四八二	三六、七二二、三三四
北米合衆國	一、五七九、一六四	二、一〇六、八二〇	二、四九〇、九五三	七三三、二二七	六三五、七三三	七、五三四、八七六
日本	一六八、四四四	九九、六六三	八五、九三七	六五、三六一	一四八、六九五	五六八、一〇〇
伊太利	六四、一九四	六八、〇〇七	一五、八五一	七〇、八二八	七四、八七六	四二九、七六〇
印度	七八	—	—	—	—	七八
「カナダ」	六、二六六	一八、六三四	一、七七〇	五、八七一	三、九七三	三六、五〇三
「ニューシーランド」	二六、四四三	一三六	四、一七八	四、一三三	二、六四六	二七、五七七
其他	五六、七五、四三三	六四、八八九、二九五	七二、三二八、〇六五	七〇、九一五、四九四	七四、〇〇二、四一九	三三八、九八〇、六九六
計	一〇七、七六六、八七六	一〇七、七六六、八七六	一〇七、七六六、八七六	一〇七、七六六、八七六	一〇七、七六六、八七六	一〇七、七六六、八七六

最近五箇年間に濠洲聯邦ノ各洲ヨリ輸出セラレタル羊毛ノ價格ヲ調査スルニ其額左ノ如シ

濠洲聯邦ニ於ケル輸出羊毛ノ價格調査表

輸出先國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	計
英國	八、七五〇、四三〇	一〇、七六六、一八一	一一、九三三、八〇〇	一二、〇三三、五四二	一〇、五六二、九三九	五四、九七五、六八一
佛國	五、〇三三、八七〇	四、五七七、〇三三	七、〇〇四、五八一	四、四〇七、九四〇	五、五九四、九八三	二六、六三八、四〇八
獨逸	三、一四三、六四四	二、九六二、五八六	四、一七三、三九四	三、六三三、七〇八	五、〇〇六、六三三	一八、八六二、九二五
「ベルヂェーム」	一、九〇五、八三二	三、一一三、七七六	三、一四七、一九三	一、七四二、六三九	二、三三〇、二〇六	一二、〇四九、六三六
北米合衆國	六四七、二九六	九二二、六七九	八二五、二五四	八八一、一七三	一、六九一、三八九	四、九四七、七九〇
日本	一四〇、七〇四	二七九、八六〇	四八一、七七二	一五五、四〇八	二六四、六三〇	一、二九二、三三三
伊太利	一四三、九九五	五八、九七一	七七七、四三三	六七、〇二二	九七、七五六	四四九、一五六
印度	七、九三六	一一、〇八四	二〇、一一五	二二、七〇八	一六、六五七	七八、四九二
「カナダ」	五、四九九	八、二二四	一一、九〇三	一〇、八七七	七、七四八	四四、一九八
「ニューシーランド」	五、二二八	八、五六五	二、八六〇	一、六六九	六、六三八	二四、九四九
其他	一八、〇七〇	五、八一六	九、五四六	五、五七七	三、五五三	三七、五四一
計	一九、八三三、二二六	三三、六四五、七六九	三六、八九一、八三〇	三三、九二四、三三六	三五、四八三、一一〇	一、二九、七五七、一六一

其五 獸皮及羊皮

濠洲内各地ニ於テ鞣皮用トシテ使用セラル、獸皮及羊皮ニ加フルニ海外ニ輸出セラル、獸皮及羊皮ノ貿易額モ亦甚タ多ク千九百五年ヨリ千九百九年ニ至ル五箇年間に於ケル輸出總額ハ九百七萬一千三百四十五磅ニ達シ其平均一箇年ノ輸出額ハ百八十一萬四千二百六十九磅ニ該當セリ

羊ノ毛皮、獸皮貿易中其重要ナルモノハ羊ノ毛皮ニシテ之レ主トシテ佛國及ヒ英國ニ輸出セラル、モノナリ今其輸出額ヲ表示スレハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル羊ノ毛皮輸出額調査表

輸出先國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	計
佛 國	二、三九、一五七	二、七四三、九七三	三、五六一、七七一	三、三六五、一一一	三、一四〇、七六四	一五、〇二九、七六六
英 國	二、三九九、八四八	二、三六九、二四七	二、七七一、三四六	三、五三三、七九一	三、九六八、四九四	一四、九七一、七六六
「バルヂューム」	四七四、三三七	六七五、〇五一	九七七、八一九	七〇、九〇三	一、一〇〇、〇三三	三、九一八、一一三
獨 國	六五、九四五	四八、六八三	五七、九〇九	一一四、四六五	五七、〇四一	三五四、〇四三
北米合衆國	七〇、四二四	一六、三三八	二七、八三三	一一、〇四一	八六、六六四	二二二、一九〇
伊 國	二、三六八	五、七七二	六、九〇六	四四、〇八三	二七、五六五	九六、六六三
「カナダ」	一一、六一五	一、四五〇	四、二六八	—	—	一七、三三三
「ニューシラン」	—	一、四六九	—	—	—	一、六九四
其 他	一三五	六五	一五二	二二五	—	—
計	五、三五三、七八九	五、八六〇、九三七	七、三六八、〇〇四	七、六七八、六二八	八、三八〇、七八五	三四、六〇二、二二二

前表輸出羊毛皮價格調査表

輸出先國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	計
佛 國	五二四、〇九二	六五五、〇四四	七〇、四二二	五〇八、四七七	五九八、一七三	三、〇三六、二一五
英 國	五三〇、五六二	五八七、六四八	六二八、三三八	五一一、九三七	七三七、五九三	三、〇〇〇、〇五七
「バルヂューム」	一一九、一五二	二〇六、〇三七	二四三、九八八	一一三、四五六	二七四、八二三	九七七、四五五
獨 國	一五、二四三	七、八九〇	一〇、四四六	三三、三三八	九、五六六	六六、四八二
北米合衆國	一七〇、八四四	二、七四〇	五、九八一	一、〇五八	九、八三六	三六、六九九
伊 國	一、二五三	二、五八二	二、二四四	一〇、六二二	一〇、三四四	二六、九四四
「カナダ」	一、六五三	三三五	六三四	—	—	二、六二二
「ニューシラン」	—	五四二	—	二五	—	—
其 他	二九	一三	二六	—	六三	—
計	一、二〇九、〇六四	一、四六二、八三三	一、六五二、〇五八	一、一八二、九二二	一、六四〇、二九六	七、一四七、一六二

羊皮(但シ毛ヲ有セサルモノ)羊皮ハ主トシテ英國及ヒ北米合衆國等ニ輸出セラル今其輸出數量及ヒ價格ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル羊皮輸出額調査表

輸出先國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	計
英 國	九八二、三〇四	一、三七四、二三八	二、三七七、七五九	一、〇八六、一〇三	一、一四〇、三三六	六、九三三、七二二
北米合衆國	一、〇八〇、〇七三	七〇八、五八八	二二九、二九六	一六七、四六〇	一、二八五、九四六	三、四六二、二九二
佛 國	—	—	二、八〇四	一〇一、七六七	三、三三五	一〇七、八八六
「ニューシラン」	—	—	二、五三三	五、〇四〇	九、八四〇	一八、五七三
「カナダ」	一、一〇四	六六	六〇〇	—	一、〇八八	一三、一六四
獨 國	一一、四九六	三、一六〇	六八四	二、八二二	—	一四、〇〇〇
「バルヂューム」	三七八	—	一、〇八〇	—	—	一、〇八〇
伊 國	—	—	七	—	—	—
其 他	—	—	—	—	—	—
計	二、〇七五、三三〇	二、〇六六、〇八四	二、五九八、八三七	一、三六三、六五七	二、四四〇、五〇七	一〇、五八四、四三九

前表羊皮輸出價格調査表

輸出先國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	計
英 國	五、六〇五	一〇一、〇三〇	一七、四八四	六二、六〇五	五〇、〇七七	四四八、八〇一
北米合衆國	六七、九一一	五〇、一五五	一九、一九二	七、三九〇	五七、七九五	一〇一、四四二
佛 國	—	—	二二〇	七、四七七	三二	—
「ニューシラン」	—	—	二四八	二七三	—	—
「カナダ」	六五〇	九	三七	—	—	—
獨 國	二七	—	—	一八四	—	—
計	—	—	—	—	—	—

輸出先國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	計
英 國	四四、四三六	三六、一六二	六六、六〇三	一五三、一〇七	一九六、八二七	五〇八、一三五
「ベルヂューム」	三三、〇七一	三三、五五一	五三、五〇七	六三、三七七	七九、九七七	二六二、四八三
獨 逸	二七、三六〇	三〇、七二二	三三、〇九八	九九、七四五	四七、三三五	二二七、二五九
伊 多 利 亞	二七、七二七	二六、三七八	三六、七四九	四三、一五六	一一、三二六	一四五、三二六
北米合衆國	一一、九三三	七、五七五	一〇、一一八	一五、〇三二	五七、一三二	一〇一、七五八
佛 國	六、六五〇	七、六七五	二、八四一	二〇、九七一	二〇、五四六	五七、六八三
日 本	八、四一〇	三、五七七	五、八六七	一、六七〇	六、五九八	二六、〇五二
「カナダ」	五、五〇〇	三、〇八〇	四、五六六	一、〇五〇	三、七三〇	一七、九五三
「オーストリア、ハンガリー」	—	一、五五四	三、三三三	五、九九八	五、一五	一一、四一〇
喜 望 峯	六二	—	一〇〇	五〇	二〇〇	四一一
其 他	六二	一八七五	四六九	二四	一六六	二、五九六
計	一六六、一八九	一五二、〇五八	二二七、三〇一	四〇三、一六〇	四三三、三三八	一、三六一、〇五六

獸皮、濠洲ニ於ケル獸皮貿易ハ其額稍多ク千九百九年ニハ輸出總額ハ四十一萬二千七百九十磅ニ達シ其主ナル輸出先  
 ハ英國「ベルヂューム」、北米合衆國、獨逸及ヒ佛國ナリ獸皮ノ多量ハ又「ニョージラント」及ヒ太平洋諸島ヨリ濠  
 洲ニ輸入セラル千九百九年ニアリテハ其輸入總額十七萬三千二百五十一磅ニ達セリ今獸皮ノ輸出及輸入ヲ表示スレハ  
 左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル獸皮輸出額調査表

輸出先國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	計
英 國	四九、〇〇八	四〇、一〇六	七二、六九三	一〇六、九一九	一七七、七七八	四四六、一六四
「ベルヂューム」	三元、二二二	四四、六六二	五七、四四二	五四、六七四	八九、五四七	二八五、二五六
獨 逸	三六、九〇七	二七、七八九	二二、三三三	六八、四二二	四三、七二〇	一八九、〇七〇
伊 多 利 亞	二四、一六三	二六、三六一	二八、七〇二	二四、八九二	八、三三三	一一二、四五〇
北米合衆國	一三、七八四	八、六二四	七、九六九	一一、〇七九	五六、六三九	九九、〇八五
佛 國	六、九四四	七、四三四	二、七八二	一五、二〇五	二二、八〇五	五五、一七〇
日 本	二、四二七	五、六五〇	一、一三七	二、二三五	一〇、三二五	四一、九五四
「カナダ」	五、三六八	三、九五九	四、七九五	一、一二七	三、五九二	一八、八四〇
「オーストリア、ハンガリー」	—	一、七九五	三、一三七	五、三六〇	六二七	一〇、九一九
喜 望 峯	四四	—	一〇〇	四三	二六〇	四四六
其 他	七〇	二、二二七	四九七	三三	二二五	二、九四二
計	一七九、八四六	一六八、四九七	二二〇、四九五	二九〇、六六八	四二二、七九〇	一、二六二、二九六

前表獸皮輸出價格調査表

輸出先國名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	計
英 國	四九、〇〇八	四〇、一〇六	七二、六九三	一〇六、九一九	一七七、七七八	四四六、一六四
「ベルヂューム」	三元、二二二	四四、六六二	五七、四四二	五四、六七四	八九、五四七	二八五、二五六
獨 逸	三六、九〇七	二七、七八九	二二、三三三	六八、四二二	四三、七二〇	一八九、〇七〇
伊 多 利 亞	二四、一六三	二六、三六一	二八、七〇二	二四、八九二	八、三三三	一一二、四五〇
北米合衆國	一三、七八四	八、六二四	七、九六九	一一、〇七九	五六、六三九	九九、〇八五
佛 國	六、九四四	七、四三四	二、七八二	一五、二〇五	二二、八〇五	五五、一七〇
日 本	二、四二七	五、六五〇	一、一三七	二、二三五	一〇、三二五	四一、九五四
「カナダ」	五、三六八	三、九五九	四、七九五	一、一二七	三、五九二	一八、八四〇
「オーストリア、ハンガリー」	—	一、七九五	三、一三七	五、三六〇	六二七	一〇、九一九
喜 望 峯	四四	—	一〇〇	四三	二六〇	四四六
其 他	七〇	二、二二七	四九七	三三	二二五	二、九四二
計	一七九、八四六	一六八、四九七	二二〇、四九五	二九〇、六六八	四二二、七九〇	一、二六二、二九六

次ニ千九百五年ヨリ千九百九年ニ至ル五箇年間ニ濠洲ニ輸入セラタル獸皮ノ數量及價格ヲ調査スレハ左ノ如シ

濠洲ニ輸入セラタル獸皮ノ數量及價格調査表

個 價	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	計
格 數	九九、〇六六	一九九、五三二	一八三、六七八	一八三、三六二	一三六、三七五	七五一、九八三
價 格	一〇八、六三七	一七六、三二二	三三〇、五七四	二〇四、三五八	一七三、三二二	八八五、〇八一

第四節 酪乳、養禽及ヒ養蜂業



濠洲ニ於ケル酪乳、養禽及ヒ養蜂業ハ近年長足ノ進歩ヲナシ千九百九年ニ於ケル其生産價額ハ略千五百六萬四千磅ニ達セリ以下此等ノ産業ニ關シテ其概説ヲ試ントス

其一 酪乳業

過去二三十年間濠洲ニ於ケル酪乳業ノ進歩ハ極メテ著シキモノアリ近ク千九百三年ニ於ケル濠洲「バタ」ノ産額ハ一億三十三萬二千二百四十二封度ナリシカ千九百九年ニ到リテハ其産額一億五千四百二十七萬三千二百五十二封度ニ達シ千九百三年ノ産額ヨリ増加スルコト五千三百九十四萬一千十封度ニシテ其増加ノ割合ハ略ホ五三、七六「プロセント」ニ該當シ千九百三年ニ於ケル「チイス」ノ産額ハ千三百四十二萬三千六百七十四封度ナリシモ千九百九年ニハ増加シテ千五百七十七萬四千八百三十七封度ノ産額ヲ示シ千九百三年ノ生産額ヨリ増加スルコト二百三十五萬一千六百六十三封度ニシテ略一七、五一「プロセント」ノ増加ヲ見タリ、夫レ斯クノ如ク酪乳業ノ進歩ノ迅速ナリシ原因ハ種々アル可シト雖モ濠洲ノ氣候ハ概シテ溫暖良好ニシテ僅少ナル地方ヲ除クノ外家畜ハ舍内飼育ヲ要スルコトナク終歲野外ニ放牧シ得ルヲ以テ酪乳農業者ハ家畜ヲ越冬セシムヘキ厩舎ヲ設備スルノ費用ト勞力トヲ要セス又冬季中家畜ノ飼料ハ其缺乏ニ從ヒ兼テ貯藏セル秣ヲ出シ單ニ野外ニテ家畜ニ供給スルニ過キサルヲ以テ家畜飼育上他各國ニ比シテ其經費ト勞力トヲ省クコト大ナルハ蓋シ其一原因ナル可シ

濠洲酪乳牧場ニ在リテハ家畜ヲ越冬セシムヘキ厩舎ノ設備ナキヲ常トスルヲ以テ嚴冬ノ季節ニ至レハ家畜ハ主トシテ「ユーカリ」「アカシア」其他ノ常綠闊葉樹ヨリナル牧場内各所ニ散在スル小面積ノ保護樹林内ニ入リテ寒氣ヲ凌グヲ常トス玆ヲ以テ度茫タル廣野ニシテ樹木ナキ牧場ニ在リテハ特ニ此等ノ目的ヲ以テ樹木ノ植栽ヲ行フモノアリ而シテ此等ノ樹林ハ家畜ニ對シテ避寒用トナルノミナラス炎暑ノ候ニハ彼等ニ綠蔭ヲ與ヘ最モ良好ナル避暑地ヲ供給スルモノナリ、濠洲到ル所ノ牧場ハ之ヲ遠望スレハ粗林ノ状態ヲ呈スルヲ見ルモノ實ニ之レカ爲メナリ

歐洲及ヒ其他ノ諸國ニ於ケル「バタ」「チイス」製造工業ノ發達ハ濠洲産「バタ」「チイス」ノ輸出貿易上其生産ニ對シテ彼等諸國ト同一歩調ヲ執ラサル可ラサル必要アリタルタメ牛乳ノ品質ヲ改良シ其産額ヲ増進セシメントノ見地ヨリシテ種々ノ計劃ハ實施セラレタリ、例之ハ牧場内ニ生長スル用途少ナキ雜草若クハ無用有害ナル惡草、灌木類ハ之ヲ撲滅シ代フルニ最モ良好ナル牧草及ヒ其他ノ飼料ヲ播種シタルカ如キ其一例ナリ、濠洲産ノ或種ノ牧草ハ乳量ヲ増加シ且ツ其體軀ヲ肥滿セシムルニ適良ナルモノアルヲ以テ此等ニ對シテハ特ニ意ヲ用ヒテ其繁茂ヲ計リツ、アリト雖モ所有地内ニ播種スルモノハ主トシテ英國産若クハ其他諸國産ノ牧草ナリ、斯クシテ酪乳業、用乳牛其他ノ放牧ヲ目的トスル人工草生地ハ近來著シク其面積ヲ増大セリ

又或州ニ在リテハ家畜改良ノ目的ヲ以テ種牛ノ輸入ヲ計劃シタルコトアリシモ實際飼育ノ目的ヲ以テ英國若クハ其他ノ諸國ヨリ種牛ヲ輸入セシハ主トシテ實業者ニ依リテ行ハレタリ然レトモ各洲政府ハ獸畜傳染病及其他ノ疾病ノ輸入ヲ防遏スルノ目的ヲ以テ家畜ノ輸入ニ對シテハ特ニ嚴格ナル監督ヲ與ヘタリ濠洲ニ於テ今日ニ至ル迄恐ル可キ家畜ノ傳染病ヲ見タルコトナキハ蓋シ之レカ爲メナリト云フ

株菜新鮮保藏法ハ政府ヨリ派遣セラル、酪乳技師ニ依リテ盛ニ獎勵セラレタリシ結果之ヲ採用スルモノ漸ク多ク酪乳事業ノ益々發達擴張シ其區域ハ海岸地帯ヨリ深ク内地ニ迄行ハル、ニ至リ株菜保藏ノ目的ヲ以テスル秣室ハ普通一般ニ使用セラル、ニ至レリ、其他政府ノ斯業ニ對スル監督獎勵ハ多岐多様ニ陟ルヲ以テ之カ記述ヲ省略ス

夫レ此ノ如ク實業家ノ苦心經營ト政府ノ保護獎勵トハ相待テ酪乳業ノ盛大ヲ來シタルモノニシテ千七百八十八年「カヒテン、ヒリップ」氏ニ依リテ「シドニー」ニ英國殖民地ノ建設セラレタル際ニ在リテハ家畜ノ數ハ僅ニ牝牛一頭牝牛四頭犢牛一頭豚七頭ノミナリシカ千九百九年末ニ至リテハ濠洲ニ於ケル牛ノ總數略一千四百萬三千九百九十一頭ノ多數ニ達シ其内百九十萬六千七百七十四頭ハ實ニ酪乳業ニ使用セラル、ノ盛況ヲ見ルニ至レリ

千九百二年ノ大旱魃以降ハ各洲共ニ酪乳業用ノ牝牛ハ年々其數ヲ増加セリ今其關係ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル牛ノ總數及ヒ酪乳業用ノ牛數調査表

洲名	種目	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
ニュージーランド	牛ノ總數	二、三三七、九七三	二、五九九、九四四	二、七五一、一九三	二、九五九、九三四	三、〇二七、七七
	酪乳業用牝牛	五九七、六〇五	六六七、七〇八	七三三、二二三	七三六、六八三	七五五、八七九
グレートリア	牛ノ總數	一、七七、六九〇	一、八〇四、三三三	一、四八二、八〇七	一、五七四、一六二	一、五四九、六四〇
	酪乳業用牝牛	六四九、一〇〇	七〇一、三〇九	七〇九、二七九	六〇九、一六六	六二五、〇三
ケアンズ	牛ノ總數	二、九六三、六九五	三、四三三、九九	三、八九二、三三三	四、三二一、六〇〇	四、七二一、七二
	酪乳業用牝牛	一七二、〇〇〇	二二五、〇〇〇	二八二、八八三	三〇四、三八一	三三三、八一九
南オーストラリア	牛ノ總數	三〇〇、七三三	三三三、七二四	三三三、一五五	三〇四、三七六	三〇四、〇三
	酪乳業用牝牛	九三、〇六九	九七、八四三	一〇〇、七四三	一〇六、二六九	一一〇、七五七
南オーストラリア地方	牛ノ總數	三三六、九〇〇	三五五、三七二	三五四、一九九	四〇七、九九二	四一四、四六
	酪乳業用牝牛	七五、七五六	六八〇	四八九	五〇六	四六四
西オーストラリア	牛ノ總數	六三二、八五五	六九〇、〇一一	七二七、三七七	七四一、七八八	七九三、二二七
	酪乳業用牝牛	三五、〇一一	三四、八三三	三一、四八九	三一、五二三	二九、一七六
タスマニア	牛ノ總數	二〇六、二一一	二二一、二一七	二二五、五三三	二〇五、八二七	一九九、九四五
	酪乳業用牝牛	四九、六八	四九、一三三	五四、二四五	五〇、九三二	五〇、九三六
タスマニア	牛ノ總數	八、五五、〇五	九、三四九、四〇九	一〇、一八八、四八六	一〇、五四七、六七九	一一、〇四〇、三九一
	酪乳業用牝牛	一、五七、一五九	一、七六六、四九四	一、八九二、三五二	一、八九三、三九八	一、九〇六、一七四

牛乳、牝牛一頭ヨリ得ラル可キ一箇年ノ搾乳量ハ土地ト年トニ依リテ著シキ相違アルモノニシテ多量ナルモノハ五百「ガロン」ニ達スルコトアルモ濠洲全體ノ平均ハ一箇年略二百五十「ガロン」ニ該當スト云フ、今各洲ニ於ケル總乳産量及ヒ牝牛一頭ヨリ得ラル可キ平均一箇年ノ搾乳量ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル牛乳ノ産額調査表

洲名	種目	千九百八年			千九百九年		
		酪乳業用牝牛數	牛乳ノ總産額	牝牛一頭ニ對スル平均一箇年ノ搾乳量	酪乳業用牝牛數	牛乳ノ總産額	牝牛一頭ニ對スル平均一箇年ノ搾乳量
「ニュージーランド」	牛ノ總數	七三六、六三三	一八八、五八、五六	二五七	七五五、八七九	二〇一、一八三、三三七	二六六
「グレートリア」	牛ノ總數	六〇九、一六六	一四一、二二、二〇〇	二四三	六二五、〇六三	一六二、九九四、六五八	二六一
「ケアンズ」	牛ノ總數	三〇四、八一	六三、九三、四〇	二二〇	三三三、八三九	七〇、六四二、八八八	二二二
「南オーストラリア」	牛ノ總數	一〇六、八一五	二八、八八三、〇〇〇	二七〇	一一一、三二二	二九、七七、〇三三	二六八
「西オーストラリア」	牛ノ總數	三二、五三三	四、五三、二二二	一四四	二九、一七六	四、八九三、四四六	一六八
「タスマニア」	牛ノ總數	五〇、九三二	一三、五〇、〇〇〇	二六五	五〇、九九六	一一、六〇〇、〇〇〇	一七三
濠洲聯邦	牛ノ總數	一、八三九、三九八	四四七、五〇九、三七六	二四三	一、九〇六、二七四	四八一、〇九二、三六一	二五二

「バタ」及ヒ「チース」 濠洲ニ於ケル「バタ」及ヒ「チース」ノ産額ハ千九百二年ノ大旱魃以降ハ概シテ順境ノ進歩ヲ呈セリ今千九百五年ヨリ千九百九年ニ至ル五箇年間ノ産額ヲ表示スレハ左ノ如シ

濠洲ニ於ケル「バタ」及「チース」ノ産額調査表

洲名	種目	千九百五年					千九百六年					千九百七年					千九百八年					千九百九年				
		酪乳業用牝牛數	牛乳ノ總産額	牝牛一頭ニ對スル平均一箇年ノ搾乳量	酪乳業用牝牛數	牛乳ノ總産額	牝牛一頭ニ對スル平均一箇年ノ搾乳量	酪乳業用牝牛數	牛乳ノ總産額	牝牛一頭ニ對スル平均一箇年ノ搾乳量	酪乳業用牝牛數	牛乳ノ總産額	牝牛一頭ニ對スル平均一箇年ノ搾乳量	酪乳業用牝牛數	牛乳ノ總産額	牝牛一頭ニ對スル平均一箇年ノ搾乳量	酪乳業用牝牛數	牛乳ノ總産額	牝牛一頭ニ對スル平均一箇年ノ搾乳量	酪乳業用牝牛數	牛乳ノ總産額	牝牛一頭ニ對スル平均一箇年ノ搾乳量				
「ニュージーランド」	牛ノ總數	五七、〇四〇、三三〇	一、八八、五八、五六	三二七	五七、〇四〇、三三〇	一、八八、五八、五六	三二七	五七、〇四〇、三三〇	一、八八、五八、五六	三二七	五七、〇四〇、三三〇	一、八八、五八、五六	三二七	五七、〇四〇、三三〇	一、八八、五八、五六	三二七	五七、〇四〇、三三〇	一、八八、五八、五六	三二七	五七、〇四〇、三三〇	一、八八、五八、五六	三二七				
「グレートリア」	牛ノ總數	五七、〇四〇、三三〇	一、八八、五八、五六	三二七	五七、〇四〇、三三〇	一、八八、五八、五六	三二七	五七、〇四〇、三三〇	一、八八、五八、五六	三二七	五七、〇四〇、三三〇	一、八八、五八、五六	三二七	五七、〇四〇、三三〇	一、八八、五八、五六	三二七	五七、〇四〇、三三〇	一、八八、五八、五六	三二七	五七、〇四〇、三三〇	一、八八、五八、五六	三二七				
「ケアンズ」	牛ノ總數	二〇、三九、九六	三、七六、七、三三	一八五	二〇、三九、九六	三、七六、七、三三	一八五	二〇、三九、九六	三、七六、七、三三	一八五	二〇、三九、九六	三、七六、七、三三	一八五	二〇、三九、九六	三、七六、七、三三	一八五	二〇、三九、九六	三、七六、七、三三	一八五	二〇、三九、九六	三、七六、七、三三	一八五				
「南オーストラリア」	牛ノ總數	八、三三、八〇五	八、八三、三、三三	一〇六	八、三三、八〇五	八、八三、三、三三	一〇六	八、三三、八〇五	八、八三、三、三三	一〇六	八、三三、八〇五	八、八三、三、三三	一〇六	八、三三、八〇五	八、八三、三、三三	一〇六	八、三三、八〇五	八、八三、三、三三	一〇六	八、三三、八〇五	八、八三、三、三三	一〇六				
「西オーストラリア」	牛ノ總數	四三、一、七〇	四、五三、二二二	一〇五	四三、一、七〇	四、五三、二二二	一〇五	四三、一、七〇	四、五三、二二二	一〇五	四三、一、七〇	四、五三、二二二	一〇五	四三、一、七〇	四、五三、二二二	一〇五	四三、一、七〇	四、五三、二二二	一〇五	四三、一、七〇	四、五三、二二二	一〇五				
「タスマニア」	牛ノ總數	一、二六、二〇四	一三、五〇、〇〇〇	一〇七	一、二六、二〇四	一三、五〇、〇〇〇	一〇七	一、二六、二〇四	一三、五〇、〇〇〇	一〇七	一、二六、二〇四	一三、五〇、〇〇〇	一〇七	一、二六、二〇四	一三、五〇、〇〇〇	一〇七	一、二六、二〇四	一三、五〇、〇〇〇	一〇七	一、二六、二〇四	一三、五〇、〇〇〇	一〇七				
濠洲聯邦	牛ノ總數	一〇、八六、七五	四四七、五〇九、三七六	四一	一〇、八六、七五	四四七、五〇九、三七六	四一	一〇、八六、七五	四四七、五〇九、三七六	四一	一〇、八六、七五	四四七、五〇九、三七六	四一	一〇、八六、七五	四四七、五〇九、三七六	四一	一〇、八六、七五	四四七、五〇九、三七六	四一	一〇、八六、七五	四四七、五〇九、三七六	四一				

煉乳(コンデンスミルク)、牛乳ニ糖分ヲ混スルコトナク蒸發作用ニ依リテ水分ヲ蒸發セシメ其容積ヲ減セシメタルモ

ノヲ煉乳ト稱シ糖分ヲ加味シテ牛乳ヲ濃厚ナラシメタルモノヲ「ブレザーブド、ミルグ」ト云フ、此等ノ乳種ハ「ニュー、サウス、ウェールズ」洲「グエクトリア」洲「タキーンズランド」洲ニ於テ多少生産セラル、ト雖モ未タ隆盛ノ域ニ達セス南「オーストラリア」洲「西オーストラリア」洲及ヒ「タスマニア」洲ニ在リテハ煉乳及ヒ「ブレザーブドミルグ」ノ生産ナシ、今「ニュー、サウス、ウェールズ」洲「グエクトリア」洲及「タキーンズランド」洲ニ於ケル其産額ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル「ミルグ」製造額調査表

年	次	「ニュー、サウス、ウェールズ」洲	「グエクトリア」洲	「タキーンズランド」洲	濠洲聯邦
千九百八年		二、三九九、六七三	三、三〇八、八五四	三、九三五、〇三四	九、六四三、五五二
千九百九年		三、四〇〇、六八七	三、四八七、三三二	七、〇三六、二〇二	一三、九二六、二〇一

「バター」「チーズ」及「ミルグ」ノ海外貿易「バター」「チーズ」及「ミルグ」ノ海外貿易ハ左表ニ示スカ如シ

「バター」「チーズ」及「ミルグ」ノ輸出入調査表

輸出入種類	千九百五年		千九百六年		千九百七年		千九百八年		千九百九年	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格
輸入	「バター」 五、二〇二	三、五七九	「バター」 七、一〇二	三、一三三	「バター」 九、一〇二	三、〇八五	「バター」 四、八七四	三、〇二二	「バター」 四、〇六六	三、〇二二
輸出	「バター」 三、六四七	一、二四九	「バター」 三、〇四九	一、一五五	「バター」 三、〇九二	一、一七二	「バター」 三、〇二二	一、一七二	「バター」 三、〇二二	一、一七二
差引純額	「バター」 一、五五五	二、三三〇	「バター」 四、〇五三	一九八	「バター」 六、〇一〇	一九八	「バター」 一、八五二	一九八	「バター」 一、〇四四	一九八

豚、濠洲ニ於ケル養豚業ハ未タ甚タ振ハス其盛衰常ナラス、今濠洲ニ於ケル豚數ヲ示セ、左表ノ如シ

濠洲聯邦ニ於ケル豚數調査表

州名	千八百六	千八百七	千八百八	千八百九	千九百五	千九百六	千九百七	千九百八	千九百九
「ニュー、サウス、ウェールズ」洲	一四六、〇九一	三三三、一九三	二二、九一六	二五、一八九	三〇、七〇三	二四三、三七〇	二六、一四五	二五、八三三	三三、八四九
「グエクトリア」洲	四三、四八〇	一七、四四七	三九、九二六	二八、七八〇	二七、六八三	三〇、四五三	二一、〇〇三	一七九、三五八	二七、九二一
「タキーンズランド」洲	七、四六五	三三、〇七	五、四三六	一一、六七三	一一、〇八七	一一、二八二	一一、二四六	一一、四七四	一一、四〇三
「南オーストラリア」洲	六九、二八六	九五、五四三	一一、〇七	八三、七九七	一一、〇〇五	一一、二七七	九、三六〇	八一、一六五	八一、七九七
「西オーストラリア」洲	一一、九八四	一四、二六五	二、五三〇	二五、九三〇	七、四一〇	五、二〇三	五、三九九	四六、六五三	四七、〇六三
「タスマニア」洲	四〇、八四一	五二、八六三	四九、六六〇	七三、五二〇	七二、八一〇	四三、九八五	四六、七〇四	四七、九四三	五五、七〇五
濠洲聯邦	三九、一四七	五八、〇一七	七三、一八八	八四、八八八	一〇、二四八	八三、五六九	七五、四一〇	六九五、六八八	七六五、二二七

「ベーコン」及「ハム」濠洲ニ於ケル「ベーコン」及「ハム」ノ生産額ハ左表ニ示スカ如シ

濠洲ニ於ケル「ベーコン」及「ハム」生産額調査表

洲名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
「ニュー、サウス、ウェールズ」洲	一一、六五二、四四〇	一一、八四三、五九五	一〇、三五八、五二六	九、四八八、二九九	九、九三二、三七七
「グエクトリア」洲	一六、四三三、六六五	一八、〇五二、一六六	一七、五四五、七二〇	一四、四一一、〇八一	一三、六〇〇、四八五
「タキーンズランド」洲	一〇、五〇〇、三五五	一〇、八四六、九五九	一〇、〇二五、〇〇八	一一、三三四、三三三	九、三三八、三三三
「南オーストラリア」洲	—	—	二、三一一、〇〇四	三、三九二、一六三	三、三九八、〇五〇
「西オーストラリア」洲	四〇、一、四四七	二七、二、四九四	二〇、九、四一九	一五、二、八八六	一三、〇、六三三
「タスマニア」洲	四四、六、七二四	一五、一、七〇〇	二七、九、五〇四	一三、三、八五六	一五、二、一五
濠洲聯邦	三九、四、四〇一	四一、一、六五四	四〇、七、一八一	四〇、〇、一、九三七	三七、七、四、九六七

養豚業生産物ノ海外貿易額ハ左表ノ如シ

養豚事業生産物ノ輸出入調査表

種類	千九百五年		千九百六年		千九百七年		千九百八年		千九百九年	
	数量	價格	数量	價格	数量	價格	数量	價格	数量	價格
「ペーコ ン」及「ハ ム」	輸入	一六二、七二五	一九四、〇五九	七、一七二	三三、七六四	九六、二五五	二七、三九三	一〇〇、一三三	三、四四九	九、三六四
	輸出	四九二、〇七六	一五、二六二	五三三、八五一	一八、四六七	四二〇、八一九	一七、五七九	三九一、八三〇	一八、三六〇	四〇三、〇一一
氷結豚	輸入	三三九、三六一	九四、五五五	三三八、七九二	一一、二九六	一八三、一七五	七、九五四	二七、八九八	八、三三七	一五、八八六
	輸出	一五四、〇五三	四〇、三九九	一三九、三六三	三、七二七	一八七、四七九	五、三二二	一〇、六四一	三、三三九	一〇、九六〇
豚	輸入	三、八二四、〇六六	四七、五九六	四、七三三、二三四	六、〇九三	四、四六、七五八	二八、四〇六	八二六、一〇一	二〇、四四六	三、九四、五五九
	輸出	二、六六九、九六四	四三、五五七	三、三三三、八六一	五、七、二九二	二、五九、二七九	三三〇、九四四	一、七、一七一	二、八四、九三九	六、〇一七
豚脂	輸入	六四	八、一四	二四四	一、二六九	六九	三九	九六八	三三	一、一七七
	輸出	二、五八	三九九	二、〇〇	二、六三	一、八五	三、八三	二九七	二九	四、六〇
差引純輸	輸入	一〇、六四、五六三	一六、六三	五五、二六八	八、三三三	四、五八、三三七	八、五五四	一〇、九〇六	一、六、八九五	二、八、四九八
	輸出	一〇、一八、八六〇	一五、三九九	四八、六七七	七、〇七九	四、二、七〇二	七、五七四	三、二、五一一	一、九、八〇〇	一、九、八〇〇

其二 養禽業

都市及其郊外ニ在リテハ食卓用トシテ家禽若クハ卵ヲ供給スルタメニ従前ヨリ長ク養禽業ニ従事シタルモノアルハ等  
 フ可ラサル事實ナルモ完全ナル産業トシテ養禽業ハ未タ存在セサルモノナリ養禽業ノ生産額ハ之ヲ總計スル時ハ著シ  
 キ多額ニ達スト雖モ其管理ノ方法宜シキヲ得ス生産費ヲ要スルコト多キヲ以テ其收入ハ漸ク生産費ヲ償フニ足ルノミ  
 ニシテ餘ス所幾何モナキモノナリ、近年ニ至リテ養禽業ハ漸ク發達シ獨立ノ産業ヲ形成スルノ傾向アルモ猶多クハ純  
 粹農業、酪乳業若クハ養豚業ノ副業トシテ行ハル、ヲ常トス然レトモ政府ハ養禽技師ヲ派遣シテ大ニ其發達ニ付キ保  
 護獎勵シタル結果養禽業ハ大ニ其面目ヲ改ムルニ至レリ

養禽業ノ收穫ニ至リテハ其統計充分ナラザルモ略ホ左表ノ如シ

濠洲養禽業ノ生産價格調査表

種類	千九百八年	千九百九年
「ニコ、サウス、 ウエールズ」洲	一、一〇、一〇〇	一、五、四七、〇〇〇
「ダエクトリア」洲	一、三〇、〇〇〇	一、五、四七、〇〇〇
「クキーンズラン」洲	一、五、〇〇〇	一、八、五、〇〇〇
「南オーストラリ」洲	三、九、三、三九九	三、九、三、三九九
「西オーストラリ」洲	一、三〇、五、四九九	一、三〇、五、四九九
濠洲聯邦	三、三、六、一、八八三	三、三、六、一、八八三

養禽業生産物ノ海外貿易ハ概略左表ニ示スカ如シ

養禽業生産物ノ輸出入調査表

種類	千九百五年		千九百六年		千九百七年		千九百八年		千九百九年	
	数量	價格	数量	價格	数量	價格	数量	價格	数量	價格
鶏卵	輸入	八四、五二七	一、九四三	八三、九二五	二、一八四	六〇、一一四	一、七九一	三、一、二、四七七	八、五、六	一、〇、〇七
	輸出	三三、〇四二	一、一九九	三六、〇九〇	一、七、七八	八、八、六八四	三、四、三二	一、〇、八一	一〇、五、三七	七、三三
生禽	輸入	一、四、四七	一、九八四	一、三、三〇	一、七、四七	九、五七七	一、六、三〇〇	一、三、九八六	二、六、二	九、四四
	輸出	四、〇〇〇	一、八六三	二、八〇六	一、七、六七	三、三、三〇	一、二、四八	二、二、九〇	四、七〇八	一、四、七五
冷肉	輸入	二、五八三	一、二二	一、九、九二	二、〇	三、九七	二、九一	四、一〇	二、八、四六	五、三二
	輸出	三、三、二、二八	八、九九	八、九、九二	三、三、三	一、四、五二	四、三	七、五	三、五、八五	一〇〇
家禽肉	輸入	四六、九九七	一、一、七、六五	三、四、六、五五	九、五〇六	三、二、六一	八、五、五、六	二、二、四、四四	七、三、三五	三、一、二、七
	輸出	一〇、八、八六六	一、〇、八、八六六	一、〇、八、八六六	九、一、七、五	八、五、二、三	二、二、四、四四	七、二、六〇	五、八、二、八	三、〇、一、七

其二 養蜂業

養蜂業ハ養禽業ト等シク從來ヨリ農業若クハ酪乳業ノ副業トシテ行ハレタルモノニシテ今日ト雖モ充分ニ獨立シタル  
 産業ヲ形成セルモノ少ナシ、今濠洲ニ於ケル蜂巢數、蜂蜜及ヒ蜜蠟ノ産額ヲ示セハ左表ノ如シ

蜂巢數、蜂蜜及蜜蠟ノ産額調査表

年次	洲名	蜂巢數	蜂蜜		蜜蠟	
			數量	價格	數量	價格
千九百八年	「ニュー、サウス、ウエールズ」洲	六八、三六八	二、六〇〇、三六三	二七、七〇〇	四八、四二七	二、七〇〇
	「ヴェグ トリア」洲	四三、二二三	一、三六、九九三	三、〇五〇	四、五二二	一、三〇〇
	「クエーンズランド」洲	一四、三三三	四四二、八二七	三、九九三	八、五五四	四〇二
	「南オーストラリア」洲	三三、六〇〇	九五三、三九五	八、九九八	一一、八五四	六九六
	「西オーストラリア」洲	一一、〇一一	二五五、四八九	三七六	六、四五四	五六五
	「ニュー、サウス、ウエールズ」洲	一六一、五七三	五、四五、〇六六	五七、四〇七	一〇〇、八一〇	五、六九三
	「ヴェグ トリア」洲	六九、九四六	三、〇六四、五二六	三、九二〇	五八、六九七	三、四〇〇
	「クエーンズランド」洲	四〇、五九五	二、七三三、六二八	二六、五四四	三六、六七四	一、九三三
	「南オーストラリア」洲	一四、八二二	四四五、四三三	四、一一九	九、七〇七	四九二
	「西オーストラリア」洲	二四、〇〇〇	一、〇〇九、七七一	一〇、四九七	一一、〇六三	六〇三
千九百九年	「ニュー、サウス、ウエールズ」洲	一六五、四〇二	七、一〇〇、四二二	七六、一〇一	一三三、三五八	六、九一五
	「ヴェグ トリア」洲	六四、七九九	二、〇六六、三三〇	二五、八〇〇	五三、〇〇八	三、一〇〇
	「クエーンズランド」洲	四二、六三三	一、六二一、二八四	一八、四六三	二二、三六九	一、三〇五
	「南オーストラリア」洲	一四、四七五	五四八、一七一	五、二三四	一一、八四九	六〇五
	「西オーストラリア」洲	二四、〇〇一	八二二、四八七	八、四六三	一〇、〇五九	五〇三
	「ニュー、サウス、ウエールズ」洲	一六、八四五	四〇九、三四五	四、二六四	九、八四二	五七四
	「ヴェグ トリア」洲	一六、八四五	四〇九、三四五	四、二六四	九、八四二	五七四
	「クエーンズランド」洲	一六、八四五	四〇九、三四五	四、二六四	九、八四二	五七四
	「南オーストラリア」洲	一六、八四五	四〇九、三四五	四、二六四	九、八四二	五七四
	「西オーストラリア」洲	一六、八四五	四〇九、三四五	四、二六四	九、八四二	五七四
千九百十年	「ニュー、サウス、ウエールズ」洲	一五九、六二八	五、四七、六二七	六二、二二四	一〇七、一一四	六、〇八七
	「ヴェグ トリア」洲	一五九、六二八	五、四七、六二七	六二、二二四	一〇七、一一四	六、〇八七
	「クエーンズランド」洲	一五九、六二八	五、四七、六二七	六二、二二四	一〇七、一一四	六、〇八七
	「南オーストラリア」洲	一五九、六二八	五、四七、六二七	六二、二二四	一〇七、一一四	六、〇八七
	「西オーストラリア」洲	一五九、六二八	五、四七、六二七	六二、二二四	一〇七、一一四	六、〇八七
	「ニュー、サウス、ウエールズ」洲	一五九、六二八	五、四七、六二七	六二、二二四	一〇七、一一四	六、〇八七
	「ヴェグ トリア」洲	一五九、六二八	五、四七、六二七	六二、二二四	一〇七、一一四	六、〇八七
	「クエーンズランド」洲	一五九、六二八	五、四七、六二七	六二、二二四	一〇七、一一四	六、〇八七
	「南オーストラリア」洲	一五九、六二八	五、四七、六二七	六二、二二四	一〇七、一一四	六、〇八七
	「西オーストラリア」洲	一五九、六二八	五、四七、六二七	六二、二二四	一〇七、一一四	六、〇八七

蜂蜜及蜜蠟ノ海外貿易額ハ左表ノ如シ  
蜂蜜及蜜蠟ノ輸出入調査表

種類	輸出入	千九百五年		千九百六年		千九百七年		千九百八年		千九百九年	
		數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格
蜂蜜	輸出	一一、〇三三	一三六	一一、〇三三	二七	一一、〇三三	九、三二五	九、八四二	一一、〇三三	二、四九九	
	輸入	一一、〇三三	一三六	一一、〇三三	二七	一一、〇三三	九、三二五	九、八四二	一一、〇三三	二、四九九	
蜜蠟	輸出	一〇〇、〇〇三	一、一三三	一〇〇、〇〇三	一、一三三	一〇〇、〇〇三	一、一三三	一〇〇、〇〇三	一、一三三	一〇〇、〇〇三	
	輸入	九、七六九	一、一九五	五五、六七九	九七四	九、七六九	一、一九五	九、七六九	一、一九五	九、七六九	
差引純輸	輸出	八六、七二〇	四、八六三	三〇、五七〇	一、七六八	二七、〇八六	一、六二八	四一、一七七	二、四九九	一、一〇六	
	輸入	七六、九五三	四、二七〇	一六、八四五	九八一	一三、〇二六	六四〇	三三、六五〇	二、〇一九	一六、四九九	

第五節 林業

濠洲ノ森林ハ「ユーカリ」、「アカシア」其他ノ常緑闊葉樹「アラウカリヤ」、「カサリナ」等ノ針葉樹ヲ主トスル常緑樹林ニシテ落葉闊葉樹トシテハ「タスマニア」高ニ唯一種山毛櫸屬アルノミナリ、濠洲ノ林業ニ關シテ概説スレハ左ノ如シ

其一 森林面積

濠洲聯邦内各洲ノ森林面積ハ未ダ其測量ヲ終ラサルモノアリト雖モ左表ニ示ス面積ハ略ホ正確ナルモノトシテ査定セラレタル所ナリ

濠洲ノ森林面積調査表 (千九百九年未現在)

洲名	木材ノ產出ヲ目的トシテ特ニ保存サレタル森林地	森林地總面積	各洲面積ニ對スル森林面積ノ比		濠洲聯邦總面積ニ對スル森林面積ノ比	
			特別保存林	總森林地	特別保存林	總森林地
「ニュー、サウス、ウエールズ」洲	七、六九〇、七七一	一五、〇〇〇、〇〇〇	三、八八	七、五五	〇、四〇	〇、七八
「ヴェグ トリア」洲	三、九八九、七〇〇	一一、八〇〇、〇〇〇	一〇、七	三〇、九八	〇、三三	〇、六八

「ク」キーンズランド	三、八七、三五三	80,000,000	〇、八九	九、三三	〇、一〇	二、一〇
「南」オーストラリア	一、五五、三三三	31,800,000	〇、〇六	〇、六六	〇、一〇	〇、一〇
「西」オーストラリア	五、二、九〇〇	10,000,000	〇、〇一	三、二七	〇、〇〇	一、〇一
「タ」スマニア	九、九七、四五四	11,000,000	五、九五	六、五五	〇、〇五	〇、六六
「瀛洲」	一、六、七三、五〇〇	101,000,000	—	—	〇、〇八	五、三三

上表掲載ノ森林地總面積ハ過小ニシテ瀛洲聯邦ノ森林地ハ恐ラクハ猶一層廣大ナルモノナラン、何トナレハ「西」オーストラリア「一」洲ニテモ其實際ノ森林地面積ハ九千七百九十萬「エ」ク「ル」アリト稱セラレ亦「ク」キーンズランド「瀛洲」ニ於テハ實際森林樹木ヲ以テ被ハレタル面積ハ總計一億四千三百萬「エ」ク「ル」ニ達スト稱セラル其他「ウ」エクトリア「瀛洲」ニアリテモ上表ニ掲載セサル灌木林ノ大面積ヲ有スルハ事實ナリ之ヲ要スルニ上表記載ノ森林地ナル字義ニ就テ各洲互ニ其解釋ヲ異ニシタルニヨルモノナルヲ以テ上表ハ其概略ヲ知ルニ過キササルモノトス、今參考ノ爲メ世界各國ノ森林面積ト瀛洲森林面積トヲ對照スレハ左表ノ如シ

世界各國森林面積調査表

國名	森林總面積	全國總面積ニ對スル森林面積ノ比	國名	森林總面積	全國總面積ニ對スル森林面積ノ比
瀛洲聯邦	一、五九、三三五	五、三三	英	四、八〇〇	三、九六
「ニ」ュージールランド	二、六、六七八	二、五、六五	佛	三、三、四〇七	一、五、六五
「ア」ルゲリア	九、六、二〇〇	二、八〇	「ス」ウエーデン	九〇、二、四二	五、二〇
獨逸	五、〇、二二五	二、五、六〇	「ノ」ルウエー	二、六、三〇〇	二、一一
「ス」ウエーランド	三、三、九〇〇	三、〇、六〇	「歐」羅巴	八、五、九、三七五	四、三、〇四
「イ」タリヤ	一、五、七、九六六	一、四、二、九	「北」米	一、〇〇〇、〇〇〇	三、三、六七
「オ」ーストリア	三、七、七〇〇	三、三、六	「カ」合衆國	八、三、六、〇〇〇	三、三、三三
「ハ」ンガリー	三、四、七、七五	二、七、七	「喜」望峯	五、三、七	〇、一、九
「ル」ーマニア	四、三、二二	八、五〇	英領印度	一、二、六、五六	一、一、七三

其二 森林ノ分布

瀛洲ニ於ケル最モ顯著ナル森林地ハ瀛洲大陸ノ東海岸ニ沿フテ其東南端ニ達シ更ニ之ヨリ「バ」ツ「ス」海峽ヲ渡リテ「タ」スマニア」島全體ニ連亘スルモノト瀛洲大陸ノ南西海岸地方ニシテ「レ」ウ「イ」ン」岬ヲ中心トシ一方ハ大陸ノ西海岸ヲ沿フテ略百四五十哩ノ間北方ニ連亘シ一方ハ其南海岸ニ沿フテ東方ニ走ル一帯地ノ大森林ナリトス、彼ノ有名ナル「西」オーストラリア「瀛洲」ノ「シ」ヤ「ラ」及「カ」リ」ノ大森林ハ實ニ此南海岸地帯ノ森林ニ於テ之ヲ見ルモノナリ

東海岸地方ハ最モ良材ニ富ム所ニシテ「ア」イ「オ」ン「バ」ーク」「ブ」リ「ユ」ガム」「グ」レ「イ」ガム」「ス」ホ「ッ」テ「ッ」ガム」等「ユ」ー「カ」リ」屬ノ大材ハ此海岸地方山脈ノ頂上ヨリ東海岸ニ面スル山腹及平原地等所ニ之ヲ産シ南東隅ニ至リテハ山脈ト海岸トノ間ニ横ハル地帯ハ概シテ良材ヲ以テ被ハル、ノミナラス此森林ハ山脈ヲ越ヘテ深ク内地ニ擴張スルヲ見ルナリ

「ア」デ「レ」イ「ド」市」ヨ「ク」平島及ヒ「エ」ー「ア」半島ヲ圍メル丘陵地ハ又良好ナル森林ヲ以テ被ハル、ヲ見ルヘク「西」オーストラリア」洲ノ北部「キ」ム「バ」ー「レ」ー」地方ニモ亦美良ノ森林アリ、南オーストラリア」洲ノ北部地方及「カ」ー「ベ」ン「タ」リア」灣ヲ圍ム一帯ノ土地モ亦極メテ良好ナル森林ヲ有スト云フ、然レトモ瀛洲ノ西海岸及ヒ北西海岸地方「グ」レ「イ」ト、オーストラリア」ン「バ」イ「ト」ノ海岸ニ沿フタル地帯並ニ「エ」ン「カ」ウ「ン」タ」一灣ニ接スル海岸地帯ハ共ニ山嶽ヲ有スルコトナク從ツテ又森林ナシ

瀛洲内地ハ樹木ヲ生スルコト少ク或ハ全ク生セサル土地多シ、内地到ル所々小面積ノ森林ヲ見ルコトアルモ此等ハ主トシテ山系ニ伴フテ生スルモノニシテ木材產出ノ用ニ供セラル、モノ少ナク唯荒涼寂寞タル廣原ヲ飾ルニ點々綠樹ノ森林ヲ散布シ以テ行人ノ目ヲ樂マシムルニ過キササルナリ

其二 森林ノ經營

瀛洲山林ハ多ク洲有林ト木材產出用保存林トニ區別セラレ木材產出用保存林ハ又永久保存林、定期保存林及不定期保存林ニ分タル「タ」スマニア」洲ヲ除キタル他各洲ハ山林局ヲ設置シテ盛ニ森林經營ニ從事セリ木材拂下ハ立木數ニ依

ルモノト立木地面積ニ依ルモノトアリ水源地若クハ國土ノ風致ニ關係アルカ如キ森林ハカメテ保護セラル而シテ現時ノ伐採箇所ハ運搬ノ關係上海岸地方若クハ鐵道線路ニ接近セル場所ニ限ラル、モノ、如シ、近來世界ノ市場ニ於テ木材ノ供給ハ漸ク減退シ稍モスレハ供給ハ需要ヲ満足ニ足ラサルモノアルノ事實ハ濠洲ニ於テモ識者ノ認ムル所トナリ此處ニ森林ノ調査ヲ行ヒ其結果森林法ノ發布ヲ見ルニ至リ濠洲ノ森林ハ今ヤ其面目ヲ一新セントスルノ域ニ達セリ、造林事業ニ關シテハ各洲其發達ノ程度甚タ異ナリト雖モ今日ニ在リテハ何レノ洲モ略ホ其必要ヲ認メ苗圃ヲ設置シ殖林ノ計劃ヲ實行シツ、アリ但シ「タスマニア」洲政府ハ財政上ノ關係及其他ノ事情ノタメ未タ森林事業ヲ經營スルニ至ラス、今濠洲ニ於ケル各洲政府ノ森林收入及ヒ支出ヲ調査スルニ左表ノ如シ

各洲政府ノ森林收入調査表

洲	名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
濠洲	「ニュー、サウス、ウェールズ」洲	四二、七三八	五〇、三九七	五六、〇四八	五七、五九三	六六、〇三〇
	「ヴェク トリア」洲	二二、五〇八	二四、九七一	二九、〇二三	四〇、六七八	三七、九九一
濠洲	「グキーンズランド」洲	一一、五七六	一四、五六〇	三三、三三六	二七、八八〇	三五、二〇〇
	「南オーストラリア」洲	三、八三三	二、九六一	三、四七四	三、四一六	三、〇八八
濠洲	「西オーストラリア」洲	二二、二二六	三三、七六三	三三、五〇〇	二九、四八四	三二、五五九
	「タスマニア」洲	三、五〇五	四、二二〇	三、八四一	三、八七一	三、八五〇
濠洲	濠洲聯邦	一〇三、三三五	一九、九二二	二八、一一三	一六、九三三	一七、七〇〇

各洲政府ノ森林費支出調査表

洲	名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
濠洲	「ニュー、サウス、ウェールズ」洲	一六、六三九	二〇、二五九	一九、五四五	二〇、一六九	二四、五二〇
	「ヴェク トリア」洲	三二、九七四	三三、一〇八	一八、七五四	二七、〇六六	二七、三三〇

濠洲	濠洲聯邦	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
「グキーンズランド」洲		五、二〇〇	六、七〇〇	六、九四〇	四、六五三	五、〇〇〇
「南オーストラリア」洲		六、四四五	六、八〇二	七、五四二	一〇、一七一	一六、四一一
「西オーストラリア」洲		五、七八五	六、二七〇	六、二七一	八、七五五	一〇、一四〇
「タスマニア」洲		四六九	四二六	四二四	一、四九二	一、一〇〇
濠洲	濠洲聯邦	五六、五二二	六一、五六四	五九、四七六	七二、三〇五	六三、五二二

木材、挽材及柚角ノ生産額ニ關スル各洲政府ノ調査報告ハ極メテ不完全ニシテ其詳細ヲ知ルヲ得スト雖モ其額略左表ノ如シ

濠洲聯邦ニ於ケル挽材及柚角ノ生産額調査表

洲	名	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
濠洲	「ニュー、サウス、ウェールズ」洲	一一、五八〇、〇〇〇	一一、九三三、〇〇〇	一一、三九八、〇〇〇	一一、一五三、〇〇〇	一一、四〇七、〇〇〇
	「ヴェク トリア」洲	四七、六三五、三五八	五二、一〇三、〇〇〇	五五、八七三、〇〇〇	五四、六〇二、〇〇〇	五〇、〇〇〇、〇〇〇
濠洲	「グキーンズランド」洲	七三、九三〇、二七九	八二、八〇一、八四六	九一、七五二、〇〇〇	一〇〇、七六〇、〇〇〇	一〇八、三九一、〇〇〇
	「南オーストラリア」洲	一五五、六六二	一三〇、七六三	一四三、〇〇〇	一四三、〇〇〇	一四〇、五〇〇
濠洲	「西オーストラリア」洲	一三七、二五〇、三四〇	一三六、二九四、六九七	一四〇、三九五、〇〇〇	一六五、七六六、〇〇〇	一七二、八二五、〇〇〇
	「タスマニア」洲	四〇、二七三、四三九	三九、四九八、六九七	三五、二六、〇〇〇	四四、三三五、〇〇〇	四五、〇三五、〇〇〇
濠洲	濠洲聯邦	四二一、八二五、〇六八	四二九、一六六、〇〇三	四一六、三八九、〇〇〇	四八九、〇五一、〇〇〇	五〇九、五六一、五〇〇

其四 林産物ノ海外貿易

木材ニ關スル海外貿易ハ主ニ硬軟質木材ノ交換ナリ其濠洲ヘノ輸入ハ専ラ軟質木ニシテ諸外國ヘノ輸出ハ硬質木ヲ以テス、今其輸出入ノ關係ヲ表示スレハ左ノ如シ

製材ノ輸入額調査表

輸入先國名	數					量					價					格				
	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	
英 國	31,006	45,554	16,035	182,063	192,891	52	553	3,484	3,563	3,031	1,083	1,016	3,563	3,484	3,563	1,016	1,016	3,563	3,484	
「ニュージブラン」	5,125	17,810	32,704	251	65	65	111	553	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	
英領諸國	5,970	5,333	2,069	129,208	192,891	52	553	3,484	3,563	3,031	1,083	1,016	3,563	3,484	3,563	1,016	1,016	3,563	3,484	
「ノルウェー」	44,016	52,377	36,152	422,671	275,266	15,054	48,056	303,173	332,288	303,173	1,083	1,016	3,563	3,484	3,563	1,016	1,016	3,563	3,484	
「スウェーデン」	2,422	7,121	7,959	12,821	8,715	15,054	48,056	303,173	332,288	303,173	1,083	1,016	3,563	3,484	3,563	1,016	1,016	3,563	3,484	
北米合衆國	1,737	1,710	3,283	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	
其他ノ諸國	1,426	1,530	5,495	1,072	748	1,260	899	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	
總計	48,209	62,431	48,399	582,322	392,891	15,054	48,056	303,173	332,288	303,173	1,083	1,016	3,563	3,484	3,563	1,016	1,016	3,563	3,484	

粗材輸入額調査表

輸入先國名	數					量					價					格				
	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	
英 國	163,204	124,515	80,888	540,755	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	
「カナダ」	7,320	7,933	8,622	16,999	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	
印度	29,350	82,542	34,674	77,674	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	
「ニュージブラン」	65,164	69,123	82,099	69,959	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	32,540	
海峽殖民地	128,687	147,757	135,871	333,025	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	
英領諸國	324,987	2,816	62,860	11,443	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	7,699	
日本	1,074	22,909	9,199	6,990	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	
「ジャバ」	1,299	537	805	479	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	
「ノルウェー」	1,299	2,987	5,007	3,899	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	4,677	
「ロシア」	337,550	1,346	8,859	6,597	2,157	2,157	2,157	2,157	2,157	2,157	2,157	2,157	2,157	2,157	2,157	2,157	2,157	2,157	2,157	

濠洲ヨリ輸出セラル、粗材ハ左表ニ示スカ如シ  
濠洲ニ於ケル粗材輸出額調査表

輸出先國名	數					量					價					格				
	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
英 國	30,076	25,561	14,156	210,700	192,891	167,081	5,566	88,000	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016
「カナダ」	420	568	368	1,234	493	4,077	5,566	4,077	4,077	4,077	4,077	4,077	4,077	4,077	4,077	4,077	4,077	4,077	4,077	4,077
喜望峯殖民地	15,244	4,556	4,960	143	261	1,028	3,855	25,629	1,353	1,353	1,353	1,353	1,353	1,353	1,353	1,353	1,353	1,353	1,353	1,353
「セイロン」	1,765	25	22	3	2	6,779	2,232	2,232	2,232	2,232	2,232	2,232	2,232	2,232	2,232	2,232	2,232	2,232	2,232	2,232
「ヒマチヤ」	1,255	1,733	1,899	1,533	1,304	8,715	11,599	12,444	10,783	10,783	10,783	10,783	10,783	10,783	10,783	10,783	10,783	10,783	10,783	10,783
印度	47,441	63,499	40,304	39,995	55,363	38,443	5,218	26,680	27,682	27,682	27,682	27,682	27,682	27,682	27,682	27,682	27,682	27,682	27,682	27,682
「マウリチウス」	1,405	810	6	241	1	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556
「ナタール」	7,433	1,866	1,543	961	3,473	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556	1,556
「ニューギニア」	96	142	94	152	748	1,260	899	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016	1,016
「ニュージブラン」	17,671	17,755	22,222	36,664	100,438	110,480	15,985	24,865	24,865	24,865	24,865	24,865	24,865	24,865	24,865	24,865	24,865	24,865	24,865	24,865
太平洋諸島	234	574	705	974	407	3,935	5,579	7,914	7,914	7,914	7,914	7,914	7,914	7,914	7,914	7,914	7,914	7,914	7,914	7,914
海峽殖民地	290	1,047	254	1,838	602	1,953	5,849	1,909	9,943	3,877	3,877	3,877	3,877	3,877	3,877	3,877	3,877	3,877	3,877	3,877
其他ノ英領諸國	769	5	506	4,743	4,022	5,495	3,8	2,777	3,142	3,142	3,142	3,142	3,142	3,142	3,142	3,142	3,142	3,142	3,142	3,142
「アルゼンチン」英和國	835	2,948	1,423	1,590	1,344	1,965	7,618	7,618	7,618	7,618	7,618	7,618	7,618	7,618	7,618	7,618	7,618	7,618	7,618	7,618
「ベルヂューム」	90	509	1,286	2,515	1,820	3,913	7,659	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961



輸 入		輸 出	
種 類	千九百五年	千九百六年	千九百七年
「ベニア」板	二、九五九	二、八八一	三、七四八
製材	二、九五九	四、三五五	二、九八七
粗材	一、五五九	二、〇六一	一、五三六
丸材	二、三二六	一、八〇三	一、六、五九一
軒縁梁木等	三、一九七	一、三三三	二、五二
門扉材料	五〇九	六七六	一、五八
輻輪縁其他車輛材	一、八、二三五	一九、九三七	四〇、六七七
計	一、〇七、二七五	一、三三、四五六	一、八、九四三
「ベニア」板	五、三五三	六、八八六	七、四三六
製材	九、九四、五一九	九、七九、五〇〇	七、六〇、二二四
粗材	二、二、九八八	二、二、六六二	二、三、四七五
丸材	四、九、五三三	三、〇、六五五	三、五、四七一
軒縁梁木等	一一七	五六九	六六
門扉材料	四一	九六	一〇八
輻輪縁其他車輛材	一、八、九九九	一、六、八八五	一、七、〇六
計	一、〇、七〇三	一、〇、二、一一一	一、〇、三、一一三
「ベニア」板	二、五九、四九〇	三、〇、四七七	三、七、〇〇三
製材	二、五九、四九〇	三、〇、四七七	三、七、〇〇三

輸 入	輸 出
種 類	種 類
「ベニア」板	「ベニア」板
製材	製材
粗材	粗材
丸材	丸材
軒縁梁木等	軒縁梁木等
門扉材料	門扉材料
輻輪縁其他車輛材	輻輪縁其他車輛材
計	計

濠洲ニ於ケル木材ノ輸出入價格調査表

支那	支那	支那	支那	支那
「エジプト」	「エジプト」	「エジプト」	「エジプト」	「エジプト」
八、三三二	二、三三五	二、八四五	七、三三三	五、四、八二六
二、〇七三	二、〇	九二	一〇、一七六	一、三、八一九
四、四一〇	三、九八五	二、一九九	二、〇、二七	二、七、三九四
日 本	四〇三	五二七	七三	三三、七六
「カイゼル」ウイ	三〇	六五	七〇	五三五
「ヘルム」島	七	三五	一五	一、九五
「マッシュナル」群島	一〇二	五六二	四六〇	三、四一八
「ネザラント」	一、一七五	八六九	二四五	二、八五五
「ニューボネルン」	三三	一一一	二〇四	八四一
「ニューカレドニア」	一五三	一三六	一九〇	八八三
「ヒリッピン」群島	二、五五七	一〇、五八九	三〇六	一、二、五五六
「ポルトガル」領東部	一〇、四三三	八二五	三、四五五	一、八、六三六
阿弗利加	二五二	四二五	二四八	一、七、一〇
南 海 諸 島	四三三	五八二	四二	四、六八三
北米合衆國	一、九二八	六、一三七	四、一五	二、八五三
「ウルガイ」	一四三	九六七	三三〇	四〇、九二二
其 他	一、七、七六	一、二、五、四三七	一、四、七、七八一	七、一、八四
計	一、五、八、三七	一、五、四、三三	一、四、七、七八一	九、九、五、三〇



入超過ヲ來セリ其他白檀材ノ輸出四萬五千二百二十磅、蘇皮用樹皮ノ輸出超過額七萬九千七百七十一磅アリテ之ヲ差引クモ  
林産物ニ對シテハ猶五十五萬五千六百六十八磅ノ輸入超過ヲ見ルナリ、特ニ近來濠洲ニ於ケル農業牧畜業及ヒ酪乳業ノ發達  
ハ最モ顯著ニシテ其輸出額ノ益々増加スルニ伴ヒ此等輸出品ニ對スル包裝用箱材ノ需要ノ如キモ年々著シキ増加  
ヲ來スト雖モ濠洲ニハ此等箱材ニ適當セル樹種ニ乏シキニヨリ目下各洲共競フテ之ヲ植栽ニ務メツ、アリ然リト雖モ  
勞銀ノ高價ト勞働者ノ缺乏トハ大ニ其實施ヲ阻害スルモノアルヲ以テ濠洲ニアリテハ今後猶此等箱材ノ輸入ハ益々増  
加スルナル可シ、之ヲ要スルニ濠洲ノ林業ハ他ノ生産業ニ比スレハ極メテ幼稚ナリト云フ可シ

### 第六節 水産業

濠洲ハ南緯十度ヨリ同四十五度ノ間ニ位シ四面皆海ニシテ海岸線ノ延長略二萬二千五百二十哩ニ達シ海ニハ熱帶及温  
帶産ノ魚介多ク河川湖沼モ亦濠洲産魚類並ニ輸入移殖セラレタル外國産ノ魚類ノ多數ヲ有スルニ係ラス其水産業ハ未  
タ充分ナル發達ヲ見サルモノナリ、玆ヲ以テ濠洲人ハ魚食人種ニアラストハ嘗テ一般ニ唱導セラレタル所ナリシカ近  
來凍魚醃魚若クハ罐詰トシテ多額ノ魚介ヲ遠キ多國ヨリ輸入スルヲ以テ見レハ前言ノ事實ト相反シ魚食人種ナルコト  
ヲ證シテ餘リアリト云フヘシ而シテ濠洲水産業ノ不振ハ一ニ水産物取引ノ方法其當ヲ得サリシニヨリ漁業ノ收得甚タ  
少ナキニ拘ラス消費者ノ支拂フ所極メテ高ク兩者間ニ著シキ逕庭アルト漁業ニ關スル智識ノ缺乏セルトニ起因スルヲ  
知ル、玆ニ於テカ經濟上此缺點ヲ補フ目的ヲ以テ「シドニー」市會ハ先ツ同市ニ魚市場ヲ建設シ之ヲ監督ヲ嚴ニシ漁  
業者ト顧客トノ疏通ヲ計リ各洲又此計劃ヲ贊シ之ヲ採用セリ其他鐵道貨車及ヒ汽船内ニハ冷藏庫ヲ設備シ魚類ノ運搬  
ヲ便利ナラシムルモノ續出スルニ至レリ

千九百七年以前ニアリテハ海中ノ事情ニ暗ク魚族轉棲ノ季節漁場ノ位置區域及ヒ最モ良好ナル漁獲方法等ニ關スル智  
識ニ缺乏シタリシヲ以テ聯邦政府ハ上記ノ諸項ヲ究明シ之ヲ一般公衆ニ周知セシメントノ目的ヨリ千九百七年漁業研  
究船ノ建設ヲ決定シ之レニヨリテ建設セラレタル研究船「エンディボーア」號ハ千九百九年三月九日ヨリ其任務ニ服  
シ以來連續實施セラレタル海上巡邏ノ結果ハ種々ノ報告ヲ齎シ一般國民特ニ漁業者ヲ利益セシコト甚タ多シト稱セラ  
ル

千九百八年末ニ於テ「スコットランド」ノ漁業調査委員ハ濠洲ノ海岸ニ漁業殖民地ヲ建設シ魚類ノ鹽藏罐詰及ヒ燻製  
ヲ行ヒ又魚油肥料ノ製造工業ヲ起サントノ計劃ヲ以テ之ヲ調査ニ從事シ而シテ其報告ニ依レハ此等ノ事業ハ最モ有利  
ナルモノナリト云フ

濠洲ニ於ケル食用魚族ハ其種類極メテ多キヲ以テ之ヲ詳説ヲナスコト能ハスト雖モ、就中海産魚類中珍味トシテ世界  
ニ其名ヲ知ラル、モノハ濠洲大陸ノ海岸ヲ離レタル大洋中ニテ捕獲セラル、鼈ナリトス、其他ノ鹽水産食用魚族中主  
ナルモノヲ舉クレハ鱈、黑鯛、赤鯛、鰈、「サヨリ」、「カマス」比目魚、「ソイ」、「青魚」等ニシテ淡水産魚族ニアリテハ「モラ  
レー」鱈、鱈、鱈、鰈等ヲ以テ其主ナルモノトス、濠洲大陸内ノ河川ニシテ其適所ト認メラル、所ニハ英國産ノ鱈及  
其他ノ魚族ノ蕃殖ヲ計劃セラレタリシモ同洲ニ於ケル鱈ノ漁業ハ遂ニ至ル所好望ナラサリシト稱セラレタリ然レトモ  
「タスマニア」島ノ河川湖沼ニ於ケル鱈及ヒ鮭ノ漁獵ハ旅客ノ常ニ娛樂トスル所トナリ、鰈、「クルマエビ」、蟹、牡蠣、  
及ヒ其他ノ貝類ハ濠洲到ル所ノ海中ニテ之ヲ捕獲スルコトヲ得ヘシ

聯邦政府ハ地方水産業ノ發達ヲ計リテ千九百七年七月一日以後五箇年間燻製罐詰其他ノ貯藏魚類ノ每一「ポンド」ニ  
對シ半片ノ獎勵金ヲ下付ストノ法律ヲ發シ其一箇年間ニ下付シ得ヘキ獎勵金ノ最高額ヲ一萬磅ト規定セリ、而シテ千  
九百十年六月三十日迄ニ支出セラレタル獎勵金ノ金額ハ二千六十五磅ニ達セリ

濠洲ニ於ケル水産業ノ著シク發達スヘキ未來ヲ有スルコトハ過去五箇年間ニ濠洲ニ輸入セラレタル水産物ノ價格ノ略  
四十一萬六千磅ニ達セシヲ見ハ自ラ明ナルヘシ  
牡蠣、牡蠣ハ江灣河口等ニシテ水底淺キ部分ニ産シ其産額極メテ多カリシカ近來亦人工ヲ以テ其養殖ヲ企圖スルモノ



種類	千九百五年		千九百六年		千九百七年		千九百八年		千九百九年	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格
牡蠣ノ漁獲	一八、五七三	二〇、六七	三〇、一〇〇	三三、五九	七九、八三三	五七、五九〇	五九、一〇九	一、七三〇	二七〇、三五六	七、七七八
眞珠ノ採取	七四一	六〇三	六〇三	六二五	三、八九〇	三、八五三	一、七八六	一、七七〇	一、七七〇	一、七七〇
眞珠貝ノ收穫	三、五四九	三、七七	一、七四七	一、七四七	二、四九一	二、四九一	三、八九〇	三、八九〇	三、八九〇	三、八九〇
眞珠ノ收穫	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三
海參ノ收穫	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三
鼈甲ノ收穫	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三	一、八三三
合計	四〇、三八七	四三、六八七	四三、六八七	四三、六八七	四三、六八七	四三、六八七	四三、六八七	四三、六八七	四三、六八七	四三、六八七

濠洲ニ於ケル海産物ノ海外貿易額ヲ示セハ左表ノ如シ  
濠洲ニ於ケル海産物輸出入額調査表

種類	千九百五年		千九百六年		千九百七年		千九百八年		千九百九年	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格
輸出	一五、七六六	三、四八八	一七、〇二四	三、七〇七	一六、八七四	三、九二一	一六、八七四	三、九二一	一六、八七四	三、九二一
輸入	六、四三三	二、七六六	六、三七一	二、五〇七	八、八一	三、九二一	七、四〇〇	二、四〇〇	七、四〇〇	二、四〇〇
差引輸入超過額	一五、〇三三	三、三三三	一六、五五三	三、二〇〇	一五、九六三	三、五〇〇	一五、九六三	三、五〇〇	一五、九六三	三、五〇〇

以上ノ外濠洲熱帯地方ノ海岸ニテ採取セラル、眞珠貝及鼈甲ノ輸出入額ヲ示セハ左表ノ如シ  
濠洲ニ於ケル眞珠貝及鼈甲輸出調査表

種類	千九百五年		千九百六年		千九百七年		千九百八年		千九百九年	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格
眞珠	四七、六四八	二、五二、八九五	三五、六三三	二、二、二四三	四一、二四四	二、五二、〇〇三	四〇、七四六	二、五〇、九〇一	三五、〇七九	二、二、七六三
鼈甲	四、一三九	二、八三二	四、八三五	二、五〇七	三、五六六	二、一九二	五、三三〇	二、七六三	三、二〇七	一、五五七
合計	五一、七八七	二、五五、七二七	四〇、四八八	二、二、七五〇	四四、八一〇	二、五三、一九五	四六、〇七六	二、五二、六六四	三八、二八六	三、八二〇

第七節 鑛業

鑛業ヨリスル年々ノ生産額ハ目今農業牧畜業若クハ製造工業ノ夫レト比シテ著シク劣ルト雖モ千八百五十一年ニ於ケル金鑛ノ發見ハ實ニ濠洲ニ多數ノ移住民ヲ召集シ立國ノ基礎ヲ定メシメタルモノナリ此事實ハ一般ニ能ク知ラレタル所ナルヲ以テ茲ニ贅セス千八百四十一年ニ於ケル濠洲ノ人口ハ僅カニ二十二萬一千人ナリシカ千八百六十一年末ニ至リテハ金山發見ニ伴フテ其人口一躍百十六萬八千人ニ増加シタル事實ヲ指摘スルニ止メントス  
現在ニ於ケル濠洲ノ鑛業ハ世界ノ他ノ鑛業國ニ比シテ遜色ナシト雖モ其將來ハ如何トノ問題ニ對シテハ何人ト雖モ恐ラクハ之カ明答ヲ與フルモノナカルコト極メテ多キヲ以テ濠洲鑛業ノ未來ハ決シテ悲觀スヘキモノニアラサル可タ充分ニ探險セラレサル土地ヲ有スルコト極メテ多キヲ以テ濠洲鑛業ノ未來ハ決シテ悲觀スヘキモノニアラサル可シ、今千九百五年ヨリ千九百九年ニ至ル五箇年間ニ於ケル濠洲鑛業ノ生産額ヲ調査シタル左表ニ依レハ濠洲鑛業資源ノ種類ト富力トノ概略ヲ知ルニ足ル可シ

濠洲聯邦ニ於ケル主要鑛産物ノ産出額調査表

種類	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
アルミニウム	六、七五〇	四、六三七	五、二五五	二、七〇五	八、七九一



以下重要鑛産物ニ關シテ其概略ヲ記述セントス

其一金

濠洲ニ於ケル金鑛ノ發見ハ著シク其人口ヲ増加シ立國ノ基礎ヲ定メタルモノナルヲ以テ歴史家ハ此時代ヲ以テ歴史的時代ヲ形成スルモノトセリ、今各洲ニ於ケル金鑛發見ノ時日ヲ示セハ左ノ如シ

「ニュー、サウス、ウェールズ」洲、「ニュー、サウス、ウェールズ」洲ニ於テ初メテ金ノ發見セラレタルハ千八百二十三年二月十六日ニシテ測量助手タリシ Tame McBrien 氏ニヨリテ「フィッシュリア」(Fish River)ノ近傍ニ於テ發見セラレシヲ以テ嚙矢トス次テ千八百三十九年ニ至リテ Count Strzelecki 氏ハ「リスゴ」ニ近キ「クライド」(Clydd)ノ谷ニ金鑛ノ存在スルコトヲ報告シ Rev. W. B. Clarke 氏ハ千八百四十一年ニハ「ロックス、リビア」(Cox River)ニテ金鑛ヲ發見シ千八百四十二年ニハ「ウァロンディリー」(Wollondilly)ニテ金鑛ヲ發見セリ、降テ千八百五十一年ニ至リ Hargraves 氏ハ「レウイス、ボンド」(Lewis Ponds)「サンデー、ヒル、クリーク」(Summer hill Creek)及ヒ「マクマゴリー」河 (Macquarie River)ニ於テ彼ノ有名ナル砂金鑛ヲ發見セリ、此發見ニ付テノ新聞ハ世界ノ各方面ニ流布セラレ其結果探金者ノ多數ヲ濠洲ニ誘致シ夥シク其人口ヲ増加セリ之ヲ濠洲ニ於ケル金鑛探掘ノ嚙矢トス、著名ノ金山ニシテ其後ニ至リ發見セラレタルモノハ左ノ如シ

「ホルプス」(Forbes)ノ砂金鑛 千八百六十二年發見

「ロッキー」河 (Rocky River)ノ砂金鑛 千八百五十六年發見

北部地方ノ河川ノ河口ニ於ケル砂金 千八百七十年發見

「マウント、ドリスデール」(Mount Drysdale)ノ金山 千八百七十一年發見

「ワイアロン」(Wyalong)ノ金鑛 千八百九十三年發見

「ヴェクトリア」洲「ヴェクトリア」洲ニ於ケル金鑛ノ發見、恐ラクハ千八百五十年三月 Hon. W. Campbell 氏ニ依

リ「クローンス」(Clunes)ニテ發見セラレタルモノハ其最初ノモノナルヘク之ニ次キテ千八百五十一年七月五日ノ告示ニテ「ヤーラ」山脈ニ於ケル金鑛ノ Mr. L. J. Nichol 氏ニ依リテ發見セラレタルコトヲ布告シ又「ピレニース」(Pyreness)山ニ在リテハ Mr. James Esmond 氏ニ依リテ金鑛ノ發見セラレタル事實ヲ見ルニ至レリ、其後久シカラシテ「アレキササンダー」山ニ近キ多數ノ金山ハ開發セラレタリ、現今金鑛業ノ中心地トシテ有名ナルモノハ「ペンディゴ」バララート「ビーチウァイス」カッスルメイン「マリイ、ポロー」ギップスランド「アララット」及ヒ「スタウエル」地方ノ金山ナリトス其後千九百六年十一月ニ至リテ彼ノ有名ナル「ターナグラ」(Tarnagulla)ノ金山ハ發見セラレタリ

「クローンスランド」州「クローンスランド」州ニ於ケル「カナル、グリーンク」及ヒ「グラッドストーン」ノ金鑛ノ發見セラレタルハ千八百六十二年ニシテ次キテ千八百六十五年「クニコダイル、グリーンク」金山ノ發見トナリ之ト相前後シテ「ローズウード」(Rosewood)及ヒ「ギンビー」ノ二金山ノ發見セラレ、アリ「タウンズビル」(Townsville)ノ金山ハ其翌年開發セラレ「ギルバート」(Gilbert River)河ノ金山ハ千八百六十九年ニ發見セラレタリ其他著名ノ金山ノ發見ノ時日ヲ擧クレハ次ノ如シ

「チャーターズ、タワース」(Charters Towers)金山 千八百七十二年發見

「バルマー」(Palmer)金山 千八百七十三年發見

「ホッチキンソン」(Hodgkinson)金山 千八百七十五年發見

「マウント、モルガン」(Mount Morgan)金山 千八百八十二年發見

「クロイドン」(Croydon)ノ金山 千八百八十六年發見

「スタルク」(Starke)金山 千八百九十年發見

「コイン」(Coen)金山 千九百年發見

「アリマス、リバー」(Alice River) 金山 千九百四年發見  
 南「オーストラリア」州 濠洲ニ於テ最モ早ク金鑛ノ發見セラレタルハ南「オーストラリア」州ナリト稱セラル、モ未タ其發見ノ時日ヲ詳ニセス、然レトモ其金鑛ノ探掘ヲ實施セシハ千八百四十六年一月ニシテ場所ハ「アデレード」市ヲ去ル東方約十哩ノ地點ナリ之レ濠洲ニ於ケル金鑛探掘ノ嚆矢ナリトス、其後各所ニ於テ金山ノ發見セラレタルモノアリシモ金鑛業ハ本州ニ於テハ今日ニ至ル迄充分ナル發達ヲ見サリキ然レトモ本州ニハ未タ充分ニ探險セラレサル土地ノ大面積ヲ有シ其探險ニ伴フテ漸次金鑛ノ發見セラレ得ヘキ望アルモノ、如シ例之ハ本州ノ北部地方ニ在リテハ其探險ニ伴フテ各所ニ大面積ノ金鑛ノ發見セラル、モノアリテ千九百八年ニハ其總額八千五百七十五「オンス」價格二萬七千五百十二磅ニ達シ内千二十一磅ハ悉ク「ドリイフォルド」(Dierfeld)ニ於テ發見セラレタルモノナリト云フ、夫レ斯クノ如ク北部地方ニテハ近年ニ至リテ金山ノ發見セラル、モノ漸ク多キヲ加ヘタルヲ以テ多數ノ労働者ヲ使役シテ之カ探掘ニ從事シ千九百八年ニ在リテハ其使役總人員八百二十四人ニ達シ内六百七十四人ハ支那人ナリト稱セラル

西「オーストラリア」州 西「オーストラリア」州ニ於ケル金鑛發見ハ濠洲東海岸ニ於ケル各州ニ比スル時ハ其發見ノ時日甚タ遲シト雖モ現今ニ於ケル其產額ハ遙カニ他諸州ニ超越セリ、本州ニ於ケル金鑛發見ノ沿革ハ千八百四十八年「マーチソン」地方ノ銅鉛鑛山ヨリ合金鑛石ヲ「アデレード」市ニ送付シ其分析ヲ依頼シタルニ始マレリ、降リテ千八百五十二年乃至千八百五十三年ニ至リテ東部地方ノ牧羊者及其他ノ人々ニ依リテ屢々合金鑛石ノ標本ヲ携帶セラル、モノアリシモ彼等ハ其自ラ發見シタル位置ヲ確ムルコトヲ得ス皆其發見ヲ水泡ニ歸セシメタリ、千八百五十四年 Hon.A. C. Gregory 氏「ボース」河 Bowes River ニ顯出スル石英岩中ニ金ヲ含有スルコトヲ發見シ又千八百六十二年 Mr. Panton 氏「ノーザン」(Northam) 附近ニテ金鑛ヲ發見セリ其後久シカラスシテ牧羊者ハ再ヒ合金鑛石ノ標本ヲ「ノーザン」ノ東方ニ於テ發見セシモ之レ又其位置ヲ失ヒ所在ヲ確ムルコト能ハサリキ、其後種々ノ小

發見ハ各所ニ行ハレタリト雖モ未タ金鑛探掘ヲ計劃スルニ足ルモノナカリキ、千八百八十二年 Mr. A. Mc. Roe 氏ハ「コサック」ヨリ「ローバーン」(Roeburne) ニ騎行セシ際偶然其重量十四「オンス」ノ金塊ヲ發見セリ、千八百八十五年 Hall 氏夫婦 Slatery 氏及其他ノ人々ニ依リテ有名ナル「エルビール」(Elvire) 「マーガレット」(Margaret) 及ヒ「オールド」(Ord) 諸川ニ於ケル金鑛ノ發見セラル、アリ相續キテ「キンバレー」ノ金山(千八百八十六年五月ノ發見)「イルガルン」(Yilgarn) 金山(千八百八十七年發見セラレシモノナレド)「マリナ」(Malina) 金山(千八百八十「ピルク」(Pilkara) 金山(千八百八十「アッシュバートン」(Ashburton) 金山(千八百九十「ザルナー」(Zalgor) 金山(千八百九十「マーチソン」金山(千八百九十「發見セラレタリ、千八百九十二年ニ至リテ Bayley 及ヒ Ford ノ兩氏ハ「クールガルヂイ」(Coolgardie) 金山ヲ發見シ或日ノ如キハ半日ニテ金ノ五百「オンス」ヲ得タルコトアリト云フ、千八百九十三年五月「ゲンガリ」(Goongahrie)ニ於ケル砂金ハ Frost 氏ニ依リテ發見セラレタリ「カルグリー」(Kalgoorlie) 金山ハ同年六月 Flannigan 夫人及ヒ Hannan 氏ニ依リテ發見セラレ「バルドック」(Bardoc)ノ金山ハ同年八月 Cashman 夫人及ヒ Lee 氏ニ依リテ發見セラレ「シベリア」(Siberia)ノ金山ハ同年十月 Frost 及ヒ Bonner 兩氏ニ依リテ發見セラレタリ、千八百九十四年ニハ西「オーストラリア」州ニ於テ多數ノ有名ナル金鑛ノ發見アリ「マウント、ジャクソン」(Mount Jackson)「ピンナクルス」(The Pinnacles)「ユルベユル」(Billy Billy)「ブローン」(Balong)「ロンドンデル」(London-derry)「ウィルス、オブ、ネーション」(Wealth of Nations)等ノ金山即チ之レナリ「ウィルス、オブ、ネーション」金山ノ發見者タル Mr. J. D. Dunn 氏ハ數日間ニテ金ノ二萬磅ヲ得タリト稱セラル同年七月 Mr. L. Sinclair 氏ハ「ノースマン」(Norseman)金山ヲ發見セリ、「メンヂース」(Menzies)ニ於ケル「レデ、シエントン」(Lady Shenton)金山「ナイアガラ」(Niagara)金山、「クナナルリン」(Kunaling)ニ於ケル「ハンドアクロスシー」(Hand across Sea)金山ハ千八百九十五年ニ發見セラレ之レニ次キテ「ブラックベイ、ヒル」(Blackbay Hill) 金山ハ千八百九十七年ニ發見セラレ「ドンネイブルック」(Donnebrook) 金山ハ千八百九十八年ニ發見セラレタリ其翌年即チ千八百九十九年ニモ亦多數



ノ金山ハ西オーストラリア州内ニテ發見セラレタリト云フ

「タスマニア」州 「タスマニア」島ニ於ケル金ノ發見ハ「ロンセストン」市ノ Riva 氏ニ依リテ始メテ行ハレタリト稱セラル即チ氏ハ千八百四十九年「ナイン、マイル、スプリングス」(Nine Mile Springs) 附近ニ於ケル板岩中ニテ金ヲ發見シタリト云フ最モ價値アル發見ハ千八百五十二年ニ於ケル「フィンガル」(Fingal)ニ近キ「ヌーク」(Nook)金山ノ發見ニシテ其他「タワー、ヒル、クリーク」(Tower Hill Creek)及「ナイン、マイル、スプリングス」附近ニ於ケル小金山モ又同年ニ發見セラレタリ、千八百五十九年ニ至リテ「フィンガル」(Fingal)合金石英鑛ハ始メテ探掘ヲ開始セラル、ニ至リ恰モ此年 James Smith 氏ハ「フォルト」(Forth)河ニ於テ金鑛ヲ發見シ Peter Leete 氏ハ「イングリズ」(Ingles)河ノ支流ナル「カルダー」(Caldar)河ニテ金鑛ノ發見ヲナシタリ千八百六十九年ニ至リテ S. Richards 氏ハ「ナイン、マイル、スプリングス」ニ於テ合金鑛脈ヲ發見セリ其他著名ナル金山ノ發見時日ヲ示セハ左ノ如シ

「マンガナ」(Mangana)金鑛 千八百七十年發見  
「オーターハウス」(Waterhouse)金山 千八百七十一年發見  
「ヘルキル」(Helyer)金山、「デニソン」(Denison)金山、「ブランドイクリーク」(Brandy Creek)金山ハ何レモ千八百七十二年發見

「リスル」(Lisle)金山 千八百七十八年發見  
「ストラッドストーン」及「カム」(Cam)金山ハ千八百八十一年發見  
「ミンノウ」(Minnow)金山及「リビア、フォルト」(River Forth)金山ハ千八百八十二年發見  
「ブランキスホルム」(Brankholme)金山及「マウント、ヴェクトリア」金山ハ千八百八十三年發見  
「マウント、ライエル」(Mount Lyell)金山ハ千八百八十六年發見

金ノ産額 濠洲ニ於テ金鑛ノ發見セラレシ以來千九百九年ニ至ル迄各州ニ産出セラレタル金産額ノ總數ヲ調査スレ

ハ左表ノ如シ然レトモ舊時ニアリテハ其調査報告ニ缺クル所アルヲ以テ左表ニ示ス産額ハ實際ヨリ多少少ナカルヘシト云フ

自千八百五十一年濠洲ノ金産額調査表

年	次	ニュー、サウス、ウェールズ州	ヴェクトリア州	クイーンズラン	南オーストラリア州	西オーストラリア州	タスマニア州	濠洲聯邦
千八百五十一年		四六三、三三六	八五一、五九六					一、三一九、九三三
千八百五十二年		二、六六〇、九四六	九、一四六、一四〇					一、八〇七、〇八六
千八百五十三年		一、七八、一七三	一〇、九七六、三九三					二、七五七、五六一
千八百五十四年		七三三、二〇九	八、八三三、九三三					九、六四七、一四一
千八百五十五年		六五四、五九四	一一、二七七、一五三					一一、九三二、七四六
千八百五十六年		六八九、一七四	一一、二二四、九七六					一二、九二二、九五〇
千八百五十七年		六七四、四七七	一一、三三〇、八五三					一二、九九八、二〇五
千八百五十八年		一一、〇四、一七五	一〇、三六四、九三三					一一、四九一、四四一
千八百五十九年		一一、二五九、一七二	九、三九四、八二二					一〇、六五一、六六九
千八百六十年		一、四六五、三三三	八、八九六、二七六					一〇、三三三、二八〇
千八百六十一年		一、八〇六、一七一	八、四〇〇、六九三					九、九五〇、〇〇〇
千八百六十二年		二、四六七、七八〇	六、九三〇、八〇四					九、四〇一、五二五
千八百六十三年		一、七九六、一七〇	六、七九九、二七六					八、五八七、三六六
千八百六十四年		一、三〇四、九二六	六、四八九、七八八					七、八六一、三二七
千八百六十五年		一、三三一、二四三	六、四四六、二六六					七、七五一、六七五
千八百六十六年		一、二六八、四〇四	六、一八七、七九二					七、三三三、五二二
千八百六十七年		一、〇五三、五七八	六、〇〇五、七六四					七、二四一、八六九
千八百六十八年		九五四、六六五	六、七九一、六七二					八、二二三、七六五
千八百六十九年		九七四、一四九	六、一七九、〇三三					七、五八六、九六一
				四一七、六八一	一五、五九三		二、五三六	五二四
							四、三三二	
							二、二四、八六九	
							七、七五二、六七五	
							七、三三三、五二二	
							八、二二三、七六五	
							七、五八六、九六一	
								二、五三六
								五二四
								七、五八六、九六一

千八百七十年	九三二〇、一六	五、二七、二六	三九〇、九二五	二四、二七	六、五七〇、八四九
千八百七十一年	一、二五〇、四八五	五、四七五、七六八	四九二、六三五	六、〇〇〇	七、三九〇、一〇六
千八百七十二	一、六四四、一七七	五、三三五、五〇八	五二七、三五五	六、三六三	七、五九〇、四六八
千八百七十三年	一、三九六、三七五	四、六八一、五八八	五七二、九九六	二九三	六、六九〇、六四三
千八百七十四年	一、〇四一、六八四	四、三九〇、五七三	一、〇八二、八九九	四、七五	六、五三七、七五一
千八百七十五年	八七七、八九四	四、二七三、六六八	一、一九六、五八三	七、〇三四	六、三六六、九六一
千八百七十六年	六三三、一九〇	三、八五五、〇四〇	一、四四〇、二八二	九、八八八	五、六三三、三三三
千八百七十七年	四七一、四四八	三、三六六、六二二	一、〇四三、七八〇	九〇	四、七七七、二二九
千八百七十八年	四三〇、一〇〇	三、〇三三、一六〇	一、四四九、二四〇	一、三三五	四、七〇八、二〇八
千八百七十九年	四〇七、二一九	三、三六六、四八四	九四四、八六九	九〇	四、九〇六、九〇三
千八百八十年	四四四、二五三	三、三三三、五二二	九五七、五七〇	一一、八二五	五、一九四、三九〇
千八百八十一年	五三三、五八二	三、四八八、四四〇	七五五、八六八	八五、三五四	一七六、三三七
千八百八十二年	五五六、五三三	三、三三三、五二二	七五五、八六八	八七、七二九	一七六、四四三
千八百八十三年	四八八、五三〇	三、一一一、〇二二	七三六、八一〇	九三、四〇四	一六〇、四〇四
千八百八十四年	三九六、〇五九	三、一一一、〇二二	一、〇六二、四七一	八八、七〇九	一五五、三〇九
千八百八十五年	三七八、六六五	二、九四〇、八七二	一、〇六二、四七一	一四〇、七七七	一七二、二五〇
千八百八十六年	三六六、二九四	二、六六〇、七八四	一、一八七、一八九	九五、六七四	一五八、五三三
千八百八十七年	三九四、五七九	二、四七一、〇〇四	一、四八一、九九〇	一四〇、七七七	一四七、一五四
千八百八十八年	三三七、二四一	二、五〇〇、一〇四	一、六九〇、四七七	六九、〇〇七	一四七、一五四
千八百八十九年	四三三、七四四	二、四九九、三五二	二、六九五、六二九	八四、九五六	一四七、一五四
千八百九十年	四六〇、二八五	二、三五四、二四〇	二、一八二、五六三	〇一、五七七	七五、八八八
千八百九十一年	五五九、三三二	二、三〇五、五九六	二、〇〇〇、三三二	二六、〇八一	一五、一八二
千八百九十二年	五七五、二九九	二、六七一、八二四	二、一六四、三九一	二二、二八四	一四、五五九
千八百九十三年	六五一、八六六	二、六八四、五〇四	二、一六七、七九四	二〇、六九一	一五八、九七
千八百九十四年	一、一五六、七二七	二、八六七、八一六	二、三三〇、二八二	一四三、一〇〇	一四一、三三六
				七、七〇、九一九	二二七、〇三四

二百四十二

千八百九十五年	一、三二五、九九	二、九六〇、三四四	二、一五〇、五六二	八七九、七四八	二〇六、一五	七、六四一、五七三
千八百九十六年	一、〇七三、三六〇	三、三三〇、三三八	二、一三三、九七九	九五、五六〇	一、〇六八、八〇八	七、八二六、六二九
千八百九十七年	一、一〇四、三五	三、二五一、〇六四	二、五三三、六六八	一三〇、三三〇	二、五六四、九七七	九、八八九、九四
千八百九十八年	一、二〇一、七四三	三、三九四、〇二八	二、七五〇、三四八	九五、四六五	三、九九〇、六九八	一一、六七八、七七
千八百九十九年	一、六三三、三〇〇	三、四一八、〇〇〇	二、八三八、四四六	七九、四七七	六、二四六、七三三	一四、五三三、一九〇
千九百一年	一、〇七〇、九九〇	三、二九六、六二八	二、八七、五七八	八二、四八二	六、〇〇七、六一〇	一三、五七八、四三六
千九百二年	七三七、六四四	三、一〇二、七五三	二、五四一、七六四	九三、三三三	七、三三三、六五三	一四、〇〇五、七三三
千九百三年	六八四、九〇〇	三、〇六二、〇二八	二、七〇一、五二二	九五、〇三三	七、九四七、六六一	一四、八一、九四七
千九百四年	一、〇八〇、三二九	三、二五九、四八三	二、八三九、八〇一	九〇、三五〇	八、七〇七、二九九	一六、二九四、六八四
千九百五年	一、一四六、一〇九	三、二五三、〇四五	二、七二四、九三三	八〇、〇〇八	八、四二四、二二六	一五、八九〇、三三七
千九百六年	一、一六五、〇三三	三、一七三、七四四	二、五二七、二九五	七六、八二四	八、三〇五、六五四	一五、五五〇、九一〇
千九百七年	一、〇五〇、七三〇	二、九五四、六一七	二、三三三、四六四	八一、二二五	七、二二〇、七四九	一四、六三三、七四五
千九百八年	九五四、八五四	二、八四九、八三八	二、一九七、九三八	六二、四六八	七、二二〇、七四九	一三、五二五、一〇九
千九百九年	八六九、五四六	二、七七八、九五六	二、一九七、九三八	六二、四六八	六、九九九、八八二	一三、〇五八、八五三
總計	五七、一八九、二八三	二、八五、一〇〇、三八九	七〇、二四、五七三	二、八四〇、二〇六	九一、七八〇、五六三	五、四四、〇九一、五二七

次ニ最近九箇年間聯邦各州ニ於ケル金ノ生産額ヲ「オンス」ヲ以テ示ス時ハ左表ノ如シ而シテ純金「オンス」ノ價格ハ四磅四志十一片一分ノ五ナリ(但シ「オンス」ハ我カ八匁二分九厘ニ該當ス)

濠洲ニ於ケル金ノ産量調査表

年次	ニュー・サウス・ウェールズ州	ヴェクトリア州	タスマニア州	南オーストラリア州	西オーストラリア州	タスマニア州	濠洲聯邦
千九百一年	一七三、五四三	七〇〇、四五〇	五九八、三六二	二、九四六	一、七三三、四一七	六九、四九〇	三、二九七、二二八
千九百二年	一六一、二五六	七〇〇、八六三	六四〇、四三三	三、四一三	一、八七二、〇三九	七〇、九九六	三、四八七、〇三〇
千九百三年	二五四、二六〇	七六七、三四七	六六八、五四六	二、二四七	二、〇六四、八〇三	五九、八九二	三、八三六、〇九五

二百四十三

千九百四年	二六九、八一七	七六五、五九六	六三九、一五〇	一、八八三、三〇〇	六五、九二二	三、七四二、五四九
千九百五年	二七四、二六七	七四七、一六三	五九二、六二三	一、八〇八、六	七三、五四〇	三、六六〇、九九五
千九百六年	二五三、九六七	七二二、二九〇	五四四、六三六	一、七九四、五四八	六〇、〇三三	三、四四四、六〇六
千九百七年	二四七、三六三	六九五、五七六	四六五、八八二	一、六九七、五五五	六五、三五四	三、一八一、七二八
千九百八年	二三四、七九三	六七〇、九〇九	四六五、〇八五	一、六四七、九二二	五七、〇八五	三、〇七四、三二五
千九百九年	二〇四、七〇八	六五四、二二二	四五五、五七九	一、五九五、二七〇	四四、七七七	二、九六七、三五二

世界ニ於ケル金ノ總産額ト濠洲ニ於ケル金ノ産額トヲ對照スル時ハ左表ノ如クシテ千九百九年ニ於ケル世界ノ産金額ハ總計略九千二百萬磅ニシテ同年ニ於ケル濠洲ノ産額ハ略千二百五十萬磅ナルヲ以テ世界總金額ノ略二三、七「プロセント」ニ該當スルヲ見ルナリ

世界ニ於ケル金ノ總産額調査表

年次	世界ニ於ケル金ノ總産額	濠洲ニ於ケル金ノ産額	世界ノ總産額ニ對スル濠洲ノ金産額ノ割合
千八百九十七年	四八、一九六、〇〇〇	九、八九〇、〇〇〇	二〇、五二
千八百九十八年	五八、二一六、〇〇〇	一、六七九、〇〇〇	二、〇〇九
千八百九十九年	六三、〇一五、〇〇〇	一四、五三三、〇〇〇	二三、〇六
千九百一年	五二、〇八六、〇〇〇	一三、五七八、〇〇〇	二六、〇七
千九百二年	五三、三三九、〇〇〇	一四、〇〇六、〇〇〇	二六、二六
千九百三年	六〇、六一九、〇〇〇	一四、八二二、〇〇〇	二四、四三
千九百四年	六六、七七一、〇〇〇	一六、二九五、〇〇〇	二四、四一
千九百五年	七〇、五四四、〇〇〇	一五、八九七、〇〇〇	二二、五三
千九百六年	七六、八三九、〇〇〇	一五、五五一、〇〇〇	二〇、二四
千九百七年	八三、一〇〇、〇〇〇	一四、六三三、〇〇〇	一七、五九
千九百八年	九〇、三七〇、〇〇〇	一三、〇五九、〇〇〇	一四、四五
千九百九年	九一、九二〇、〇〇〇	一三、六〇五、〇〇〇	一三、七一

千九百八年	九〇、三七〇、〇〇〇	一三、〇五九、〇〇〇	一四、四五
千九百九年	九一、九二〇、〇〇〇	一三、六〇五、〇〇〇	一三、七一

世界ノ金産額トシテ濠洲ハ「トランスバール」及ヒ北米合衆國ニ亞キテ第三位ヲ占ム今其關係ヲ明瞭ナラシムルタメ世界金産額ニ於ケル連年ノ産額ヲ表示スレハ左ノ如シ

世界ノ金産額ニ於ケル産金額調査表

國名	千八百九十七年	千九百年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
トランスバール	一一、六五四、〇〇〇	一、四八一、〇〇〇	二七、四〇一、〇〇〇	二九、九七三、〇〇〇	三〇、九八八、〇〇〇
北米合衆國	一一、七六七、〇〇〇	一六、二六九、〇〇〇	一八、五八三、〇〇〇	一九、五六六、〇〇〇	二〇、四一八、〇〇〇
濠洲聯邦	九、八九〇、〇〇〇	一三、五七八、〇〇〇	一三、五三五、〇〇〇	一三、〇五九、〇〇〇	一三、六六五、〇〇〇
メキシコ	二、〇四五、〇〇〇	一、八八四、〇〇〇	三、七三三、〇〇〇	四、一三七、〇〇〇	四、五三二、〇〇〇
印度	一、五七一、〇〇〇	一、八九三、〇〇〇	二、三三四、〇〇〇	二、一七六、〇〇〇	二、〇九〇、〇〇〇
カナダ	一、二二〇、〇〇〇	五、七四二、〇〇〇	一、七二五、〇〇〇	二、〇二五、〇〇〇	一、九三〇、〇〇〇
朝鮮	一〇八、〇〇〇	三七、一〇〇	四七、一〇〇	四八、〇〇〇	四八、〇〇〇
日本	一四、二〇〇	二九、〇〇〇	三九、六、〇〇〇	四五、七、〇〇〇	五〇、〇、〇〇〇
日朝	八〇〇	三〇、〇〇〇	二、二九〇、〇〇〇	二、五三六、〇〇〇	二、六二四、〇〇〇
ローデシア	八五、〇〇〇	三六、〇〇〇	一、一六四、〇〇〇	一、一九五、〇〇〇	九七九、〇〇〇
ゴルトコースト	八、五〇〇	一四、二〇〇	二、六七〇、〇〇〇	三、四一五、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇
マダガスカル	二、四〇〇	一、一〇〇	四、九〇〇	六、一〇〇	七、三〇〇
ジャバ	二、〇〇〇	三、一〇〇	四、〇〇〇	五、〇〇〇	六、〇〇〇
コスタリカ	二、〇〇〇	三、一〇〇	四、〇〇〇	五、〇〇〇	六、〇〇〇

其二 銀及銀鉛

濠洲ニ於ケル銀産地ハ「ニュー、サウス、ウェールズ」州ノ「ブローケン、ヒル」及ヒ「タスマニア」州ノ「ヂーハン」(Zeehan)

地方ヲ以テ最トス而シテ過去數年間「クエーンズランド」州ニ於ケル銀產額モ亦著シキ増加ヲナセシモ其他ノ諸州ニ至リテハ微々トシテ振ハス

「ニュー、サウス、ウェールズ」州ニ於テ最モ有名ナル銀山ハ「ブローケン、ヒル」ノ銀山ニシテ此地方ノ銀鑛ハ目下十  
一ノ會社ニ依リテ盛ニ探掘セラレ居レリ「ブローケン、ヒル」ハ其長サ略二哩ニ亘ル低キ山脈ニシテ地質ハ結晶片麻岩、  
石英岩、雲母片岩、角閃片岩及ヒ剛砂岩等ヨリ成リ此銀山ニ在リテハ良質ノ鑛石ノ地表ニ近ク顯ハル、モノアレトモ  
多クハ地下鑛脈ヨリ探掘セラル、ヲ以テ深キ豎坑ヲ有スルコト多ク其中最モ深キモノハ千四百九十呎ニ達スト云フ此  
地ノ鑛石ハ多ク白鉛鑛鹽化銀沃化銀臭化銀及硬滿鑛ヲ含有スルモノナリ此地方ノ銀及銀鑛ハ過去十數年間其產額ヲ  
増加シ來リシモ價格ノ下落セシヨリ收利鮮ク且ツ千九百九年ニ於ケル此地鑛業夫ノ同盟罷工ハ大ニ其產額ヲ減シ千九  
百八年ニ在リテハ其產額百四十四萬七千五百四噸ナリシモノ千九百九年ニハ減少シテ僅カニ百三萬二百八十七噸ヲ生産  
セシニ過キサリシト云フ、前者ニ次キテ有名ナル銀山ハ南部鑛山地方ニ於ケル「キランデレイ」(Yerranderie)ノ銀山ニ  
シテ千九百九年ノ銀ノ產額實ニ七十一萬九千二百六十四「オンス」ニ達シ其外金及鉛ノ少額ヲ出セリ此銀山ハ運搬費ニ  
多額ノ經費ヲ要スルヲ以テ常ニ困難ヲ感シツ、アリ今後鐵道ノ敷設セラル、ニ至ラハ大ニ其面目ヲ一新スルナル可シ  
而シテ目下鐵道建設ノ計劃アリト稱セラル其他「バーロワ」(Barrow)「ヤース」(Yass)及ヒ「クータームントラ」(Coorambundra)地方ニ於ケル銀山ハ近來稍々活氣ヲ呈シ來レリ

「タスマニア」州ニ於ケル銀鑛ノ主產地ハ本島ノ西海岸地方ニシテ就中主ナルモノハ「マウント、デーバン」(Mt. Zeehan)「デーバン、モンタナ」(Zeehan-Montana)「デーバン、ウェスターン」(Zeehan-Western)「オーナー」(Onah)「ヘン  
ト」(Conet)「ヘルキールス」(Hercules)「アデレード」(Adelaide)「ノース、マウント、フアーレル」(North Mt. Farrell)及「タスマニア  
ン、ロバー」(Tasmanian Copper)鑛山ナリトス、千九百九年ニ於ケル銀鑛ノ總產額ハ八萬三百七十八噸其價格二十九萬八千八百八十噸ニシテ千九百八年ノ產額ハ六萬三千六百七十七噸價格三十二萬二千七磅ナリ千九百七

年ノ產額五十七萬二千六百五十磅ニ比シテ著シク減少セシハ「Tasmanian Smelting Company」カ一時鑛業ヲ停止シタル結果ナリト云フ

「クエーンズランド」州ニ於ケル銀山ハ「チラゴ」(Chillagoe)「モンタルピオン」(Montalban)「ドライ、リバー」(Dry-River)及ヒ「セルハイム」(Selheim)等ニシテ就中「チラゴ」ノ銀山ハ最モ有名ナリ、然レトモ此地ニ近キ彼ノ有名ナル「レディ、デーバン」(Lady Jane)銀山ハ千九百九年二月土地ノ陥落ニ依リテ廢坑ニ歸シタリト云フ  
玆ニ濠洲ニ於ケル銀及銀鑛ノ產額ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル銀及銀鑛ノ產額調査表

年次	「ニュー、サウス、ウェールズ」州	「クエーンズランド」州	「タスマニア」州	「オーストラリア」州	「オーストラリア」州	濠洲聯邦
千八百八十一年	三、六二一、六一四	五、三三九	一、一八三	一、一八三	一、一八三	三、一三九
千八百九十一年	一、九五四、九六四	六、〇一七	二、一八七	二、一八七	二、一八七	三、七七一、八二五
千九百〇一年	一、四八七、八三七	六、五五〇	六、九三四	六、九三四	六、九三四	二、三六七、六八七
千九百一一年	一、五九一、九六九	四、九〇〇	七、二八五	七、二八五	七、二八五	二、〇〇四、一四一
千九百二一年	二、一三一、五〇四	四、八八八	一〇、九一七	一〇、九一七	一〇、九一七	二、一三二、二二一
千九百三一年	二、四九六、七〇九	四、九九〇	九、六四一	九、六四一	九、六四一	二、五九九、一八一
千九百四一年	二、八六四、〇五七	四、一〇〇	一〇、三三八	一〇、三三八	一〇、三三八	三、〇六五、九六七
千九百五一年	四、二九〇、一三六	四、九八〇	一五、一五七	一五、一五七	一五、一五七	三、六三三、九一一
千九百六一年	二、三四六、九四一	四、三三五	一八、七六七	一八、七六七	一八、七六七	五、〇九五、四六六
千九百七一年	一、八三九、六八八	二、三二〇	一六、七三六	一六、七三六	一六、七三六	二、九一一、四一一
千九百八一年						二、三三九、一六四
千九百九一年						

其二 銅

銅ノ產額ハ各州共ニ銅價ノ變動ニヨリテ著シク影響ヲ被ルモノニシテ千九百八年ニアリテハ銅價著シク低落シ銅山ノ

多クハ其事業ヲ停止シタルモノアリシヲ以テ大ニ其産額ヲ減セリ今濠洲聯邦各州ニ於ケル銅産額ヲ表示スレハ左ノ如シ

濠洲ニ於ケル銅産額調査表

年次	「ニュー、サウス、ウェールズ」州	「クエクトリア」州	「クイーンズランド」州	「南オーストラリア」州	「西オーストラリア」州	「タスマニア」州	濠洲聯邦
千八百八十一年	二七、六六七	八、一八六	一九、六三	四一八、二九六	—	—	六七、七八六
千八百九十一年	一一九、一九五	二二六	三、五五四	三三三、三七	四、四六三	—	三六二、七四五
千九百一年	四二、二九二	—	一九四、二二七	五〇〇、七二七	七五、二四六	一、〇六、七四六	二、二〇八、五九〇
千九百五年	五二七、四〇三	—	五〇三、五四七	四八三、四三三	一六、二六六	五六三、二七五	二、〇九三、九三三
千九百六年	七八九、五二七	—	九一六、五四六	七三三、六七	五〇、三三七	八四四、六六三	三、三四四、七四四
千九百七年	七二七、七七四	—	一、〇二八、一七九	七〇五、〇三	三〇三、三七六	八六九、六六六	三、五三六、三八二
千九百八年	五〇二、八二二	三、九八八	八九三、五五五	三四五、九六六	五七、〇九二	六〇九、六五一	二、四二二、九八五
千九百九年	四二四、七三七	四四	八五三、一九六	三四二、三三九	一〇四、六四四	六〇八、〇三八	二、三三三、九八八

濠洲ニ於テ銅ノ産額ノ最モ多キハ「クイーンズランド」州ニシテ就中有名ナルハ「クルンカリ」(Cluncurrly)「ハーバー」トハ(Herberton)「マウント、ペリー」(Mount Perry)及ヒ「スタウトホープ」(Stouthorpe)ノ銅山ナリ其他「チャゴ」(Chagoo)「ヨーク、ダウンス」(Peak Downs)「マッキンレイ」(McKinlay)「ライヒ、ハルト」(Teichhardt)「マウント、コーラ」(Mount Coora)「ギグンガン」(Gigonggan)「テバー」(Tebur)等ノ銅山アリ

「ニュー、サウス、ウェールズ」州モ亦銅鑛ニ富ミ其鑛石ハ専ラ地表ニ近ク各所ニ顯出ス、此等合銅層ノ面積ヲ合スル時ハ殆ンド四百三十萬「エーグル」ニ達ス可シト稱セラル

第四 錫

錫ノ産額モ主トシテ其價格ニ依リテ左右セラル、コト銅ト等シキヲ以テ價格ノ變動ニ伴フテ盛衰アルハ免レサル所ナリ、今濠洲ニ於ケル錫ノ産額ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル錫産額調査表

年次	「ニュー、サウス、ウェールズ」州	「クエクトリア」州	「クイーンズランド」州	「南オーストラリア」州	「西オーストラリア」州	「タスマニア」州	濠洲聯邦
千八百八十一年	五六八、七九五	七、三三四	一九三、六九九	—	—	—	一、一四五、〇三三
千八百九十一年	一一三、九六三	五、〇九三	一一六、三六七	一、九三六	一〇、二〇〇	二九三、一七〇	五六〇、七五〇
千九百一年	七六、五四四	四、一八一	九三、七三三	五、五八六	四〇、〇〇〇	二二、五四三	四三三、五七三
千九百五年	二六、一一〇	一一、一五九	二九七、四五四	三三、七六八	八六、八四〇	三六二、六七〇	一、〇〇八、〇〇一
千九百六年	二五五、七四四	一一、六四四	四九〇、六三三	三六、九〇七	一五七、六四四	五五七、二六六	一、五〇九、四八七
千九百七年	二九三、三〇五	一〇、五三二	四九六、七六六	四、三六五	一六六、一三九	五〇一、六八一	一、五〇九、七八七
千九百八年	二〇五、四四七	六、〇七〇	三四一、五五六	三五、八七六	八三、五九五	四二、五八〇	一、〇九四、一三三
千九百九年	二二一、〇二九	七、〇六七	二四四、九二七	三三、七四二	六五、九五九	四一八、一六五	九七九、八八八

濠洲ニ於ケル錫ハ殆ント悉ク第三紀系及ヒ第四紀系ニ形成セラレタル含錫花崗岩ノ碎屑ヨリナル漂積層中ヨリ採掘セラル、モノニシテ從來ハ現今ノ河床底ヨリ採掘セラレタリシカ漸次缺乏セルニヨリ軌近ニテハ地質時代ニ於テハ河川ナリシモ土地隆起ノ結果現今ハ陸地トナリ玄武岩質ノ進出岩石ヲ以テ被ハル、昔時ノ河床ヨリ採掘セラレ居ルヲ見ル「ニュー、サウス、ウェールズ」州中錫ノ産地トシテ著名ナルハ主山系ニ連続セル高原地方ニシテ其南部及ヒ北部地方ヲ以テ最トス、「ニュー、サウス、ウェールズ」州ニアリテハ此等ノ合錫層ノ面積ハ略ホ五百四十四萬「エーグル」ニ達スト稱セラル「クイーンズランド」州モ亦錫ヲ産スルコト多ク其主ナルモノハ「ハーバートン」「カンガローヒル」「スタウトホープ」地方及ヒ「カンニバルグリーク」ノ錫鑛山等ナリ

其五 亞鉛

濠洲ニ於ケル亞鉛ノ生産ハ「ニュー、サウス、ウェールズ」州ノ「ブローケン、ヒル」地方ニ限ラル、モノニシテ他ニ其

産出ヲ見ス此鑛山ニ在リテハ亞鉛ハ閃亞鉛鑛ヨリ製練セラル、モノナリ、「ブローケン、ヒル」銀山ノ鑛屑ヨリ亞鉛ヲ製練シ得ヘシトハ長キ以前ヨリ唱導セラレタル所ナリシカ千九百九年ニ至リテハ既ニ其試驗時代ヲ經過シ之カ製練ハ實地ニ計劃セラル、ニ至リ大ニ亞鉛ノ産額ヲ増加セリ即チ千八百九十九年ニ於ケル亞鉛ノ輸出ハ四萬九千八百七十九噸ナリシモ千九百九年ニ至リテハ劇増シテ三十七萬三千九百六噸此價格百四萬一千二百八十磅ノ輸出ヲ見ルニ至レリ、「ブローケン、ヒル」ハ永年世界ニ於ケル鉛ノ廉價生産地トシテ其位置ヲ占メタルモノナリシカ今日以後ハ世界ノ亞鉛界ニ向テ多大ノ貢獻ヲナス可キ機運ニ際會セルヲ見ルナリ、今「ニュー、サウス、ウェールズ」州ニ於ケル亞鉛ノ産額ヲ示セハ左ノ如シ

「ニュー、サウス、ウェールズ」州ニ於ケル亞鉛産額調査表

年次	亞鉛ノ産額	價	格	年次	亞鉛ノ産額	價	格
千八百八十九年	九七	九八	千九百七年	三三、三九	五三、六二〇		
千八百九十一年	三九	二六、三三	千九百八年	二七、七〇	六〇、八八三		
千八百九十九年	四九、八七九	四九、二〇七	千九百九年	三三、九〇六	一〇、一、二八〇		

其六 鐵

濠洲ニ於ケル鐵鑛ノ分布ハ極メテ廣ク且大ニシテ種類亦從テ多シ其主ナルモノハ磁鐵鑛、褐鐵鑛、赤鐵鑛、沼鐵鑛等ナリ、「ニュー、サウス、ウェールズ」州ニ在リテハ磁鐵鑛ハ「カヂア」(Cadia)地方ニ多ク赤鐵鑛ハ「ブリュー、マウンテン」「マコーレー、レンヂ」「シクトン」(Cicon)「マタゴンク」(Mitagong)「ベリマ」(Berrima)「リスゴン」(Ollrelaw)「ヴォルワンク」及ヒ「カヂア」地方等ノ各所ニ現ハレ沼鐵鑛ハ「ミッタゴンク」ニテ採掘セラル、千九百五年「ニュー、サウス、ウェールズ」州地質局ノ報告ニ依レハ採掘ニ適ス可キ鐵鑛ノ總量ハ五千三百萬噸ニ達スト稱セラル「ヴェクトリア」州ニ於テモ亦到ル所鐵鑛ニ富ミ就中「ノワ、ノワ」(Nova Nowa)及ヒ「ドウキー」(Dookie)ニ於ケルモノ最モ

名アリ、「クォーンズランド」州ハ鐵鑛ヲ有スルコト多シト雖モ主トシテ金銀鑛ノ鑛劑トシテ採掘セラル、モノナリ、千九百九年ニ於ケル鐵鑛ノ採掘量ハ四萬八千六百三十六噸ナリシカ内四萬七千八百八十五噸ハ「ロックハンプトン」地方ノ「アイオン、アイランド」(Iron Island)ヨリ採掘セラレタルモノニシテ悉ク「マウンテン、モルガン」金山ノ鑛劑トシテ使用セラレタリ南「オーストラリア」州ニ於テモ鐵鑛ハ主トシテ金銀鑛ノ鑛劑トナス目的ヲ以テ採掘セラル、モノ、ミナリ、本州ニ於ケル最モ著名ナル鐵山ハ「アイオン、ノッフ」(Iron Knob)ニシテ「ボート、オーガスタ」ヲ南西ニ去ルコト四十哩ノ地點ニアリ「ミンガライ」(Mingary)ニ近キ「カタナ」(Cathana)ノ鐵山ハ褐鐵鑛ニシテ多少ノ赤鐵鑛ヲモ含有シ「マウンテン、チャグド」鐵山ハ主トシテ赤鐵鑛ヨリ成ル其他多數ノ小鐵山ハ各所ニ散在セリ

西「オースト、ラリア」州ハ又鐵鑛ニ富ムト雖モ未タ十分ニ探險セラレサルモノ多シ此州ニ在リテモ亦鐵鑛ハ單ニ鑛劑トシテ採掘セラル、ニ過キス其主ナルモノハ「マーチソン」地方及ヒ「グーラン、アイランド」(Koolan Island)ノ鐵山等ナリ、「タスマニア」州モ亦鐵鑛ニ富ミ管テ製鐵會社ノ創立ヲ見タリシコトアリシカ不幸ニシテ幾何モナクシテ廢業スルニ至レリ「ブライス」(Blythe)及ヒ「ゴララー、リバア」地方ハ鐵鑛ニ富メルヲ以テ有名ナリ

夫レ斯クノ如ク濠洲ハ著シク鐵鑛ニ富ムノミナラス「ニュー、サウス、ウェールズ」州ノ如キハ製鐵業ニ必要ナル石灰及ヒ石灰岩ノ産出多キヲ以テ其經營ハ極メテ有望ナルモノナルニモ係ラス斯業ノ發達ノ頗ル遅緩ニシア聯邦ニ於ケル唯一ノ製鐵所タル Lithgow Sand Ford 會社ノ如キサヘモ猶「ニュー、サウス、ウェールズ」州政府ノ補助ニ依リテ辛クシテ其營業ヲ持續シツ、アルノ状態ナレハ濠洲聯邦ニ於ケル製鐵業ハ概シテ不成功ナルモノナリトス

茲ヲ以テ政府ハ製鐵業ヲ保護獎勵スル目的ヲ以テ千九百八年發布ノ製造工業獎勵法ニ於テ濠洲産ノ鐵鑛ヲ以テ製造シタル鉄鐵、鋼鐵、及ヒ鍊鑄鐵棒ニ對シ獎勵金ヲ下附スルコトヲ規定セリ、其概要左ノ如シ

濠洲産各種製鐵ニ對シ獎勵金下附割合及下附期間調査表

種	類	獎勵金下附割合	獎勵金ヲ下附ス可キ期間
濠洲産鐵鑛ヲ以テ精練シタル鉄鑛	同	一噸ニ付十二志	千九百十四年六月三十日マテ
濠洲産鐵鑛ヲ以テ製造シタル鍊鐵鑛棒	同	同	同
濠洲産鉄鐵ヲ以テ製造シタル鋼鐵	同	同	同

其七 其他ノ金屬

以上記載セルモノ、外濠洲ニ産スル金屬質鑛物トシテハ白金、「アルミニウム」、「アンチモニー」、「砒素」、「バリウム」、「蒼鉛」、「クロシニウム」、「カルノタイト」、「コバルト」、「水銀、滿俺」、「モリブデナム」、「ラヂウム」、「トウングスラン」、「タンタルム」等アルモ經濟上ニ影響スル所少ナキヲ以テ之カ詳説ヲ省ク

其八 石炭

濠洲ノ石炭ニ富メルコトハ世界ニ周知セラレタル事實ニシテ「ニュー、サウス、ウェールズ」州ニ於ケル「ニュー、カッスル」炭坑ノ如キハ最モ著名ナルモノナリトス今濠洲聯邦各州ニ於ケル石炭ノ産額ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲聯邦ニ於ケル石炭ノ産額調査表

年次	「ニュー、サウス、ウェールズ」州		「クワイーンズランド」州		「タスマニア」州		濠洲聯邦	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格
千八百八十一年	一七九、九七七	一、四三、七六六	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三
千八百九十一年	四〇三、五九三	一、四三、七六六	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三
千九百零一年	五、六八、四三六	二、七九、九三九	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三
千九百零二年	五、九四、〇二二	二、三〇、六八八	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三
千九百零三年	六、四四、八六六	二、三九、六〇六	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三
千九百零四年	六、〇九、八〇九	一、九四、九三九	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三
千九百零五年	六、六三、三三六	二、〇〇、四三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三

千九百零六年	七、〇六、三三三	二、三三、三三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三
千九百零七年	八、六七、九三九	二、九三、三三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三
千九百零八年	九、四七、〇五五	三、三三、三三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三
千九百零九年	七、〇九、八〇九	二、六八、八六六	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三	一、一八、六三三

即チ石炭ノ産額最モ大ナルハ「ニュー、サウス、ウェールズ」州ニシテ之ニ亞キテ「クイーンズランド」州アリ以下西「オーストラリア」州「ヴェクトリア」州「タスマニア」州等順次其産出額ノ少ナキヲ見ル、南「オーストラリア」州ニハ未ダ石炭ノ産出ナシ

以下少シク聯邦各州ニ於ケル石炭分布ノ状態及ヒ其産額ニ關シ記述ス可シ

「ニュー、サウス、ウェールズ」州 「ニュー、サウス、ウェールズ」州ニ於ケル石炭ノ總量ハ學者ニ依リテ屢々査定セラレシカ其得數ハ常ニ一致セサリキ然レトモ地下四千呎以下ニ於ケルモノヲ除キタル石炭ノ總量ハ十億噸以上ナリトハ何人モ一致シタル所ナリ、「ニュー、サウス、ウェールズ」州ニ於ケル石炭層ハ次ノ三種ニ區別セラル

地質學上ノ時代	石炭ヲ有スル地層ノ最大厚サ	石炭産出地方	石炭ノ性質
第三紀系 — Devonian 層	一〇〇	Kiampra, Galgong, 及 J Clouth Bay	褐炭
中古界ノ三疊系	一、五〇〇	Clarence & Richmond R.	單ニ地方ノ使用ニノミ通シタル石炭
大古界—上部石炭系	一、一〇〇〇	北部炭藏、南部炭藏、及ヒ西部炭藏地方	瓦所製造家、事用若クハ蒸氣機關用トシテ良好ナル石炭
大古界—石炭系	一〇、〇〇〇	Stroud	極メテ劣等ナルモノ

上表ニ示ス褐炭ハ之ヲ燃料トシテ使用ス可ク計劃セラレタルコトナシ「クラーレンス」及「リッチモンド、リバー」地方ニ於ケル三疊系ニ屬スル地層内ニ現ハル、石炭ハ灰分ヲ有スルコト極メテ大ナルヲ以テ地方的ノ使用ニ耐ユルモ工業用ノ燃料トスルニ適セス此層ハ西部ノ大平原ノ下部ニ擴張スト雖モ此平原内各所ニ存在スル噴水井ハ恐ラクハ此石炭ノ採掘ヲ阻止スルナル可シ「ニュー、サウス、ウェールズ」州ニ於テ最モ良好ナル石炭ノ現出スル地質ハ上部石

炭系ニ屬スルモノニシテ其石炭層ノ面積ハ殆ント二萬五千平方哩ニ達スト云フ、此層ニ屬スル石炭ハ其現出ノ地方ヲ異ニスルニ從テ著シク其性質ヲ異ニスルモノナリ例之ハ北部炭礦地方(「ニュー、カッスル」)ノ石炭ハ最モ瓦斯製  
造用及家事用ニ適シ南部炭礦地方(「イラワラ」Illawarra)及ヒ西部炭礦地方(「リスゴン」)ニ現ハル、石炭ハ蒸汽機關  
ノ燃料ニ使用シテ最モ良好ナルカ如シ此上部石炭系ニ屬スル地層ハ屢々火山岩ノ進入ニ依リテ破壊セラル、コトアリ  
リ斯ル場合ニアリテハ或ハ此等進入岩ニ接近シタル石炭層ハ全ク燒盡セラル、アリ又時トシテハ此等ノ石炭層ハ自  
然ニ骸炭ニ變セラル、コトアリ而シテ此骸炭ハ燃料トシテ貴重セラル、モノアリ  
玆ニ「ニュー、サウス、ウェールズ」州ニ於ケル石炭ノ産額ヲ示セハ左表ノ如シ

「ニュー、サウス、ウェールズ」州ニ於ケル石炭ノ産額調査表

北部炭礦地方 南部炭礦地方 西部炭礦地方 計	千八百八十七年		千九百一十年		千九百一十年		千九百一十年	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
北部炭礦地方	二、四三三、七九三	一、〇六六、七〇〇	三、九九九、二五三	一、六九一、五九二	六、五一一、〇〇三	二、六二五、四四六	四、八〇一、三二二	一、九九〇、二七〇
南部炭礦地方	三、七六、五六八	一、〇七〇、六八四	一、五四四、四五四	四、〇七一、九六六	一、九二九、三三三	五、七〇、〇三三	一、六一九、六七五	四、八五、三〇〇
西部炭礦地方	三、〇二、一三七	七九、〇三六	四、四四、七〇〇	一〇二、二二四	七〇六、七六七	一、五七、六二五	五九八、八四三	一、四三、〇七九
計	二、九三三、四九七	一、三四六、四四〇	五、九六八、四二六	二、一七六、九二九	九、一四七、〇五五	三、三三三、〇九三	七、〇一九、八七九	二、六一八、五九六

上表ニ依リテ「ニュー、サウス、ウェールズ」州ニ於ケル石炭産額ノ過半ハ實ニ北部炭礦地方即チ「ニューカッスル」  
地方ヨリ産出スルモノナルヲ知ル可シ、千九百一十年ニ於テ石炭産額ノ著シク減セシハ銻絲セル種々ノ原因ニ由ルモ  
ノナルヘント雖モ千九百一十年十一月八日ニ起リシ石炭工夫ノ同盟罷工ハ全州ニ亘リテ劇甚ヲ極メ其結果石炭ノ産額  
ヲ減セシ數量ハ百萬噸ヲ下ラサリシト云フ

「ヴェクトリア」州 「ヴェクトリア」州ニ於ケル石炭ハ三疊系ニ屬スル地層内ニアリテ其探掘ニ適スル石炭層ノ厚サニ

ハ二呎三吋ヨリ六呎ニ達ス南部「ギップスランド」地方ニ現出ス其質良好ニシテ最モ蒸汽機關ノ燃料若クハ家用用ニ  
適ス、廣大ナル區域ヲ有スル褐炭層ハ「ギップスランド」、「モーニングトン」平島、「ウィルリビー」(Warrigbee) 平原  
「ゲルリブランド」(Gellibrand)「バルオン」及ヒ「ムーラポール」ノ盆地ニ於ケル近古界ニ屬スル礫、砂及ヒ粘  
土等ノ間ニ現出ス「ラトロブ、バレイ」(Latrobe Valley)ニ在リテハ此褐炭層ハ厚サ八百呎ニ達スル所アリ此褐  
炭ヲ乾燥スル時ハ極メテ良好ナル燃料トナル然レトモ此燃料タルヤ極メテ燃焼シ易ク又脆弱ナルヲ以テ之ヲ使用ス  
ルニハ特別ノ火格子ヲ築設スルヲ要スルモノナリ、近來此褐炭ヲ以テ Brigettesヲ製造スルタメ「モーウェル」ニ於  
テ一會社ノ設立ヲ見ルニ至レリ「ヴェクトリア」州ニ於ケル主ナル炭坑ノ探炭量ヲ示セハ左表ノ如シ

「ヴェクトリア」州ニ於ケル探炭量調査表

	千九百一十年	千九百一十年	千九百一十年	千九百一十年	千九百一十年	千九百一十年	千九百一十年	千九百一十年
Outrim Howitt Company	一四、六八六	二〇、六〇三	五七、三三八	七二、九八九	七四、八二二	六四、〇八三	四七、六三三	四四、一五六
Jambuna Coal Company	六、七八七	一八、五二七	三九、三六四	四九、〇〇九	六四、二二二	六一、七五五	五八、五五二	六五、九四九
Coal Creek Proprietary	三九、二五七	二〇、七二七	三三、五三七	二七、七一〇	三三、二二四	三三、七六二	—	三二、六二五
Silstone Co-operative Company	二、二五七	四、三五四	二、〇一四	一、六二四	三、九七七	七、五六五	六、九六七	—
其他ノ會社	一、〇八八	五、六六一	四、八九	四、八〇四	四、四〇六	一、四七〇	八一〇	一、五、〇七
總探炭額	二、二五、一六四	六九、八六一	一三二、七四三	一五五、一三六	一六〇、六三二	一三八、六三五	一一三、九六二	一一八、六七三
價格	一、五五、八五〇	四三、六四五	七〇、二〇八	七九、〇六〇	八〇、二六三	七九、七〇六	六四、七七八	七六、九四五

「クィーンズランド」州 「クィーンズランド」州ニ於ケル石炭層ハ廣大ナル面積ヲ有シ其分布ノ區域甚タ廣ク主トシテ  
國ノ南東部ニ現出ス「イブスウィック」(Ipswich)ノ石炭層ハ其面積一萬二千平方哩ニ達シ「ブルーム」ノ石炭層ハ猶  
之ヨリ大ナル面積ヲ有スト云フ「グラッドストーン」ノ西方五十哩ナル「カリデイ」ニ於テハ深サ僅カニ六十呎ノ堅坑  
ニ依リテ良好ナル石炭層ヲ見出セリ、此石炭層ハ鑽孔ニ依リテ調査スルニ著積極メテ豊富ナリト云フ、「クック」地方



ニ於ケル石炭層モ亦千平方哩以上ノ區域ヲ有スト稱セラレ「フキロイ」河ノ流域「ブロード、サウンド」(Broadsound) 地方及ヒ「ボーウケン」河ノ流域ニ現ハル、石炭層モ亦其面積極メテ大ナリト稱セラル、其他石炭層ノ存在スル地方トシテ知ラル、モノハ「グラーモント」、「バルマー、リバー」、「タンボー」、「ウイントン」、「マウント、ムリガン」及ヒ「ブリンダア、リバー」ナリ

「クーンスランド」州ニ於ケル石炭ノ産額ハ千九百八年ニハ六十九萬六千三百三十二噸此價格二十四萬四千九百一十二磅ニシテ千九百九年ニハ七十五萬六千五百七十七噸此價格二十七萬七百二十六磅ナリ

西「オーストラリア」州 西「オーストラリア」州ニ於ケル石炭層ハ石炭系、中古界及ヒ第三紀系ノ地層中ニ現出シ石炭ハ概シテ水分ヲ含有スルコト多ク半ハ瀝質炭ニシテ半ハ褐炭質ナリ 目下探炭セラレツ、アル炭坑ハ「コルリイ(Collie)」炭坑ノミニナリ此所ヨリ産スル石炭ハ光輝アルモ水分ヲ去ル時ハ脆質トナルモノナリ、今其産額ヲ示セハ左表ノ如シ

西「オーストラリア」州ニ於ケル石炭産額調査表

石炭ノ生産量	千九百一年	千九百三年	千九百四年	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
價	一七、八三六	一三、四三七	一三、五五〇	一七、三六四	一四、九七五	一四、三三三	一七、五〇八	二二、〇〇一
格	六八、五六二	六九、二一八	六七、七四四	五五、三三二	五七、九九八	五五、一五六	七五、六九四	九〇、九六五

「タスマニア」州 「タスマニア」州ニ於ケル石炭層ハ石炭系及ヒ中古界ノ地層内ニ現出ス而シテ石炭系ノ地層内ニ現ル、石炭ハ中古界ノ石炭ヨリ其實常ニ劣等ナリ、石炭系ニ屬スル石炭層ハ多ク「ドン」(Don)「タールトン」(Tarleton)「ラトローブ」(Port)「シグネット」(Port Cygnet)「テイズゴリイレンヂ」(Tippagory Range)「セントマリリスベイ」(St. Mary's Bay)及ヒ「アドベンチアベイ」(Adventure Bay)ノ各地ニ現出ス就中「ポートシグネット」ノ石炭層ハ層厚二呎ニシテ質稍々良好ナリ、中古界ノ石炭層ハ最モ多ク「フィンガル」地方ニ現出シ就中「コルンウォール」(Cornwall)炭坑ニ於ケル石炭ハ其質良好ニシテ能ク家用ニ適ス、輾近「タスマニア」州ヨリノ石炭ノ産額ハ主トシテ東部炭産地方ニ於ケル「マウント、ニコラス」炭坑及ヒ「コルンウォール」炭坑ヨリスルモノニシテ千九百九年ニ於ケル石炭産額ハ「マウント、ニコラス」炭坑ハ二萬七千三百四十二噸ニシテ「コルン、ウォール」炭坑ハ二萬九千八百八十五噸ナリ「タスマニア」州ニ於ケル石炭ノ産額ヲ示セハ左表ノ如シ

「タスマニア」州ニ於ケル石炭産額調査表

	千九百一年	千九百三年	千九百四年	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
北西部炭産地方	二、九五三	一、七三五	二、二八二	一、三六一	一、八七六	一、〇四五	—	一、五四三
東部炭産地方	三七、三三九	四三、一五七	五〇、五六七	四六、七八	四六、八〇三	五三、二四	五五、五九	五七、二七
中部炭産地方	一、五三六	一、〇四七	九〇	一〇〇	三九三	六二四	—	五六〇
南東部炭産地方	—	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一、四八三	四、〇〇八	五、五九	六、八三三
南西部炭産地方	三、七二二	三、一〇〇	三、一一〇	三、六三四	二、三三九	—	五、五九	六、八三三
計	四四、四三六	四九、〇六九	六一、一〇九	五、九九三	五二、八九六	五八、八九一	六一、〇六八	六六、一六二

石炭ノ海外輸出 濠洲聯邦ヨリスル石炭ノ海外輸出ハ實際「ニュー、サウス、ウヰールズ」州ニ限ラル、モノニシテ他ノ各州ヨリハ他國ニ向テ石炭ヲ輸出スルモノナシ千九百九年濠洲ヨリ海外ニ輸出セラレタル石炭ハ其量百五十八萬九百八十六噸價格八十三萬七千五百八十八磅ニシテ悉ク「ニュー、サウス、ウヰールズ」州ヨリノ輸出ニカ、ルモノナリ

濠洲ニ在リテハ以上示スカ如ク石炭層ヲ有スルコト甚タ廣ク大ナリト雖モ鑛鑛所ニ使用スル骸炭ノ供給ヲ外國ニ仰クモノ尠ナカラス、千九百九年ニ於ケル骸炭ノ輸入額ハ四萬三千九百六十二噸此價格四萬五千六十一磅ニ達シ其輸入國ハ専ラ英國獨逸國ニシテ使用地ハ南「オーストラリア」州及ヒ西「オーストラリア」州ナリ、而シテ其外國骸炭ヲ使用スル理由ハ地方産ノ骸炭ハ其質脆弱ニシテ破碎シ易ク且ツ灰分ニ富ムコト多キ等ハ其主ナル原因ナルカ如シ然レトモ近

來地方産炭モ亦大ニ此等ノ缺點ヲ改良スルニ至レリ、「ニュー、サウス、ウエールズ」州及ヒ「クエーンズランド」州ニ在リテハ益増加スル炭ノ需要ヲ滿サンカ爲メ其製造所ノ建設ヲ見ルニ至レリ  
濠洲ニ於ケル其他ノ鑛物質燃料中重要ナルハ「セール」油ニシテ其蓄積大ナルヲ以テ政府ハ千九百十年ニ「セール」油獎勵法ヲ發シ其採掘ヲ獎勵セリ

其九 其他ノ非金屬鑛物及寶石類

以上記載セル以外ノ非金屬鑛物ニシテ濠洲ニ産スルモノハ石絨、粘土、彩料、石墨、石膏、硅藻土、鹽、鑛物肥料等ニシテ石絨ハ「ニュー、サウス、ウエールズ」州西「オーストラリア」州ニ多ク「タスマニア」島ニモ之ヲ産ス粘土及彩料ハ濠洲聯邦各州ニ之ヲ産シ粘土ハ煉瓦、土管其他陶磁器製造用ニ適スルモノ多シト雖モ未タ多ク之ヲ使用スルモノナシ近來其使用ノ稍々盛シナラントスルモノハ陶土ニシテ其産出ハ「ニュー、サウス、ウエールズ」州「ヴェクトラリア」州及ヒ南「オーストラリア」州ナリ、彩料ノ産出ハ南「オーストラリア」州ヲ最トス  
石墨ノ産出ハ主ニ「ニュー、サウス、ウエールズ」州「クエーンズランド」州及「ヴェクトラリア」州ニシテ近來西「オーストラリア」州ニ於テモ「バンバライ」地方ニ於ケル石墨採掘ノ目的ヲ以テ一會社ノ設立ヲ見ルニ至レリ  
石膏ハ濠洲ノ各所ニ産スト雖モ目下其産出地トシテ著名ナルモノハ「ヴェクトラリア」州「ボールド」(Boort)ノ採石場及南「オーストラリア」州ノ「フオーラア」(Rowley)湖、「マリオン」(Marion)灣及ヒ「ヨーク」半島地方ナリトス  
硅藻土ヲ産スル地方ハ「ニュー、サウス、ウエールズ」州及ヒ「ヴェクトラリア」州ニシテ鹽ハ主ニ「ヴェクトラリア」州ノ西部及ヒ北西部ニ於ケル鹽水湖並ニ「デロン」市ニ近キ製鹽所ニ於テ製鹽セラル、ヲ見ル、南「オーストラリア」州ニ於ケル鹽水湖特ニ「ヨーク」半島ニ於ケル鹽水湖ヨリ亦多量ノ鹽ヲ産出ス「オーガスタ」港ヲ西北ニ去ル百二十哩ノ地點ニ於ケル面積約六十平方哩ノ「ハート」湖ハ良質ノ鹽分ヲ有スルコト極メテ多シト雖モ土地遼遠ニ運搬不便ナルノ故ヲ以テ目下利用セラレス此湖ニテハ夏季ニ至レハ湖底ヨリ單ニ鹽ヲ削取シ直ニ精製所ニ輸送シ得ルモノナリト稱セラル

「カンガロー」島ノ海濱ニモ亦製鹽ニ適スル所多シ、南「オーストラリア」州ニ於ケル粗製鹽ノ産額ハ千九百九年ニハ五萬一千四百七噸ニシテ其價格二萬五千九百九十四磅ニ達セリ、西「オーストラリア」州ニ於ケル鹽ノ供給ハ多クハ夏季ニ至レハ乾涸スル淺キ鹽水湖ヨリシ概ネ地方ノ需要ニ供セラル、モノナルモ亦地方ニ輸出セラル、コトアリ此州ニ於ケル製鹽ノ中心地ハ往時ハ「フリーマントル」市ニ近キ「ロットネスト」(Rottnest)島及ヒ「エスペランス」(Esperance)ニ近キ「ミッドル」島等ナリシモ今日ニ在リテハ鹽ノ大部分ハ「グレゴリー」港ニ於テ製鹽セラル、モノナリト云フ  
鑛物肥料ニ付テハ硫酸石灰ヨリナル Copi 稱スルモノ多ク「ヴェクトラリア」州ノ北西部ニ産出シ南「オーストラリア」州ノ「クリントン」(Clinton)港附近「ヨーク」半島ナル「アードロッサン」地方「カプンダ」(Kapunda)附近ノ「ベルヴェデー」(Belvedere)「クエーンガ」(Kooniga)及ヒ其他ノ地方ニ在リテハ磷酸鹽類ヨリナル鑛物肥料ヲ産ス而シテ千九百九年ニ於ケル其産額ハ二千六百九十七磅ニ達セリ其他西「オーストラリア」州ノ海岸ニ於ケル「ゲラルトン」(Geraldton)ニ近キ海洋中ノ「孤島」アブラルハス「(Abrolhas)島」ハ Guano 集積スルコト甚タ多ク其厚サ四吋ヨリ二十七吋ニ達スト云フ  
濠洲ヨリ産出スル寶石類ハ金剛石、蛋白石、「サハイア」「エメラルド」「トルコ」玉、黃玉、「ジルコン」、石榴石、瑪瑙、「ルビイ」、電氣石、綠玉石等ニシテ就中最モ多量ニ産出スルモノハ蛋白石ナリ其質良好美麗ナルモノハ主ニ「ニュー、サウス、ウエールズ」州及ヒ「クエーンズランド」州ニ産スト云フ其寶石類モ多クハ「ニュー、サウス、ウエールズ」州及ヒ「クエーンズランド」州ニ産出セラル獨リ瑪瑙ハ最モ多ク「ヴェクトラリア」州ニ産出シ其質良好ニシテ美麗ナレドモ未タ十分ニ利用セラル、ニ至ラスト云フ

第八節 製造工業

既ニ述タル如ク濠洲ニ於ケル製造工業ヨリスル收穫ハ千九百九年ニアリテハ四十一萬八千磅ニシテ濠洲聯邦ニ於ケル

總生産額ノ二三「プロセント」ニ該當セリ、今濠洲ニ於ケル製造工業ノ發達ヲ示スタメ過去七箇年間ニ於ケル工場數ニ關スル統計ヲ示セハ次ノ如シ

濠洲ニ於ケル製造工場調査表

年次	工場數	從業者數	俸給及勞銀	製造工業ニ使用セラレ、土地及建造物ノ價格	器具機械ノ價格
千九百三年	一、五五二	一九五、八二〇	一四、〇五九、〇三六	三三、〇五六、三九九	二〇、六五二、五三三
千九百四年	一、一七一	一〇三、三三九	一四、七三三、一三五	三三、三四二、三六三	二二、三〇七、五三三
千九百五年	一、九四五	二二四、五八九	一五、二八七、八四〇	三三、三〇〇、七〇九	三三、六九六、六八九
千九百六年	一、一五五	二二八、五六〇	一六、四八四、四六七	三三、〇〇〇、一九一	三三、七四四、二九八
千九百七年	一、二五五	二四八、八五九	一八、三三三、九七七	二四、七五八、七七四	二四、六八六、〇〇八
千九百八年	一、八五三	二五七、四九四	一九、八八四、三六七	二六、六六四、六七六	二五、九二七、七六三
千九百九年	一、三、一九七	二六六、四〇五	二一、一〇五、四五六	二七、六七七、五九五	二六、八七七、二四二

上表ニ依リ千九百三年ニ於ケル工場數ハ一萬一千五百五十一箇所ナリシカ千九百九年ニ至リテハ其數増加シテ一萬二千百九十七箇所ニ達シ其從業者數及ヒ勞銀其他モ亦從テ増加スルヲ見レハ濠洲ニ於ケル製造工業ハ其進歩遅々タリト雖モ兎ニ角確實ナル發達ヲ遂ケツ、アルモノ、如シ

濠洲聯邦ニ於ケル製造工業ハ其如何ナル種類カ最モ發達セルカヲ示サンカタメ千九百九年ニ於ケル濠洲聯邦ノ製造工業ヲ十九類ニ分チ各種別ニ其工場數及從業者數等ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲製造工業ノ種類別調査表

種類	工場數	從業者數	俸給及勞銀	製造工業ニ使用セラレ、土地及建造物ノ價格	器具機械ノ價格
第一種	八三三	九三、〇六八	六八四、七七七	八六九、四八八	七二六、七八六
第二種	九四	一、八二二	一五八、四〇三	三七〇、六八一	三四九、四七九

種類	工場數	從業者數	俸給及勞銀	製造工業ニ使用セラレ、土地及建造物ノ價格	器具機械ノ價格
第三種	六四五	九、六〇五	八七一、一八七	九五六、七三三	九〇一、一四五
第四種	一、四二二	三三、四八七	二、〇八八、一六七	一一、二八五、二六七	一、六三三、二九七
第五種	一、五八八	四九、七五三	五、一九四、三二六	四、四一五、五二五	四、九四一、六三三
第六種	二、二五八	四一、〇〇〇	三、二五四、三九三	七、一九一、九七六	七、七七七、七〇〇
第七種	三、七七四	七三、五五四	三、五九九、一七八	三、八〇九、一四八	一、六〇〇、一〇一
第八種	一、〇一一	二一、九四三	二、四〇一、五七九	二、六四二、〇二九	二、一〇七、九四〇
第九種	九	四三	四三、〇一一	三三、三三三	一一、二六二
第十種	一八	三七七	三三、一〇〇	三三、〇一〇	四五、九四〇
第十一種	一、一七	一一、三六六	八三九、三七三	一一、一八六、七五〇	三三〇、七四六
第十二種	八四	二、三二〇	二、六四一、五四	一、〇三三、五三三	四四四、九四五
第十三種	五二	七、六三六	六三三、九八三	六九七、二七三	一一六、〇〇〇
第十四種	一六四	三、三九一	二、三三三、六〇二	五四三、五〇七	四三三、一〇九
第十五種	三〇	一七	一四、四四七	五六、三七八	九、二二五
第十六種	一五〇	一、八〇〇	一、五七、三九七	三三三、四八三	四三、九八〇
第十七種	三二四	五、九六六	七四一、一三三	二、〇二六、六一一	五、六一一、三三三
第十八種	五五	九二四	五八、九一〇	八三、五七六	一九、五五五
第十九種	一四〇	二、六三二	一七四、〇七一	二二〇、三三三	一一六、〇九七
計	三、一九七	二六六、四〇五	二一、一〇五、四五六	二七、六七七、五九五	二六、八七七、二四二

本表中ニ示セル十九種ノ工業ノ類別ヲ説明スレハ次ノ如シ

- 第一種 農業及ヒ牧畜業ヨリ生産スル原料品ヲ處理スル工業ニシテ獸脂精製業、製革業、羊毛整梳業等ノ如シ
- 第二種 油及ヒ脂肪製造業並ヒニ其處理ニ關スル工業ニシテ石鹼製造及ヒ蠟燭製造業等ナリ
- 第三種 石材粘土及ヒ玻璃ニ關スル工業例之ハ煉瓦土管ノ製造業、「ガラス」製造業、石灰、漆喰、「セメント」、及ヒ「アスハルト」ノ製造業、大理石及石板石ニ關スル工業造型工業、陶磁器製造業等ナリ

- 第四種 木工業即チ箱製造業、桶製造業、指物業、鋸工場、轆轤細工等ナリ
- 第五種 金工業、機械工業ニシテ即チ農具製造業、眞鍮及銅ニ關スル工業、刃物業、機關製造業、「ブリキ」工業、鐵工業、鉛工業、鐵道車輛製造業、鑄鐵業、暖爐及竈製造工業、錫製造業、針金工業及ヒ其他ノ金工業ナリ
- 第六種 食料品及飲料品製造工業即チ「ベーコン」製造業、「バター」製造業、「チーズ」製造業、「ジャム」製造業、「コンフィ」製造業、「ソーダ」製造業、「ビール」製造業、「ワイン」製造業、「ラム」製造業、「タバコ」製造業、「チョコレート」製造業、「アイス」製造業、「ソーダ」製造業、「ジュース」製造業、「ソフト」製造業等ナリ
- 第七種 油醸造業、製糖業、炭酸水及其他清涼水製造業、麥酒醸造業、藥味香料及「カヒー」ノ製造業、酒造業、氷製造業、麥芽製造業、煙草製造業等ナリ
- 第八種 被服及織物製造工業即チ羅紗及「スコッチ」製造業、製靴業、裁縫業、女服女帽製造業、染物業、「しみぬき」業、毛皮製造業、帽子製造業、防水布製造業、「シャツ」「ネクタイ」「スカート」製造業、製網業、「テント」製造業等ナリ
- 第九種 製本、製紙及ヒ印刷業等ニシテ詳言スレハ電氣版印刷工業、鉛版印刷工業、製紙工業、紙箱製造業、紙製靴製造業、其他寫眞彫刻業、印刷業、製本業等ナリ
- 第十種 樂器製造業及ヒ縫機製造業
- 第十一種 兵器彈藥製造業
- 第十二種 車輛製造業、自轉車製造業、乳母車製造業、馬具製造業、輓具製造業、車輛製造業等ナリ
- 第十三種 船艦及ヒ端艇製造業並ヒニ其修繕業、製帆工業ナリ
- 第十四種 家具及指物業製造業、玉突臺製造業、額縁製造業、日覆製造業、寢具製造業ナリ
- 第十五種 化學用品製造業、藥劑製造業、肥料製造業、「ペンキ」「ワニス」ノ製造工業及ヒ之ニ伴フ副産物ノ製造工業ナリ
- 第十六種 外科醫用機械製造業及其他ノ科學用諸機械ノ製造業ナリ

- 第十六種 時計製造業、寶石工業及ヒ鍍金工業ナリ
- 第十七種 熱、光線及ヒ動力ニ關スル工業ニシテ即チ骸骨製造業、發電機械ノ製造業、電燈及電力ノ供給業、瓦斯事業及ヒ燈用石油ノ製造業、「ランプ」及之ニ關スル器具ノ製造水力供給等ナリ
- 第十八種 皮革製品ノ製造工業ニシテ調革、旅行靴及ヒ手提靴ノ製造等ナリ
- 第十九種 小細工品製造工業ニシテ籃、杖編細工、筵等ノ製造、帚、「ブラッシ」ノ製造業、護謨製品、玩具、洋傘等ノ製造業等ナリ

上表ニ依リテ之ヲ見レハ濠洲ニ於ケル製造工場ニシテ其最モ多キハ食料品及ヒ飲料品ノ製造工業並ヒ被服及織物ニ關スル製造工業ニシテ之ニ亞クモノハ金工業及機械工業、木工業、製本製紙印刷業及兵器彈藥業ナリトス、而シテ猶仔細ニ之ヲ觀察スル時ハ牧畜業及酪乳業ノ生産物ニ關係アル「バター」「チーズ」「煉乳」「ベーコン」、凍肉、罐詰其他ノ方法ニ依ル獸肉保藏業、羊毛整梳毛織物業及ヒ製革業ヲ第一トシ農業ノ生産物ニ關係アル製粉業「ジャム」及ヒ其他ノ罐詰業麥芽製造及麥酒醸造業ヲ第二トシ次キテハ山林ニ關係アル木工業、車輛製造業及ヒ家具製造業等盛ンニシテ此等加工上多數ノ勞力ト費用トヲ要セサル工業ノ種類ノミ能ク發達シ精巧ナル機械工業ニシテ加工上多數ノ勞力ト費用トヲ要スル種類ハ未タ發達セス之ヲ以テ見レハ濠洲ノ工業ハ未タ完全ナル發達ヲ遂ケタルモノト稱スルコトヲ得ス、之レ濠洲ハ人口稀薄ニシテ職工賃金ノ不廉ナルヨリ來ル結果ニ外ナラサルナリ

以上ノ事實ニ依リテ之ヲ見レハ濠洲労働黨ノ綱領タル彼ノ白人濠洲主義ハ又濠洲製造工業ノ進歩ニ多大ノ障礙ヲ與ヘタルモノナルコトヲ知ル可シ、玆ヲ以テ政府ハ殖民獎勵策トシテ土地所有法及養老年金法等ヲ制定シ白人殖民ヲ誘致シ人口ノ増加ヲ計リツ、アルモ面積二百九十七萬四千五百八十一平方哩ヲ有スル濠洲ノ總人口ハ未タ五百萬人ニ達セサルヲ見ハ工業發展ノ遅々タル蓋シ自然ノ數ト謂ツ可キカ

此處ニ於テカ政府ハ製造工業保護ノ目的ヲ以テ千九百八年ニ發布セル製造工業獎勵法及ヒ其他ノ法令ニ依リ原料ノ生

産及ヒ製造品ニ對スル獎勵金ノ下附、製造品ニ對スル政府ノ契約購買、原料品ノ輸入ニ對スル税金廢止、内地製造品ニ對スル極端ナル保護關稅ノ賦課等ヲ斷行シ以テ今日ノ工業進歩ヲナシタルモノナリ、之ヲ要スルニ濠洲製造工業ノ進歩發展ハ農業其他ノ生産業ト等シク人口ノ増加ニ依リテ行ハレ得可キモノナルヲ以テ有望ナル未來ヲ有スルモノト稱ス可キモノナランカ

今各州ニ於ケル各種ノ工場數ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲聯邦各州ニ於ケル種類別工場數調査表 (千九百九年現在)

種類	「ニュー、サウス、ウェールズ」州	「クエクトリア」州	「タスマニア」州	「南オーストラリア」州	「西オーストラリア」州	「タスマニア」州	濠洲聯邦
第一種	二八三	三二七	四一	一八	二六	一八	八二三
第二種	三五	二二	一八	一四	三五	二	九四
第三種	二七四	一九八	三八	七五	三五	二五	六四五
第四種	五七四	三二九	二四	九二	六二	一三	一、四一一
第五種	四四九	六五二	二〇四	一七三	六二	四八	一、五八八
第六種	七六一	六三九	二六四	二五六	一四五	九三	二、二五八
第七種	八九九	一、二九九	二二四	二二七	一二一	一四	二、七七四
第八種	三八一	三五五	二八	六七	五四	二六	一、〇一一
第九種	一二	四	一	二	一	一	一八
第十種	三四四	四〇四	一三〇	一三九	四三	五七	一、一七九
第十一種	三九	一三	二	七	五	八	八四
第十二種	一六〇	二〇九	六四	一〇七	二七	一八	五一二
第十三種	六九	七〇	三	一	九	二	一六四
第十四種	一一	〇	五	二	二	一	三〇
第十五種	四二	六四	一三	二	四	一	一五〇
第十六種	一七五	七二	二四	九	二四	〇	三二四
計	四、五八一	四、七五五	一、四二〇	九二	一、二六五	六三二	一三、一九七

製造工業ニテ使用セラル、動力ハ蒸気力ナレトモ各都市ニハ多クハ政府、市若クハ個人ノ經營ニ係ル發電所アルヲ以テ多數ノ工場ハ便宜上此等ノ電力ヲ使用スルモノナリ動力トシテ蒸気力、瓦斯、油、電氣力等ヲ使用スル工場ノ區別若クハ全ク動力ヲ使用セスシテ専ラ人力ニ依ル工場數等ハ其統計ヲ缺クヲ以テ詳細ヲ知ルコトヲ得サルモ動力ヲ使用スル工場ニ就キテノミ其動力ノ概略ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲聯邦各州ノ製造工場ニ於ケル動力調査表 (千九百九年現在)

州名	建造物ノ數	馬力	電氣力
「ニュー、サウス、ウェールズ」州	三、〇八九	八九、九二七	一、一七三
「クエクトリア」州	二、九五九	八、四〇三	六、七四六
「タスマニア」州	一、〇二五	八、四〇六	六、三七一
「南オーストラリア」州	八六三	二、二八三	一、四一〇
「西オーストラリア」州	四五九	三、四四五	一、四〇〇
「タスマニア」州	三三二	七三三	二、三三七
濠洲聯邦	八、七〇六	一三、七四九	二九、八六一

濠洲製造工業ニ於ケル從業者ノ數ヲ示セハ左ノ如シ

濠洲聯邦ノ各種工場ニ於ケル從業者數調査表

種類	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
第一種	七、四六〇	七、八〇九	八、九五六	九、〇四二	九、三〇六

第 二 種	一、七二七	一、七三〇	一、七三五	一、八一二
第 三 種	八、七七九	八、七九〇	九、四二〇	九、六〇五
第 四 種	一八、三四七	一九、四五七	二一、三一〇	二四、四八七
第 五 種	四三、四三一	四七、〇六〇	四八、五〇五	四九、七五三
第 六 種	三六、七二〇	四〇、二二八	四〇、六五二	四一、〇〇六
第 七 種	六二、五九四	六八、三七三	七〇、〇七五	七三、五五四
第 八 種	一九、五六五	二〇、七三三	二一、四四八	二一、九四三
第 九 種	三八四	四三〇	四四四	四三三
第 十 種	二八〇	三三三	三三九	三七七
第 十 一 種	八、七八〇	一〇、二八八	一〇、七八四	一一、三六六
第 十 二 種	一、九六四	二、〇四九	二、二七八	二、二二〇
第 十 三 種	五、四二二	六、八一九	七、一一七	七、六三八
第 十 四 種	二、三七三	二、八九五	三、〇八六	三、三九一
第 十 五 種	一、四一六	一、七〇〇	一、七七一	一、八〇〇
第 十 六 種	一、二三七	五、三七二	五、七五四	五、九八六
第 十 七 種	四、四四三	七、八八	八九三	九二四
第 十 八 種	五九	七八八	八九三	二、六三一
第 十 九 種	一、九四五	二、五六四	二、六六五	二、六三一
計	二二四、五八九	二四八、八四一	二五七、四九四	二六六、四〇五

二百六十六

千九百十五年ヨリ千九百十九年ニ至ル四箇年間に於ケル從業者ノ増加ハ五萬一千八百十六人ニシテ平均一箇年間ノ増加ハ千二百九十五人ナリ從業者ハ各種ノ工業ヲ通シテ一般ニ増加シタルモノニシテ其増加ノ最モ著シキハ第七種工業及ヒ第五種工業ナリトス  
更ニ各州ニ於ケル種類別從業者數ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲聯邦各州ニ於ケル各種工業ノ從業者數調査表 (千九百十九年現在)

工業ノ種類	「ニュー・サウス・ウェールズ」州	「クヱクトリア」州	「クヱーンズランド」州	南「オーストラリア」州	「タスマニア」州	西「オーストラリア」州	濠洲聯邦
第 一 種	三、八〇〇	三、三三九	六九三	一、一〇一	二六	二五六	九、三〇八
第 二 種	六九四	六二二	一七四	三三三	三九	五〇	一、八一
第 三 種	四、一三五	三、〇〇八	四八四	一、〇九四	一〇九	三七七	九、六〇五
第 四 種	六、六九〇	五、三〇〇	二、六三三	一、五三三	一、四四八	三、八七三	三三、四八七
第 五 種	一八、七五五	一四、一五三	五、二三〇	六、九二七	二、五二八	二、一八〇	四九、七五三
第 六 種	二一、三三三	一三、三三三	八、九一五	三、四六一	一、五四一	一、四四一	四一、〇〇八
第 七 種	三三、一六一	三六、一七六	四、八八〇	五、三六四	一、六六八	二、二八五	七三、五五四
第 八 種	八、〇四五	九、七七五	二、四七九	一、七三九	六七一	一、〇八	二一、九四三
第 九 種	三七〇	四〇〇	—	—	—	—	三七〇
第 十 種	三、六八三	三、九九九	一、一四五	—	—	—	一、三六
第 十 一 種	一、七九六	二、一八	一〇四	一〇四	四七	—	二、三三
第 十 二 種	二、八四六	二、四六二	八八七	八八四	二六六	二九	二、三三
第 十 三 種	一、二〇三	一、四二七	五〇	六二	一六	七	三、三九
第 十 四 種	八四	五〇	—	—	—	—	一三
第 十 五 種	六〇八	七九七	一三七	一六八	五	九	一、三〇
第 十 六 種	二、三三三	二、〇七六	四七〇	五二二	二九	三〇	五、九八六
第 十 七 種	三三三	四九七	五九	三〇	—	—	九二四
第 十 八 種	八二七	一、三〇〇	一四九	二二七	—	—	二、六三三
第 十 九 種	九、七〇三	九七、三五五	二九、五〇四	二五、七〇九	九、三三三	一一、八八三	二六六、四〇五
計	九、七〇三	九七、三五五	二九、五〇四	二五、七〇九	九、三三三	一一、八八三	二六六、四〇五

次ニ千九百十九年聯邦各州ノ各種製造工業ニ使用セシ從業者ノ賃金、原料品ノ價格及ヒ其生産額ヲ示セハ左表ノ如シ

二百六十七

濠洲ニ於ケル各種工場ニ於テ支出セラレタル勞銀ノ總額調査表

工業ノ種類	「ニュー、サウスウェールズ」州	「ヴェクトリア」州	「クィーンズラン」州	南「オーストラリア」州	西「オーストラリア」州	「タスマニア」州	濠洲聯邦
第一種	二七〇、九六九	三三、八〇一	七七、八五七	七四、九六七	二〇、四六七	八、七二六	六八四、七七七
第二種	五四、三〇五	六〇、四七九	一四、五九三	二〇、九二二	四、七八三	三、三三〇	一五八、四〇三
第三種	三九九、五三三	二九六、一七三	三七、二八二	八五、二五七	三四、七二八	一八、二二五	八七一、一八七
第四種	五五八、一六八	四四四、八六三	二八七、〇六九	一二四、九七四	五五四、〇九七	二一八、九九十	二、〇八八、六七一
第五種	二、〇八六、七七	一、三四九、一九〇	五二六、八九五	六八〇、四三三	二七三、二二九	二七七、九一三	五、一九四、三六六
第六種	一、〇一四、六二	一、〇三六、六〇三	六七、五三三	二七五、六〇六	一六七、八五七	九八、四八二	三、二五四、三九一
第七種	一、三三九、五六	一、六三三、〇四九	三三〇、六〇二	二六四、三四五	一四八、二九八	八五、八二八	三、五九九、一七八
第八種	七三三、三五九	六九七、〇八三	三三〇、六〇二	一五二、七二四	一四八、五八二	七、九四三	二、〇四一、五九七
第九種	三三、八九七	三、三三七	—	一八八七	—	—	四三、〇二一
第十種	二、三六三	二〇、九四三	—	—	—	—	三三、三〇六
第十一種	二八五、九三五	二六六、一九五	八三、七九三	一二八、五九三	四九、五六九	二五、二八九	八三九、三七三
第十二種	二二二、〇七六	一一、三九三	九、八九〇	一四、八九七	二、二二三	三、六七五	二六四、一五四
第十三種	二五〇、三三九	一九七、六八一	六四、七二四	七二、七八四	二九、五五七	一八、九二八	六三三、九八三
第十四種	九、九三三	一一七、七九七	三、七六二	四三、二二三	五、二三〇	一、六六八	二六三、六〇二
第十五種	六九七、七	三、五七七	二、三三九	八五一	七〇三	—	一四、四四一
第十六種	五三、四三三	六九、九六八	一〇、〇八五	一五、四五六	三、九九一	四、一五四	一五七、三九七
第十七種	二八三、四三〇	二五三、九三七	五四、三七〇	五八、三六八	五六、〇三三	三五、〇二六	七四一、一三三
第十八種	二二、五二二	三、三三四	三、一〇〇	一、九一八	一、一三七	—	五八、九一〇
第十九種	五三、四八三	九四、六五一	七、一七	一一、六〇七	五、八八七	一、二七〇	一七四、〇七一
計	七、六六五、二五	六、八〇七、八五二	二、三四、〇〇五	二、〇二八、六九二	一、五〇六、三六〇	七三三、四三四	二二、〇五、四五六

濠洲ニ於ケル工業従業者一人當リノ平均賃金調査表 (千九百九年)

年一人當リ平均賃金	「ニュー、サウスウェールズ」州	「ヴェクトリア」州	「クィーンズラン」州	南「オーストラリア」州	西「オーストラリア」州	「タスマニア」州	濠洲聯邦
	八七、二七	七三、五七	一八二、〇九	八三、〇八	一三三、三	八七、七六	八三、〇二

濠洲ニ於ケル各種工場ニ於テ使用セラル、原料品ノ價格調査表 (千九百九年)

工業ノ種類	「ニュー、サウスウェールズ」州	「ヴェクトリア」州	「クィーンズラン」州	南「オーストラリア」州	西「オーストラリア」州	「タスマニア」州	濠洲聯邦
第一種	三、五四七、五九八	一、九〇八、三四	一、二六三、三三〇	五〇五、二八九	一四六、三三八	六七、九五〇	七、四三六、七三九
第二種	五〇六、九八一	三五七、七九	四四、九九三	一〇一、九六八	五四、四一四	一九、四六〇	一、〇八五、五三四
第三種	二〇六、九一四	一四九、三〇〇	六、二九九	二六、〇三五	八、一〇一	七、〇〇〇	四〇四、〇三九
第四種	一、二八八、七三九	六六二、四一六	四三〇、四四九	五九七、八四八	七五、七〇七	三二、八八〇	三、〇八七、〇三九
第五種	四、九〇〇、二七三	一、八二四、六五七	七六九、九八七	一、九六六、〇一九	二四六、五九〇	一、五二九、〇七九	一〇、五六六、六〇四
第六種	二、〇〇五、五四三	八、五八八、七四四	四、三三〇、四〇五	二、三六、四〇九	五六八、一五四	九八五、一四〇	二八、八六四、三九五
第七種	二、一六二、一三四	三、三三六、三六	四四七、七四一	四七六、六九三	二四、五六六	一七〇、七〇	六、八二〇、〇八一
第八種	六三九、九二〇	六八七、九一六	一〇八、九三四	一四〇、三三八	七二、七五二	六八、四四〇	一、七二八、一五二
第九種	六六、八九〇	一、六八八	—	一、七八三	—	—	七〇、三六一
第十種	七、四五〇	六一、五九八	—	—	—	—	六九、〇四八
第十一種	三四二、二六五	三三三、六二五	九一、五〇〇	一九〇、六三九	五〇、八九九	三三、〇〇〇	一、〇三〇、九九八
第十二種	一一六、五九八	六、五二九	五、三三九	八、七三三	二、八七五	三、八二〇	一五三、八五四
第十三種	三六九、一三〇	三三八、六四六	六八、〇一五	六二、五二九	三六、三五六	二六、八五〇	八九、五二六
第十四種	四〇三、五三九	五七七、七二〇	一一、一七六	二二八、二二二	二一、五五五	四、六六〇	一、二六六、八八一
第十五種	六、一五五	二、九一〇	二、五三六	五〇〇	九四	—	一一、一九五
第十六種	六九、六六六	一一三、四九〇	一七、七四三	一九、二九二	五、七五三	八、四四〇	二五三、三八二
第十七種	三六九、二二二	二四七、五五三	二二、一四一	四二、二二三	一五、二一〇	一九、五六〇	七五、八八一
第十八種	八二、七八三	一四六、四二〇	八、三〇〇	三、〇五九	二、七七〇	—	二四三、三三三
第十九種	一三三、七〇八	三四三、〇四七	九、四九九	一四、九九三	七、一六八	三、九二〇	五二一、二六四

計 二七、三四、四八六 一九七〇六、五〇〇 七、六五八、一九五 六、〇〇四、四九九 一、五三九、二二二 二、九八〇、三五九 六五、一九三、二四〇

上表ニ依リテ之ヲ見レハ原料品ノ最モ多額ヲ使用スルモノハ第六種工業即チ食料品及ヒ飲料品ノ製造工業ニシテ其使用スル原料品ノ價格ハ再餘ノ製造工業ニ使用セラル、原料品價格ノ何レヨリモ殆ント三倍以上ノ多額ニ達スルヲ見ル之ニ亞キテ原料品ノ多量ヲ要スルモノハ第五種工業即チ金工及ヒ機械製造工業ニシテ其原料品ノ價格ハ千五十六萬六千六百四磅ニ達シ亦原料品ノ最モ少額ナル工業ハ第十五種工業即チ藥劑及化學品製造工業ニシテ其原料品價格ハ僅ニ一萬二千九百九十五磅ナリトス

濠洲製造工業ニ於ケル製造品ノ總價額調査表 (千九百九年)

工業ノ種類	「ニュー、サウス、ウェールズ」州	「ヴェクトリア」州	「クィーンズランド」州	「南オーストラリア」州	「西オーストラリア」州	「タスマニア」州	濠洲聯邦
第一種	四、三〇、九三三	二、四〇二、一七二	一、六九八、七九四	六八八、三四五	二〇一、三三九	八七、三五〇	九、二五八、九一一
第二種	七五四、九八三	五三三、二八二	九三、六七四	一六七、〇三三	六八、四四三	二八、六六〇	一、六三五、〇六三
第三種	一、〇〇三、二六六	七三三、四六七	七九、八七九	一八六、七三三	七二、九九〇	四四、三三〇	二、一一八、六〇五
第四種	二、一〇一、八六七	一、三六一、二二三	九四〇、三六四	七九七、七五〇	七九九、三三六	二四三、五〇〇	六、三四四、〇一九
第五種	八、七五八、〇〇七	四、〇四四、三五三	一、五五二、五六四	二、五三三、〇六四	五五二、八三三	二、二六四、七三三	一九、六九二、五五五
第六種	一五、〇四八、八九三	一一、三四〇、九一一	六、三九四、七九四	三、一八五、九七〇	一、〇六五、一八九	一、三〇一、三四〇	三六、三三七、〇九七
第七種	四、一〇四、二六六	五、九八三、七〇八	八七、六七五	九〇〇、一〇四	四三三、〇七六	三〇七、四八〇	一一、五七二、三〇九
第八種	一、八六一、九一七	二、〇三七、三六四	五三六、七七九	三三六、三三三	三二五、九九五	二〇七、三〇〇	五、二九九、六〇七
第九種	一一九、八九六	六、九二〇	—	四、四八六	—	—	一四、一三〇
第十種	一〇、二八七	一一、〇七四	—	—	—	—	一一、三六一
第十一種	七九四、四八七	七六三、九九九	二二八、三五三	三九三、一五七	二一九、三三九	七六、六八〇	二、三七五、九七四
第十二種	三九一、四三七	二六、三七五	一八、六四四	二七、七三三	五、八六八	九、五九〇	四七九、六四六
第十三種	七四〇、五〇二	六三〇、二二三	一六、七一八	一七四、四二六	七四、六三〇	五四、八五〇	一、八三六、三二二
第十四種	七三三、六八五	九六一、六五七	二〇、六四〇	三三六、五二五	三四、九七〇	一〇、二七〇	二、〇八九、七四七

第十五種	二二、六〇九	九、二九三	六、七七三	二、〇二五	一、二四三	—	四一、九六五
第十六種	一五七、七六三	二六六、七〇六	三三、四七八	四七、六三七	二二、八一二	一六、四一〇	五三四、八四四
第十七種	一、六一四、四三〇	九九二、七三七	二〇六、二五三	一七五、八五五	二四一、四五三	一一三、七〇〇	三、三二二、四二八
第十八種	二二六、五四五	二〇一、〇七三	一三、五六一	六、〇三五	四、六七七	—	五三三、八九〇
第十九種	二四〇、九六七	五〇八、七三三	一七、七五四	三一、九八二	一四、四九二	六、二三〇	八一四、一四七
計	四二、九六〇、六八九	三、八九八、二三五	一一、八三三、六九五	九、九二六、一〇五	四、〇〇八、六〇四	四、七九〇、四四五	一〇七、四九一、七三三

次ニ製造工業ニ對スル製造品ノ價格及ヒ其製造ニ要セシ諸經費ノ關係ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲製造工業ニ對スル製造品ノ價格及其製造ニ要セシ諸經費調査表

州	名	原料品ノ價格	燃料價格	俸給及賃金	其他諸支出ノ利益及利益金	製造品ノ總價格
「ニュー、サウス、ウェールズ」州		二七、三四、四八六	九四〇、八四〇	七、六六五、二五五	七、〇〇〇、三六八	四三、九六〇、六八九
「ヴェクトリア」州		一九七、〇六、五三〇	五六六、七六八	六、八〇七、八五一	五、八七、〇八六	三三、八九八、三三三
「クィーンズランド」州		七、六五八、一九五	一九四、七七六	二、三四、〇〇五	二、六四六、七一九	一一、八三三、六九五
「南オーストラリア」州		六、〇〇四、四五九	二六九、六四六	二、〇三六、六九二	一、六二五、三〇九	九、九二六、一〇五
「西オーストラリア」州		一、五二九、二二二	一四〇、一一一	一、五〇六、三六〇	八三三、九三三	四、〇〇八、六四四
「タスマニア」州		二、九八〇、三五九	二二五、三六四	七三三、四二四	九二二、二五八	四、七九〇、四四五
濠洲聯邦		六五、一九三、二四〇	二、二二七、五〇五	二二、一〇五、四五六	一八、八八三、五三三	一〇七、四九一、七三三

上表ニ基キ製造品百ニ對スル生産ニ要セシ諸經費及ヒ利子、利益等ノ割合ヲ計算スレハ次ノ如シ

濠洲ニ於ケル製造品百ニ對スル支出諸經費割合調査表

州	名	原料品價格	燃料價格	俸給及賃金	其他諸支出ノ利益及利益	製造品ノ總價格
「ニュー、サウス、ウェールズ」州		六三、五六	二、一九	一七、八四	一六、三九	一〇〇、〇〇
「ヴェクトリア」州		五九、九〇	一、七三	一〇、七〇	一七、六四	一〇〇、〇〇



「グキーン」スランド州	五、七三	一、五三	一八、一三	二〇、六四	100、〇〇
南「オーストラリア」州	六〇、四六	二、七三	二〇、四三	一六、七〇	100、〇〇
西「オーストラリア」州	三六、一五	三、四九	三〇、五九	二〇、七六	100、〇〇
「タスマニア」州	六、二三	二、四二	一六、一四	一九、三三	100、〇〇
濠洲聯邦	六〇、七〇	二、〇七	一九、六五	二七、五九	100、〇〇

上表ニ依リテ之ヲ見レハ濠洲製造工業ニ在リテハ製造品價格ノ六〇、七〇「プロセント」ハ原料品ノ價格ニシテ加工ノ程度未タ低キモノナルヲ知ル可シ然ルニ俸給及ヒ賃金ハ製造價格ノ一九六五「プロセント」ノ多額ヲ占ムルヲ見ハ其製造工業ハ専ラ單ニ原料品處理ヲ目的トスル幼稚ナルモノナルニ拘ラス勞銀ノ高價ナルニ苦シミ居ルノ事實ヲ察知スルニ餘リアリ

### 第五章 海外貿易

濠洲ノ海外貿易ハ記錄ノ示ス所ニ依レハ始メテ統計ニ上リタルハ千八百二十六年ニシテ當時ノ輸出入總額ハ僅カニ五十五萬六千磅ニ過キサリシカ連年人口ノ増加ニ伴フテ輸出入額モ亦増加セシト雖モ其進步ハ極メテ遲々トシテ爾後二十餘年間殆ント同一ノ歩調ヲ示シ千八百五十一年ニ至リテ其額漸ク五百六十七萬磅ニ上レリ然ルニ其翌千八百五十二年ニ及ヒテ輸出入總額ハ俄然昂進シテ一千五百六十九萬四千磅ニ達セルヲ見ル此現象タルヤ實ニ千八百五十一年「ニコル、サウス、ウエールズ」州ニ於ケル「サンマー、ヒル、グリーク」及ヒ其他ノ金礦ノ發見並ヒニ「ヴェクトリア」州ニ於ケル「ヤーラ」地方金礦ノ發見ニ伴ヒ盛ニ其金礦ノ歐洲ニ輸出セラレタルニ起因スルモノニシテ當年ノ輸入額四百七十九萬八千磅ニ對シ輸出額ハ千八百九十九萬六千磅ニ達セシヲ見レハ容易ニ此間ノ消息ヲ知ルヲ得可シ此金礦發見ノ報一度世界ノ各地ニ傳ハルヤ金礦採掘業者ハ世界ノ各地ヨリ競フテ濠洲ニ渡來シ漸ク其人口ヲ増加シ

ニ濠洲立國ノ基礎ヲ確立セシト同時ニ其人口増加ハ日用品ノ需要ヲ促進シテ輸入額ノ劇增ヲ來セリ千八百五十二年ニ於テ四百七十九萬八千磅ノ輸入總額ハ其翌千八百五十三年ニ至リテ一躍千四百九十九萬磅ニ達セシヲ見ハ此間ノ關係亦推知スルニ餘リアルヘシ爾後人口ハ連年増加セシヲ以テ濠洲輸出入ノ關係ハ常ニ輸入超過ノ趨勢ヲ持續セシカ千八百六十五年以後「グキーン」スランド州ノ各金礦ノ發見ハ再ヒ金礦ノ大輸出ヲ來シ茲ニ千八百六十七年ヨリ千八百七十五年ニ至ル九箇年間ノ輸出超過ヲ見ルニ至リタルモ各州ニ於テハ金礦發見及ヒ政府ノ殖民獎勵ハ年々其人口ヲ増加セシヲ以テ千八百六十八年以後貿易ハ再ヒ輸入超過ノ大勢ヲ示スニ至レリ斯クノ如クシテ濠洲ノ貿易ハ金礦ノ發見ニ依リ漸ク隆盛ニ向ヒタリシモ其後金礦ノ探掘ニ從事スル渡航民ノ過剩ヲ來タスニ及ヒ其或者ハ牧畜業ニ從事シ或者ハ農業ニ轉スルモノアリテ茲ニ牧畜及農業起リ其重要貿易品モ礦產物ノ外畜產及農產物ヲ加フルニ至レリ千八百九十三年ニ於ケル彼有名ナル銀行業者ノ恐慌ト稱スル經濟界ノ變態ハ一般ノ營業狀態ヲ確實ニシ世人ヲシテ農業及牧畜業ノ最モ確實ニシテ且ツ有利ナルコトヲ知ラシメ其結果一般ニ農業及牧畜業ノ進步ヲ促シ就中牧畜業ノ進步ハ最モ顯著ナルモノニシテ現今ニ於テハ畜產物ノ輸出額ハ輸出貿易品總價格ノ約二分ノ一ヲ占ムルニ至レリ斯クノ如キ經路ヲ取リ來リタル濠洲ノ貿易總額ハ千九百九年ニ在リテハ一億一千五百四十四萬四千八百八十二磅ニシテ世界ノ諸國ニ對シテ未ダ以テ誇ルニ足ラスト雖モ人口一人ニ對スル貿易額ニ於テハ世界各國中第四位ヲ占ムルヲ見ル可シ今其關係ヲ表示スレハ左ノ如シ

世界各國ニ於ケル最近一箇年間ノ貿易額調査表

國名	調査ノ末日	貿易額		一人當リ貿易額	
		輸入	輸出	輸入	輸出
濠洲聯邦	一九〇九年	四、六六、七二〇	六、八四、七二一	一、一五、四〇、四八二	五、五二、四〇、一〇五
英帝國	一九〇九年	五、三九、八三三	三、七八、一八〇	九、一八、〇二二	二、四八、五二一

カ ナ ダ	一九〇九、一三、三	七、〇九、五三〇	五八、七六、一〇三	一三五、七四五、六三二	一四、八八、三	八三、一八、〇
ニュージールランド	一九〇九、六、三〇	一五、四七五、六五九	一九、四六二、九六六	三四、九三六、五九五	一八、六〇、〇	六三、五、一九、〇
北米合衆國	一九〇八、一三、三	二七、四五三、二八〇	三五、一五五、七〇〇	六三〇、〇三八、九九〇	三、〇四、〇	〇、七、三、〇
アルゼンチン 共相國	同上	六〇、三三三、〇〇〇	七三、二〇〇、〇〇〇	一三三、五五五、〇〇〇	一〇、一五、五三三	一、〇七、三、〇
オーストリア ハンガリー	同上	一〇三、四〇〇、〇〇〇	九六、七四一、〇〇〇	二〇〇、一四一、〇〇〇	二、一、一九、四四一	一、一六、一〇、五
ベルヂウム	同上	二六、三七五、〇〇〇	一〇〇、九七七、〇〇〇	三三七、三五三、〇〇〇	一八、六四、〇	四三、一八、一〇
デンマルク	同上	三、〇九七、〇〇〇	二四、六五七、〇〇〇	五五、七五四、〇〇〇	一〇、二九、五三〇	一、一五、七
フランス	同上	二七、五五四、〇〇〇	二〇九、三六四、〇〇〇	四八一、九三六、〇〇〇	六、一八、一一五	六、八二、三、五
獨逸帝國	同上	三三、二三四、〇〇〇	三二八、六七四、〇〇〇	七五、七九八、〇〇〇	六、一、二二	一、二一、七
伊多利亞	同上	一七、六五三、〇〇〇	七〇、〇一一、〇〇〇	一八七、六六四、〇〇〇	三、九、五二	一、〇、九
日本	同上	四八、二五一、〇〇〇	三九、六六四、〇〇〇	八七、九二五、〇〇〇	〇、一九、六	〇、一六、一
ノルウェー	一九〇七、一三、三	一九、八〇八、〇〇〇	一一、六六一、〇〇〇	三三、四六九、〇〇〇	八、一〇、五	八、一一三、一九
ポルトガル	同上	一三、八九一、〇〇〇	七、〇〇五、〇〇〇	二〇、九四一、〇〇〇	二、一三、五	一、七、一〇、〇
スペイン	一九〇八、一三、三	三六、六六二、〇〇〇	三六、四四九、〇〇〇	七五、一一一、〇〇〇	一、一九、八	一、一七、四三、一七
スウェーデン	一九〇七、一三、三	三七、八九四、〇〇〇	二九、四八八、〇〇〇	六七、〇四二、〇〇〇	七、一、六	五、八、一〇、二二
スウェツラランド	一九〇八、一三、三	六一、三五九、〇〇〇	四三、三九二、〇〇〇	一〇四、七五一、〇〇〇	一七、八、三	三、三、六、一〇、四
ウルガイ	同上	七、二二二、〇〇〇	七、七六七、〇〇〇	一四、九七九、〇〇〇	六、二、三	六、一、一、八二、一三、一

抑モ海外貿易額ハ其國ニ於ケル各種産業ハ勿論其他諸般ノ要素ノ相綜合シタル結果ノ發顯ニ外ナラサルヲ以テ一國ノ繁榮ヲトス可キ最モ良好ナル示度計ト稱ス可シ之ニ依テ濠洲聯邦ニ於ケル海外貿易額ノ趨勢ヲ精査スルニ其進歩ハ迅速ニシテ又極メテ確實ナルモノナルコトヲ知ルヲ得可シ、今其關係ヲ明ナラシムル爲メ千八百八十年以後千九百九年ニ至ル間ノ輸出入貿易ノ關係ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル海外貿易額調査表 (自千八百八十年至千九百九年)

年次	貿易額		一人割貿易額		輸入額ニ對スル輸出額ノ百分率
	輸入	輸出	輸入	輸出	
千八百八十年	三三、九元、〇〇〇	二七、二五五、〇〇〇	一〇、八二〇、〇〇〇	二二、八八一	一八、八
千八百八十一年	二九、〇七六、〇〇〇	二七、五八六、〇〇〇	一一、二一六、二	二二、二、八	九四、七
千八百八十二年	三六、一〇三、〇〇〇	二七、三三三、〇〇〇	一五、七、七	一一、二、九	七五、六
千八百八十三年	三五、四五四、〇〇〇	三〇、〇五八、〇〇〇	一四、九、九	一二、五、八	八四、八
千八百八十四年	三六、九八八、〇〇〇	二八、七〇八、〇〇〇	一四、九、九	一一、四、八	七七、六
千八百八十五年	三六、八八二、〇〇〇	二六、六六七、〇〇〇	一三、五、二九	一〇、一、三	七七、三
千八百八十六年	三四、一七九、〇〇〇	二二、七〇〇、〇〇〇	一一、九、四	七、八、四	六三、五
千八百八十七年	二九、五三三、〇〇〇	三三、四二二、〇〇〇	一〇、八、八	八、五、三	七九、二
千八百八十八年	三六、八八一、〇〇〇	二六、九〇〇、〇〇〇	一一、二、七	九、七、二	七三、八
千八百八十九年	三七、五七五、〇〇〇	二九、五五三、〇〇〇	一一、八、八	九、五、七	七六、六
千八百九十年	三五、一六八、〇〇〇	二九、三二二、〇〇〇	一一、六、四	九、八、九	八三、四
千八百九十一年	三七、七一〇、〇〇〇	三六、〇四三、〇〇〇	一一、六、〇	一一、五、六	九五、六
千八百九十二年	三〇、一〇七、〇〇〇	三三、三三〇、〇〇〇	九、四、〇	一〇、三、一〇	一一〇、八
千八百九十三年	三三、七五五、〇〇〇	三三、三三五、〇〇〇	七、二、七	九、九、四	一三九、八
千八百九十四年	二二、八九七、〇〇〇	三三、一一三、〇〇〇	六、九、〇	九、九、四	一四六、七
千八百九十五年	三三、一九五、〇〇〇	三三、六四四、〇〇〇	六、一、四	九、四、六	一四五、〇
千八百九十六年	二九、六五六、〇〇〇	三三、九六四、〇〇〇	六、二、六	九、七、二	一七一、五
千八百九十七年	三三、九五六、〇〇〇	三七、七三三、〇〇〇	八、八、三	一〇、一、〇	一一一、一
千八百九十八年	三三、四八一、〇〇〇	四〇、一六五、〇〇〇	八、二、一	一一、〇、七	一一九、三、六
千八百九十九年	三三、三三〇、〇〇〇	四八、五九九、〇〇〇	九、九、〇	一一、三、五	一四一、六
千九百一年	四一、三六八、〇〇〇	四五、九五七、〇〇〇	一一、一、三	一二、五、九	一一二、〇
千九百二年	四二、四三四、〇〇〇	四九、六六六、〇〇〇	一一、三、九	一三、二、一	一二七、一
千九百三年	四〇、六六六、〇〇〇	四三、九一五、〇〇〇	一〇、一〇、二	一一、七、一〇	一〇八、〇



スウェーデン	一六七、七八	二、八七三	九七、一八九	六九、八二八	三三、七三〇
北米合衆國	二、二六八、六三〇	一、六八二、〇九三	四、三五五、七三四	五、〇二四、四〇八	五、〇〇三、一三〇
其他ノ外國	四九、六六九	五六、五四五	二九、七二七	二八二、八四七	二五九、二三〇
計	六、一七三、四一一	四、五二九、三五五	九、四六一、三三七	一一、二五三、五四〇	三、一二四、九七四
總計	三五、三六一、九八一	二五、七三四、五七七	三六、三三八、二〇〇	三九、七一九、九八一	五、一七一、八九六

上表ニ基キ各國ヨリノ輸入額ヲ濠洲聯邦ノ總輸入額ノ百分率ヲ以テ示ス時ハ左表ノ如シ  
各國ヨリノ輸入額ノ總輸入額ニ對スル百分率調査表

英帝國及 其領地	各五箇年間ノ平均一箇年ノ輸入額					千九百九年
	自千八百八十七年 至千八百九十一年	自千八百九十二年 至千八百九十六年	自千八百九十七年 至千九百零一年	自千九百零二年 至千九百零六年	千九百九年	
英帝國	七〇、一四	七〇、九三	六二、七七	五八、三〇	六〇、九三	
カナダ	〇、二七	〇、三五	〇、六四	〇、七五	〇、九九	
喜望峯殖民地	〇、〇一	〇、〇四	〇、〇一	〇、〇一	〇、二〇	
セイロン	〇、三三	〇、九三	一、一三	一、五三	一、四四	
ヒマヤル	〇、四八	〇、三六	〇、二九	〇、一〇	〇、七〇	
香港	二、一八	一、七九	〇、八九	〇、七六	〇、四七	
印度	二、一一	二、三六	二、五三	二、八九	三、五二	
マウリチアス	一、三七	〇、六九	〇、四九	〇、二七	〇、一一	
ナタール	〇、〇三	〇、〇三	〇、〇〇	〇、〇一	〇、〇三	
ニュージブラル	五、一六	四、二八	四、二四	六、二四	四、二九	
ニューギニア	〇、〇三	〇、〇六	〇、一四	〇、一七	〇、一五	
海峽殖民地	〇、三六	〇、五四	〇、七七	〇、四五	〇、九五	
其他ノ英領地	〇、〇六	〇、〇六	〇、〇九	〇、三三	〇、五九	
計	一一、四一	一一、四八	一一、一八	一一、三六	一一、四五	
英帝國及英領地合計	八二、五五	八二、四〇	七三、九五	七一、九〇	七四、三七	

諸外國	各五箇年間ノ平均一箇年ノ輸入額					千九百九年
	自千八百八十七年 至千八百九十一年	自千八百九十二年 至千八百九十六年	自千八百九十七年 至千九百零一年	自千九百零二年 至千九百零六年	千九百九年	
アルゼンチン共和國	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇一	〇、五八	〇、〇〇	
ベルチューム	〇、六四	一、〇七	一、〇九	一、四一	一、八九	
「チリ」及「ペルユー」	〇、〇六	〇、〇一	〇、〇九	〇、〇二	一、〇一	
支那	二、二六	一、七二	〇、七二	〇、三三	〇、〇九	
佛蘭西	一、〇一	〇、七六	一、三三	一、一七	〇、八〇	
獨逸	三、六三	四、二二	六、二二	六、八二	六、五一	
「ハワイ」ニューアリアンズ 「カレドニア」ニューヘブリデス 南洋群島	〇、〇三	〇、〇二	〇、〇四	〇、三六	〇、三七	
伊多利亞	〇、〇九	〇、一六	〇、三六	〇、四三	〇、四七	
日本	〇、〇九	〇、一五	〇、三六	〇、四三	〇、四七	
日ヤバ	一、一〇	一、八〇	一、二七	一、二九	二、〇七	
ネザールランド	〇、〇六	〇、〇五	〇、一〇	〇、二六	〇、三〇	
ノルウェー	一、〇一	〇、〇六	〇、〇七	〇、七六	〇、八四	
ヒリッピン	〇、〇四	〇、〇六	〇、一八	〇、一八	〇、一八	
スウェーデン	〇、四七	〇、〇八	〇、二七	〇、一八	〇、六四	
北米合衆國	六、四一	六、五四	一一、〇〇	一一、六二	九、七八	
其他ノ外國	〇、一四	〇、三三	〇、〇六	〇、七三	〇、五一	
計	一七、四三	一七、六〇	二六、〇五	二八、一〇	三五、六三	
總計	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	

上表ニ依リテ之ヲ見レハ濠洲ノ輸入品ハ主トシテ之ヲ英本國ニ仰クモノニシテ諸外國ニ仰クモノハ僅ニ輸入總額ノ二  
五、六二「プロセント」ニ過キササルナリ  
千九百一年及千九百五年ヨリ千九百九年ニ至リ五箇年間ニ於ケル輸入額ヲ其貿易品別ニ調査スレハ左表ノ如シ  
濠洲ニ於ケル貿易品別輸入額調査表

	千九百一年	千九百五年	千九百六年	千九百七年	千九百八年	千九百九年
一、動物質食料	七九三、三六五	六八六、〇三二	六九七、八〇〇	六八八、六四三	八三四、五四三	七五一、〇四四
二、植物質食料	二、九二五、九八五	一、四九三、一九六	一、七九八、九三三	一、五七四、九三三	二、一九二、六七四	二、七四一、八一
三、飲料(酒精分ヲ含マサルモノ)	一、〇五四、三四四	一、二三四、六五三	一、〇〇六、二六六	一、五四九、七八五	一、三三二、二九三	一、四〇九、七三三
四、酒精含有液	一、八四五、四三六	一、三四六、四一九	一、三八八、六七一	一、五五六、二三四	一、五七五、一五一	一、四九六、九五三
五、煙草	七二七、九一五	五五五、一三三	六二〇、八二二	七五三、八六九	七七八、三三四	六六、二二
六、動物(生活セルモノ)	四〇、三〇六	八六、一二六	一一八、九〇七	一一四、七八七	一〇八、〇六七	一一三、七三四
七、動物性物品	一三四、〇一七	三二〇、三三九	四五六、〇七一	五七六、〇五四	四〇〇、七四八	三三六、九八一
八、植物性物品	四九九、三六一	五七八、五六一	七二七、七二五	八六三、六〇三	九四四、二三三	九九七、二〇五
九、衣類	一、二〇六、三六七	二、〇一七、二八〇	一、三、五〇八、八四四	一、五三六、七〇四	二、三八四、六八七	一、四、七六五、七三六
一〇、油	一、二九〇、三三三	九〇三、六三六	一、〇三三、四一〇	一、一九二、七七七	一、一九〇、八二六	一、三三七、四二九
一一、塗料	三六五、四四九	三三八、八三三	三五二、三五六	四四五、七六九	四一九、八〇九	四一六、四一八
一二、石類	一三三、〇九五	七七、一一五	九一、六七六	一二七、三七二	一一九、三四八	一六四、〇六九
一三、正貨	一七二、三九五	八四、三三〇	三〇〇、九五七	四〇六、八七五	三三九、〇八八	五〇四、一九七
一四、鑛物	九八四、三三七	一、六六八、〇七三	二、三八一、五六六	一、七六三、三〇三	一、七八、五五五	一、三三、六二〇
一五、金屬未製品	一、〇六二、三〇九	四七九、九一四	六四六、一七九	七九七、三五四	七四九、〇三六	七四一、一八四
一六、金屬完製品	七、四九一、六三六	六、五五〇、一八九	七、九三三、六七五	一〇、五三二、一六六	一〇、七二一、六〇七	一〇、三七三、〇一九
一七、皮革護膜製品	五三三、五六五	六七三、一一八	九二四、九六八	一、〇〇四、八三三	九三三、〇三三	一、〇八〇、三三三
一八、木材枝條及其ノ製品	一、八四〇、三六三	一、四三三、八六三	一、六九八、七六六	二、一〇〇、三〇五	二、三四三、八六三	三、〇六〇、三三二
一九、陶器「セメント」玻璃及石器	九二五、一〇一	五九七、七八七	六八八、五二〇	八六三、八四九	八五五、八五五	七九一、〇五
二〇、紙及其他ノ文房具	一、七三三、三三〇	一、七二一、七四四	一、八三六、四七四	二、〇七二、三四四	二、三四、九三〇	二、〇九八、六三六
二一、寶石、時計及小間物	一、〇六五、三四八	八八八、三九二	一、〇四五、一六四	一、二六二、〇四六	一、一〇二、六四四	一、三〇三、五三八
二二、光學、外科及學術用器械	二八、四三七	二二〇、三四四	二八五、七七二	三九七、三〇〇	三六〇、一四〇	四一一、五四七
二三、藥劑化學用品及肥料	一、四七七、一六三	一、五七七、六三三	一、七三三、五四三	一、八四〇、九三三	一、九一六、六八〇	一、七四四、〇三三

二四、雜計	品	三、一四〇、三四五	二、九四五、三三二	三、三五七、九一八	三、九七八、〇八八	四、〇五四、二八二	四、三三三、六八七
		四二、四三三、八二二	三六、三四六、七三三	四四、七四四、九二二	五一、八〇九、〇三三	四九、七九九、二七三	五一、一七一、八八六

上表ニ依リテ之ヲ見レハ輸入品中最モ多額ナルハ第九類ノ衣類布帛ニシテ其千九百九年ノ輸入額ハ千四百七十六萬五千七百三十八磅アリ猶連年増加ノ傾向ヲ呈シ千九百一年ヨリ千九百九年ニ至ル八箇年間ニ於ケル其増加額ハ二百七十七萬三千七百一十一磅ニシテ平均一箇年ニ付キ二十三萬七千五百四十六磅ノ増加ヲナシタル割合ナリ之ニ次キテ輸入額ノ多キハ第十六類ノ金屬完製品ニシテ千九百一年ニ於ケル其輸入額ハ七百四十九萬一千六百三十六磅ナリシカ千九百九年ニ至リテハ増加シテ千三百七十七萬二千九百九十九磅ニ達シ平均一箇年間ノ増加額三十二萬四千八百八十磅ニ該當ス然ルニ第二類植物食料ノ千九百一年ニ於ケル輸入額ハ二百九十二萬五千九百八十五磅ナリシカ千九百九年ニ於テハ二百七十四萬一千八百一十一磅ニ減シ逐年其輸入額ヲ減少セリ之レ濠洲ニ於ケル農業及ヒ牧畜ノ進歩ニ伴フ自然ノ趨勢ナル可シ第一類植物質食料モ亦同一ノ傾向ヲ有スルヲ見ル可シ、第十八類ノ木材枝條及其製品ノ輸入ハ千九百一年ニハ百八十一萬四千三百八十二磅ナリシモ千九百九年ニハ二百六萬二千三百一十一磅ニ上リ其一箇年ノ平均増加額三萬七百三十一磅ニ該當スルヲ見ル可シ抑モ木材輸入ハ「バタ」「チース」「チャム」其他ノ雜詰類及ヒ林檎其他ノ果實ノ輸出ニ使用スル包裝箱製造用軟材ヲ主トスルモノナルヲ以テ農業及牧畜業ノ進歩ニ伴ヒテ益其輸入額ヲ増加スルモノナルヲ知ル可シ、其他ノ諸品ニ對スル輸入額ノ消長ハ上表ヲ見レハ自ラ明カナルヲ以テ茲ニ贅セス

各國ヨリノ輸入額 千九百九年ニ於テ各國ヨリ濠洲聯邦ニ輸入セラレタル重要品ニ關シ各國別ニ其輸入額ヲ示セハ大要次ノ如シ

- 英國國 千九百九年ニ於テ英國ヨリ濠洲ニ輸入セラレタル重要輸入品類及ヒ其價格ヲ示セハ概略左ノ如シ
- 衣服及織物 九百一萬八千五百一十一磅
- 鐵及鋼 鐵 百七十五萬八千三百四十磅
- 金屬製品 百七十六萬四百七十一磅
- 藥劑及化學用品 七十三萬五千八百五十四磅

酒 精 六十三萬二千二百二十二磅  
 書物及雜誌 四十六萬五千七百十九磅  
 寶石及貴重品 二十三萬九千五百八十六磅  
 商用器具 二十三萬三千九百八十磅  
 塗料及色素 二十七萬九千三百二十二磅

英領諸國 英領諸國ヨリ輸入セラレシ千九百九年ノ重要輸入品ニ關シテハ大要左ノ如シ

英領「カナダ」

木 材 八萬四千八百四十九磅  
 農業用器具機械 十五萬五百四十一磅  
 自轉車其他 二萬七千二百四十四磅  
 家 具 一萬一千百九十七磅

「セイロン」

茶 七十萬千七百五十七磅

「ナ ヲ ツ」

一萬三千八百三磅

「ヒイデ」島

「バナ ナ」 九萬六千三百七磅

砂 糖

二十二萬七千六百八十二磅

椰子ノ種實 四千七百九十六磅

「マウリチアス」島

砂 糖 五萬四千二百五十六磅

印度

手提鞆及袋囊 百十八萬九千九百三十七磅

茶

二十二萬四千六百四十四磅

帆布綿及「ヘッシャル」靴 十五萬七千七百十三磅

「ニュージールランド」

金 九十三萬七千八百二十八磅

材 木

四十六萬九百六十九磅

皮 草 十六萬七千八百三十三磅

織 維

十萬九千五百五十四磅

海峽殖民地

米 千七百三十一磅

油

一萬六千五百七十七磅

粉 麪 及 四萬二千九百九十一磅

香 料

二萬九千二十一磅

諸外國 諸外國ヨリ輸入セル千九百九年ノ重要輸入品ヲ示セハ概略左ノ如シ

「オーストリア、ハンガリー」

衣服及織物 十一萬五千六百八十磅

家 具

一萬九千三百八十六磅

「ベルヂューム」

衣服及織物 十五萬三千九百四十九磅

玻璃及玻璃製品

十一萬四千九百九十九磅

鐵 及 剛 鐵 十二萬四千九百九十五磅

寶 石

三萬七千三百八十八磅

「マ ッ チ」 二萬八千二百三十九磅

金 屬 製 品

七萬九千五百八十九磅

「チリ」

硝酸曹達 六千七百一十一磅

支那

茶 七萬五千六十三磅

米

五萬八千五百七磅

衣服及織物	五萬七千四百四十七磅	藥劑	十七萬三千七百五十三磅
佛蘭西		煙管	四萬八千六百七十五磅
衣服及織物	八十五萬七千七百五磅	護謄製品	三萬五千二百二十六磅
小間物	三萬二千八十八磅	酒精	十五萬五千九百四十磅
自動車及附屬品	十萬一千六百四十二磅	機械其他	四萬七千九百四十七磅
草	一萬八千八百五十三磅		
葡萄酒	九萬四千七十三磅		
獨逸			
「エール」酒及麥酒	九萬四千七十三磅	衣服及織物	百二十九萬五千九百七十六磅
武器及彈藥	八萬九千四百三十二磅	磁器	四萬一千六百九十磅
藥劑及化學用品	十六萬八千五百九十磅	小間物	十二萬一千五百磅
玻璃及玻璃製品	七萬七千七百十二磅	護謄製品	十四萬三百二十磅
金屬及金屬製品	百三十萬七千五百磅	寶石類	八萬一千二十五磅
革其他	六萬九千九百八十七磅	樂器	二十五萬六千三百六磅
紙	十五萬六千四百三十三磅	文房具	八萬八百二十七磅
伊太利		菓實	三萬一千八百四十磅
衣服及織物	十四萬二千二百三磅		
「マツチ」	一萬五千二十一磅		
日本			

衣服其他	三十六萬一千八百八十七磅	硫黃	七萬一千五百四磅
米	一萬二千九百七十六磅	油	二萬七千五百六十八磅
材木	二萬八千七百三十五磅		
「ジャバ」			
砂糖	八十四萬五千七百三十四磅	米	三萬八千七百十二磅
カボック	七萬六千五百十六磅	茶	四萬五千二百五十一磅
「ネザランド」			
衣服及織物	四萬七千六百八十七磅	酒精	九萬八千六十磅
「ゴア」及「チコレイト」	六萬二千四百三十三磅	紙	一萬九千七百五十五磅
「ノルウエー」		魚類	四萬四千六百八十六磅
木材	二十八萬九千六百八十四磅	紙	七萬二千八百四十五磅
「ミルグ」	三千四百八十六磅		
「ヒリッピン」島			
亞麻及大麻	五萬三千三百三十四磅	葉卷煙草	三萬四千九百八十四磅
「スウェーデン」			
炭化「カルシウム」	四萬四千十六磅	乳脂分離器	五萬四百七十一磅
「マツチ」及蠟「マツチ」	四萬七千三百二磅	紙	七萬七百七十二磅
木材	十三萬三千三百九十六磅		
「スウェツラランド」			

衣服及織物	六十五萬六千八百九十七磅	懷中時計	六萬五千三百十七磅
砂糖	三萬九百八十八磅		
北米合衆國			
衣服及織物	三十四萬五千四百二十五磅	寫真器械幻燈器械	十五萬二百七十七磅
魚類	十三萬四百六十六磅	革	二十五萬二千三百八十九磅
藥劑	七萬二千三百七十二磅	金屬製品	九十一萬二千八百二十七磅
機關機器	八十二萬三十一磅	燈用石油	五十七萬七千六百二磅
減擦用油	十一萬六千五百五十一磅	紙	十六萬四千五百六十三磅
文房具	六萬六千五百六十二磅	木材	五十九萬四千四百一十一磅
煙草	四十三萬三千七百十八磅	木製品	八萬百十四磅
自轉車及其他ノ乘車	十萬三百二十七磅		

其二輸出

濠洲聯邦ヨリスル海外輸出額ニ關シテ千八百八十七年以來千九百九年ニ至ル間各輸出國ニ對シテ其消長ヲ知ルノ目的ヲ以テ輸出額國別調査ヲ示セハ左表ノ如シ

濠洲ニ於ケル輸出額國別調査表

英帝國 喜望峯殖民地	各五箇年間毎ノ平均二箇年ノ輸出額				千九百九年
	自千八百八十七年 至千八百九十六年	自千八百九十七年 至千九百零一年	自千九百零二年 至千九百零六年	自千九百零七年 至千九百一一年	
三、〇〇三、七四二	三、三〇〇、七九九	三、五三七、四五六	三、七三三、四五六	三、〇九七、一三三	
五〇三	一一、七九三	七、七、六二七	一一、七二二、七五七	八〇、二四三	
八四、七八六	八〇、五五五	一、八四〇、九六一	二、二一六、七三三	九八八、一八九	

英帝國及其領地	各五箇年間毎ノ平均二箇年ノ輸出額				千九百九年
	自千八百八十七年 至千八百九十六年	自千八百九十七年 至千九百零一年	自千九百零二年 至千九百零六年	自千九百零七年 至千九百一一年	
英帝國及英領地合計	二、四九二、二二三	二、八二〇、三四七	三、〇三三、五〇一	三、二四一、二二七	三、〇九七、一三三
「アルゼンチン」共和國	一、三、四九、九〇八	一、四、三三、七七八	一、四、八八、七八五	一、五、〇三、五〇一	一、五、〇三、五〇一
「チリ」及「ペリウ」	一、一六、九三二	一、五五、六六六	三、三九、三九〇	四、七三、六四九	四、七三、六四九
支那	四、三、八八四	三、三、七七八	二、〇八、六〇一	二、四二、五八〇	一、五、一、六六八
佛蘭西	六、六三、六七三	二、〇、六四、六三九	二、一、六四、二四四	四、一、九〇、二四四	六、四、八〇、七八二
獨逸	五、五九、六九七	一、五八〇、六九三	二、一、二八、五九六	三、四〇、六三三	六、三、九四、六三三
伊太利	一、六、一三六	四、四、九五四	一、七、七、四四一	一、五、六、九三三	二、四、五、八五八
日本	八、九五〇	四、八、三三三	一、三、八、六八六	一、五、〇、六七〇	一、八、八二、六九三
日	五、七、九二二	七、〇、五八二	一、二、五、二八五	一、五、七、五九九	三、一〇、七〇三
ネザールランド	一、八、〇、一三三	四、五、〇、〇〇八	六、九、六三三	二、六、九、五五八	二、一〇、七、七二四
ノルウェー	一、一、七、四七二	九、七、一一一	一、五、〇、九九九	一、〇、五	八、四、一一一
ヒリッピン	一、一、七、四七二	二、四、六、六四二	一、五、〇、九九九	一、〇、五	五、三、一、〇、四七





濠洲ニ於ケル生産品別輸出額調査表

	千九百一一年	千九百一五年	千九百一六年	千九百一七年	千九百一八年	千九百一十九年
一、動物質食料	四、〇四一、九六	四、七二六、九四三	五、六四八、〇四九	五、七二六、一五三	四、八四一、三二五	五、四七三、六一九
二、植物質食料	四、六三三、九二六	五、九七九、三六二	六、六六三、二六七	六、八六六、二七九	四、七二〇、八一五	八、四四〇、〇九九
三、飲料(酒精分ヲ含)	二、五九八	二、〇六七	三、七五〇	二、八二〇	三、五三九	三、八八三
四、酒精含有液	一、三四、六三〇	一、三三、九七六	一、〇七、八九九	一、三四、〇一一	一、二二、六二二	一、三三、九九三
五、煙草	五、〇〇〇	四、〇〇二	四、〇、四四四	六七、六一二	八三、一四三	七六、五九四
六、動物(生活セルモノ)	四七、七、六〇一	四〇三、三三七	三三、五、〇四三	三六、九、四一七	二六、三、七三七	二〇、六、四八五
七、動物性物品	一六、七、五〇、〇〇六	二二、二九四、五六	二五、六、九六、四九一	三三、〇、一、三六四	二五、四三二、一四三	二六、九、六九、九九八
八、植物性物品	一四二、〇、〇〇〇	二六五、三九〇	二八二、一一二	二五五、一九一	二三二、六六八	一九五、九九二
九、衣類及織物	四二、一、四三二	四二、四九九	六二、八八九	七五、五六三	六五、三〇四	七八、五五九
一〇、油	八四三、七五五	九五六、一〇九	一、〇、一、八四三	一、二、五九九、〇三二	九四、五、一一三	一、四二、七、一〇〇
一一、塗料	六二〇	二、〇三六	三、三三七	五、四三三	三、三、三三七	四、六八二
一二、石類	一、〇、四、九七四	八九七、三五四	九二七、五六〇	一、三、四三三、七七一	一、四二二、三〇四	八七四、六二八
一三、正貨	八、八八四、八六	四、二五五、七〇三	九、八五一、五五八	五、四一一、五七二	九、八八九、五七六	四、二、六七、〇七〇
一四、鍍金物品	八、九二六、二六九	一一、九三六、六九六	一三、三三七、二一〇	一四、一六三、五四〇	一一、七二四、二七五	一〇、三、四三、三二七
一五、金屬未製品	三、八〇三	九、九七二	二二、三三九	一一、〇四九	二五、五六八	七、五七〇
一六、金屬完製品	二七、六六二	一三八、六八三	一四九、九五三	一五六、五四〇	二二五、八七八	二〇七、八九三
一七、皮革護膜製品	六六〇、六九三	五五四、八五七	五九、二〇八	五六九、五五六	五七三、七四二	五三四、七一一
一八、木材枝條及其製品	六六六、〇三四	一、〇三二、七六	一、〇〇九、六〇七	八〇三、一九四	一、〇三六、二五六	一、〇三三、三六
一九、陶器、セメント、玻璃及石器	六、六〇〇	一六、七二七	二六、七〇八	三三、〇五三	三二、九五三	一四、四五三
二〇、紙及其他ノ文具	三三、一七一	三六、九二二	四六、七三四	四九、七三〇	六四、七三六	五八、八五三
二一、寶石、時計及小間物	六七、九七八	一五六、七三三	一四八、六六八	一四九、三二五	一四二、六五四	一四一、九五〇
二二、光學外科及學術用器械	五〇七	二、一〇〇	一、八三三	二、七六六	五、六三三	六、八六七

	千九百一一年	千九百一五年	千九百一六年	千九百一七年	千九百一八年	千九百一十九年
二三、藥劑化學用品及肥料	八六、三九九	一四〇、三八三	一六八、九七三	二〇九、一九七	二二二、四三二	二二一、二九七
二四、雜品	一三〇、四一八	一一、七三〇	二四、五九四	一四一、二四四	一四二、二二二	一六四、一九四
計	四七、七四一、七七六	五四、二七七、七五八	六六、二九九、八七四	六九、八八六、五〇〇	六三、二一八、九〇三	六二、八四三、七一一

濠洲生産品以外ノ品別輸出額調査表

	千九百一一年	千九百一五年	千九百一六年	千九百一七年	千九百一八年	千九百一十九年
一、動物質食料	三五、二九二	四七、七三四	二二、〇三三	二〇、七五〇	二〇、六九八	二一、八七二
二、植物質食料	八、三七二	一九三、七六六	二〇〇、七二〇	三〇七、七〇七	二八〇、三五七	三〇一、五五五
三、飲料(酒精分ヲ含)	四三、三〇八	五四、二八八	六三、四一九	七二、六四七	六二、二八五	八二、七三六
四、酒精含有液	五五、七三三	三七、九七二	三三、九八〇	三六、八八九	三二、二五九	三〇、七三六
五、煙草	六二、七五三	三九、三二八	三四、五六六	三三、七五二	四〇、一二七	五二、八八九
六、動物(生活セルモノ)	一〇、七〇〇	六、九九一	三、七三三	五、六五五	一、一七〇	九三五
七、動物性物品	一〇、〇七〇	四、三五九	一一、七九〇	九、五六五	七、四〇一	三、四三三
八、植物性物品	一七、六二五	九、五六八	一四、七〇九	一八、六八八	一六、七三三	一九、八八八
九、衣類及織物	一七、一〇四	一七、三〇八	一九八、〇九八	二〇三、九五〇	二二九、〇七〇	二〇五、九三六
一〇、油	四二、二九二	四六、七七七	四四、七八三	四二、五四六	六五、三三四	三九、一三四
一一、塗料	一五、一八六	一一、一四三	一四、〇〇三	六、三三〇	七、七三三	六、四六二
一二、石類	二、〇四三	二、〇〇〇	一、八八三	二、一七九	二、三〇八	二、九四一
一三、正貨	八四六、九二二	一、四二二、六六〇	二、〇八七、九〇一	一、四七四、二二五	六六〇、八八二	一、〇九九、二二二
一四、鍍金物品	九、七四四	五〇、七九一	五二、二七八	二七、〇三六	一一、五二七	六、二八七
一五、金屬未製品	一三、八〇六	二六、四四四	五八、九九一	五四、八四一	二〇、六〇三	三三、八六六
一六、金屬完製品	一九六、三三四	一九三、九四七	二〇〇、八七六	二二二、三三三	二二二、四六八	一〇六、〇〇四
一七、皮革護膜製品	一三〇、七四四	三三、〇四六	二八、九五五	三三、六九二	四二、八〇三	五二、〇五三
一八、木材枝條及其製品	三三、一三五	二六、一四九	三四、四三六	四七、七九一	三六、六二七	五〇、〇九五

一九、陶器、セメント、玻璃及石器	三三、三三七	一八、五五六	三三、七五六	二六、〇三七	一五、九九三	一一、三三八
二〇、紙及其他ノ文房具	五三、一七一	四九、四七一	六二、六五五	五二、四五四	六一、一七七	六二、四五九
二一、寶石時計及小間物	五四、四三二	六六、一四七	三九、三三八	四九、〇五一	五九、六三三	六三、〇九五
二二、光學外科及學術用器械	一三、五五五	九、三三九	二一、六六〇	三三、一〇八	五四、七五五	五五、七四三
二三、藥劑化學品及肥料	四三、九七六	三五、五九五	四五、七三五	四七、五二一	四八、三三〇	四六、七六六
二四、雜品	一一、一三三	一六八、〇五九	一四七、六一三	一八二、〇七〇	二〇二、五五四	一四〇、八八〇
計	一、九五四、三九六	二、七三三、二七七	三、四三七、八八九	三、〇〇七、七四七	二、八九二、一五五	二、四七五、二五

二百九十二

前二表合計品別總輸出額調査表

	千九百一一年	千九百一五年	千九百一六年	千九百一七年	千九百一八年	千九百一十九年
一、動物質食料	四、二九、四八七	四、七四、六六六	五、六六九、〇八一	五、七四六、九〇三	四、八六二、〇三三	五、四九五、四九一
二、植物質食料	四、七四、二九七	六、七三、二八	六、八六三、九七七	七、一三三、九八六	四、九九一、一七三	八、六四一、六五四
三、飲料(酒精ヲ含マ)	四五、九〇六	五六、三三五	六七、一六九	七五、四五七	六五、八二四	八六、〇二二
四、酒精含有液	一九〇、三六三	一六一、九四七	一四〇、八七九	一七〇、九〇〇	一三三、八八〇	一六四、七二八
五、煙草	六六、七八三	七九、五五九	七五、〇三〇	一〇〇、三六四	一三三、二六九	一一九、四八三
六、動物(生活セルモノ)	四七三、七〇六	四一〇、三三八	三二八、七五六	三七五、〇三三	二六四、九〇七	二〇七、四三〇
七、動物性物品	一六、七四、〇七六	三三、二九八、八七五	三五、七〇九、二八一	三三、〇三〇、九二九	三五、四三八、五四三	三六、九七三、四三二
八、植物性物品	一五九、六八五	二七四、九六六	二九九、八三〇	二七三、八九九	二四七、七九〇	二二五、八三九
九、衣類及織物	二二、一五六	二二、一七六	二五九、九八七	二七九、五二二	二九四、三七四	二八四、四九五
一〇、油	八八六、〇四七	一、〇〇二、八八六	一、一六六、六三五	一、三〇一、五六七	一、〇一〇、四三七	一、四六一、八四四
一一、塗料	一五、八〇六	一三、一八〇	一〇、二四〇	一一、七六三	一一、〇八二	一一、一四四
一二、石類	一、〇四四、〇一七	八九九、三五四	九二九、四四三	一、三四五、九七〇	一、四三三、六一二	八七七、五六九
一三、正貨	九、七三、七三七	五、六七、三三三	二、九三九、四五九	六、八八五、七九七	一〇、四八〇、四五八	五、三六六、二九一
一四、鑛物	八、九二六、〇三三	一、九八七、四八七	一三、三七九、四八八	一四、一九〇、五七六	一一、七三五、七九二	一〇、三三〇、六〇四

一五、金屬未製品	一七、六〇八	三六、三七五	八一、三〇〇	六五、八九〇	四六、一七〇	四〇、四三六
一六、金屬完製品	三三、九九六	三三、六二九	三五〇、八二八	三七八、八五三	四三九、三三六	四一三、八九七
一七、皮革護膜製品	六三、七六六	五七、九〇三	六〇、一六三	六〇、三二八	六一六、五四四	五七六、七六四
一八、木材枝條及其製品	六九八、一五九	一、〇五七、八六五	一、〇四四、〇四三	八四九、九八五	一、〇七四、八八三	一、〇三三、四三三
一九、陶器、セメント、玻璃及石器	二九、九三七	三五、二六三	四九、四六四	五九、〇九〇	四七、九四四	三六、七八一
二〇、紙及其他ノ文房具	七四、三四二	八八、三八二	一〇八、三八九	一〇二、一八四	一一五、九一五	一一、三三二
二一、寶石時計及小間物	一三三、四〇九	三三、八五九	八七、九九六	一九八、三六六	二〇一、二八七	二〇五、〇四五
二二、光學外科及學術用器械	一四、〇六二	一一、四二九	一三、四九二	三四、八七四	六〇、三八八	六二、六〇九
二三、藥劑化學品及肥料	二九、七五五	一七五、九七八	二四、七〇七	二五六、八〇八	二六〇、六四一	二五八、〇八三
二四、雜品	二五、五五〇	二八九、七八九	二八二、二〇六	三三三、三四	三四四、七八七	三〇四、四七四
計	四九、六六、一七二	五六、八四一、〇三五	六九、七三七、七六三	七二、八二四、四七	六四、三二一、〇五八	六五、三二八、八三六

上表ニ依リテ之ヲ見レハ濠洲輸出品中其首位ヲ占ムルモノハ牧畜業ノ産物タル動物性品ニシテ之ニ亞クモノヲ鑛物トス農業ノ主産物タル植物性品ハ第三位ヲ占メ油類モ亦著シキ輸出品ニ達ス林業産物タル木材枝條及ヒ其製品モ亦輸出品中ノ第七位ニアルヲ見ル可シ夫レ斯クノ如ク濠洲輸出品ノ主ナルモノハ直接間接ニ畜産物ヲ第一トシ之ニ次クニ鑛業農産及ヒ林産物等ノ如キ原料品若クハ半製品ノ輸出ヲ以テシ精巧ナル工藝品及ヒ美術品等ハ殆ント輸出セザル、コトナク概シテ其供給ヲ輸入品ニ仰キツ、アルヲ見ルヘシ

濠洲ノ輸出額ノ全量ハ未タ著シキ巨額ニ達シタリト稱ス可ラサルモ其一人當リノ輸出額ニ於テハ「ニュージーランド」ニ次キテ世界各國中第二位ヲ占ム、今千九百一十九年中世界ノ諸國ヘ輸出セラレタル主要輸出品ノ概略ヲ示セハ左ノ如シ

英本國 濠洲ヨリ英本國ヘノ輸出額ハ千九百一十九年ニアリテハ全額五百四十七萬三千六百十九磅ナルカ其重要輸出品ノ價格ハ概略左ノ如シ

小麥	五百四十四萬九千八百八十二磅	牛酪	二百八萬五千三百六磅
金	二百四十萬一千六百九十二磅	羊毛	一千五十六萬二千九百二十九磅

二百九十三

銅及銅鑛 百十三萬九千八百三十五磅  
 銀及銀鑛 四十萬一千六百三十七磅  
 錫 六十六萬八千九百七十六磅  
 獸脂 十萬三千三百三十二磅  
 羊皮 七十八萬七千六百六十九磅  
 羊 三十三萬四千九百二磅  
 草 四十九萬七千二百八十三磅  
 兔ノ凍肉 四十一萬九千五百四十四磅  
 鉛 三十三萬四千九百二磅

英領地 千九百九年英領地へノ輸出總額ハ九百二十二萬四千二百六十六磅ナルカ各國別ニ其重要輸出品ノ二三ニツキ其輸出價格ヲ示セハ左ノ如シ

英領「カナダ」

牛 酪 一萬七千九百四十六磅  
 食用肉 一萬七千四百四十七磅  
 羊毛 七千七百四十八磅

喜望峰殖民地

小麥粉 六十八萬二磅  
 小麥 八萬百三十一磅  
 砂糖 三萬九千五百二十九磅  
 牛酪 九萬四千八百八十四磅  
 草 五萬六千八百四十八磅

「セイロン」

正貨 八十五萬三千三百磅  
 純金 九萬五百七十二磅  
 小麥粉 二萬六百二磅

「ヒイチ島」

正貨 四萬一千五十磅  
 衣服及織物 三萬五千六百八十六磅

木材 八千三百四十四磅  
 ビスケット 一萬八千六百二十一磅  
 小麥粉 一萬九千六百六十二磅  
 石炭 一萬五千六百八十八磅

香海

正貨 三十八萬五千五十六磅  
 木材 三萬二百九十八磅  
 白壇ノ木 二萬五千五百四十六磅  
 石炭 一萬七千九百八磅  
 牛酪 一萬九千六百九十六磅  
 小麥粉 一萬五千四百六十二磅  
 魚類 一萬六千五百二十四磅

印度

純金 百一萬六千二百六十二磅  
 正貨 三十萬一千九十三磅  
 木材 三十六萬四千四百八十五磅  
 純銀 七萬四千三百二十磅  
 馬炭 十二萬五千六百三十一磅  
 銅錠 六千八百磅  
 石炭 三萬四千五百五十一磅  
 羊毛 一萬六千六百五十七磅  
 小麥 一萬八千七百七十一磅

「ナタル」

小麥粉 十四萬八千九百六磅  
 羊ノ凍肉 二萬二千三百三十八磅  
 牛ノ凍肉 一萬四千三百八十磅  
 小麥 二萬九千七百六磅  
 小麥粉 十四萬八千九百六磅  
 砂糖 四萬二千磅  
 金貨 六十五萬磅

「ニュージーランド」

金貨	七十萬二千八百磅	木材	十八萬八千九百五十五磅
石炭	十一萬九千九百七十三磅	砂糖	一萬八千三百四十一磅
衣服及織物	十萬一千八百一十一磅	機械	七萬八千二百二十一磅
煙草	八萬四百七十九磅	印度護膜製品	四萬六千六百七磅
果實	五萬七千八百九十四磅	革及革製品	四萬三千二百三十二磅
肥料	七萬八千一百九十九磅	小麥粉	五萬一千百十七磅
茶	六萬四千七百九十磅	靴	八千九百三十九磅
書物其他	四萬九千五百三十七磅	寫真機械等	二萬九千四十五磅
海峽殖民地			
小麥粉	六萬四千六百五十三磅	石炭	七萬八千二百一磅
馬	一萬三百三十九磅	牛酪	二萬五百三十六磅
錫礦	十八萬六千九百一十一磅		
諸外國	千九百九年諸外國への輸出總額ハ二千五百七十七萬七千五百七十七磅ナルカ各國別ニ其重要ナル輸出品ニ		
ツキ其輸出額ヲ示セハ左ノ如シ			
「アルゼンチン」共和國	八萬八千四十三磅	木材	七千四百九十九磅
農業用具			
「ベルヂューム」			
羊毛	二百二十三萬二百六磅	銀礦	六萬九千五百八十二磅
銅	四十萬六千六十一磅	鉛	五萬二千六十六磅

獸皮	三十八萬四千五百九十一磅	銅	二萬三千百磅
チリ		鉛	一萬三千七百十六磅
石炭	二十五萬八千四百七十八磅	純金	三萬四百二磅
支那			
木材(粗材)	二萬六千六百六磅		
石炭	七千四百七十磅		
牛酪	一萬七千三百九十七磅		
佛蘭西			
羊毛	五百五十九萬四千九百八十三磅	獸	六十三萬五千九百八十三磅
銅	三萬一千四百四十磅	鉛	一萬三千九百五十八磅
獨逸			
羊毛	五百萬六千六百二十三磅	銅	十一萬七千三百七十磅
純金其他	三百九十三磅	金貨	四十五萬磅
鞣皮用樹皮	四萬三千六十三磅	鐵	十五萬二千九十三磅
獸皮	十六萬八千三百四十一磅	箱詰	六萬八千八百五十七磅
鉛	八萬七千二百十五磅	木材	一萬八千八十一磅
果實	二萬六千八百三十五磅		
伊太利			
羊毛	九萬七千七百五十六磅	獸皮	一萬九千十二磅
			二百九十七

鉛	一萬六千五百八十五磅	小	麥	九萬三千六百四十八磅
日本				二百九十八
正貨	百四十五萬磅	羊	毛	二十六萬四千六百三十磅
鉛	四萬七千九百五磅	獸	脂	一萬七千七百三十八磅
小	一萬二千六百九十四磅	肥	料	二萬二千三百九十三磅
「ジャバ」				
小	十三萬二千九百八磅	石	炭	三萬四千三百三十二磅
牛	五萬四千二百六十七磅	馬		一萬九千五百九十八磅
酪	二萬磅			
金				
「ネザールランド」				
銀	三萬八千六百十六磅	鉛		二萬六千八百五十磅
獸	九千三百四十五磅			
脂				
「ペリユー」				
小	十四萬一千三百一十一磅	石	炭	二萬二千八百六十三磅
「ヒリッピン」島				
石	十二萬一千六百六十八磅	食	用	十三萬九千五百八十八磅
小	十一萬七千八百二十五磅	牛	酪	四萬二千四百二磅
木	三千三百七十二磅	馬		五千三百三磅
北米合衆國				

羊	毛	百六十九萬一千三百八十九磅	銅	二十三萬八千三百六磅
獸	皮	三十六萬三千七百七十六磅	金	三萬五千九百六十九磅
錫		八千二十八磅	銀	二萬八千六百五十九磅
石	炭	五萬七千四百三十磅		

其三 結論

濠洲ニ於ケル生産業發展ノ經路ハ鑛業ニ起リ牧畜農業ニ依リテ繼承セラレタルモノナルコトハ既ニ記述セシ所ノ如クナルヲ以テ其貿易關係ニ於ケル輸出品ハ牧畜生産物ヲ第一トシ鑛業農業及ヒ林産物等ノ如キ原料品若クハ半製品之ニ次キ輸入品トシテハ日用品タル衣服織物、農牧ニ必要ナル機械器具、金屬製品並ニ奢侈品タル飲料及ヒ嗜好品等ニシテ輸出入品種ノ全然相反スルヲ見ル可シ之レ濠洲ノ産業發展上然ル可キ所ナリト雖モ此傾向ヲ助長セシメタル人爲的ノ一大原因アリ即チ濠洲ノ人口ハ其面積ニ比シ稀薄ナルヲ以テ勢ヒ勞動賃金ノ不廉ナルニ拘ラス彼ノ勞動黨ノ綱領タル白人濠洲主義ハ低廉ナル勞力ノ移入ヲ極力制限シツ、アルヲ以テ勞銀ハ頗ル高ク其結果企業者ハ勢ヒ地價ノ低廉ナルト政府ノ獎勵金アルトヲ利用シ機械力ノ應用ニ依リ比較的少數ノ勞動者ヲ以テ經營シ得可キ大農法ニ依リ牧畜農業若クハ酪乳業ヲ營ムコト、ナリ多數ノ勞動者ヲ使用スル工業ニ至リテハ手下スモノ少ナキコト是ナリ故ニ政府ハ内地工業ノ發達ヲ促進セシムル爲メ原料ノ生産及ヒ製造品ニ對スル獎勵金ノ下附、製造品ニ對シ政府ノ契約購買、原料品ノ輸入ニ對スル税金廢止、内地製造品ニ對シテ極端ナル保護關稅ノ賦課等ヲ斷行シ、猶人口ノ増加ヲ計ル目的ヲ以テ盛ニ移民ヲ獎勵シ土地所有法養老年金法ヲ制定スル等盛ニ産業及ヒ工業ニ對スル保護政策ヲ行ヒタル結果或種ノ工業ハ稍々成功ニ近ツキツ、アルモ其工業タル多クハ農産物若クハ牧畜産物ノ處置工業若クハ半製品製造工業等ノ如キ比較的多大ノ勞力ヲ要セサルモノニアルカ如シ

附記

茲ニ貿易業ト最モ密接ナル航海業ノ關係ニ就キテ一言センニ千九百九年濠洲ノ最モ須要ナル諸港ニ入津セシ船荷ノ總噸數ヲ同年間英國諸港ニ入港セシ船荷總噸數ト比較對照スレハ左表ノ如シ

濠洲及英國ニ於ケル諸港ニ入津セシ船荷總噸數比較對照表

濠洲聯邦ニ於ケル港名	入津セシ船荷噸數	英國ニ於ケル港名	入津セシ船荷噸數
シドニー	六、〇八八、三三三	ロンドン	一九、二九三、一三三
メルボルン	四、八三五、〇二一	リバプール	一四、〇三八、六九二
阿德レード	二、五九一、六九九	タインボート	一一、五六七、七六二
ニューカッスル	一、九八七、四九四	カルデフ	一一、四六五、七九四
ブリスベーン	二、〇六八、五九八	サウザンプトン	六、三八四、三五二
フリーマントル	一、六九五、八〇五	グラスゴ	五、五三二、四八八
タウンズビル	一、〇九二、七六五	フ	五、四四八、四六二
アルバニ	九三三、〇二九	ニューボート	三、一三一、一四〇
ホーバート	七八八、〇六五	ベルファスト	三、〇一五、一三八
ロックハンプトン	六九七、一五二	サンダーランド	三、〇二二、三五六
マックケイ	六八六、五八九	ミッドルズボロ	三、〇四〇、九四一
		スワンシー	二、八二〇、五九九

上表ニ依テ之ヲ見レハ「シドニー」港ニ於ケル入津船荷噸數ハ英國ニ於ケル「ロンドン」、「リバプール」、「タインボート」、「カルデフ」、「サウザンプトン」ノ五港ノ次キニ位スルヲ見ル、而シテ千九百九年ノ調査ニ依ルニ濠洲人ノ所有ニ係ル船舶ノ登録噸數ハ四十萬四千九十一噸ナリ

從來濠洲ニ於ケル造船業ハ未ダ幼稚ニシテ見ルヘキモノナカリシモ近時「ニュー、サウス、ウェールズ」州ノ「リスゴ」ニ建設セラレタル製鐵所ノ隆盛ニ伴ヒ將來發展ノ見込充分ナリト稱セラル

### 第一編

## 第一章 緒論

第一篇ニ於テ概説セシ所ニ依レハ濠洲産業中林業ハ極メテ幼稚ニシテ其生産額モ他ノ産業ニ比シテ甚ダ尠ク漸ク水産業ニ優ルモノアルノミナルヲ知ル從來濠洲ノ林業トシテ見ル可キハ唯ダ善良ナル林木ヲ伐採利用スルノ一途アルノミニシテ伐採跡地ノ整理更新等ニ關シテハ更ニ意ニ介セサルモノ、如ク其甚ダシキハ「卷キ枯シ」ノ方法ヲ採リ長大ナル樹木ヲ空シク枯死セシメ稚樹及落葉落枝ニハ年々火ヲ放チテ之ヲ燒燼シ遂ニ樹木ヲ生セサルニ至リテ之ニ牧草ヲ播種シ又ハ自然ニ發生スル草類ヲ保護シ放牧地ノ形成ニ務メツ、アルヲ見ル可シ

造林及ヒ天然更新ノ方法ニ至リテハ之ヲ行フモノ極メテ少ナク最モ樹木ニ缺乏セル南「オーストラリア」州及ヒ「ビクトリア」州ニ於テ僅カニ松類其他ノ人工造林ノ行ハル、ヲ見ルト雖モ其面積未ダ甚大ナラス又天然更新法トシテハ主ニ「ユーカリ」種ヨリ成ル森林ニ於テ行ハル、モノニシテ即チ伐採跡地ニハ(濠洲ニアリテハ主ニ真材ノミヲ採伐スルヲ以テ母樹タルヘキ樹木ハ常在スリモノナリ)火ヲ放チ落葉枯條及ヒ其他ノ堆積有機物ヲ燒燼シ眞土ヲ露出セシメ以テ落下セル種子ニ適當ナル床地ヲ供給シ一二回ノ降雨ニ依リ「ユーカリ」幼樹ノ發生スル時ハ其儘之ヲ生長セシメ更ニ適宜ノ方法ニ依リ之ヲ保護撫育ヲナスニ過キサルモノナリ此方法ニ依リテ天然更新ノ行ハレツ、アルハ「ニュー、サウス、ウェールズ」州ノ Murray 地方ナレドモ之レ亦其面積大ナラス

之ヲ要スルニ前屢々論シタルカ如ク濠洲ハ其面積ノ大ナルニ比シテ人口極メテ少ナリ之ニ加フルニ外國人移民制限法ニ依リテ低廉ナル勞銀ニ甘スル有色人種ノ入國ヲ禁シタルヲ以テ勞銀著シク高ク政府ハ獎勵金ノ下附保護關稅ノ賦課等種々ノ方法ニ依リ各種ノ産業及ヒ工業ヲ保護シツ、アルノ狀態ナレハ比較的多數ノ勞銀ヲ要シ且其收穫期ハ之ヲ永

年後ニ待タサルヘカラサル造林事業ノ如キハ個人ニ在リテハ之ヲ行フモノ、絶無ナルハ勿論政府ト雖モ大計劃ノ造林  
ハ之ヲ行フニ難シトスル所ナリトス濠洲産業ノ開發ハ一ニ人口ノ増加ニ期ス可キヲ以テ政府ハ有色人種ヲ排斥スルト  
同時ニ一方ニハ盛ンニ白色人種ノ入國ヲ獎勵シ其獎勵策トシテ養老年金法土地簡易所有法及前貸金法等種々ノ法律ヲ  
發布シ移民ノ吸收ニ腐心セリ而シテ土地簡易所有法ニ基キ條件付土地ノ賃借若クハ條件付土地ノ買入レヲ受ケタル移  
住民ハ伐採搬出ニ多大ノ勞力ト費用トヲ要スル木材ハ之カ「卷キ枯シ」ヲ行ヒ其他ハ之ヲ燒棄シテ成ル可ク迅速ニ牧草  
地若クハ農業地ト變シ多大ノ收穫ヲ得ンコトヲ期ス之蓋シ自然ノ數ナルヘシ

斯クノ如ク濠洲聯邦ノ林業ハ從來等閑ニ附セラレタリシモ近來農業及ヒ牧畜業ノ漸ク隆盛ニ趣キタル結果牛酪煉乳  
「ヂヤム」果實等種々ノ農産物及ヒ牧畜産物ノ輸出ニ要スル箱用材又鐵道電信ノ延長ニ伴ヒ枕木及ヒ電柱用材等木材ノ  
需用ハ著シク増加シ來リタルヲ以テ政府ニ於テモ漸ク林業ニ注意スルニ至レリ

一千九百十一年十一月「ニュー、サウス、ウエールズ」州「シドニー」市ニ開催セラレタル各州森林協議會ニハ西「オー  
ストラリア」州ヲ除クノ外各州政府ノ代表者ハ悉ク一堂ニ會シ濠洲ノ森林事業ニ關シテ諸般ノ討議ヲ遂ケタリ其結果  
ニ徵スルニ聯邦中或州ノ如キハ林業ニ對シテ未タ一定ノ政策ナク森林ノ保護管理ニ關スル法律規則スラモ未タ其發布  
ヲ見ルノ域ニ達セサルモノアリ森林教育ニ關シテハ「ビクトリア」州ニテハ「クレスウィク」ニ森林學校ノ設立ヲ見、  
南「オーストラリア」州ニアリテハ「アデレード」市ノ大學ニ於テ森林ニ關スル中等教育ノ實施セラレアルヲ見ル、「ニ  
ー、サウス、ウエールズ」州ニアリテハ森林官吏採用試驗制度ノ實施ヲ見ルモ未タ森林教育ニ關スル學校ノ組織ヲ見  
ス其他ノ諸國ニアリテハ此等ノ點ニ關シテ特別ノ規程ヲ有スルモノナシ

造林事業ニ關シテハ其討議ニ依レハ或ル州ニ於テハ土地ノ極メテ乾燥セルト其理學上ノ性質不良ナルトニ依リ人工植  
栽上著シキ艱難ヲ感シツ、アルアリ或ル州ニ在リテハ土地稍良好ナルモ勞働者ヲ得ルノ困難ト野火ノ豫防及防禦ノ艱  
難トニ依リテ人工植栽上著シキ障害ヲ蒙リツ、アル所アリ之ヲ要スルニ人工造林ニ於テ稍發達セルハ南「オーストラ

リア」及「ビクトリア」ノ二州アルノミナリ濠洲特産ノ「ユーカリ」樹ノ天然更新法ハ林業上最モ必要トスル所ナルカ其  
方法ノ極メテ簡ニ組織的林業ノ容易ニ行ハルヘキコトハ此協議會ノ席上ニテ最モ深遠ナル研究ト廣汎ナル實驗トニ依  
リテ遺憾ナク證明セラレタルノミナラス其造林費用ノ人工植栽ニ比シテ遙カニ僅少ナルコトヲ知ラシメタリ

野火ノ豫防及ヒ防禦ニ關シテハ濠洲今日ノ事情ハ之ニ關スル規程發布ノ必要ヲ感スルコト適切ナルモノアリト雖モ此  
ノ件ニ關シテハ世界ノ各國カ輒近著シキ進歩發達ヲ遂ケタルニ比スレハ猶極メテ等閑ニ附セラレアルノ事實ヲ明ニセ  
リ

各州委員ヨリ提出セラレタル諸報告ハ森林ト水源トニ就テ極メテ必要ナル事項ヲ證明セリ即チ森林ハ河川ノ水量ヲ不  
變ナラシムル作用アルコト及ヒ水源ノ涵養上常ニ必要ナル作用アルコト等ニシテ之ニ關シテ有力ナル證明ヲ與ヘ世界  
ノ文明國ニアリテハ之カ詳細ナル法律ノ制定アルヲ以テ濠洲ニ於テモ之カ法律ノ發布ヲ必要トスルコトヲ論議セラレ  
タリ

斯クノ如クシテ本會議ニ於テ決議セラレタル事項ヲ摘記スレハ概略左ノ如シ

森林行政ニ關シテハ

- 第一 聯邦各州ニ何レモ森林ノ保護及ヒ植林ヲ規定スル特別法ノ發布ヲ必要トスルコト
- 第二 此ノ特別法中ニハ永久存置林ノ設定ニ關スル規定ヲ設クヘキコト
- 第三 森林管理ヲ有功ナラシムル爲メ法律ヲ以テ行政權及ヒ監督權ヲ附與セラレタル不變ナル當局官廳ヲ設ケ及ヒ  
其官憲ノ任命ヲ期スルコト

森林官吏ノ養成

- 第一 林業經營上好結果ヲ收メンニハ森林ニ關スル高等教育ヲ受ケタル官吏ノ採用ヲ必要トスルコト
- 第二 苗圃植林及ヒ天然林經營等ニ關スル實際上ノ智識ト經驗トヲ得セシムルニハ理論上及ヒ實際上高等教育ノ實



施ラ必要トスルコト

第二 上記ノ目的ニ依リテ設立セラレタル森林學校ノ教育課程ハ一般的且實際的ニシテ其卒業證書ヲ有スルモノハ全濠洲ヲ通シテ森林官吏トシテ採用セララルヘキ資格ヲ有セシムヘキコト  
荒蕪地ノ造林

第一 濠洲ハ唯劣等ノ植物ノミヲ有スル灌木叢生地若クハ原野沼澤ヨリナル大面積ノ荒蕪地ヲ有スルコト多キヲ以テ斯カル土地ニ森林樹木ヲ植栽スヘキハ政府ニ於テ當然行ハサル可ラサル事業ナルコト

第二 此等ノ荒蕪地ニ最モ適當ナル林木ヲ植栽シ此等荒蕪地ヲ有利ニ利用スルニ要スル經費ハ政府ヲシテ之ヲ支出セシム可キコトヲ本會議ノ議決ニ基キ政府ニ勸告スヘキコト

松柏科樹種ノ植栽及ヒ現ニ存在スル此等森林ノ保存

第一 世界ニ於ケル軟材ノ供給ハ近キ將來ニ於テ著シキ缺乏ヲ告ントスルノ傾向アルト共ニ其需要ハ世界何レノ國ニアリテモ連年著シク増加シツ、アルニヨリ協議會ハ滿場一致ヲ以テ此等樹種ノ造林ヲ勵行シ從來存在セル此等ノ森林ノ保存ヲ計ル可キコトヲ決議ス

第二 軟材ノ年々濠洲ニ輸入セラル、額ハ極メテ多量ナルモ此等軟材ハ濠洲ニ於テ經濟的ニ植栽ヲ實行シ得ラルヘキニヨリ此等ノ造林ヲ計劃スル目的ヲ以テ其經費ノ支出ヲ政府ニ勸告スヘキコト

野火ノ豫防及消防

其森林ト關聯スル點ニ付キ各州ニテ已ニ規定シアル法律規則ヲ研究シ實際野火カ森林ニ及ホシツ、アル慘害ヲ調査シ野火ノ豫防及ヒ消防ニ關スル完全ナル取締法ノ發布ハ極メテ必要トスル所ナルモ聯邦各州ニ於ケル此等ノ法律規則ハ未タ完全ナラサルヲ以テ一般世人ニ向テ之カ必要ヲ警告スヘキコトヲ決議セリ

森林ト水利

第一 濠洲ノ大部分ハ降雨ノ時期及其分量極メテ不規律ナルヲ以テ河川若クハ泉水ノ源ヲナス高山地方ノ森林ノ保護撫育ハ最モ緊要ナル國家問題ナルコト

第二 森林ハ水蝕作用ヲ制限シ河川ノ下流ニ存在スル豐饒ナル農業地ニ於ケル泥滓砂礫ノ沈澱ヲ防キ洪水ヲ調和シ早魃ノ時期ニ際シテモ常ニ規則正シキ水量ヲ供給セシムルノ作用アルヲ以テ協議會ニアリテハ現今高山脈ノ頂上ニ近ク存在スル森林ニシテ帝有地ニ屬スル部分ハ悉ク之ヲ永久存置林ニ編入シ其伐木ヲ制限シ常ニ能ク其林相ヲ維持セシメ森林法ニ依リテ十分ニ之カ監督ヲ行フヘキコトヲ決議セリ

以上記載セルモノ、外本協議會ニテハ濠洲林業ノ進歩發達ヲ企圖スル目的ヲ以テ濠洲林業協議會ヲ組織スヘキコトヲ議決セリ

夫レ斯ノ如ク濠洲ノ林業ハ從來專ラ森林利用ノ一方ニミ偏シテ更ニ他ヲ顧ルモノナカリシト雖モ近來漸ク森林問題ノ勃興ヲ來シ遂ニ上述ノ森林協議會ノ開催ヲ見ルニ至リタルモノニシテ濠洲ノ林業ハ今ニシテ漸ク發展ノ機運ニ向ヒタルモノト稱スヘシ以下章ヲ分チテ現在ノ森林事情ニ付キ其說述ヲ試ミントス

## 第一章 濠洲ニ於ケル森林ノ分布及ヒ林況ノ概要

濠洲ノ地勢ハ既ニ記述セシカ如ク東海岸地方ニアリテハ「ニュー、サウス、ウエールズ」州ノ南端「ビクトリア」州ノ境界ニ近ク濠洲第一ノ高山 Mt. Kosciuszko 及ビ Mt. Tamsend ノ巔ニホレアリ此地方ヲ呼ンテ Australian Alps ト稱ス東海岸ニ於ケル山脈ハ悉ク之ヲ中心トシ一ハ海岸ト並行シテ北走シ「ク、キーンズランド」州ノ最北端「ヨーク」岬ニ達ス其高低一ナラスト雖モ相連續シテ一聯ノ橫斷山系ヲナシ濠洲東海岸ニ於ケル分水嶺ヲ形成ス此主脈ハ猶遙カニ南方ニ延長シテ「ビクトリア」州ノ南東海岸ニ達ス此分水嶺ハ Australian Alps 地方ヨリ別ニ一大支山脈ヲ分岐ス其支脈ハ始メハ南西ノ方向ヲナシテ進行シ漸ク西方ニ走リ「ビクトリア」州ヲ橫斷シテ Discovery Bay ノ北部ニ達ス之レ即チ「ビクト

リア」州ニ於ケル分水嶺ナリ  
濠洲ノ西部海岸地方ニアリテハ Albany 港ノ北西部ニ於テ平原地内ヨリ突如トシテ隆起シ北西ニ走ル一大山脈アリ之ヲ String 山脈ト稱ス此山脈ヨリ西部海岸ニ近ク Darling 山脈アリ此山脈ハ海岸ト並行シテ正シク南北ニ走リ延長三百哩ニ達ス其他又南西ノ海岸ニ近ク Bussell, Witteboom 等ノ山脈アリ此等ノ山脈ハ西部海岸ニ於ケル主ナル分水嶺ヲ形成スルモノナリ

濠洲ニ於ケル主ナル森林地帯ハ此等分水嶺ト海岸トノ間ニ位スル地帯即チ所謂海岸地帯ニシテ東部海岸地方ニ在リテハ分水嶺ト海岸トノ距離ハ概ネ三十哩ヨリ百五十哩ノ間ニ位シ場所ニヨリテハ僅々數哩ニ過キサル所アリ然トモ其南北ノ延長ハ略千九百哩ニ達シ熱帶地方ヨリ温帶地方ニ連亘ス此狹長ナル海岸地帯ハ分水嶺ヨリ横出スル支脈多キヲ以テ起伏著シク波狀丘陵地ヲ形成スト雖モ場所ニヨリテハ平坦ニシテ極メテ豊饒ナル耕作地ヲ現出ス此地帯ハ概シテ地味肥沃ニシテ至濠中最好ナル森林地帯ヲ形成スルモノ、如シ此地帯タル由來農業牧畜ニ適シ其伐採跡地ハ直チニ優良ナル農作地ト變シ得ヘキヲ以テ本地帯各所ニ散在スル殖民ハ専ラ森林ヲ破壊シテ農牧地ノ形成ヲ事トシ爲メニ森林ハ著シク亂伐荒廢ノ状態ヲ呈スト雖モ猶森林畜積ノ大ナル實ニ侮ルヘカラサルモノアルナリ、吾人若シ日本出帆ノ汽船ニ投シ木曜島ニ達シテ對岸ヲ遠望スレハ土民ノ惡戯カ將タ何等カノ必要ニ出ルモノカ森林カ火災ノ慘害ヲ蒙リアルノ烈シキニ一驚ヲ喫スルナルヘシ然ルニモ拘ハラズ之ト相隣リテ大森林ノ鬱々蒼々トシテ熱帶地方森林ノ特色ヲ發揮シツ、アルヲ見ルモノ之レ實ニ「グキーン」スラント「州北端ノ一角」ヨリ「岬」ニ於ケル森林ナリトス行ク々々汽船ハ此等美良ノ森林ヲ眺メツ、遂ニハ山容ヲ見ルモ其距離遠隔シ森林ヲ見ルヲ得サルニ至ル猶進ンテ「ダウン」スビル「港」附近ニ至レハ再ヒ山容ノ鬱々タルヲ望ミ「ブリスベン」ニ達スレハ殆ント海濱ノ水際ヨリシテ「マングローブ」樹ノ著シク生長繁茂スルヲ見ルヘク「シドニー」港内ニ入レハ岸頭悉ク「ユーカリ」樹ノ森林ヲ以テ飾ラレ翳鬱トシテ梢頭高ク碧空ヲ摩シ暗影ハ直チニ落チテ海中ニ入り美觀亦比フルモノナク旅客ヲシテ覺ヘス快哉ト叫ハシムルモノアリ以テ此等海岸地帯ノ森林ノ往時如何ニ美良ナリシカラ察スルニ足ランカ

南部海岸地帯中「ビクトリア」州ニ屬スル部分ニアリテハ Australian Alps ニ接続スル地方ハ殆ント高原地帯ニシテ就中 Gippsland 地方ニ於ケル森林美ハ濠洲ニ冠タリト稱セラレ「ユーカリ」樹ノ大材ヲ産スルヲ以テ著ハル「ビクトリア」州ノ分水嶺ハ概シテ森林ニ富ミ其畜積稍多シ此地ハ元來農業地ニ適スルヲ以テ森林ノ伐採セラレ農業地ニ變セラル、モノ甚タ多ク今日以後ト雖モ猶永ク此形勢ヲ持續スルナルヘシ  
西部地帯ニアリテハ西「オーストラリア」州ノ分水嶺タル String, Darling, Bussell 及ヒ Witteboom 等ノ諸山脈ト海岸トノ間ニ位スル海岸地帯及ヒ此等ノ山脈ハ即チ森林地帯ヲ形成スルモノニシテ其森林ハ南海岸ノ Albany ヨリ起リテ Leuwin 岬ニ至リ更ニ之ヨリ北進シテ Murchison 河ニ達シ彼ノ有名ナル Jarrah 及ヒ Karri ノ大森林ヲ形成ス之レ西「オーストラリア」州唯一ノ良林ナリ北海岸地方ハ既ニ陳タル如ク「グキーン」スラント「州及南」オーストラリア「州ノ北部」地方一帯ノ海岸ニ亘リテ特記スヘキ山脈ナク獨リ西「オーストラリア」州北部海岸ニハ King, Leopard, St. George, Howitt, Cockburn 及ヒ其他ノ山脈ヲ以テ Kimberley ノ高原ヲ圍繞スルモノアリ之ヨリ進ンテ北西海岸地方ニ至レハ山脈ハ海岸ヲ離レテ深ク内地ニ存在ス即チ Augustus 山及 Bruce 山等ハ其有名ナルモノナリ、夫レ斯クノ如ク北海岸地方ニ在リテハ東部及ヒ西部海岸地方ノ如ク連亘セル大山脈ナク各獨立セル數個ノ山系ヲナシ其方向モ亦一定スルコトナク著シキ高山ナシ而シテ其森林分布ノ状態ヲ探ルニ Kimberley ノ高原ヲ圍ム所ノ山系ニ於テ稍鬱々タル良林ヲ見ルノミニシテ其他ニ森林地帯ノ存在スルヲ聞カス僅カニ河川ノ水源地ヲナス山脈ニ於ケル矮少ナル密林内ニ僅少ノ Mallee Gum ノ高ク聳ユルヲ見ルモ林業上ノ價值尠ナシト云フ  
南海岸ニアリテハ其南東海岸地帯即チ「ビクトリア」州ノ森林地帯及ヒ南西隅ノ一地帯即チ西「オーストラリア」州ノ Jarrah 及ヒ Karri ノ森林地帯ヲ除キテハ南「オーストラリア」州ノ「アデレード」市及ヒ「スベンサー」灣ノ附近ニ於ケル丘陵地並ニ「フリンダー」山脈ノ一部ニ於テ Red gum ヲ主林木トスル「ユーカリ」種ノ森林地ヲ見ルノミナリ

濠洲ノ内地ハ降雨少ナク土地極メテ乾燥セルヲ以テ美良ナル森林ヲ見ルコトナク唯僅カニ河川ノ水源地若クハ河岸ニ沿ヒタル矮小ナル灌木林内ニ往々巨大ナル「ユーカリ」種ノ樹木ノ散在スルヲ見ルノミニシテ林業上價値アルモノナシ「タスマニア」州ハ雨量多ク土地常ニ適當ノ濕氣ヲ有シ樹木ノ生長ニ適スルヲ以テ州内至ル所良林ニ富ムヲ見ルナリ以上ハ濠洲大陸ヲ概観シテ森林分布ノ状態ヲ略述シタルモノナルモ今各州ニ付キ其森林分布ノ状態及ヒ林況ノ概要ヲ示セハ左ノ如シ

其一 「ビクトリア」州ニ於ケル森林ノ分布及其林況

「ビクトリア」州ハ濠洲大陸ノ南東隅ニ位シ其面積五千六百二十四萬五千七百六十「エーグル」アリテ林地面積ハ未ダ精査セラレサルヲ以テ其詳細ヲ知り難シト雖モ最モ信賴スヘキ概數ハ一千八百八十萬「エーグル」ナリ而シテ其内三百九十八萬九千七百九十「エーグル」ハ州有存置林及ヒ其豫定地ニシテ七百八十一萬二百十「エーグル」ハ地目未定ノ帝有地ニシテ其多クハ人跡未到ノ森林地ナリ

「ビクトリア」州ハ海岸ヲ去ルコト六十哩乃至九十哩ノ距離ヲ有スル一聯ノ山嶽丘陵ニ依リテ東西ニ横斷セラル之レ即チ「ビクトリア」州ノ分水嶺ニシテ此山脈ヨリ北方ノ地域ヲ流ル、溪流河川ハ悉ク Murray 河若クハ州ノ北西部ニ於ケル湖水ニ注キ其南方ニ流ル、モノハ悉ク南太平洋ニ注クモノナリ此山脈ノ最西端ニ位スル部分ハ南ヨリ北ニ走ル山脈ヲナス之ヲ Grampian 山脈ト稱シ其最高峯ハ William 山ニシテ海拔三千八百二十七呎アリ此山脈ハ漸ク其高サヲ減シテ殆ント平原ト異ナルナキニ至リ更ニ其方向ヲ轉シテ東進シ再ヒ其高サヲ増加シ Pyrenes 山脈ヲ形成ス Pyrenes 山脈ノ最高點ハ Cole 山ニシテ海拔三千呎アリ此處ヨリ北方 Kara Kara 地方ニ長キ横嶺ヲ分岐ス此山脈ハ更ニ東進シテ其高サヲ減シ海拔千四百呎乃至二千呎ノ丘陵ヲ形成シ「メルボルン」市ノ北西ニ横ハル Macdonald 山ニ到リテ其高サ三千三百二十四呎ニ達シ之ヲ過キテ更ニ東進シ州ノ北東部ニ至ルトキハ山脈ハ著シク其高サヲ増加シ Murray 川ノ水源地方即チ所謂 Australian Alps 地方ニテハ其高サ六千呎以上ニ及ヒ高山ノ頂上ノ如キハ年ノ數箇月間ハ白雪ヲ以テ被ハル

ルヲ見ルヘシ、多數ノ横嶺支脈ヲ有スル此等ノ山脈ハ「ビクトリア」州ノ森林地ヲ形成スルモノニシテ其地ニ生スル林木ハ多クハ直徑及ヒ高サニ於テ著シク長大トナリ灌木、亞灌木等ノ矮林若クハ叢林モ又著シク繁茂スルヲ見ルヘシ特ニ此地方ニアリテハ林木ノ生長ハ低キ平原地若クハ波狀丘陵地ニ於ケルヨリモ溪谷山峽ニ於テ著シキヲ見ルナリ殖民地ヨリ遙カニ隔リタル低キ山嶽地ハ其頂上ニ到ル迄悉ク密林ヲ以テ被ハル、モ冬季間積雪ヲ被ムレル高山ノ頂上ハ裸地ナルカ若クハ極メテ矮小ナル樹木ノミヲ以テ被ハル、ヲ常トス

「ビクトリア」州ニ於ケル Murray 流域内ノ盆地ハ Wodonga 地方ヨリ西方ニ向ヒ三角狀ヲナシテ擴張シ南「オーストラリア」州ノ境界ニ沿フテ其幅員二百哩ニ達スル一大平野ヲ形成ス「メルボルン」市ヨリ北方 Murray 河ニ向テ引キタル子午線ヨリ西部ニ當ル其餘ノ土地ハ概シテ波狀丘陵地ヲナシ樹木ヲ有スルコト尠ナク或ハ全ク樹木ヲ有セサルヲ常トスルモ獨リ Otway 地方ニ於ケル砂岩ヨリナル低キ丘陵地ハ密林ヲ以テ被ハル、ヲ見ルナリ州ノ東部ニシテ分水嶺ノ南ニ當ル部分ハ所謂 Gippsland 地方ニシテ此地方ハ分水嶺ヨリ分岐スル多數ノ横嶺支脈ヲ有シ起伏一ナラス山嶽ハ悉ク美良ノ森林ヲ以テ被ハレ其間ニハ幾多ノ清流ニ依リテ灌溉セラル、豐饒ナル溪谷地若クハ平原地ヲ有スルヲ見ルナリ Gippsland ノ森林ニ於ケル樹木ハ其質極メテ良好ト稱スルヲ得サルモ其生長ニ於テハ實ニ驚クヘギモノアリ其主林木ハ Stringybark, White gum, Grey box, Yellow box, 及 ヲ White iron-bark 等ノ「ユーカリ」樹ニシテ低地ニハ Red gum ヲ生シ溪谷地ニハ Wattle ヲ生ス Pyrenes ニ於ケル森林ニアリテハ前者ヨリ一層貴重ナル硬材ヲ産ス其主林木ハ硬材トシテ最モ貴重セラル Blue-gum 及 ヲ Messmate, Stringybark, Grey box, Yellow box, Red ironbark, White ironbark 等ニシテ White Ironbark ハ主ニ山麓部若クハ平原地ニ生スルヲ見ルナリ

Creswick 地方ヨリ Mt. Macedon ニ至ルノ間分水嶺ノ西側ニ連亘セル Wombat Forest ニアリテハ其林木ハ殆ント悉ク幼齡ナルモ良質ノ Messmate ヲリナリ Peppermint 及 ヒ Swamp gum ヲ混生ス山脈ニ沿フテ遙カニ東方ニ進メハ Messmate 及 ヲ Stringybark 最モ其勢力ヲ逞フシ其低地ニハ Grey box, Yellow box 及 ヒ Ironbark ノ著シク生長スルヲ見ル

Delatite 郡及ハ Australian Alps 地方ノ低キ山脈ニ在リテハ林木ハ概シテ其高サ及ヒ直徑ヲ増大シ著シキ大木トナリ Blue gum, Messmate 及ハ Peppermint ノ良質ノ大材ヲ産出シ高地ニ在リテハ主トシテ Ribbon gum, Woolly butt 及ヒ Silvertop ヲ見ルヘク低地及ハ溪谷地ニアリテハ Grey box, Yellow box 及ヒ Stringybark ヲ生ス

Wodonga ヨリ西方 Grampians 地方マテ連亘セル所ノ北部平原地方ハ疎立林ヲ以テ被ハレ其支配木ノ限界ハ明瞭ナル森林帯ヲナセリ即チ Red gum ハ Murray 河ノ流レニ沿フテ其主要ノ森林帯ヲ形成シ Murray 河ノ各支流ノ溪谷ニ連ナル而シ河岸ニ近キ砂阜ニハ Grey box 及ヒ Cypress Pine ヲ生シテ上記ノ森林地帯間ニ點綴ス此森林帯ノ南方ニ位シ各河川間ニ介在スル土地ニ於テ優勢ナル樹種ハ Grey box, Yellow box ニシテ又此地方ニ於ケル低キ丘阜地ニハ Red gum, White gum 及ハ Stringybark ヲ生長ス

Chiltern 地方ヨリ西方 Rushworth, Heathcote, Bendigo, Dunolly 及ハ St. Arnaud ヲ通過スル一帯ノ土地ハ魚鱗系ニ屬スル地質ニシテ結晶片岩粘板岩等ヨリナリ Red ironbark, White ironbark ノ長キ森林帯ヲナシ中間ニ Stringybark, Grey box 及ハ Yellow box ヲ點綴ス

Wimmera 平原ト Murray 河ノ中間ニ位スル州ノ西北部ノ平原地ハ Mallee Scrub ト稱スル矮小ナル「ユーカリ」樹林ヲ以テ被ハレ河川湖沼ノ沿岸ニハ唯僅カニ Red gum 及ヒ box ヲ生シ其間所々ニ Cypress Pine ヲ點綴ス州ノ西南部ハ概シテ樹木ヲ有スルコト甚ダ尠ナク唯優勢ナル樹木トシテ見ルヘキハ Stringybark ニシテ河川ノ沿岸ニハ Red gum ヲ産シ稀ニ White gum, Box, Light Wood 及ヒ Honey suckle 等ノ樹木ノ平原地及ヒ波狀丘陵地内ニ生長スルヲ見ルコトアリ

州ノ西部地方ニ木材ヲ供給シ得ヘキ森林ハ Port Phillip bay ノ南西ニ位スル Oroya 地方ノ森林ニシテ其面積十八萬「エーグル」アリ Blue gum, Spotted gum, Messmate, Mountain ash 及ヒ良質ノ Black butt ヲ生シ多少ノ Stringybark 及ヒ White gum ヲ混生ス時トシテ此等ノ森林地内ノ山脈間ニ横ハル溪谷ニハ Black wood, Beech, Satin box, Olive, Sycamore 及ハ Pencil Cedar ノ如キ美麗ナル木理ヲ有スル種々ノ樹木ヲ生スルコトアリ

「メルボルン」市ノ東方ニ當リ Yarra 河ノ分水界ニモ亦タ美麗ナル一大森林地アリテ Spotted gum, Mountain ash, Messmate 及ハ White gum ノ森林ヲ形成シ其溪谷ニハ Black wood, Beech, Sassafras 及ハ Silver wattle 等ヲ生ス

南部 Gippsland ノ山脈ハ Blue gum, Spotted gum, Mountain ash 及ハ Yellow Stringybark ヲ生シ同地方ノ西部及ヒ北部ニハ Mountain stringybark, Spotted gum, Black butt 及ハ Gippsland mountain ash 一名 Silver top ヲ生シ分水嶺ノ高地ニハ Woolly butt 及ハ Ribbon gum ヲ生ス此地方ノ東部ニシテ Genon 河附近一帯ノ地方ニハ Rainsdale grey box, Gippsland mountain ash, White stringybark, Yellow stringybark, Red ironbark 及ハ Blood wood ヲ生ス Gippsland ノ此ノ部分ニ於テ最モ良ク生長スル樹木ハ White stringybark ニシテ分水嶺ノ山麓ヨリ海岸ニ亘リテ大森林ヲ形成ス此ノ材ハ普通船用材トシテ多ク使用セラルト雖モ材質多クハ劣等ナリ「ビクトリア」州永久存置林及臨時存置林分布圖(第一圖)ハ千八百七十七年十一月六日發布ノ森林法ノ規程ニ基キ永久存置林及臨時存置林トシテ同年ノ議會ニ提出シ其協賛ニ依リ爾後五箇年間ニ其測量ヲ完了スヘキコト、ナリタルモノ、位置及ヒ分布ヲ示シタルモノナルヲ以テ略ホ「ビクトリア」州ニ於ケル森林分布ノ状態ヲ知ルニ足ルヘシ

其二 「ニュー、サウス、ウェルース」州ニ於ケル森林ノ分布及ヒ其狀況

「ニュー、サウス、ウェルース」州ノ森林地面積ハ其全面積ニ比スレハ稍小ナルノ感ナキニアラサルモ樹種ノ多數ナルト其材質ノ優良ナルトハ世界ノ森林國中稀ニ見ル所ナルヘシ然レトモ不幸ニシテ本州ニ在リテハ從來長ク森林經營ヲ等閑ニ附シ更ニ森林政策ノ確定セルモノナカリシ爲メ殖民ハ盛ニ樹木ノ「卷キ枯シ」ヲ行ヒテ森林ノ破壊ニ努メ一般世人モ亦森林ニ向テ注目スルモノナカリシ結果ハ大ニ其森林面積ノ減少ヲ來セリト雖モ今日猶商業上價值アル樹木ヲ有スル國有林及私有林ノ總面積ハ千五百萬「エーグル」アリテ州全面積ノ七、五五「プロセント」ニ該當ス而シテ此森林面積中政府ニ依リテ要存置林ト確定セラレシ面積ハ七百六十萬七百七十一「エーグル」ニシテ其殘部ハ即チ國有不要存置

林及私有林ナリトス

「ニュー、サウス、ウェールズ」州ニ於ケル最モ美良ナル森林地帯ハ實ニ分水嶺ト海岸トノ間ニ横ハル狹長ナル海岸地帯ニシテ就中「シドニー」市以北ノ土地即チ北海岸地方ハ最モ美林ニ富ム所ナルカ此地方ハ又自ラ二個ノ森林地帯ヲナス即チ其一ハ海岸ニ沿ヒタル狹長ノ地帯ニシテ Cumberland, Northumberland, Gloucester, Macquarie, Dudley, Raleigh, Fitzroy, Clarence, Richmond 及ヒ Rous ノ諸郡ニ於ケル森林ナリ此森林地帯ハ Blackbutt, Tallow wood, Ironbark, Grey gum, Turpentine, Spotted gum, Red Mahogany, Blue gum, Brush box, Flooded gum, Forested gum 及ヒ Stringybark 等ノ良樹種ヨリナル美林ヲ形成シ就中最モ優勢ナル樹木ヲ Blackbutt トス 濠洲ノ木材中最モ貴重セラル、Iron bark モ亦此地帯ニ於テ廣ク分布セラルト雖モ其蓄積甚タ大ナラス而シテ Iron bark ノ最モ著シク生長スルハ州ノ東北部ニ位スル Rous, Richmond, Clarence, 地方ノ森林ニシテ之ニ亞キテ Fitzroy, Raleigh, Dudley 地方ニ多ク漸ク南下スルニ從テ其蓄積ヲ減スルヲ見ルナリ、其二ハ北部海岸地帯ノ西部ニ位スル Durham, Gloucester, Hawes, Vernon, Dudley, Clarke, Raleigh, Fitzroy, Gresham, Clive, Drake, Richmond, Buller, Rows ノ諸郡ニ於ケル森林ニシテ専ラ矮小ナル雜木林ヲナシ中ニ巨大ナル Moreton bay fig 及ヒ他ノ Fig, Fern-tree, Cabbage trees 及ヒ椰子等ヲ點綴ス此地帯ニ於ケル貴重樹種ハ家具材又ハ Veneer トシテ最モ賞用セラル、Red Cedar, Rose wood, Silky Oak, White beach, Red bean, Beel wood, Tulip Wood, Black bean 等ヲ産シ其他 Moreton bay pine, Bogum Bogum, Cudgerie, Sassafras, Blue gum 及ヒ Turpentine ヲ生ス

南海岸地帯即チ Cundden, St. Vincent, Dampier 及ヒ Auckland ノ諸郡ニ於ケル森林ハ北海岸地方ニ於ケル森林ト等シク Eucalyptus, Angophora 及ヒ Myrtis 族ノ樹木ヨリナリ其林相稍前者ヨリ劣ルト雖モ又良林タルヲ失ハス主木ハ前者ト等シク Black butt, Iron bark, Grey gum, Turpentine, Spotted gum, Blue gum, Forest red gum, Stringybark, Blood wood, Woolly butt, Messmate 等ヨリナリ

分水嶺ノ脊部及ヒ之ニ伴フテ擴張セル高原地方即チ Wellesley, Wallace, Selwyn, Beresford, Cowley, Murray, Buccleuch, Wynyard, Argyll, King, Georgiana, Westmoreland, Bathurst, Cook, Brisbane, Durham, Hawes, Parry, Verns, Inglis Sandon, Hardinge, Clarke, Gough, Clive, Drake ノ諸郡ニ於ケル森林モ亦 Stringybark, Mountain arb, Messmate, White box, Yellow box, Ironbark, Red box, Forest red gum, Red ironbark, Black butt 及ヒ Cypress pine 等ヨリナリ往々長大ナル良材ヲ出スト雖モ其林相材質共ニ前者ヨリ劣ルト云フ

分水嶺ヲ越ユレハ高原地ハ漸ク西ニ低下シテ内地森林地帯ヲ現出ス此森林地帯中ニテ最モ良好ナル林相ヲ呈スルモノヲ Murray 森林地帯トス即チ Murray 河ノ流域ニ存在シ主トシテ Red gum 一名 Flooded gum ヲリナリ内ニ Iron bark, White box, Yellow box 及ヒ Cypress pine 等ヲ混生ス其他ノ内地森林ハ主ニ疎林ニシテ林相不良ナリ樹種ノ主ナルモノヲ Stringybark, Ironbark, White box, Yellow box, Cypress pine, Blood wood, Mountain ash, Eurabie, Messmate 及ヒ Red gum 等ナリトス而シテ Red gum ハ主トシテ Murrumbidgee 及ヒ Lachlan 河ノ沿岸低地ニ生長ス

内地森林地帯ヲ過キテ西スレハ即チ西部乾燥地帯ヲ現出ス此地ハ雨量少ナク蒸發量著シキヲ以テ土地極メテ乾燥シ各種樹木ノ生長ニ適セス多クハ矮林叢林若クハ其土地ニ固有ナル牧草ノ生長スルヲ見ルノミニシテ林木トシテ見ルヘキモノハ Red gum box, Sheoak 及ヒ Myall 等ナリトス主ニ河川ノ沿岸ニ狹長ナル森林地ヲ形成シ其間往々小面積ノ Cypress pine ノ森林ヲ點綴スルコトアルモ殆ント林業上ノ價值ナシ

「ニュー、サウス、ウェールズ」州森林分布圖(第二圖)参照

其三 「クーンズランド」州ニ於ケル森林ノ分布並ニ其林況

「クーンズランド」州ノ總面積ハ四億二千九百十二萬「エークル」アリ其内九千六百三十六萬九千八百二「エークル」即チ全面積ニ對スル二二、四六「プロセント」ハ人跡未ダ到ラス全ク利用セラレサルモノニシテ其大部分ハ確カニ森林地ナルヘシト雖モ未ダ調査セラレタルコトナキヲ以テ其内ニ於ケル森林分布ノ狀況及ヒ面積ノ詳細ハ元ヨリ之

ヲ知ルヲ得ス而シテ今其大體ヲ述フレハ「クァーンズランド」州ニ於ケル最モ美良ナル森林ハ分水嶺ト海岸トノ間ニ横ハリ其幅員數哩ヨリ八十哩ニ達スル狹長ナル地帯ニ於テ之ヲ見ルヘク就中最モ林相ノ佳ナルモノハ「ニュー、サウス、ウェールズ」州ノ國境ヨリ北方 Gladstone 郡ニ至ル間ノ所謂南海岸地方 (Brisbane, Ipswich, Nanango, Gympie, Gayndah, Mary borough, Taroom, Bundaberg, Banana, Gladstone ノ諸郡) ニシテ「クァーンズランド」州ニ於ケル Eucalypts, Moreton bay Pine 及ヒ其他ノ挽材ノ主ナル供給地ナリ而シテ此地方ニ産スル主ナル樹種ヲ示セハ左ノ如シ

樹種名 (内ハ學名)	摘 要
Bally Gum ( <i>Litsea reticulata</i> )	海岸地方ノ矮小雜木林中ニ散在ス
Bean-tree   𠄎 Moreton bay Chestnut ( <i>Castanospermum australe</i> )	海岸地方ノ叢林内ニ散在シ特ニ河岸地方ニ多シ
Beech ( <i>Gmelina Leichardtii</i> )	海岸地方ノ叢林中ニ散在ス
Beef Wood ( <i>Grevillea Striata</i> )	Gayndah 地方ニ多シ
Black butt ( <i>Eucalyptus ptilaris</i> )	
Red Blood Wood ( <i>Eucalyptus Corymbosa</i> )	
White Blood wood ( <i>Eucalyptus trachyphloia</i> )	
Blue gum ( <i>Eucalyptus tereticornis</i> )	
Citron scented gum ( <i>Eucalyptus Maculata</i> , Var. <i>Cirtodora</i> )	
Bunya pine ( <i>Aracaria Bidwillii</i> )	
Caloon   𠄎 Quandong ( <i>Eleocarpus grandis</i> )	海岸地方ノ叢林中ニ散在ス
Cockspur Thorn ( <i>Cudrania javanensis</i> )	Nanango 地方若クハ海岸地方ノ叢林内ニ散在ス
Crow's ash   𠄎 Flindersia ( <i>Flindersia Australis</i> )	海岸地方ノ叢林内ニ散在ス
Crow's foot elm ( <i>Tarrietia argyrodendron</i> )	主ニ濕地ニ生スル大木ナリ
Flooded Gum ( <i>Eucalyptus botryoides</i> )	主トシテ山腹傾斜地ニ生シ大材トナル
Grey Gum ( <i>Eucalyptus Saigona</i> )	

Hoop pine   𠄎 Moreton Bay pine ( <i>Aracaria Cunninghamii</i> )	Gladstone, Ipswich, Nanango 等ノ地方ニ多ク針葉樹ニシテ大材トナル
Grey ironbark ( <i>Eucalyptus paniculata</i> )	
Red ironbark ( <i>Eucalyptus Sideroxyton</i> )	主ニ河岸ニ生長ス
Iron wood   𠄎 Jarrah (木脚)	叢林内ニ散在ス
Iron wood, Scrub ( <i>Myrtus Hillii</i> )	
Leopard tree   𠄎 Spotted tree ( <i>Flindersia Strzeleckiana</i> , Var. <i>latifolia</i> )	海濱ニ多ク生長ス
Maiden's Blush ( <i>Echino Carpus Australis</i> )	
White Mangrove ( <i>Avicennia officinalis</i> )	
<i>Medicosa Cunninghamii</i>	
Moreton bay ash ( <i>Eucalyptus tessellaris</i> )	
Red Stringybark ( <i>Eucalyptus resinifera</i> )	
River Oak ( <i>Casuarina Cunninghamiana</i> )	
She-pine ( <i>Podocarpus elata</i> )	
Silky Oak ( <i>Grevillea robusta</i> )	
Swamp Mahogany ( <i>Tristania suaveolens</i> )	
Swamp Mahogany Gum ( <i>Eucalyptus robusta</i> )	
Tea tree ( <i>Melaleuca leucadendron</i> , Var. <i>lanceifolia</i> )	
Turpentine-tree ( <i>Syncarpia laurifolia</i> )	
White Cedar ( <i>Ehretia acuminata</i> )	
White Gum ( <i>Eucalyptus haemastoma</i> )	
White Stringybark ( <i>Eucalyptus acmenoides</i> )	
Yellow Wood ( <i>Flindersia Oxleyana</i> )	

北部海岸地方ニ多ク Springsure, Rockhampton, Clermont, St. Lawrence, Mackay, Bowen, Charters towers, Ravens wood, Townsville, Ingham, Georgetown, Herberton, Innisfail, Atherton, Cairns, Port Douglas, Cooktown, Torres ノ諸郡ハ南緯 11

十三度三十分以北ニ位シ所謂熱帶地方ナルヲ以テ其森林モ自ラ前者ト異ナリ往々極メテ繁茂セル叢林ヲナシ内ニ長大ナル樹木ヲ點綴シ其林相前者ニ比シテ少シク劣ルノ感アルモ亦諸種ノ貴重材ヲ産スルコト多シ此地方中 Henderson 以北ノ諸郡ハ未タ探險セラレサル土地ヲ有スルコト多ク York 半島ニ於ケル Cooktown 及ヒ Torres 地方ノ如キハ其最モ著シキモノニシテ爲メニ其地森林ノ状態ヲ明瞭ニスルコトヲ得サルモ多クノ貴重樹種ヲ有スルカ如シ輾近 York 半島産ノ Sandal Wood (Eremophila Michalli) ハ盛ニ支那香港地方ニ輸出セラルヽヲ見ルナリ  
此地方ノ森林中ニ生スル主ナル樹種ヲ示セハ左ノ如シ

樹	名	摘	要
Acacia Cedar   ㊟ Mackay Cedar (Albizza Toona)			
Bally Gum (Litsa reticulata)			
Bean tree   ㊟ Moreton bay Chestnut (Castano-spermum australe)			
Beech (Gmelina Leichhardtii)			
Black Pine (podocarpus pedunculata)			
Red Blood Wood (Eucalyptus Corymbosa)			
Blue gum (Eucalyptus tereti cornis)			
Bunya pine (Araucaria Bidwillii)			
Cairns Hickory (Flindersia Infiatana)			
Caloon   ㊟ Quandong (Eleocarpus grandis)			
Cinnamon (Cinnamomum Tamala)			
Citron-Scented gum (Eucaryptus Maculata. Var. Citriodora)			
Cockspur Thorn (Cudrania javanensis)			
Crow's foot elm (Tarrictia argyrodendron)			
Hoop pine   ㊟ Moreton bay pine (Araucaria Cunninghamii)			

Iron wood, Scrub (Myrtus Hillii)			
Kauri pine, Cairns (Agathis palmerstoni)			
Leichhardt   ㊟ Canary wood (Sarcocephalus Cordatus)			
White Mangrove (Avicennia officinalis)			
Milkwood   ㊟ White pine (Alstonia Scholaris)			
Moreton bay ash (Eucalyptus tessellaris)			
Nutmeg (Myristica insipida)			
Pencil Cedar   ㊟ Kedgy Kedgy (Dysoxlon Muellieri)			
Pencil Cedar, Cairns (Lucuma-galactoxylon)			
Penda (Xanthostermon oppositifolius)			
Red Beech (Flindersia Chatawai-anna)			
Red Cedar (Cedrela Toona)			
Red Oak, Cairns (Carnarvonia aralicefolia)			
Red wood, Cairns			
Ribbon wood, Cairns			
Sandal wood (Elemophila Michelli)			
Sassafras, Cairns (Daphnandra aromatica)			
Silky oak (Card wellia sublimis)			
Silky oak, Cairns (Card wellia sublimis)			
Silky oak, Brown (Darlingia ferruginea)			
Silky oak, White (Stenocarpus sinuatus)			
Thozet's Box   ㊟ iron gum tree (Eucalyptus Ravetiana)			
Tulip wood, Coastal (Harpullia pendula)			
Walnut (Cryptocarya palmerstoni)			

海岸地方ノ叢林中ニ散在ス故ニ Scrub Iron Woodノ各々

多ク Cairns 地方ニ産スル大樹ニミテ材質堅硬ニ重樹甚々重シ Lassa, Hardwood, Iron tree 又 Red Heart, ㊟ Card well maple, ㊟ Silk Wood, ㊟ Card well maple, ㊟ ㊟





地方	南部海岸地方	高地	西部平原	地方	高地	西部平原	地方	高地	西部平原
Bowen	173,756								
Mackay	83,733								
Clermont	46,400								
Rockhampton	31,333								
Springure	31,250								
北部海岸地方計	455	782,966	115,730	49,000	22	72,250	10	83,733	46,400
Gladstone	25	1,218,333	210,900						
Bundaberg	33	1,317,541	115,000						
Maryborough	25	1,057,216	220,000						
Gayndah	2	1,410							
Gympie	23	3,240,034	50,300						
Nanango	25	1,057,216							
Ipswich	22	1,047,216	210,214						
Brisbane	62	2,337,848	4,338,000						
南部海岸地方計	212	17,377,766	3,846,667						
Charters Towers	1	1,357,000							
Roma	2	1,317,000							
Dalby	14	3,247,841	1,047,216						
Dalby and Nanango	1								
Toowoomba	10	2,810,511							
Warwick	10	1,847,105	2,810,511						
Inglewood	12	1,317,000							
Stanthovpe	1	117,000							
高原地方計	55	7,947,000	3,747,000						
Windoral	1	2,810,511							
西部平原地方計	1	2,810,511	18	8,017,304	7	2,645,511	2	3,629,333	2,810,511
總計	333	26,800,733	18	8,017,304	7	2,645,511	3	3,629,333	2,810,511

其四 南「オーストラリア」州ニ於ケル森林ノ分布並ニ其林況

南「オーストラリア」州ハ濠洲聯邦中最モ森林地ニ乏シキ所ニシテ主要ナル森林地トシテ見ラル可キモノハ「アデレード」市ノ東方ニ横ハル「Lofty」山脈及ヒ「Spencers」灣ノ東岸ニ沿フテ北走スル「Flinders」山脈ナリ然レトモ其樹木ハ概シテ濠洲大陸ノ東海岸若クハ南西隅ノ森林ニ於ケルカ如ク長大ナル生長ヲナスモノナシ此等ノ地方ニ産スル主木ハ

樹	名	摘	要
Red gum (Eucalyptus Calophylla)			
Stringybark tree (Eucalyptus obliqua)			
Blue gum (Eucalyptus Leucosylon)			
Sugar gum (Eucalyptus Corynocalyx)			
Panicled-flowered White gum (Eucalyptus Paniculata)			
Peppermint-gum (Eucalyptus Odorata)			
Manna-gum (Eucalyptus Viminalis)			
Box-gum (Eucalyptus hemiphloia)			

等ニシテ其下木トシテ現ルモノハ

樹	名	摘	要
Saw-leaved Scrub honey suckle (Banksia Ornata)			
Common honey Suckle (Banksia Marginata)			
Scrubby blue-gum (Eucalyptus Leucosylon Var. pauperia)			

Large flowering scrub Gum (Eucalyptus Cosmophylla)  
Native Box (Bursoria Spinosa)

等ナリ

本州中上記ノ地方ニ次キテ稍良好ノ林地ヲ形成スルモノハ州ノ南東海岸地方及ヒ Kangaroo 島ニシテ櫛種及ヒ林相略ホ前者ト類似スルモ其低濕地ニハ White Swamp gum (Eucalyptus Gunnii) ノ最モ多ク生長スルヲ見亦 Blue berry tree (Myoporum insulare) ハ海濱ニ近キ阜上ニ生長スルヲ見ル可シ其他此地方ニ於テ最モ盛ニ生長スルモノハ South eastern White gum (Eucalyptus Pauciflora), Stringybark (Eucalyptus obliqua) long leaved Eremophila (Eremophila longifolia) 等ニシテ家具材トシ最モ良好ナル Black wood (Acacia Melanoxylon, R. Br.) ハ又此地方ノ森林内ニ多ク生長スルヲ見ル

Spencer's 灣ノ西海岸ヲ飾ル Baxter 山脈及ヒ其西方ニ位シテ東西ニ走ル Gawler 山脈並ニ Eyre 半島内ノ丘陵地ニハ又稍良好ナル森林ヲ有ス此森林ハ主ニ Red-gum (Eucalyptus Calophylla), Blue gum (Eucalyptus Leucoxydon), Large fruited Red flowering gum (Eucalyptus Leucoxydon, Var. Macrocarpa), Sugar gum (Eucalyptus Coryno Calyx), Peppermint gum (Eucalyptus odorata), wattle gum (E. Viminalis), Box gum (Eucalyptus hemiphloia) 等ヲ主林木トシ下木トシテハ Saw eaved Scrub honey suckle (Banksia Ornata), Scrub Sheoak (Casuarina distyla), Hakea Multiflora, Var. graminifolia, The native Box (Bursoria spinosa); leafless native cherry (Exocarpos aphylla) 等ノ生長スルヲ見ルニシテ  
Yorkes 半島内ノ森林モ亦略前者ト等シト雖モ Sandalwood ノ生長スルヲ以テ著シ She-Oak (Casuarina quadrivalvis) ハ全國ヲ通シテ疎林内ニ混生シ Wattle (Acacia) モ亦全國ニ亘リテ生長スルヲ見ルノミナラス近來樹皮採集ノ目的ヲ以テ各所ニ植栽セラレツヽアルヲ見ルナリ

内地ノ大平原内ニハ僅少ノ植物ヲ見ルノミニシテ河川ノ沿岸及ヒ孤立セル丘陵地等ニ矮小ナル She oak, Eucalyptus

及ヒ Acacia ノ種類ヨリナル森林ヲ見ルコトアルモ其面積狭小樹木劣等ニシテ林業上價值アルモノナシ

McDonali 山脈ノ北部ニ位スル平原内ニハ河川ノ沿岸地ニ Mulga Scrub ト稱スル矮小ナル Eucalyptus 種ノ灌木ヨリ成ル疎林地ヲ見ルコトアリ時トシテハ又小面積ノ Eucalyptus 族ノ密林ヲ見ルコトアリ Stirling Creek ノ河岸ニハ bean tree ヲ生シ之ヨリ遙カニ北進シテ Powells Creek ニ到ル間ニ在リテハ Mulga Scrub ハ漸ク密林ヲナシ矮小ナル Eucalyptus 族及ヒ Mallee gum ノ密生スルヲ見ルニシ

Powells 地方ニアリテハ Red gum ハ河川ノ沿岸ニ Flooded gum ハ平地ニ生長スルヲ見ル此地ヨリ北進スルニ從テ樹木ノ種類ハ大ニ變化シ北部河川系ノ水源地ヲナス山岳地ニアリテハ Pines, Fig trees 及ヒ Orange trees 等ノ盛ニ生長スルヲ見ルヘク Roper 河ノ上部水源地ノ高地ニハ又良好ナル喬林ヲ見ルヘシ北海岸ヨリ三十哩乃至百哩ヲ隔ツル臺地ニハ Paper bark-tree ノ大材 Leichhardt pines 及ヒ椰子類ヲ生シ猶ホ高地ニ至ル時ハ Blood wood 及ヒ其他ノ Eucalyptus 及ヒ種々ノ樹木ノ著シク生長スルヲ見ル可ク纖維ニ富ミタル植物ハ多ク此地方ノ特産ナリト云フ

參考ノ爲メ千九百十一年六月三十日現在ノ存置林ノ面積ヲ示セハ左表ノ如シ

存置林面積調査表

地方別	森林名	面積	備考
	Bundaleer	七、八三九	
	Wirrabara	二〇、六四〇、五	
	Ayers	八八〇	
	Barunga	二五五	
	Mount Brown	一〇、七八一、七五	
	Hall	五一	
	Wolloway	四八	

北部地方	
Willowie	一二、二二五
Naekara	五、九五三
Redhill	七四七
Booleunda	一〇
Crystal Brook	四〇
Hanson	五四、二五
Out of Counties	三五八
北部地方計	五九、八八二、五
Kuipo	四、三七六
Port Road	四四
Goolwo	一六九
Belair	一〇
Mount Barker	二二〇
Angas	三、八三五
Ridley	五、四三五
Bardett	五、九四二
Finniss	七三五
Murtho	六、九七〇
Mount Crawford	七六三
中部地方計	二八、五〇九
Walloo	八六六
Vanilla	二、三八六
西部地方計	三、二五二
Mount Gambier	七五
Mount Burr	一三、八一五

南部地方	
Mount Muirhead	四一
Glen Roy	八、〇六四
Mundalia	六四二、七五
Cave Range	五、五七〇
Penola	八、三二七
Mount Mc.Intyre	五、五六九
Emu flat	九、八四二
Bordertown	三三三、二五
Parilla	一、一六二
Bangham	二、〇〇〇
南部地方計	五五、四四一
總計	一四七、〇八四、五

其五 西オーストラリア州ニ於ケル森林ノ分布並ニ其林況

西オーストラリア州ハ南緯十四度ヨリ三十五度東經百十三度ヨリ百二十九度ノ間ニ横ハリ面積六億二千四百五十八萬八千八百「エークル」アリ其海岸線ノ延長五千哩以上ニ達ス今其森林分布ノ狀況ヲ探マルニ本州中建築材トシテ商業上最モ價値アル硬材ハ主トシテ海岸地方ニ存在スルヲ見ル可シ即チ北方 Murchison 河ヨリ南西端ナル Leewine 岬ニ至ルノ間西海岸ニ並行シテ走リ Leewine 岬ニ至リ轉シテ東方ニ向ヒ南海岸ト並行シテ Albany 市ノ北東ニ向テ擴張スル所ノ「ダーリング」「ロー」「ピクトリア」「ハーシェル」及ビ「スチルリング」ノ諸山脈及ヒ其山麓附近ノ地ニシテ其地方ハ悉ク樹木ヲ以テ被ハレ此州ノ林木中負擔力ノ強大ナルト保存期ノ永キトノ點ニ於テ最モ優秀ナル Jarrah (Eucalyptus Mar-ginata) 及ヒ Karri (Eucalyptus diversicolor) ノ大森林地帯ハ即チ上記ノ「ダーリング」山脈ヨリ東方ニ擴張シ其幅員百哩延長三百五十哩ニ達ス此森林地帯ト西海岸トノ間即チ「ダーリング」山脈ノ西側ニ「Tuart」(Eucalyptus gomphocephala) ノ顯著ナル森林地帯アリテ此中ニハ又 Black butt (Eucalyptus Patens) ヲ混生ス上記ノ廣大ナル Jarrah 地帯ト接續シテ州ノ

南西海岸地方ニ「Karrri」帯ノ大森林アリ此森林ハ「ハメリン」岬ヨリ「トルベイ」地方ニ向テ擴張シ其區域ハ東經百十五度ヨリ百十八度南緯三十四度ヨリ三十五度ニ達ス Jarrah; Karrri; Tuart; Blackbutt; Red gum (Eucalyptus Calophylla) 等ノ貴重樹種ヲ生スル上記ノ森林地帯ハ一箇年ノ降雨量平均三十五吋ヨリ四十吋ノ間ニ在リト云フ Jarrah 帯ヨリ遙カニ東方ニ擴張シ前者ヨリ一層乾燥セル地帯ニ White gum (Eucalyptus Viminalis) ノ森林帯アリ、此帯内ニハ又 York gum (Eucalyptus Ixophleba) ノ狭長ナル森林帯ヲ包容ス此帯ノ南界ハ殆ント海岸ニ達シ其北界ハ Jarrah 森林帯ノ北界ヨリ遙カニ深ク北部ニ達セリ此森林帯ヲ過キテ一層遙カニ東方ニ進ム時ハ森林ハ追次疎立トナリ White gum ノ生長又漸次衰へ遂ニハ全ク之ヲ見サルニ至リ此處ニ矮林若クハ叢林ヲナシタル極メテ矮小ナル樹木ノミヲ有スルヲ見ルニ至ルヘシ

南海岸地方即チ「グレート、オーストラリアン、バイト」ノ海岸ニ沿ヒタル地方ハ樹木ヲ有スルコト少ナク唯タ矮小ナル Eucalyptus ノ森林帯ヲ見ルノミナリ而シテ此等ノ森林内ニハ Casuarina 族ノ樹木及ヒ Acacia 族ノ樹木ヲ生スルモノアリ

州ノ西北部モ亦森林ニ乏シク King Leopold 及 ヲ St. George's 山脈ニ於テハ多少ノ森林アルモ Dampier Land 地方ヨリ南方 Shark Bay ニ至ルノ間ニハ海岸林ノ存在スルヲ見ス唯タ矮小ナル矮林若クハ叢林ノ所々ニ散在シテ海岸地帯ヲ飾ルノミナリ

西「オーストラリア」州ノ森林地總面積ヲ概算スレハ九千八百萬「エーケル」ニシテ商業上價值アル林木ノ生長スル區域ハ略左表ノ如シ

貴重樹種生長區域面積調査表

樹名	面積
Jarrah (Black butt 及 ヲ Red gum ヲ混ス)	八、〇〇〇、〇〇〇

Karrri	一、一〇〇、〇〇〇
Tuart	一、〇〇〇、〇〇〇
Wandoo (White gum) 及 フント同様ナルモノ	七、〇〇〇、〇〇〇
York gum, Yate gum, Sandal wood 及 ヲ Janwood	四、〇〇〇、〇〇〇
計	一、〇、四〇〇、〇〇〇

其六 「タスマニア」州ニ於ケル森林ノ分布並ニ其林況

「タスマニア」州ハ濠洲聯邦中最モ森林ニ富ム所ニシテ山岳地方ハ悉ク皆森林ヲ以テ被ハル、ヲ見ルヘシ然レトモ溪谷平坦地若クハ内部高原地等ニテハ目下盛ニ樹木ノ卷枯シヲ行ヒ森林ヲ破壊シ農業地若クハ牧場地ヲ形成センコトニ腐心シツ、アリ「タスマニア」島中ニテ最モ美良ノ林相ヲ呈スルモノハ南東部及ヒ南部地方ニシテ主トシテ Blue Gum Eucalyptus globulus), Stringy bark (Eucalyptus Obliqua), Swamp gum 一名 Ash (Eucalyptus regnans), Peppermint (Eucalyptus amygdalina), Ironbark (Eucalyptus Sieberiana) ノ大樹ヨリ成ル又タ Huonpine (Dacrydium franklinii), King william pine (Athrotaxis selaginoides), Celery-top pine (Phyllocladus rhomboidalis) 等ノ針葉樹ノ著シク繁茂スル所アリ其他 Sassafras (Athrosperma Moschata), Tea tree (Leptospermum lanigerum) Honey Suckle (Banksia marginata), Musk Olearia argophylla), Silver Wattle (Acacia deabata), She Oak (Casuarina quadrivalvis), Bull-oak (Casuarina Suberosa) 等ノ樹種ノ上記ノ Eucalyptus 若クハ針葉樹間ニ點綴スルヲ見ルヘシ林相概シテ良好ニシテ Blue gum ノ如キハ極メテ長大ナル生長ヲナシ其目通徑七呎下枝迄ノ高サ百呎全高二百呎乃至二百五十呎ニ達スルモノ珍ラシカラス Stringybark ハ猶一層長大ニシテ高徑十二呎乃至十四呎全長二百五十呎ニ達スルアリ其他ノ諸木モ亦從テ長大ナリ北部海岸地方ヨリ北東部及ヒ東部ノ山脈ニ連續スル廣大ナル山岳地モ亦大森林ヲ形成シ樹種及ヒ林相前者ト似ルモ前者ノ如ク長大ナル生長ヲナスモノ少ナシ

「タスマニア」島ノ西部ニ横ハル山岳地方モ亦概シテ森林ニ富ミ主トシテ Beech 一名 Myrtle (Fagus Cunninghamii),